

令和6年度 人権に関する市民の意識調査 報告書

高 知 市

2025（令和7）年7月

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収状況	1
4. 注意事項	2
II 回答者の属性	3
1. 回答者の属性	3
(1) 年代	3
(2) 性別	3
III 調査結果	5
1. 人権全般に関する意識	5
(1) 問1 人権が尊重されているまちだと思うか	5
(2) 問2 人権意識の変化	8
(3) 問3 関心のある人権問題	11
(4) 問4 人権侵害の経験	14
(5) 問4-1 人権が侵害されたと思った内容	17
(6) 問4-2 人権侵害を受けた時の対処	20
(7) 問4-3 人権侵害を受けた時の相談先	23
(8) 問4-4 人権侵害を受けても相談しなかった理由	25
2. 部落差別(同和問題)	27
(1) 問5 部落差別(同和問題)を知っているか	27
(2) 問5-1 部落差別(同和問題)を知ったきっかけ	30
(3) 問5-2 部落差別(同和問題)についての学習経験	32
(4) 問5-3 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか	34
(5) 問5-4 同和地区や同和地区出身者ということを意識することがあるか	37
(6) 問5-5 家族の結婚相手が同和地区に住む人や同和地区出身者だとわかった場合の対応	39
(7) 問5-6 現在でも部落差別(同和問題)が存在している原因	41
(8) 問5-7 部落差別(同和問題)解決のために必要だと思うもの	43

3. 女性.....	45
(1)問6 女性の人権に関して特に問題があると思うこと.....	45
(2)問7 女性の人権を守るために必要だと思うこと.....	47
4. 子ども.....	50
(1)問8 子どもの人権に関して特に問題があると思うこと.....	50
(2)問9 子どもの人権を守るために必要だと思うこと.....	52
5. 高齢者.....	54
(1)問10 高齢者の人権に関して特に問題があると思うこと.....	54
(2)問11 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと.....	56
6. 障がいのある人.....	58
(1)問12 障がいのある人の人権に関して特に問題があると思うこと.....	58
(2)問13 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うこと.....	60
7. 外国人.....	62
(1)問14 外国人の人権に関して特に問題があると思うこと.....	62
(2)問15 外国人の人権を守るために必要だと思うこと.....	64
8. 感染症患者など.....	66
(1)問16 感染症患者などの人権に関して特に問題があると思うこと.....	66
(2)問17 感染症患者などの人権を守るために必要だと思うこと.....	68
9. 性的指向・性自認.....	70
(1)問18 性的少数者の人権に関して特に問題があると思うこと.....	70
(2)問19 性的少数者についての考え.....	73
(3)問20 性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと.....	77
(4)問21 「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度.....	80
10. 働く人々の人権.....	83
(1)問22 職場における人権に関して特に問題があると思うこと.....	83
(2)問23 働く人々の人権を守るために必要だと思うこと.....	86
11. 犯罪被害者など.....	89
(1)問24 犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うこと.....	89
(2)問25 犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと.....	92
12. インターネット.....	95
(1)問26 インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと.....	95
(2)問27 インターネットにおける人権侵害についての考え.....	98

13. 災害と人権	102
(1)問 28 災害時の人権に関して特に問題があると思うこと.....	102
(2)問 29 災害時に人権を守るために必要だと思うこと	105
14. 人権尊重の社会の実現に向けた取り組みについて.....	108
(1)問 30 人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの.....	108
(2)問 30—1 人権尊重の考え方に強い影響を受けたものの内容.....	111
(3)問 31 人権尊重の社会の実現のために必要だと思うこと.....	114
(4)問 32 人権に関する法律や取り組みなどの認知度.....	117
15. 人権に関する意見・感想.....	129

IV 設問間クロス集計分析	135
1. 問1×問31.....	135
2. 問2×問3	136
3. 問4-1×問4-3	137
4. 問5-2×問5-5.....	138
5. 問5-3×問5-6.....	139
6. 問5-3×問5-7.....	140
7. 問5-6×問5-7.....	141
8. 問6×問7	142
9. 問8×問9	143
10. 問10×問11.....	144
11. 問12×問13.....	145
12. 問14×問15	146
13. 問16×問17	147
14. 問18×問20.....	148
15. 問22×問23	149
16. 問24×問25	150
17. 問26×問27	151
18. 問28×問29	153

VI 用語説明	155
VII 調査票	157

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

高知市民の人権に関する意識の現状把握を行い、基本計画などの指標とするとともに、人権施策の効果的促進を図るための基礎資料とすることを目的に、「人権に関する市民の意識調査」を実施した。

2. 調査の方法

- ・調査対象 高知市在住の満 18 歳以上の市民 3,000 人(女性 1,615 人、男性 1,385 人)
- ・抽出方法 住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出
- ・抽 出 日 令和 6 年 10 月 23 日

<年代別性別抽出状況>

年代	総数	女性	男性
10 代	61	31	30
20 代	311	152	159
30 代	330	167	163
40 代	472	242	230
50 代	524	272	252
60 代	443	234	209
70 代	484	268	216
80 代以上	375	249	126
合計	3,000	1,615	1,385

- ・調査方法 郵送調査法
- ・調査期間 令和 6 年 11 月 8 日～令和 6 年 11 月 28 日

3. 回収状況

- ・有効回収数 895 人(女性 531 人、男性 350 人、性別無回答・その他 14 人)
- ・有効回収率 29.8%(女性 32.9%、男性 25.3%)
※年代不明、性別その他無回答を含めた回収率

<年代別性別回収状況>

年代	女性			男性			無回答・ その他 回答数
	抽出数	回答数	回答率	抽出数	回答数	回答率	
10 代	31	8	25.8%	30	5	16.7%	-
20 代	152	35	23.0%	159	21	13.2%	3
30 代	167	52	31.1%	163	31	19.0%	1
40 代	242	68	28.1%	230	41	17.8%	3
50 代	272	100	36.8%	252	67	26.6%	3
60 代	234	105	44.9%	209	80	38.3%	-
70 代	268	107	39.9%	216	68	31.5%	3
80 代以上	249	54	21.7%	126	37	29.4%	-
無回答・その他	-	2	-	-	-	-	1
合計	1,615	531	32.9%	1,385	350	25.3%	14

4. 注意事項

- 図表中の「n」(Number of samples の略)は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数である。
- 図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入している。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上ありうるので、合計は100%を超えることがある。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。
「MA%」(Multiple Answer)＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
「3LA%」(3 Limited Answer)＝回答選択肢のなかからあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- 各設問の集計は、不明・無回答を含めて集計している。
- 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上多い場合には△、10ポイント以上少ない場合には▼の記号を付けている。
- 本調査において比較対象としている「前回調査」の概要は以下のとおりである。

令和2年度 人権に関する市民の意識調査

調査対象	高知市在住の満20歳から79歳までの男女3,000人 (女性1,564人、男性1,436人)
調査方法	郵送調査法
調査期間	令和2年6月30日～令和2年7月20日
有効回収数	1,143人(女性688人、男性419人、性別無回答36人)
有効回収率	38.1%(女性44.0%、男性29.2%) ※年代、性別不明を含めた回収率

Ⅱ 回答者の属性

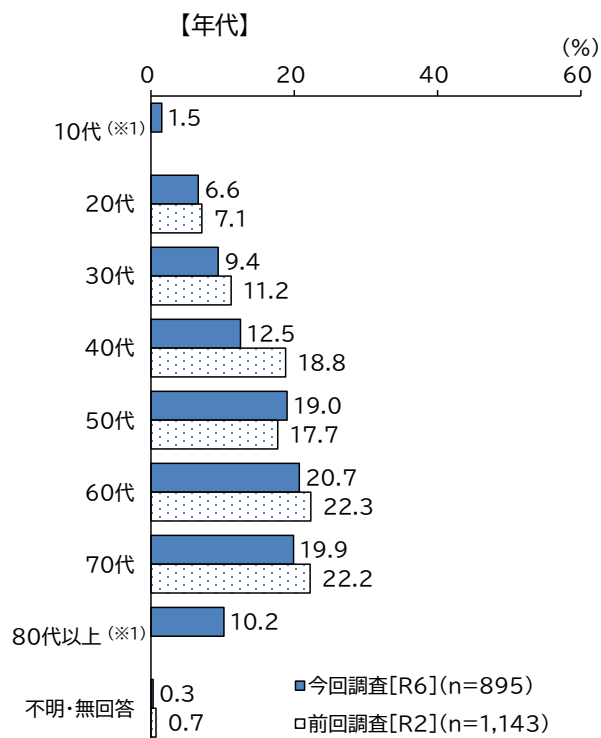
Ⅱ 回答者の属性

1. 回答者の属性

(1)年代

【全体】

- 年代について、「60代」が20.7%で最も多く、次いで「70代」が19.9%、「50代」が19.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、前回調査では調査対象外の「80代以上」が10.2%含まれ、60代以上の割合が今回調査50.8%と、6.3ポイント多くなっている。

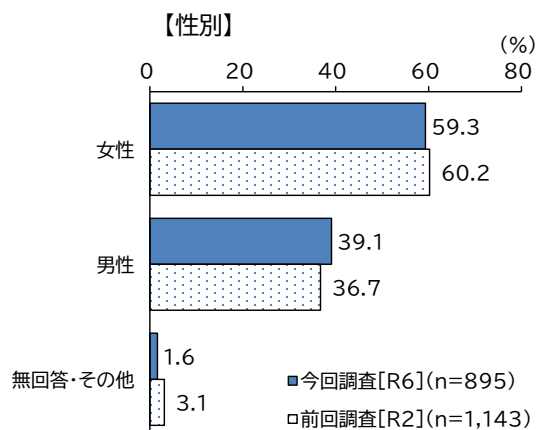


(※1) 前回調査では20代～70代を調査対象としていた。

(2)性別

【全体】

- 性別について、「女性」が59.3%、「男性」が39.1%、「無回答・その他」が1.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「男性」が2.4ポイント多くなっている。



Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

1. 人権全般に関する意識

(1)問1 人権が尊重されているまちだと思うか

問1 あなたは、「今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。
(○は1つ)

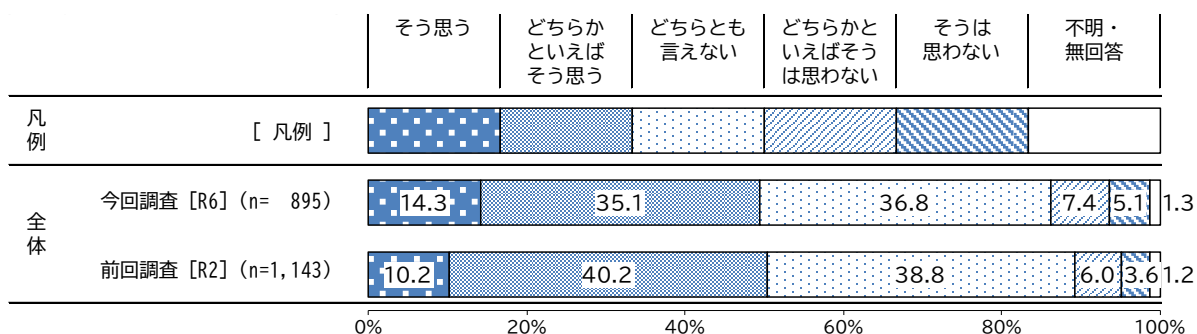
【全体】

- 人権が尊重されているまちだと思うかについて、「どちらとも言えない」が36.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.1%、「そう思う」が14.3%となっている。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”は49.4%、「どちらかといえばそうは思わない」「そうは思わない」を合わせた“思わない”は12.5%となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”(R2:50.4%)は1ポイント少なく、“思わない”(R2:9.6%)は2.9ポイント多くなっている。

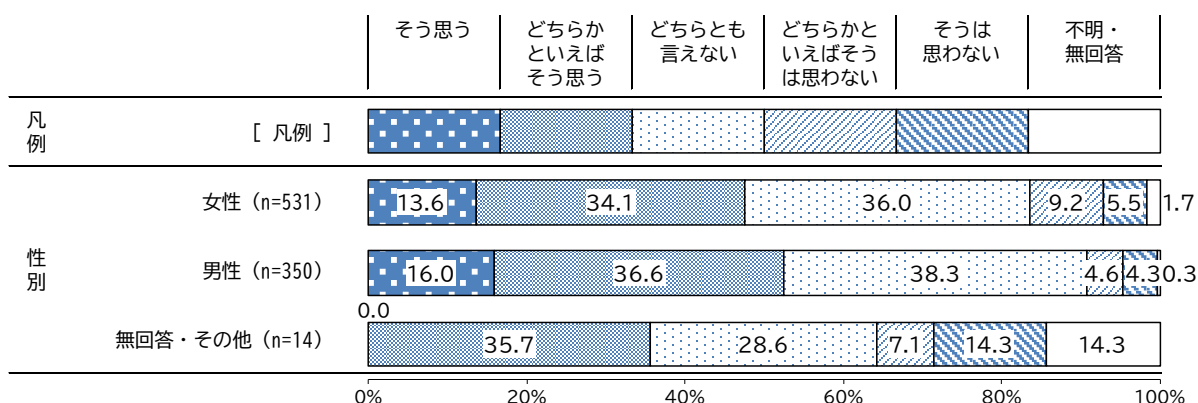
【性別】

- 女性・男性ともに「どちらとも言えない」が最も多いが、“思う”は男性の方が多く、“思わない”は女性の方が多くなっている。

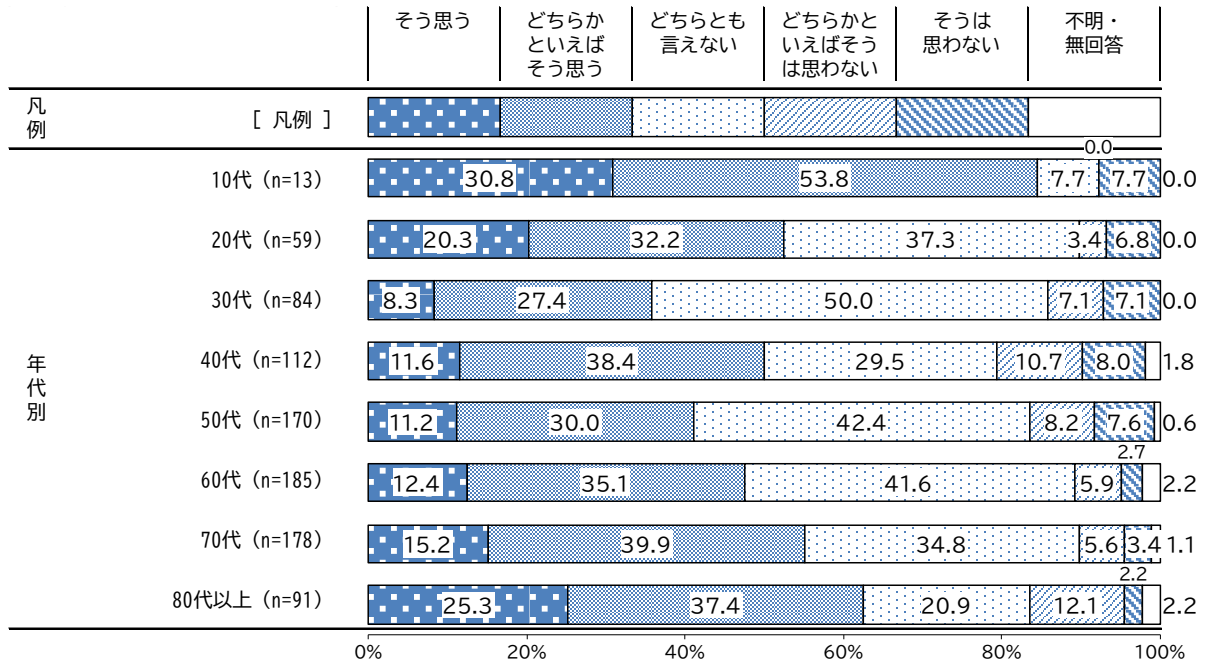
【人権が尊重されているまちだと思うか】



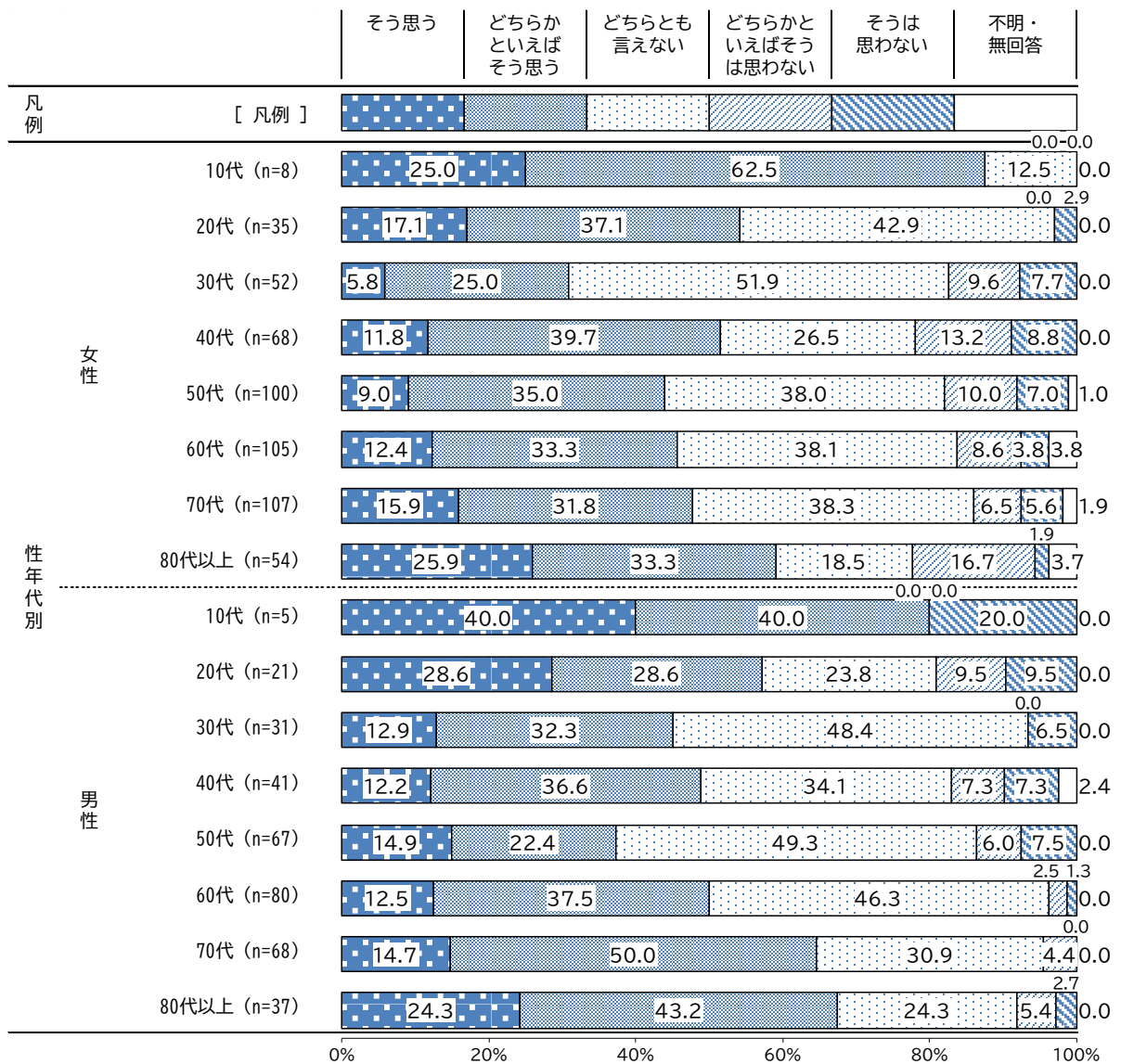
【性別 人権が尊重されているまちだと思うか】



【年代別 人権が尊重されているまちだと思うか】



【性年代別 人権が尊重されているまちだと思うか】



【年代別】

- 10・40・70 代以上は「どちらかといえばそう思う」、20・30・50・60 代は「どちらとも言えない」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 女性の10・20・40・80 代以上、男性の10・20・60 代以上はそれぞれ“思う”が5 割以上となっている。

【性別、年代別、性年代別 人権が尊重されているまちだと思うか】

単位：％

		母数 母数 (n)	人権が尊重されているまちだと思うか						“ 思う ”	“ 思わない ”
			そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も 言 え な い	そ ど ち ら か と い え ば	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答		
全体		895	14.3	35.1	36.8	7.4	5.1	1.3	49.4	12.5
性別	女性	531	13.6	34.1	36.0	9.2	5.5	1.7	47.7	14.7
	男性	350	16.0	36.6	38.3	4.6	4.3	0.3	52.6	8.9
	無回答・その他	14	-	35.7	28.6	7.1	14.3	14.3	▼ 35.7	21.4
年代別	10代	13	△ 30.8	△ 53.8	▼ 7.7	-	7.7	-	△ 84.6	7.7
	20代	59	20.3	32.2	37.3	3.4	6.8	-	52.5	10.2
	30代	84	8.3	27.4	△ 50.0	7.1	7.1	-	▼ 35.7	14.2
	40代	112	11.6	38.4	29.5	10.7	8.0	1.8	50.0	18.7
	50代	170	11.2	30.0	42.4	8.2	7.6	0.6	41.2	15.8
	60代	185	12.4	35.1	41.6	5.9	2.7	2.2	47.5	8.6
	70代	178	15.2	39.9	34.8	5.6	3.4	1.1	55.1	9.0
	80代以上	91	△ 25.3	37.4	▼ 20.9	12.1	2.2	2.2	△ 62.7	14.3
性年代別	女性 10代	8	△ 25.0	△ 62.5	▼ 12.5	-	-	-	△ 87.5	-
	20代	35	17.1	37.1	42.9	-	2.9	-	54.2	2.9
	30代	52	5.8	▼ 25.0	△ 51.9	9.6	7.7	-	▼ 30.8	17.3
	40代	68	11.8	39.7	▼ 26.5	13.2	8.8	-	51.5	22.0
	50代	100	9.0	35.0	38.0	10.0	7.0	1.0	44.0	17.0
	60代	105	12.4	33.3	38.1	8.6	3.8	3.8	45.7	12.4
	70代	107	15.9	31.8	38.3	6.5	5.6	1.9	47.7	12.1
	80代以上	54	△ 25.9	33.3	▼ 18.5	16.7	1.9	3.7	59.2	18.6
	男性 10代	5	△ 40.0	40.0	-	-	△ 20.0	-	△ 80.0	20.0
	20代	21	△ 28.6	28.6	▼ 23.8	9.5	9.5	-	57.2	19.0
	30代	31	12.9	32.3	△ 48.4	-	6.5	-	45.2	6.5
	40代	41	12.2	36.6	34.1	7.3	7.3	2.4	48.8	14.6
	50代	67	14.9	▼ 22.4	△ 49.3	6.0	7.5	-	▼ 37.3	13.5
	60代	80	12.5	37.5	46.3	2.5	1.3	-	50.0	3.8
	70代	68	14.7	△ 50.0	30.9	4.4	-	-	△ 64.7	4.4
	80代以上	37	△ 24.3	43.2	▼ 24.3	5.4	2.7	-	△ 67.5	8.1

(2)問2 人権意識の変化

問2 あなたは、「市民一人ひとりの人権意識は、5～6年前に比べて高くなっている」と思いますか。
(○は1つ)

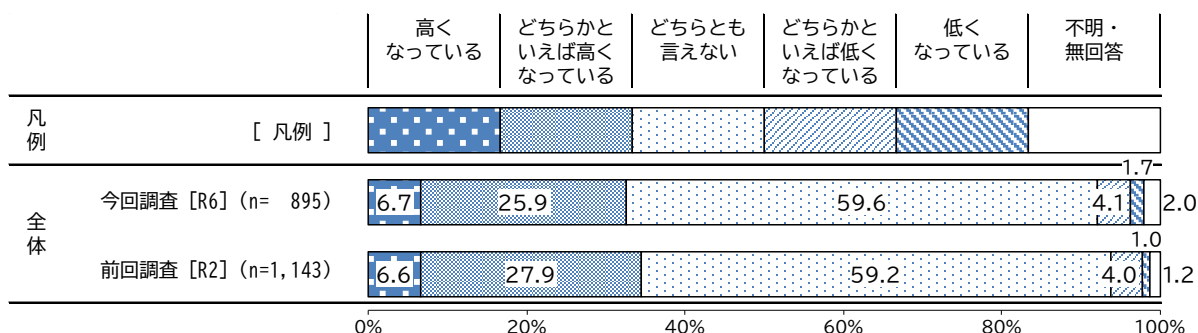
【全体】

- 人権意識の変化について、「どちらとも言えない」が 59.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば高くなっている」が 25.9%、「高くなっている」が 6.7%となっている。「高くなっている」「どちらかといえば高くなっている」を合わせた“高い”は 32.6%となっている。「どちらかといえば低くなっている」「低くなっている」を合わせた“低い”は 5.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、“高い”(R2:34.5%)は 1.9 ポイント少なく、“低い”(R2:5.0%)は 0.8 ポイント多くなっている。

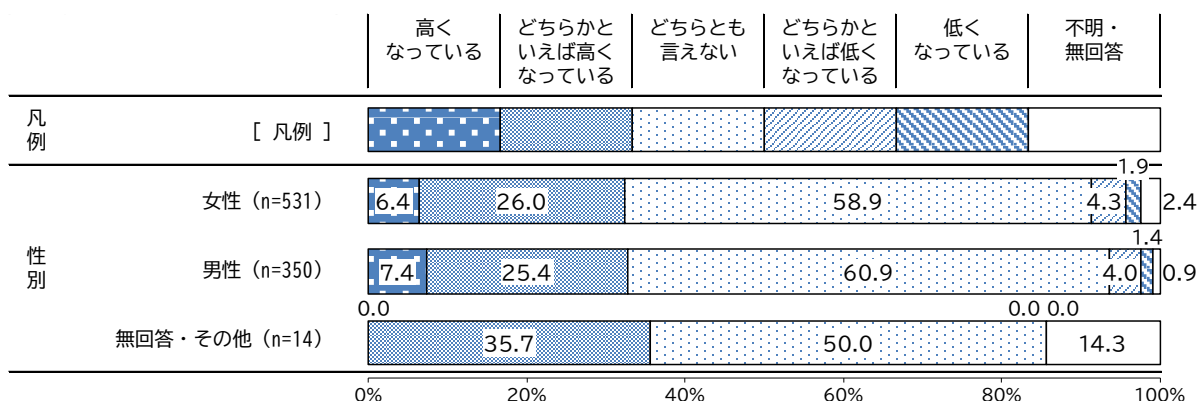
【性別】

- 性別で見ると、女性・男性ともに「どちらとも言えない」が最も多く、“高い”と“低い”の割合を含めて、ほとんど違いがみられない。

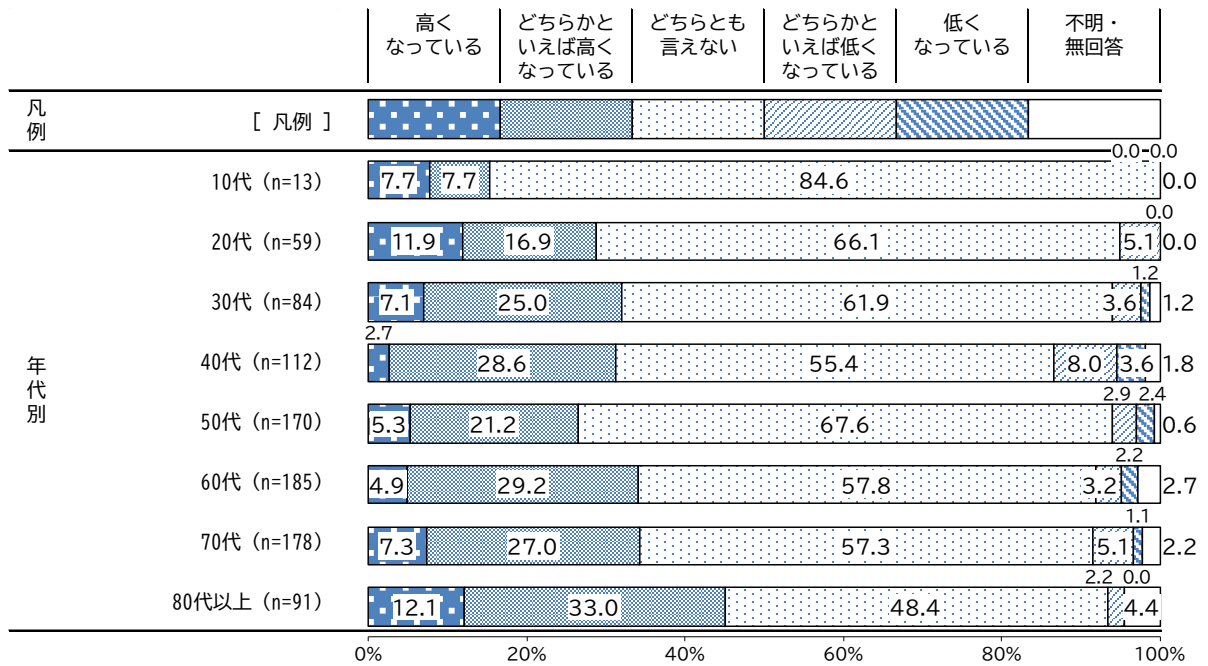
【人権意識の変化】



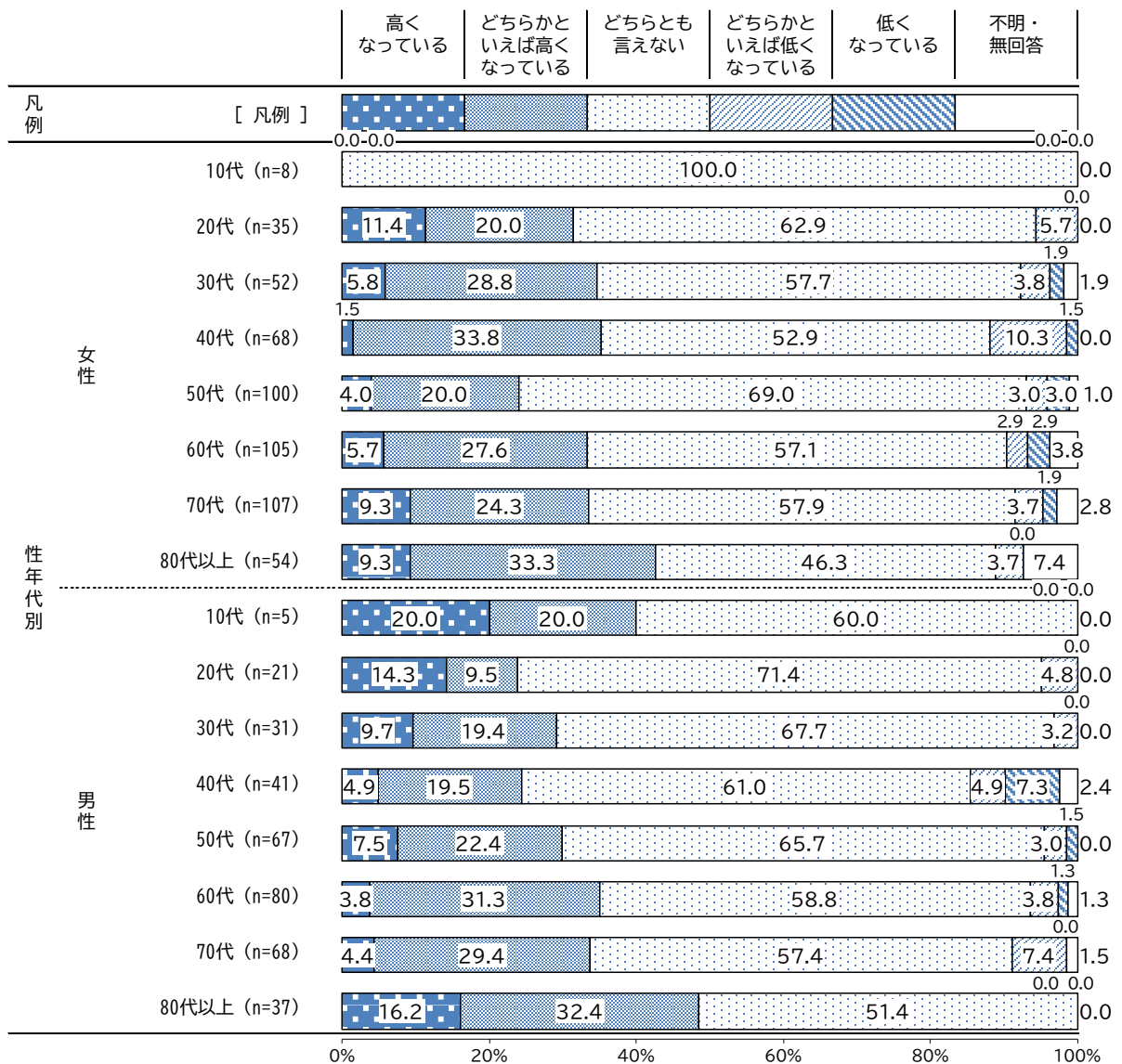
【性別 人権意識の変化】



【年代別 人権意識の変化】



【性年代別 人権意識の変化】



【年代別】

○ 年代別でみると、80 代以上では“高い”が45.1%と多くなっている。

【性年代別】

○ 性年代別でみると、60・70 代を除く年代ではいずれも男性の方が女性より「高くなっている」の割合が多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権意識の変化】

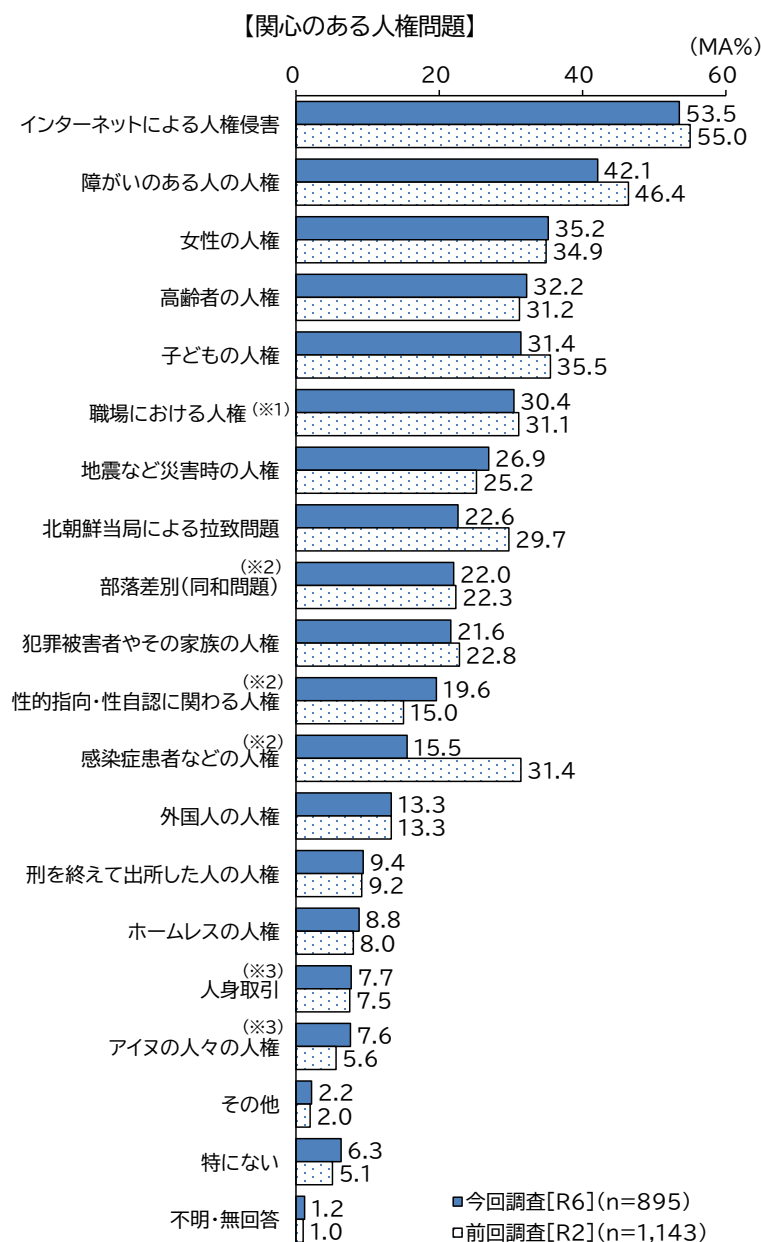
		母数 □ (n)	人権意識の変化						“ 高い ”	“ 低い ”
			高 く な っ て い る	そ ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も 言 え な い	低 く な っ て い る	低 く な っ て い る	不 明 ・ 無 回 答		
全体		895	6.7	25.9	59.6	4.1	1.7	2.0	32.6	5.8
性別	女性	531	6.4	26.0	58.9	4.3	1.9	2.4	32.4	6.2
	男性	350	7.4	25.4	60.9	4.0	1.4	0.9	32.8	5.4
	無回答・その他	14	-	35.7	50.0	-	-	14.3	35.7	-
年代別	10代	13	7.7	▼ 7.7	△ 84.6	-	-	-	▼ 15.4	-
	20代	59	11.9	16.9	66.1	5.1	-	-	28.8	5.1
	30代	84	7.1	25.0	61.9	3.6	1.2	1.2	32.1	4.8
	40代	112	2.7	28.6	55.4	8.0	3.6	1.8	31.3	11.6
	50代	170	5.3	21.2	67.6	2.9	2.4	0.6	26.5	5.3
	60代	185	4.9	29.2	57.8	3.2	2.2	2.7	34.1	5.4
	70代	178	7.3	27.0	57.3	5.1	1.1	2.2	34.3	6.2
	80代以上	91	12.1	33.0	▼ 48.4	2.2	-	4.4	△ 45.1	2.2
性年代別	女性 10代	8	-	-	△ 100.0	-	-	-	-	-
	20代	35	11.4	20.0	62.9	5.7	-	-	31.4	5.7
	30代	52	5.8	28.8	57.7	3.8	1.9	1.9	34.6	5.7
	40代	68	1.5	33.8	52.9	10.3	1.5	-	35.3	11.8
	50代	100	4.0	20.0	69.0	3.0	3.0	1.0	24.0	6.0
	60代	105	5.7	27.6	57.1	2.9	2.9	3.8	33.3	5.8
	70代	107	9.3	24.3	57.9	3.7	1.9	2.8	33.6	5.6
	80代以上	54	9.3	33.3	▼ 46.3	3.7	-	7.4	△ 42.6	3.7
	男性 10代	5	△ 20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0	-
	20代	21	14.3	▼ 9.5	△ 71.4	4.8	-	-	23.8	4.8
	30代	31	9.7	19.4	67.7	3.2	-	-	29.1	3.2
	40代	41	4.9	19.5	61.0	4.9	7.3	2.4	24.4	12.2
	50代	67	7.5	22.4	65.7	3.0	1.5	-	29.9	4.5
	60代	80	3.8	31.3	58.8	3.8	1.3	1.3	35.1	5.1
	70代	68	4.4	29.4	57.4	7.4	-	1.5	33.8	7.4
	80代以上	37	16.2	32.4	51.4	-	-	-	△ 48.6	-

(3)問3 関心のある人権問題

問3 あなたが関心のある人権問題は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 関心のある人権問題について、「インターネットによる人権侵害」が 53.5%で最も多く、次いで「障がいのある人の人権」が42.1%、「女性の人権」が35.2%となっている。
- 前回調査と比較すると、「感染者患者などの人権」が 15.9 ポイント、「北朝鮮当局による拉致問題」が 7.1 ポイント、「障がいのある人の人権」が 4.3 ポイント、「子どもの人権」が 4.1 ポイント少なく、「性的指向・性自認に関わる人権」が 4.6 ポイント多くなっている。



(※1) 前回調査では、「職場の人権」としていた。

(※2) 用語説明 P155 参照。

(※3) 用語説明 P156 参照。

【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「インターネットによる人権侵害」が最も多くなっている。「女性の人権」「高齢者の人権」「子どもの人権」「地震など災害時の人権」では、女性の方が男性より 5 ポイント以上多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10～70 代は「インターネットによる人権侵害」、80 代以上は「高齢者の人権」が最も多くなっている。

【性別、年代別 関心のある人権問題】

単位：％

		母数 (n)	関心のある人権問題										
			インターネットによる人権侵害	障がいのある人権	女性の人権	高齢者の人権	子どもの人権	職場における人権	地震など災害時の人権	北朝鮮当局による拉致問題	部落差別（同和問題）	犯罪被害者やその家族の人権	性的指向・性自認に 関わる人権
全体		895	53.5	42.1	35.2	32.2	31.4	30.4	26.9	22.6	22.0	21.6	19.6
性別	女性	531	53.9	41.1	42.2	34.5	33.1	31.1	28.8	22.0	19.6	21.7	19.6
	男性	350	53.1	43.1	▼ 24.0	28.0	28.0	28.3	23.7	23.1	25.4	21.7	18.9
	無回答・その他	14	50.0	△ 57.1	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 57.1	35.7	28.6	28.6	14.3	△ 35.7
年代別	10代	13	46.2	38.5	▼ 23.1	23.1	23.1	23.1	△ 38.5	30.8	15.4	23.1	△ 30.8
	20代	59	57.6	37.3	△ 47.5	▼ 13.6	△ 44.1	33.9	33.9	▼ 6.8	22.0	16.9	△ 32.2
	30代	84	57.1	36.9	44.0	▼ 19.0	40.5	39.3	35.7	▼ 10.7	13.1	20.2	△ 29.8
	40代	112	60.7	36.6	33.9	▼ 17.0	40.2	37.5	24.1	14.3	18.8	23.2	24.1
	50代	170	60.6	42.9	34.1	24.1	28.2	37.1	25.9	16.5	17.1	25.9	21.2
	60代	185	50.8	43.8	36.8	38.4	30.3	27.6	23.8	21.6	23.8	21.1	16.8
	70代	178	52.2	47.8	33.7	42.1	30.3	23.0	24.2	△ 38.2	27.0	21.3	14.0
	80代以上	91	▼ 35.2	42.9	25.3	△ 60.4	▼ 16.5	▼ 19.8	30.8	△ 35.2	31.9	16.5	▼ 8.8

		母数 母数 (n)	関心のある人権問題								
			感 染 症 患 者 な どの 人 権	外 国 人 の 人 権	刑 を 終 え て 出 所 し た 人 の 人 権	ホ ー ム レ ス の 人 権	人 身 取 引	ア イヌ の 人 々 の 人 権	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	15.5	13.3	9.4	8.8	7.7	7.6	2.2	6.3	1.2
性別	女性	531	15.3	12.2	8.3	8.5	8.5	7.3	1.5	5.6	0.9
	男性	350	15.4	14.3	10.6	8.6	6.3	7.4	2.9	7.4	1.1
	無回答・その他	14	△ 28.6	△ 28.6	△ 21.4	△ 28.6	14.3	△ 21.4	△ 14.3	-	14.3
年代別	10代	13	15.4	△ 30.8	△ 23.1	15.4	15.4	15.4	-	△ 23.1	-
	20代	59	10.2	20.3	13.6	6.8	6.8	3.4	-	-	-
	30代	84	14.3	13.1	11.9	8.3	4.8	7.1	2.4	7.1	2.4
	40代	112	17.0	17.9	5.4	4.5	6.3	5.4	2.7	7.1	1.8
	50代	170	16.5	16.5	7.1	6.5	9.4	4.7	4.7	8.2	0.6
	60代	185	15.7	11.9	10.8	9.7	7.6	6.5	1.1	6.5	1.6
	70代	178	14.6	8.4	9.0	11.2	7.3	13.5	1.7	3.4	-
	80代以上	91	17.6	7.7	9.9	13.2	8.8	8.8	2.2	7.7	1.1

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 10 代は「地震など災害時の人権」、女性の 20・30 代は「女性の人権」、女性の 40～60 代と男性の 10～60 代は「インターネットによる人権侵害」、女性の 70 代以上と男性の 80 代以上は「高齢者の人権」、男性の 70 代は「障がいのある人の人権」と「インターネットによる人権侵害」がそれぞれ最も多くなっている。

【性年代別 関心のある人権問題】

単位：％

	母数 (n)	関心のある人権問題										
		にインターネット による人権侵害	障がいのある 人権	女性の人 権	高 齢者 の 人 権	子 ど も の 人 権	職 場 に お け る 人 権	地 震 な ど 災 害 時 の 人 権	北 朝 鮮 問 題 当 局 に よ る	(部 落 差 別 問 題) (同 和 問 題)	そ の 犯 罪 被 害 者 の 人 権	関 心 の 指 向 ・ 性 自 認 に 関 する 人 権
全体	895	53.5	42.1	35.2	32.2	31.4	30.4	26.9	22.6	22.0	21.6	19.6
性年代別	女性 10代	▼ 37.5	37.5	▼ 25.0	25.0	25.0	25.0	△ 50.0	25.0	12.5	12.5	25.0
	20代	51.4	37.1	△ 60.0	▼ 11.4	△ 42.9	25.7	△ 40.0	▼ 2.9	22.9	22.9	△ 40.0
	30代	55.8	40.4	△ 57.7	▼ 21.2	△ 44.2	△ 40.4	△ 38.5	▼ 7.7	13.5	19.2	△ 36.5
	40代	△ 67.6	38.2	44.1	▼ 14.7	△ 44.1	33.8	25.0	▼ 11.8	20.6	26.5	25.0
	50代	58.0	44.0	40.0	23.0	30.0	△ 43.0	29.0	15.0	14.0	25.0	22.0
	60代	55.2	43.8	43.8	△ 44.8	34.3	30.5	23.8	21.0	19.0	19.0	16.2
	70代	48.6	42.1	37.4	△ 50.5	27.1	21.5	24.3	△ 40.2	23.4	20.6	▼ 8.4
	80代以上	▼ 38.9	37.0	27.8	△ 59.3	▼ 20.4	▼ 20.4	33.3	△ 38.9	27.8	18.5	▼ 7.4
	男性 10代	5	60.0	40.0	▼ 20.0	▼ 20.0	▼ 20.0	20.0	△ 40.0	20.0	△ 40.0	△ 40.0
	20代	21	△ 71.4	33.3	▼ 19.0	▼ 9.5	38.1	38.1	▼ 9.5	19.0	▼ 4.8	19.0
	30代	31	58.1	▼ 29.0	▼ 19.4	▼ 12.9	32.3	35.5	29.0	16.1	22.6	16.1
	40代	41	51.2	▼ 31.7	▼ 17.1	▼ 19.5	34.1	△ 43.9	22.0	17.1	19.5	22.0
	50代	67	△ 64.2	40.3	25.4	25.4	25.4	28.4	20.9	17.9	26.9	19.4
	60代	80	45.0	43.8	27.5	30.0	25.0	23.8	22.5	30.0	23.8	17.5
	70代	68	57.4	△ 57.4	27.9	27.9	35.3	23.5	△ 35.3	△ 32.4	23.5	22.1
	80代以上	37	▼ 29.7	51.4	▼ 21.6	△ 62.2	▼ 10.8	▼ 18.9	27.0	29.7	△ 37.8	10.8

		母数☒ (n)	関心のある人権問題								
			感 染 症 患 者 な ど の 人 権	外 国 人 の 人 権	刑 を 終 え て 出 所 し た 人 の 人 権	ホ ー ム レ ス の 人 権	人 身 取 引	ア イ ヌ の 人 々 の 人 権	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	15.5	13.3	9.4	8.8	7.7	7.6	2.2	6.3	1.2
性 年 代 別	女性 10代	8	12.5	△ 25.0	△ 25.0	12.5	12.5	12.5	-	△ 37.5	-
	20代	35	8.6	14.3	5.7	5.7	5.7	2.9	-	-	-
	30代	52	11.5	15.4	9.6	7.7	5.8	9.6	1.9	7.7	1.9
	40代	68	19.1	13.2	2.9	1.5	5.9	4.4	1.5	4.4	-
	50代	100	16.0	16.0	6.0	5.0	9.0	4.0	2.0	9.0	-
	60代	105	16.2	11.4	9.5	10.5	7.6	7.6	1.0	4.8	1.9
	70代	107	13.1	8.4	10.3	11.2	9.3	11.2	1.9	0.9	-
	80代以上	54	18.5	7.4	11.1	16.7	13.0	9.3	1.9	9.3	1.9
	男性 10代	5	20.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	-	-	-
	20代	21	9.5	△ 28.6	△ 23.8	4.8	4.8	-	-	-	-
	30代	31	16.1	9.7	12.9	6.5	3.2	3.2	3.2	6.5	3.2
	40代	41	12.2	△ 24.4	9.8	7.3	7.3	7.3	4.9	12.2	2.4
	50代	67	16.4	16.4	7.5	7.5	9.0	4.5	6.0	7.5	1.5
	60代	80	15.0	12.5	12.5	8.8	7.5	5.0	1.3	8.8	1.3
	70代	68	17.6	7.4	7.4	11.8	4.4	16.2	1.5	7.4	-
	80代以上	37	16.2	8.1	8.1	8.1	2.7	8.1	2.7	5.4	-

(4)問4 人権侵害の経験

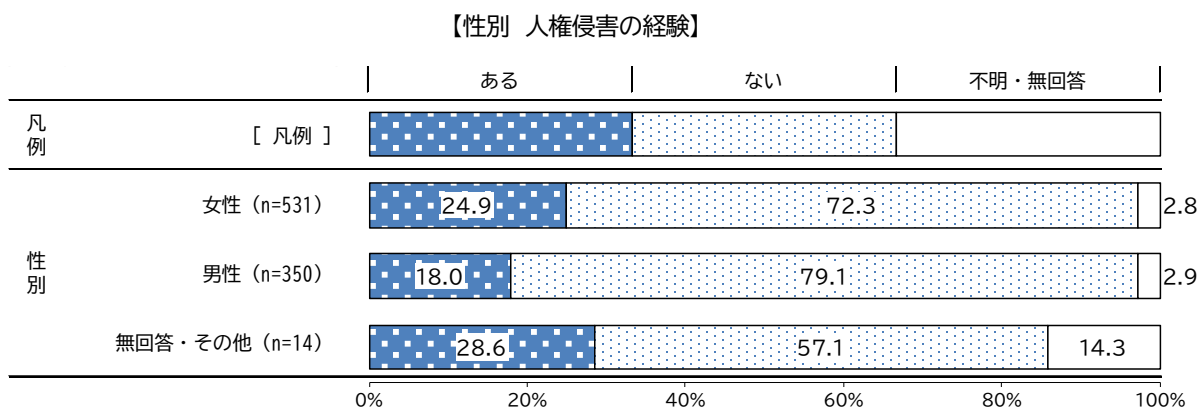
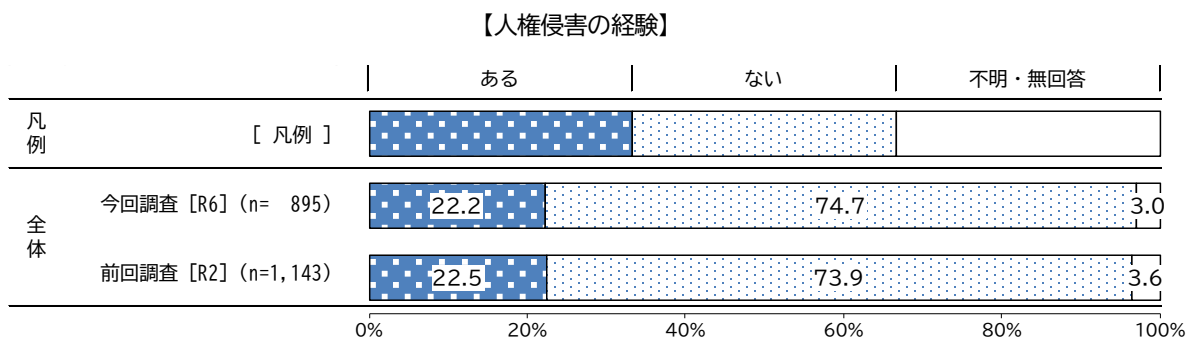
問4 あなた自身やご家族の人権が侵害された、あるいはそう感じたことがありますか。(○は1つ)

【全体】

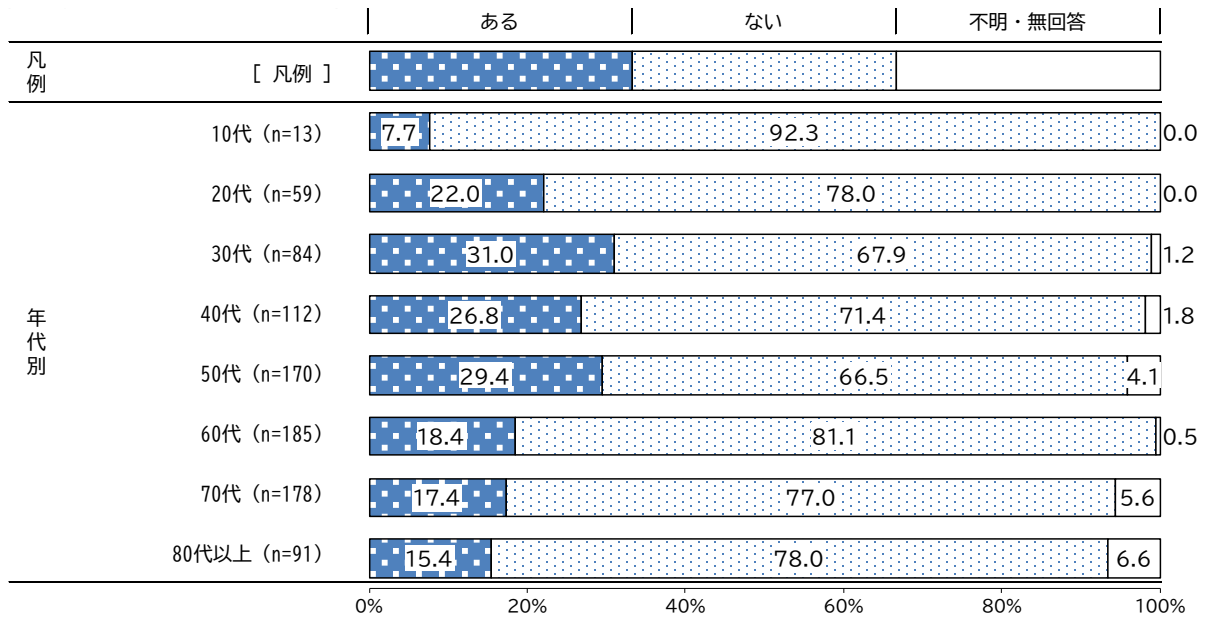
- 人権侵害の経験について、「ある」が22.2%、「ない」が74.7%となっている。
- 前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

【性別】

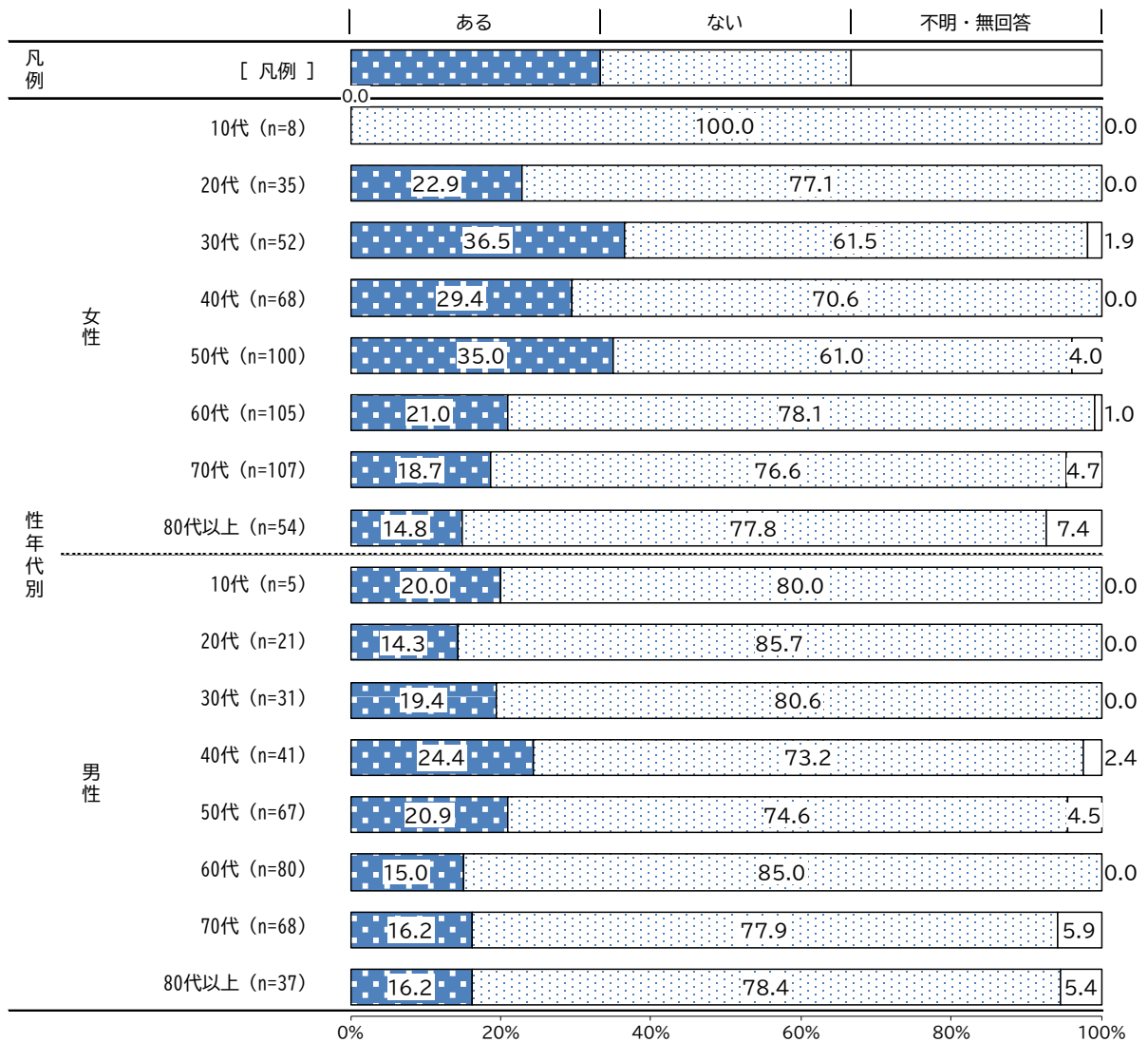
- 性別でみると、「ある」は女性(24.9%)の方が、男性(18.0%)より6.9ポイント多くなっている。



【年代別 人権侵害の経験】



【性年代別 人権侵害の経験】



【年代別】

○ 年代別でみると、30～50代は「ある」の割合が2割台後半から3割で多くなっている。

【性年代別】

○ 性年代別でみると、20～70代は女性の方が男性よりも「ある」の回答が多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権侵害の経験】

単位：％

		母数 母数□ (n)	人権侵害の経験		
			ある	ない	不明・ 無回答
全体		895	22.2	74.7	3.0
性別	女性	531	24.9	72.3	2.8
	男性	350	18.0	79.1	2.9
	無回答・その他	14	28.6	▼ 57.1	14.3
年代別	10代	13	▼ 7.7	△ 92.3	-
	20代	59	22.0	78.0	-
	30代	84	31.0	67.9	1.2
	40代	112	26.8	71.4	1.8
	50代	170	29.4	66.5	4.1
	60代	185	18.4	81.1	0.5
	70代	178	17.4	77.0	5.6
	80代以上	91	15.4	78.0	6.6
性年代別	女性 10代	8	-	△ 100.0	-
	20代	35	22.9	77.1	-
	30代	52	△ 36.5	▼ 61.5	1.9
	40代	68	29.4	70.6	-
	50代	100	△ 35.0	▼ 61.0	4.0
	60代	105	21.0	78.1	1.0
	70代	107	18.7	76.6	4.7
	80代以上	54	14.8	77.8	7.4
	男性 10代	5	20.0	80.0	-
	20代	21	14.3	△ 85.7	-
	30代	31	19.4	80.6	-
	40代	41	24.4	73.2	2.4
	50代	67	20.9	74.6	4.5
	60代	80	15.0	△ 85.0	-
	70代	68	16.2	77.9	5.9
	80代以上	37	16.2	78.4	5.4

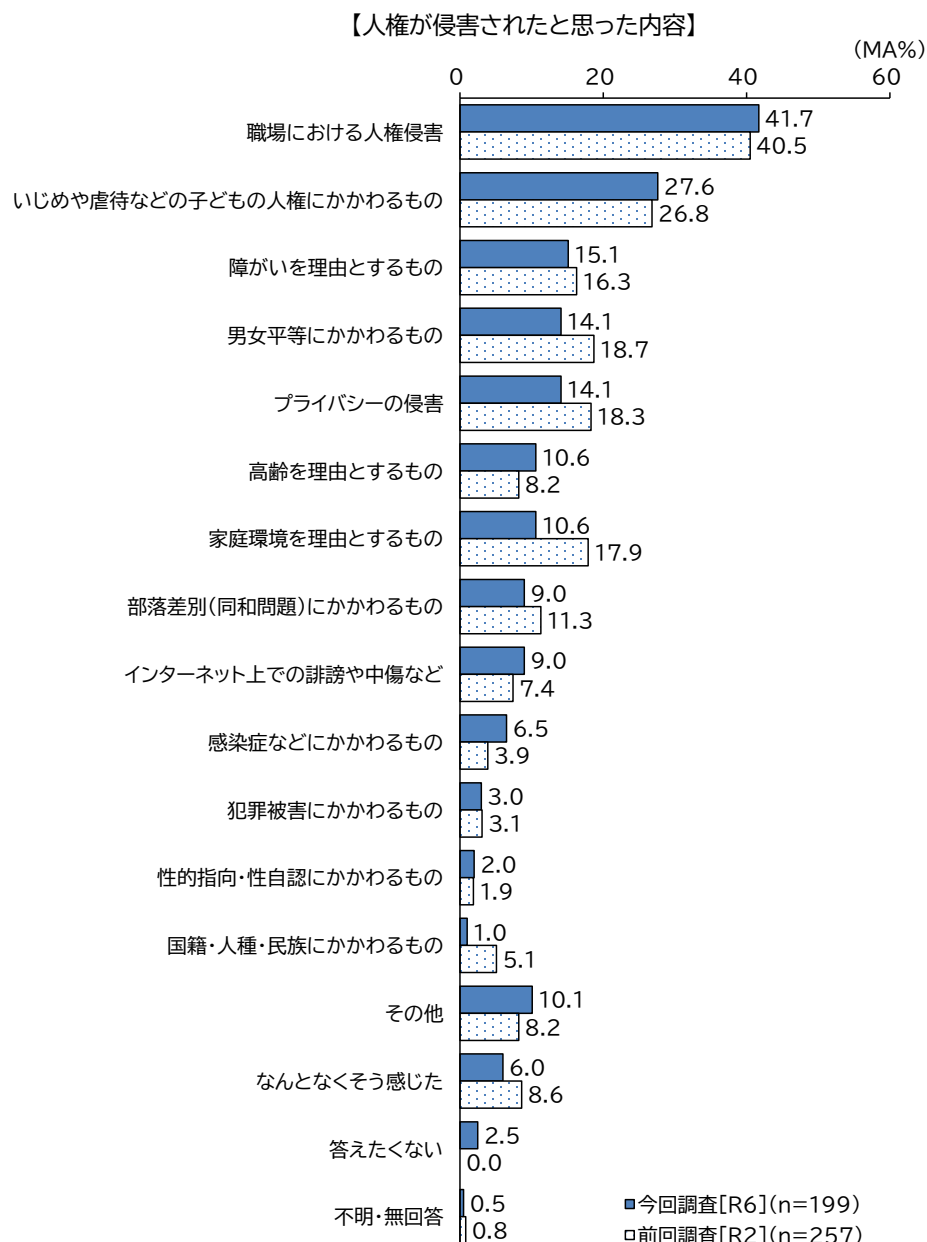
(5)問4-1 人権が侵害されたと思った内容

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-1 それはどのような人権侵害でしたか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 人権が侵害されたと思った内容について、「職場における人権侵害」が41.7%で最も多く、次いで「いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの」が27.6%、「障がい理由とするもの」が15.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、「家庭環境を理由とするもの」が7.3ポイント、「男女平等にかかわるもの」が4.6ポイント、「プライバシーの侵害」が4.2ポイント、「国籍・人種・民族にかかわるもの」が4.1ポイント少なくなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「職場における人権侵害」が最も多くなっている。「男女平等にかかわるもの」は女性の方が男性より 10 ポイント以上多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、20 代以上は「職場における人権侵害」が最も多くなっている。80 代以上では「高齢を理由とするもの」、「部落差別(同和問題)にかかわるもの」が全体に比べて 20 ポイント近く多くなっている。

【性別、年代別 人権が侵害されたと思った内容】

単位：％

		母数 (n)	人権が侵害されたと思った内容										
			職場における人権侵害	いじめや虐待などのかかわるもの	障がい者の理由とするもの	男女平等にかかわるもの	プライバシーの侵害	高齢を理由とするもの	家庭環境を理由とするもの	部（同和差別問題）にかかわるもの	インターネット上での誹謗や中傷など	感染症などにかかわるもの	犯罪被害にかかわるもの
全体		199	41.7	27.6	15.1	14.1	14.1	10.6	10.6	9.0	9.0	6.5	3.0
性別	女性	132	41.7	27.3	13.6	17.4	11.4	12.1	9.1	8.3	7.6	5.3	3.8
	男性	63	41.3	27.0	15.9	4.8	20.6	7.9	11.1	11.1	12.7	9.5	1.6
無回答・その他		4	50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-	-	-	-
年代別	10代	1	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 100.0	-	△ 100.0	-	-
	20代	13	38.5	30.8	15.4	15.4	23.1	-	15.4	-	△ 23.1	-	7.7
	30代	26	46.2	△ 38.5	15.4	23.1	11.5	11.5	7.7	-	△ 26.9	3.8	7.7
	40代	30	40.0	36.7	10.0	13.3	16.7	6.7	13.3	6.7	3.3	6.7	-
	50代	50	42.0	28.0	22.0	12.0	8.0	6.0	8.0	4.0	2.0	8.0	-
	60代	34	47.1	▼ 14.7	17.6	17.6	14.7	11.8	8.8	14.7	5.9	5.9	2.9
	70代	31	35.5	25.8	6.5	6.5	12.9	16.1	9.7	16.1	9.7	9.7	6.5
	80代以上	14	35.7	▼ 14.3	7.1	7.1	21.4	△ 28.6	14.3	△ 28.6	-	7.1	-

		母数 母数 (n)	人権が侵害されたと思った内容					
			性的指向・性の自認にかかわるもの	国籍・人種・民族にかかわるもの	その他	なんとなく感じた	答えたくない	不明・無回答
全体		199	2.0	1.0	10.1	6.0	2.5	0.5
性別	女性	132	0.8	0.8	9.8	8.3	2.3	-
	男性	63	3.2	1.6	11.1	1.6	3.2	1.6
	無回答・その他	4	△ 25.0	-	-	-	-	-
年代別	10代	1	-	-	-	-	-	-
	20代	13	7.7	7.7	-	7.7	-	-
	30代	26	7.7	-	15.4	-	3.8	-
	40代	30	3.3	-	10.0	10.0	3.3	-
	50代	50	-	-	14.0	4.0	-	-
	60代	34	-	-	5.9	2.9	2.9	-
	70代	31	-	-	9.7	△ 16.1	6.5	3.2
	80代以上	14	-	7.1	7.1	-	-	-

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 20～70 代は「職場における人権侵害」、80 代以上は「部落差別(同和問題)にかかわるもの」、「高齢を理由とするもの」、「職場における人権侵害」が最も多くなっている。
- 男性の 20・30 代は「いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの」と「インターネット上での誹謗や中傷など」、40 代は「いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの」と「職場における人権侵害」、50～70 代は「職場における人権侵害」、男性の 80 代以上は「職場における人権侵害」と「プライバシーの侵害」が最も多くなっている。

【性年代別 人権が侵害されたと思った内容】

単位：％

	母数 (n)	人権が侵害されたと思った内容										
		人権侵害における	かの子どもの人権に	と障がい者の理由	か男女平等のもの	のプライバシー	と高齢を理由	と家庭環境を理由	か(部落差別・同和問題)に	中上層の誹謗や中傷など	か感染症などの	か犯罪被害に
全体	199	41.7	27.6	15.1	14.1	14.1	10.6	10.6	9.0	9.0	6.5	3.0
性年代別	女性 10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	8	△ 62.5	▼ 12.5	-	12.5	△ 25.0	-	-	12.5	-	12.5
	30代	19	47.4	31.6	10.5	△ 26.3	15.8	5.3	-	△ 21.1	-	5.3
	40代	20	40.0	35.0	10.0	20.0	15.0	15.0	10.0	5.0	-	-
	50代	35	37.1	28.6	△ 25.7	11.4	8.6	5.7	-	2.9	11.4	-
	60代	22	45.5	18.2	18.2	△ 27.3	-	13.6	9.1	13.6	4.5	4.5
	70代	20	35.0	30.0	-	10.0	15.0	10.0	15.0	10.0	5.0	10.0
	80代以上	8	37.5	25.0	12.5	12.5	△ 37.5	12.5	△ 37.5	-	-	-
	男性 10代	1	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 100.0	-	△ 100.0	-	-
	20代	3	-	△ 66.7	△ 33.3	-	△ 33.3	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-
	30代	6	33.3	△ 50.0	16.7	16.7	-	16.7	-	△ 50.0	△ 16.7	△ 16.7
	40代	10	40.0	△ 40.0	10.0	-	20.0	10.0	-	△ 20.0	-	-
	50代	14	50.0	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	14.3	-	-	-
	60代	12	50.0	▼ 8.3	16.7	-	△ 41.7	8.3	16.7	8.3	-	-
	70代	11	36.4	18.2	18.2	-	9.1	△ 27.3	-	18.2	△ 18.2	-
	80代以上	6	33.3	-	-	-	△ 33.3	16.7	16.7	-	△ 16.7	-

	母数 (n)	人権が侵害されたと思った内容					
		に性的指向・性の自認	国籍・人種・民族	その他	なんとなく感じなく	答えたくない	不明・無回答
全体	199	2.0	1.0	10.1	6.0	2.5	0.5
性年代別	女性 10代	-	-	-	-	-	-
	20代	8	△ 12.5	-	12.5	-	-
	30代	19	5.3	-	10.5	5.3	-
	40代	20	-	-	10.0	15.0	-
	50代	35	-	-	14.3	5.7	-
	60代	22	-	-	4.5	4.5	-
	70代	20	-	-	10.0	△ 25.0	5.0
	80代以上	8	-	-	12.5	-	-
	男性 10代	1	-	-	-	-	-
	20代	3	-	-	-	-	-
	30代	6	△ 16.7	-	△ 33.3	-	-
	40代	10	10.0	-	10.0	10.0	-
	50代	14	-	-	14.3	-	-
	60代	12	-	-	8.3	8.3	-
	70代	11	-	-	9.1	9.1	9.1
	80代以上	6	-	△ 16.7	-	-	-

(6)問4-2 人権侵害を受けた時の対処

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-2 その時、誰(どこ)かに相談しましたか。(○は1つ)

【全体】

- 人権侵害を受けた時の対処について、「相談した」が47.7%、「相談しなかった」が49.7%となっている。
- 前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

【性別】

- 性別でみると、女性は「相談した」が男性よりわずかに多いが、5割以下となっている。

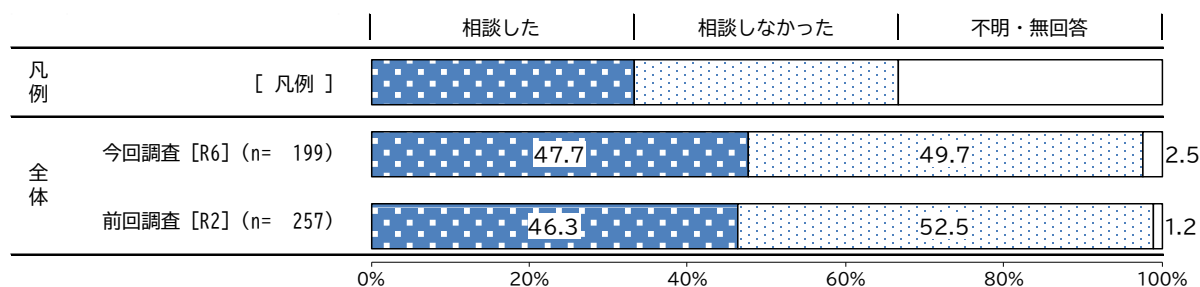
【年代別】

- 年代別でみると、10・40・50・70代は「相談した」が5割以上となっている。

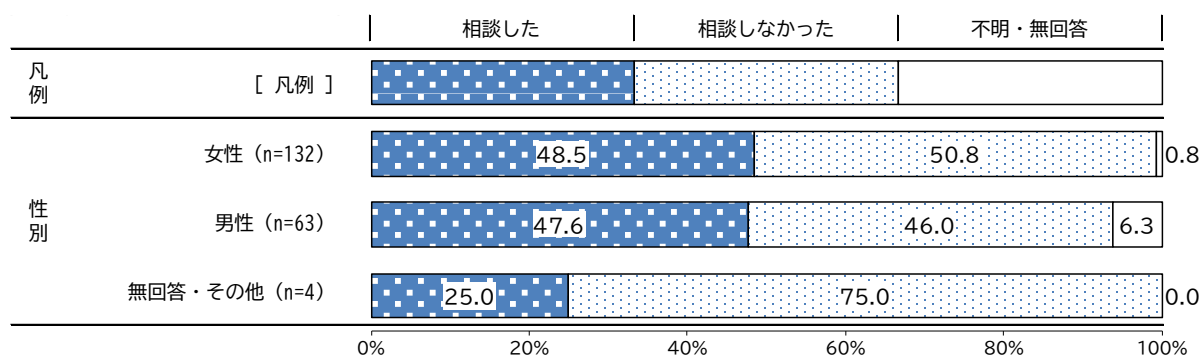
【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の20・60代以上と男性の10・20・40・50代の男性は、「相談した」が5割以上となっている。

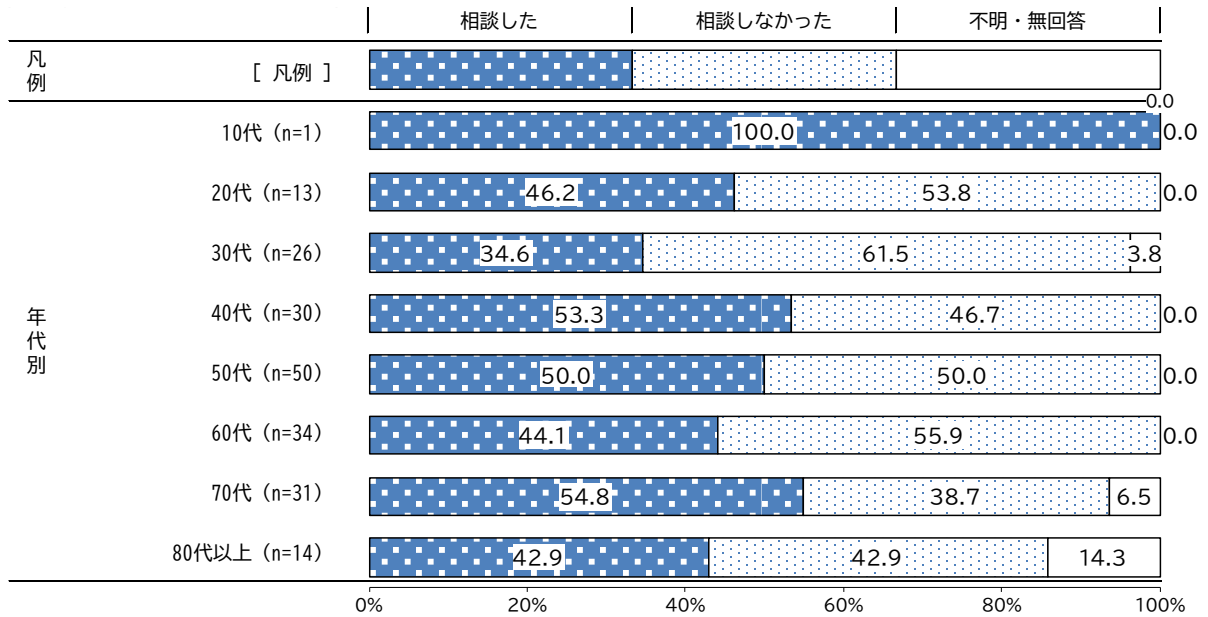
【人権侵害を受けた時の対処】



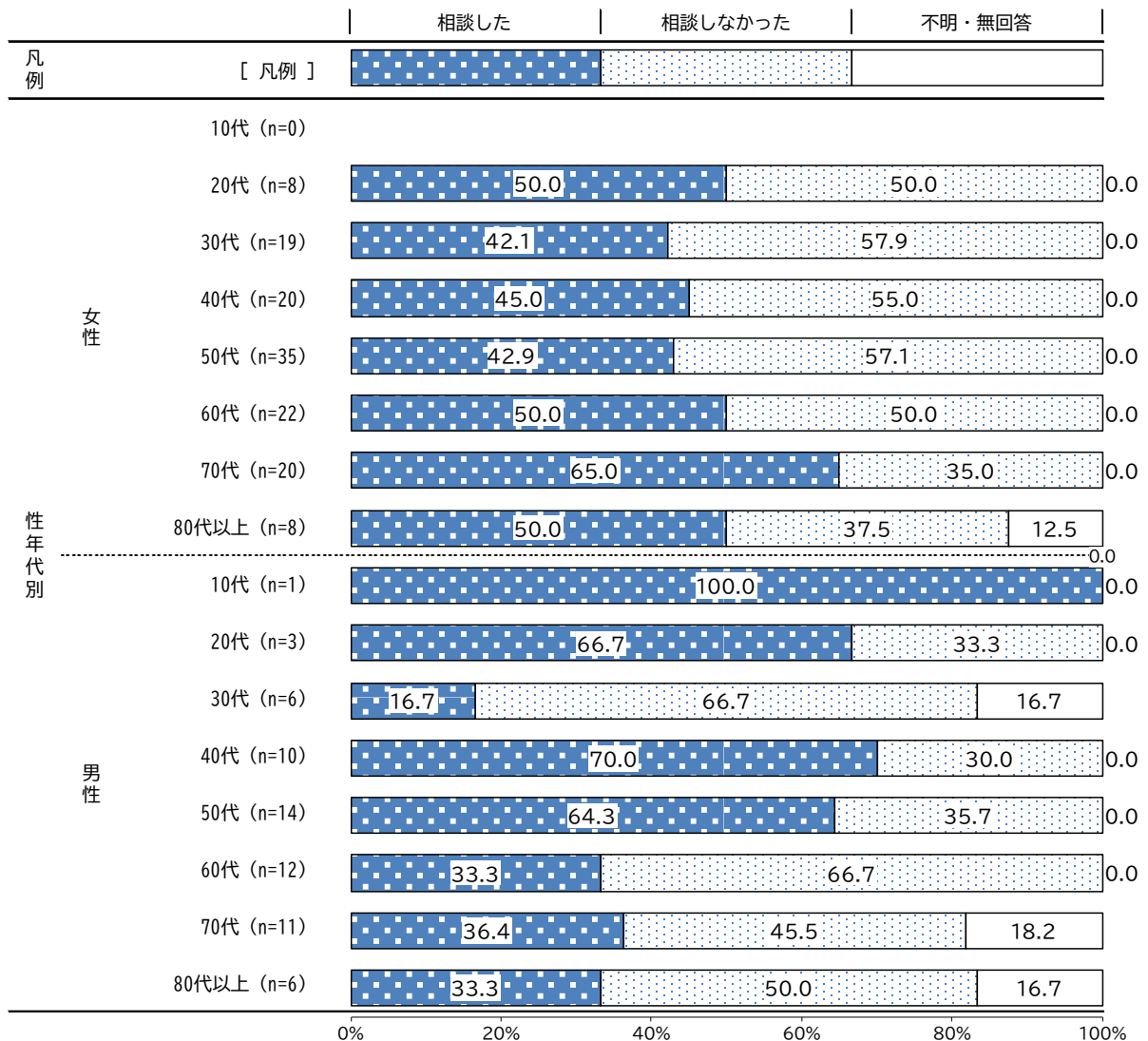
【性別 人権侵害を受けた時の対処】



【年代別 人権侵害を受けた時の対処】



【性年代別 人権侵害を受けた時の対処】



【性別、年代別、性年代別 人権侵害を受けた時の対処】

		母数 □ (n)	人権侵害を受けた時の対処			単位：%
			相談した	相談しなかった	不明・無回答	
全体		199	47.7	49.7	2.5	
性別	女性	132	48.5	50.8	0.8	
	男性	63	47.6	46.0	6.3	
	無回答・その他	4	▼ 25.0	△ 75.0	-	
年代別	10代	1	△ 100.0	-	-	
	20代	13	46.2	53.8	-	
	30代	26	▼ 34.6	△ 61.5	3.8	
	40代	30	53.3	46.7	-	
	50代	50	50.0	50.0	-	
	60代	34	44.1	55.9	-	
	70代	31	54.8	▼ 38.7	6.5	
	80代以上	14	42.9	42.9	14.3	
性年代別	女性 10代	-	-	-	-	
	20代	8	50.0	50.0	-	
	30代	19	42.1	57.9	-	
	40代	20	45.0	55.0	-	
	50代	35	42.9	57.1	-	
	60代	22	50.0	50.0	-	
	70代	20	△ 65.0	▼ 35.0	-	
	80代以上	8	50.0	▼ 37.5	12.5	
	男性 10代	1	△ 100.0	-	-	
	20代	3	△ 66.7	▼ 33.3	-	
	30代	6	▼ 16.7	△ 66.7	16.7	
	40代	10	△ 70.0	▼ 30.0	-	
	50代	14	△ 64.3	▼ 35.7	-	
	60代	12	▼ 33.3	△ 66.7	-	
	70代	11	▼ 36.4	45.5	18.2	
	80代以上	6	▼ 33.3	50.0	16.7	

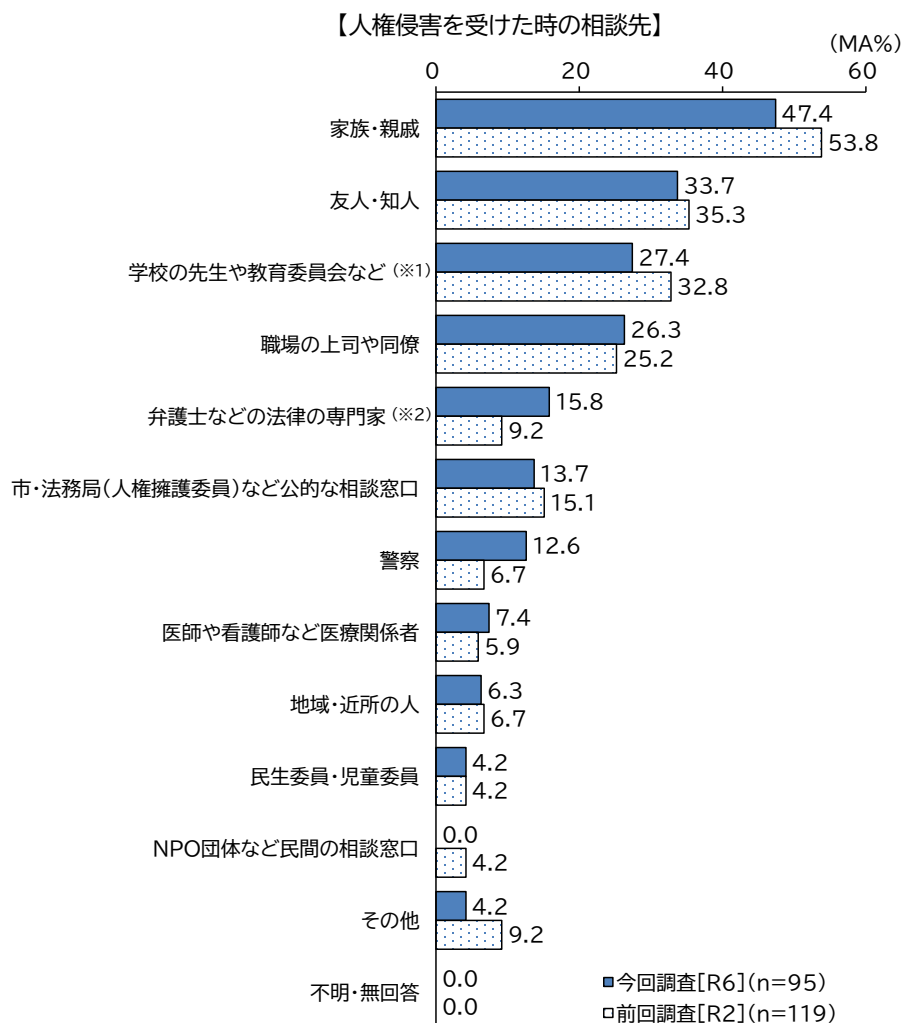
(7)問4-3 人権侵害を受けた時の相談先

(問4-2で「相談した」とお答えの方に)

問4-3 誰(どこ)に相談しましたか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 人権侵害を受けた時の相談先について、「家族・親戚」が 47.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が 33.7%、「学校の先生や教育委員会など」が 27.4%となっている。
- 前回調査と比較すると、「家族・親戚」が 6.4 ポイント、「学校の先生や教育委員会など」が 5.4 ポイント、「その他」が 5.0 ポイント、「NPO団体など民間の相談窓口」が 4.2 ポイント少なく、「弁護士などの法律の専門家」が 6.6 ポイント、「警察」が 5.9 ポイント多くなっている。



(※1) 前回調査では、「学校の先生」としていた。

(※2) 前回調査では、「弁護士」としていた。

【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「家族・親戚」が最も多いのは共通しているが、女性 51.6％に対して男性は 36.7％で 14.9 ポイント少なくなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10 代は「友人・知人」、「学校の先生や教育委員会など」、「その他」、20～60 代は「家族・親戚」、70 代は「家族・親戚」、「友人・知人」、「学校の先生や教育委員会など」、80 代以上は「友人・知人」、「民生委員・児童委員」、「市・法務局（人権擁護委員）など公的な相談窓口」、「弁護士などの法律の専門家」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、10～70 代は、男性に比べて女性の方が相談先が多岐にわたっている。

【性別、年代別、性年代別 人権侵害を受けた時の相談先】

単位：％

		母数 (n)	人権侵害を受けた時の相談先													単位：%	
			家族・親戚	友人・知人	学校の先生や 教育委員会など	職場の 上司や同僚	弁護士などの 専門家	公的な相談窓口 (擁護委員) など	市・法務局（人権 擁護委員）など	警察	医師や 医療関係者	地域・近所の人	民生委員・児童委員	NPO 団体など 民間の相談窓口	その他	不明・無回答	
全体		95	47.4	33.7	27.4	26.3	15.8	13.7	12.6	7.4	6.3	4.2	-	4.2	-		
性別	女性	64	51.6	40.6	29.7	29.7	12.5	12.5	12.5	7.8	4.7	4.7	-	3.1	-		
	男性	30	▼ 36.7	▼ 16.7	23.3	16.7	23.3	16.7	13.3	3.3	10.0	3.3	-	6.7	-		
	無回答・その他	1	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 100.0	-	-	-	△ 100.0	-	-	-	-	-		
年代別	10代	1	-	△ 100.0	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 100.0	-		
	20代	6	△ 83.3	△ 66.7	▼ 16.7	△ 50.0	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-		
	30代	9	△ 77.8	△ 44.4	33.3	△ 44.4	11.1	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-		
	40代	16	△ 62.5	25.0	25.0	▼ 12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	-	-	-		
	50代	25	▼ 36.0	28.0	28.0	32.0	20.0	12.0	16.0	16.0	4.0	4.0	-	8.0	-		
	60代	15	46.7	26.7	20.0	△ 40.0	13.3	13.3	6.7	-	13.3	-	-	-	-		
	70代	17	▼ 35.3	35.3	35.3	▼ 5.9	11.8	△ 29.4	11.8	11.8	5.9	-	-	-	-		
	80代以上	6	▼ 16.7	33.3	▼ 16.7	16.7	△ 33.3	△ 33.3	16.7	-	△ 16.7	△ 33.3	-	-	-		
性年代別	女性 10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	20代	4	△ 75.0	△ 75.0	-	△ 75.0	-	-	△ 25.0	-	-	-	-	-	-		
	30代	8	△ 75.0	△ 50.0	△ 37.5	△ 50.0	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-		
	40代	9	△ 77.8	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-		
	50代	15	46.7	40.0	33.3	20.0	20.0	13.3	20.0	△ 20.0	6.7	6.7	-	6.7	-		
	60代	11	45.5	36.4	18.2	△ 54.5	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-	-		
	70代	13	38.5	30.8	△ 46.2	-	15.4	△ 30.8	15.4	7.7	-	-	-	-	-		
	80代以上	4	-	△ 50.0	25.0	25.0	25.0	△ 25.0	-	-	-	△ 25.0	-	-	-		
	男性 10代	1	-	△ 100.0	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 100.0	-		
	20代	2	△ 100.0	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	30代	1	△ 100.0	-	-	-	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
	40代	7	42.9	▼ 14.3	28.6	-	△ 28.6	14.3	△ 28.6	-	-	-	-	-	-		
	50代	9	▼ 11.1	-	22.2	△ 44.4	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	-		
	60代	4	50.0	-	25.0	-	25.0	△ 25.0	-	-	△ 25.0	-	-	-	-		
	70代	4	▼ 25.0	△ 50.0	-	25.0	-	△ 25.0	-	△ 25.0	△ 25.0	-	-	-	-		
	80代以上	2	50.0	-	-	-	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-		

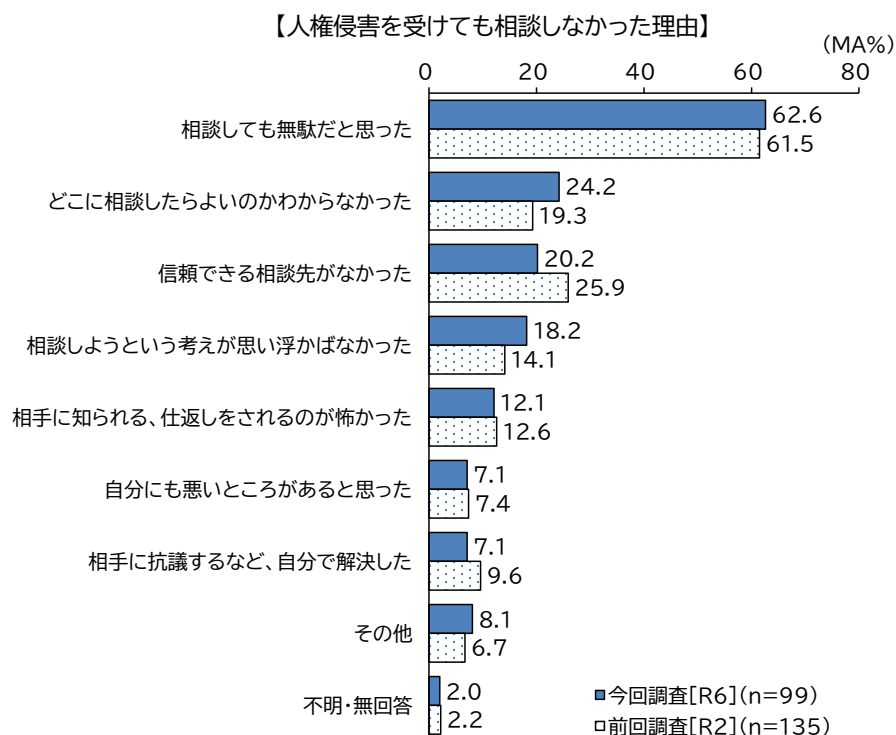
(8)問4-4 人権侵害を受けても相談しなかった理由

(問4-2で「相談しなかった」とお答えの方に)

問4-4 相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 人権侵害を受けても相談しなかった理由について、「相談しても無駄だと思った」が 62.6%で最も多く、次いで「どこに相談したらよいのかわからなかった」が 24.2%、「信頼できる相談先がなかった」が 20.2%となっている。
- 前回調査と比較すると、「信頼できる相談先がなかった」が 5.7 ポイント少なく、「どこに相談したらよいのかわからなかった」が4.9 ポイント、「相談しようという考えが思い浮かばなかった」が4.1 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「相談しても無駄だと思った」が最も多く、次いで「どこに相談したらよいのかわからなかった」となっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代を除く全ての年代で「相談しても無駄だと思った」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性・男性ともに10代を除く全ての年代で「相談しても無駄だと思った」が多い傾向となっている。

【性別、年代別、性年代別 人権侵害を受けても相談しなかった理由】

単位：％

			人権侵害を受けても相談しなかった理由										
		母数 (n)	相談しても無駄だ と思った	どこに相談した らよいか分から なかった	相談先がなかつ た	信頼できる 相談先がなかつ た	浮かんできた 考えが思いつ かなかった	相談しようとい う怖かった	相手に知られる のを怖かった	悪いところがあ ると思つた	自分でも解決し たなど、	その他	不明・無回答
全体		99	62.6	24.2	20.2	18.2	12.1	7.1	7.1	8.1	2.0		
性別	女性	67	64.2	23.9	19.4	22.4	10.4	7.5	7.5	7.5	-		
	男性	29	62.1	27.6	20.7	▼ 6.9	13.8	6.9	3.4	10.3	6.9		
	無回答・その他	3	▼ 33.3	-	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	-	△ 33.3	-	-		
年代別	10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	7	57.1	14.3	28.6	△ 28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-
	30代	16	△ 75.0	25.0	18.8	△ 31.3	△ 31.3	6.3	-	6.3	-	-	-
	40代	14	64.3	14.3	28.6	△ 28.6	14.3	△ 21.4	-	-	-	-	-
	50代	25	64.0	32.0	20.0	16.0	12.0	4.0	8.0	16.0	-	-	-
	60代	19	▼ 42.1	26.3	26.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	-
	70代	12	△ 75.0	16.7	-	-	-	-	△ 25.0	8.3	-	-	-
	80代以上	6	66.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-
性年代別	女性 10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	4	▼ 50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	△ 25.0	-	-	-
	30代	11	△ 81.8	27.3	18.2	27.3	△ 27.3	9.1	-	9.1	-	-	-
	40代	11	63.6	18.2	18.2	△ 36.4	18.2	△ 18.2	-	-	-	-	-
	50代	20	60.0	30.0	20.0	20.0	5.0	5.0	10.0	15.0	-	-	-
	60代	11	▼ 45.5	18.2	△ 36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-
	70代	7	△ 85.7	-	-	-	-	-	△ 28.6	-	-	-	-
	80代以上	3	66.7	△ 66.7	-	△ 33.3	-	-	-	-	-	-	-
	男性 10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	1	△ 100.0	-	-	△ 100.0	-	△ 100.0	-	-	-	-	-
	30代	4	△ 75.0	25.0	25.0	25.0	△ 50.0	-	-	-	-	-	-
	40代	3	66.7	-	△ 66.7	-	-	△ 33.3	-	-	-	-	-
	50代	5	△ 80.0	△ 40.0	20.0	-	△ 40.0	-	-	△ 20.0	-	-	-
	60代	8	▼ 37.5	△ 37.5	12.5	-	-	-	-	12.5	12.5	-	-
	70代	5	60.0	△ 40.0	-	-	-	-	△ 20.0	△ 20.0	-	-	-
	80代以上	3	66.7	-	△ 33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-

2. 部落差別(同和問題)

(1)問5 部落差別(同和問題)を知っているか

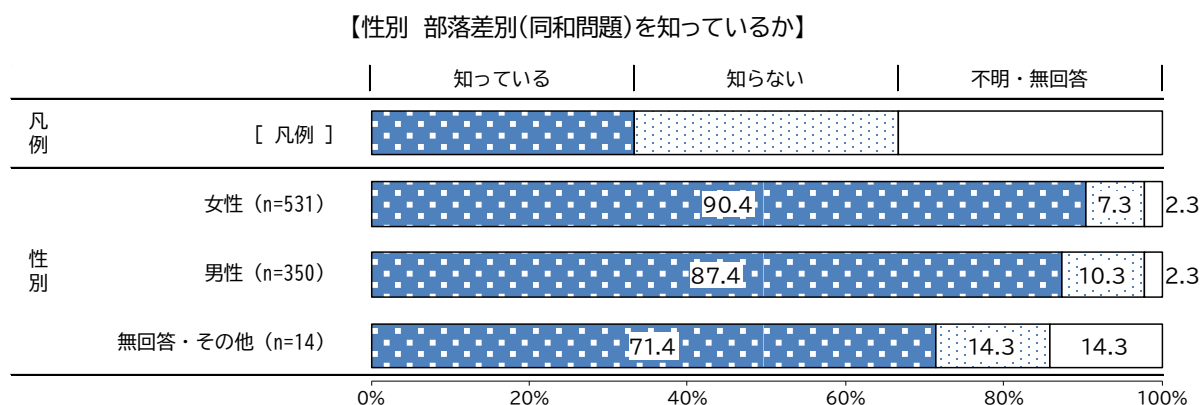
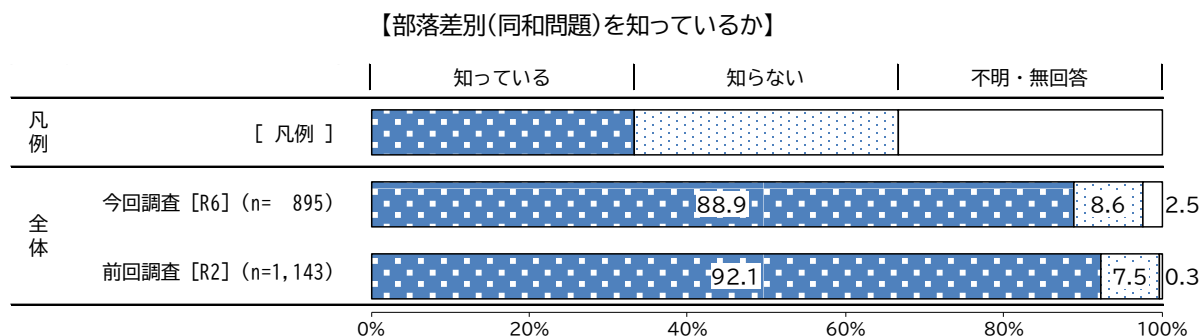
問5 あなたは、部落差別(同和問題)について、知っていますか。(〇は1つ)

【全体】

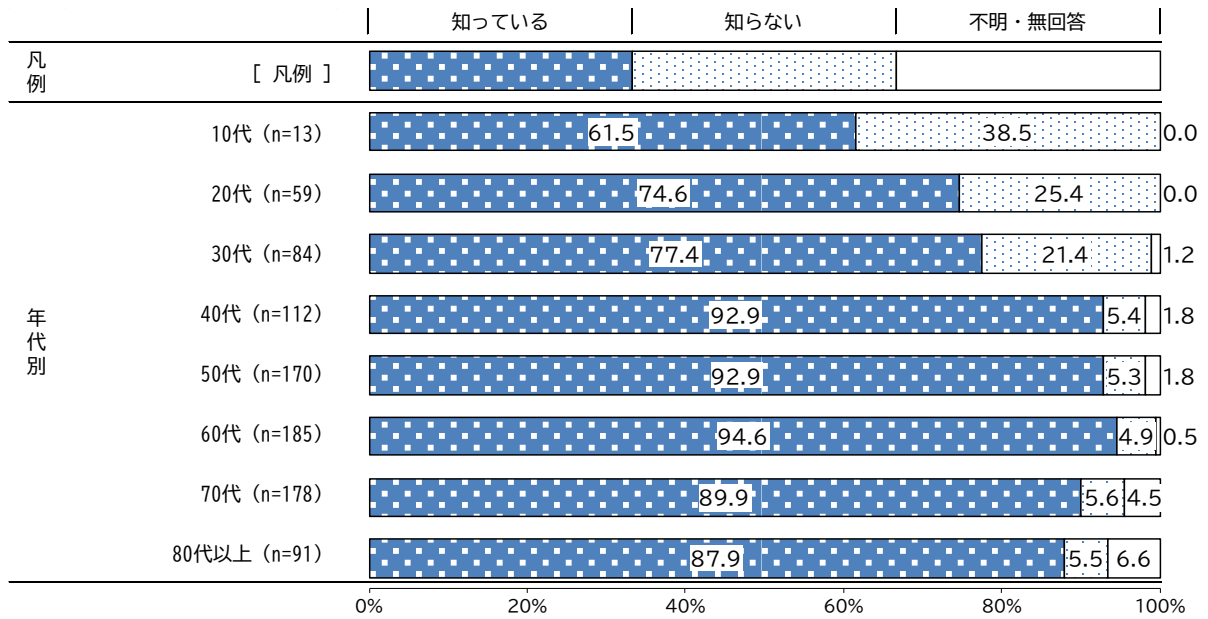
- 部落差別(同和問題)を知っているかについて、「知っている」が88.9%、「知らない」が8.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「知っている」が3.2ポイント少なくなっている。

【性別】

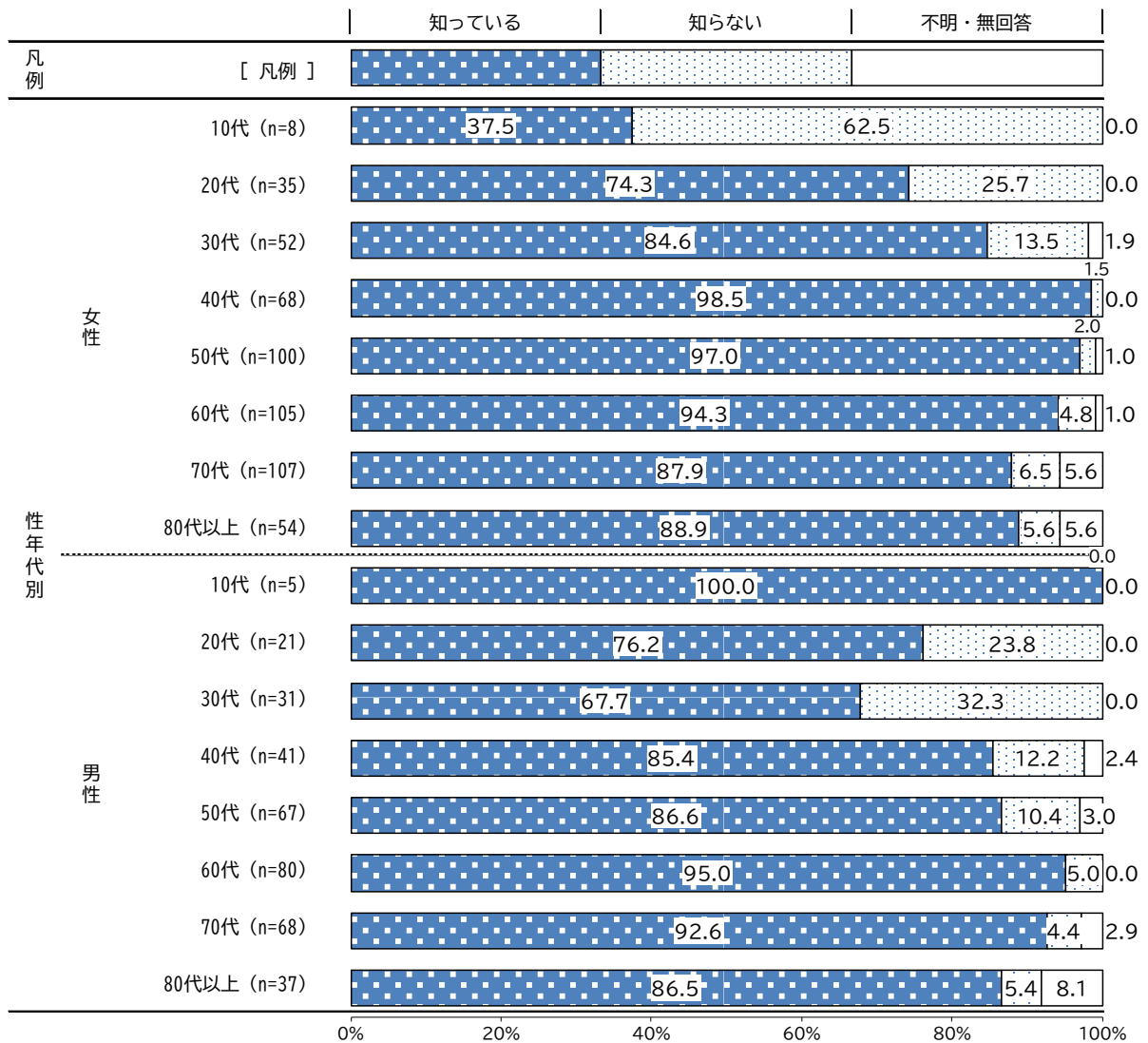
- 性別でみると、女性の方が「知っている」が3.0ポイント多くなっている。



【年代別 部落差別(同和問題)を知っているか】



【性年代別 部落差別(同和問題)を知っているか】



【年代別】

- 年代別でみると、40～60代では「知っている」が9割以上となっているが、30代以下では年代が下がるほど「知っている」の割合が少なくなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の10代のみ「知らない」が6割以上となっている。

【性別、年代別、性年代別 部落差別(同和問題)を知っているか】

		母数☒ (n)	部落差別（同和問題）を知っているか		
			知 つ て い る	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	88.9	8.6	2.5
性別	女性	531	90.4	7.3	2.3
	男性	350	87.4	10.3	2.3
	無回答・その他	14	▼ 71.4	14.3	14.3
年代別	10代	13	▼ 61.5	△ 38.5	-
	20代	59	▼ 74.6	△ 25.4	-
	30代	84	▼ 77.4	△ 21.4	1.2
	40代	112	92.9	5.4	1.8
	50代	170	92.9	5.3	1.8
	60代	185	94.6	4.9	0.5
	70代	178	89.9	5.6	4.5
	80代以上	91	87.9	5.5	6.6
性年代別	女性 10代	8	▼ 37.5	△ 62.5	-
	20代	35	▼ 74.3	△ 25.7	-
	30代	52	84.6	13.5	1.9
	40代	68	98.5	1.5	-
	50代	100	97.0	2.0	1.0
	60代	105	94.3	4.8	1.0
	70代	107	87.9	6.5	5.6
	80代以上	54	88.9	5.6	5.6
	男性 10代	5	△100.0	-	-
	20代	21	▼ 76.2	△ 23.8	-
	30代	31	▼ 67.7	△ 32.3	-
	40代	41	85.4	12.2	2.4
	50代	67	86.6	10.4	3.0
	60代	80	95.0	5.0	-
	70代	68	92.6	4.4	2.9
	80代以上	37	86.5	5.4	8.1

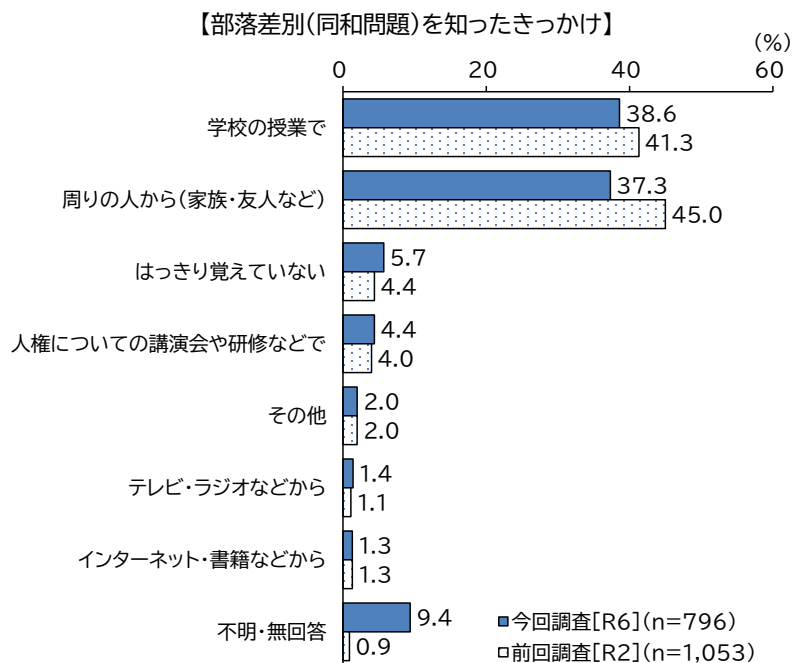
(2)問5－1 部落差別(同和問題)を知ったきっかけ

(問5で「知っている」とお答えの方に)

問5－1 あなたが部落差別(同和問題)について知った、主なきっかけは何ですか。(○は1つ)

【全体】

- 部落差別(同和問題)を知ったきっかけについて、「学校の授業で」が 38.6%で最も多く、次いで「周りの人から(家族・友人など)」が 37.3%、「はっきり覚えていない」が 5.7%となっている。
- 前回調査と比較すると、「周りの人から(家族・友人など)」が 7.7 ポイント、「学校の授業で」が 2.7 ポイント少なくなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「学校の授業で」が最も多く、性別による違いはほとんどみられない。

【年代別】

- 年代別でみると、10～60代は「学校の授業で」、70代以上は「周りの人から(家族・友人など)」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の10～60代、男性の10～50代は「学校の授業で」、女性の70代以上、男性の60代以上は「周りの人から(家族・友人など)」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 部落差別(同和問題)を知ったきっかけ】

単位：％

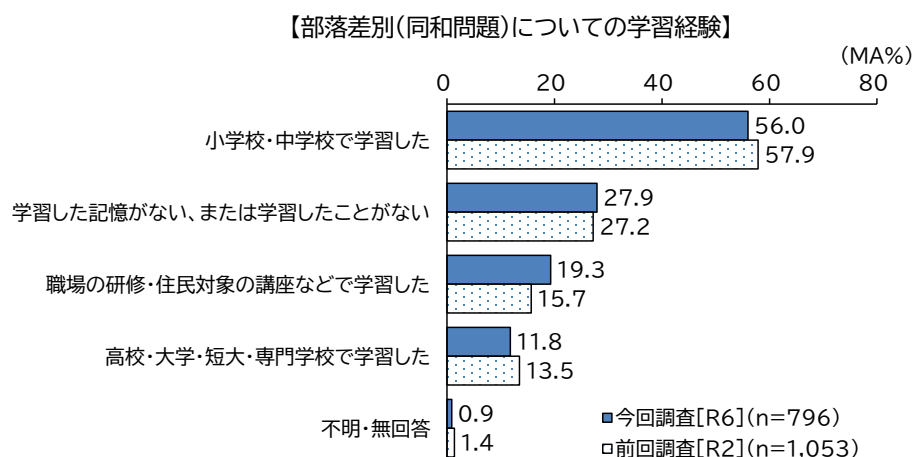
		母数 (n)	部落差別（同和問題）を知ったきっかけ							
			学校の授業で	（周りの人から 家族・友人など）	覚えていない	人権についての講演会や研修などで	その他	テレビ・ラジオなどから	インターネット・書籍などから	不明・無回答
全体		796	38.6	37.3	5.7	4.4	2.0	1.4	1.3	9.4
性別	女性	480	39.8	38.3	4.8	3.1	1.9	1.3	0.6	10.2
	男性	306	36.6	35.6	7.2	6.5	2.3	1.3	2.3	8.2
	無回答・その他	10	40.0	40.0	-	-	-	10.0	-	10.0
年代別	10代	8	△ 62.5	-	-	-	-	-	-	37.5
	20代	44	△ 56.8	27.3	2.3	2.3	2.3	4.5	-	4.5
	30代	65	△ 50.8	▼ 24.6	3.1	6.2	1.5	-	3.1	10.8
	40代	104	△ 64.4	▼ 13.5	5.8	1.9	1.0	-	1.9	11.5
	50代	158	△ 58.9	▼ 22.2	2.5	3.2	1.3	1.3	0.6	10.1
	60代	175	37.7	37.1	6.9	4.6	1.1	-	1.1	11.4
	70代	160	▼ 9.4	△ 65.0	9.4	5.0	2.5	3.1	1.3	4.4
	80代以上	80	▼ 3.8	△ 61.3	6.3	8.8	6.3	2.5	1.3	10.0
性年代別	女性 10代	3	△ 66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
	20代	26	△ 53.8	▼ 26.9	3.8	3.8	3.8	3.8	-	3.8
	30代	44	43.2	29.5	4.5	6.8	2.3	-	2.3	11.4
	40代	67	△ 64.2	▼ 16.4	6.0	-	1.5	-	-	11.9
	50代	97	△ 55.7	▼ 24.7	3.1	-	2.1	2.1	1.0	11.3
	60代	99	46.5	34.3	4.0	4.0	-	-	-	11.1
	70代	94	▼ 11.7	△ 70.2	7.4	3.2	1.1	1.1	-	5.3
	80代以上	48	▼ 4.2	△ 56.3	4.2	8.3	6.3	4.2	2.1	14.6
	男性 10代	5	△ 60.0	-	-	-	-	-	-	40.0
	20代	16	△ 62.5	31.3	-	-	-	-	-	6.3
	30代	21	△ 66.7	▼ 14.3	-	4.8	-	-	4.8	9.5
	40代	35	△ 68.6	▼ 5.7	5.7	5.7	-	-	5.7	8.6
	50代	58	△ 62.1	▼ 19.0	1.7	8.6	-	-	-	8.6
	60代	76	▼ 26.3	40.8	10.5	5.3	2.6	-	2.6	11.8
	70代	63	▼ 6.3	△ 55.6	12.7	7.9	4.8	6.3	3.2	3.2
	80代以上	32	▼ 3.1	△ 68.8	9.4	9.4	6.3	-	-	3.1

(3)問5-2 部落差別(同和問題)についての学習経験

問5-2 あなたは、部落差別(同和問題)について学校や職場、地域などで、学習したことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 部落差別(同和問題)についての学習経験について、「小学校・中学校で学習した」が 56.0%で最も多く、次いで「学習した記憶がない、または学習したことがない」が 27.9%、「職場の研修・住民対象の講座などで学習した」が 19.3%となっている。
- 前回調査と比較すると、「職場の研修・住民対象の講座などで学習した」が 3.6 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「小学校・中学校で学習した」が最も多くなっている。「職場の研修・住民対象の講座などで学習した」は男性の方が9.4ポイント多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10～60代は「小学校・中学校で学習した」、70代以上は「学習した記憶がない、または学習したことがない」が最も多く5割以上となっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性・男性ともに10～60代は「小学校・中学校で学習した」、70代以上は「学習した記憶がない、または学習したことがない」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 部落差別(同和問題)についての学習経験】

単位：％

		母数 (n)	部落差別（同和問題）についての学習経験				
			で小 学学 習し た 中 学 校	がま な た は し た 学 習 記 憶 が な い	学 習 対 象 の 講 座 な ど で	専 門 校 学 校 大 学 で 学 習 し た ・ 高 校 ・ 短 大 ・ 大 学	不 明 ・ 無 回 答
全体		796	56.0	27.9	19.3	11.8	0.9
性別	女性	480	57.7	28.3	15.4	10.4	1.3
	男性	306	53.6	27.1	24.8	14.1	0.3
	無回答・その他	10	50.0	30.0	△ 40.0	10.0	-
年代別	10代	8	△ 100.0	-	-	△ 37.5	-
	20代	44	65.9	20.5	11.4	△ 25.0	-
	30代	65	△ 66.2	20.0	16.9	15.4	1.5
	40代	104	△ 83.7	▼ 8.7	10.6	9.6	1.0
	50代	158	△ 79.1	▼ 8.9	23.4	10.8	-
	60代	175	60.6	23.4	21.1	13.7	-
	70代	160	▼ 18.8	△ 55.6	21.9	10.0	-
	80代以上	80	▼ 22.5	△ 56.3	22.5	3.8	6.3
性年代別	女性 10代	3	△ 100.0	-	-	-	-
	20代	26	65.4	▼ 15.4	15.4	19.2	-
	30代	44	59.1	27.3	15.9	13.6	2.3
	40代	67	△ 85.1	▼ 10.4	▼ 6.0	9.0	1.5
	50代	97	△ 81.4	▼ 10.3	18.6	8.2	-
	60代	99	65.7	▼ 16.2	18.2	18.2	-
	70代	94	▼ 24.5	△ 57.4	14.9	7.4	-
	80代以上	48	▼ 14.6	△ 64.6	18.8	-	8.3
	男性 10代	5	△ 100.0	-	-	△ 60.0	-
	20代	16	△ 68.8	25.0	-	△ 31.3	-
	30代	21	△ 81.0	▼ 4.8	19.0	19.0	-
	40代	35	△ 82.9	▼ 2.9	20.0	11.4	-
	50代	58	△ 74.1	▼ 6.9	△ 31.0	15.5	-
	60代	76	53.9	32.9	25.0	7.9	-
	70代	63	▼ 11.1	△ 54.0	△ 30.2	14.3	-
	80代以上	32	▼ 34.4	△ 43.8	28.1	9.4	3.1

(4)問5-3 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか

問5-3 あなたは、現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思いますか。(○は1つ)

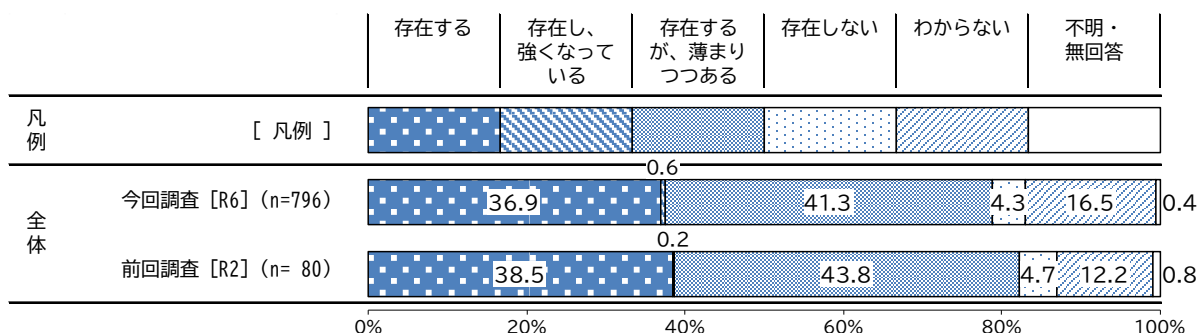
【全体】

- 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うかについて、「存在するが、薄まりつつある」が41.3%で最も多く、次いで「存在する」が36.9%、「わからない」が16.5%となっている。
- 前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

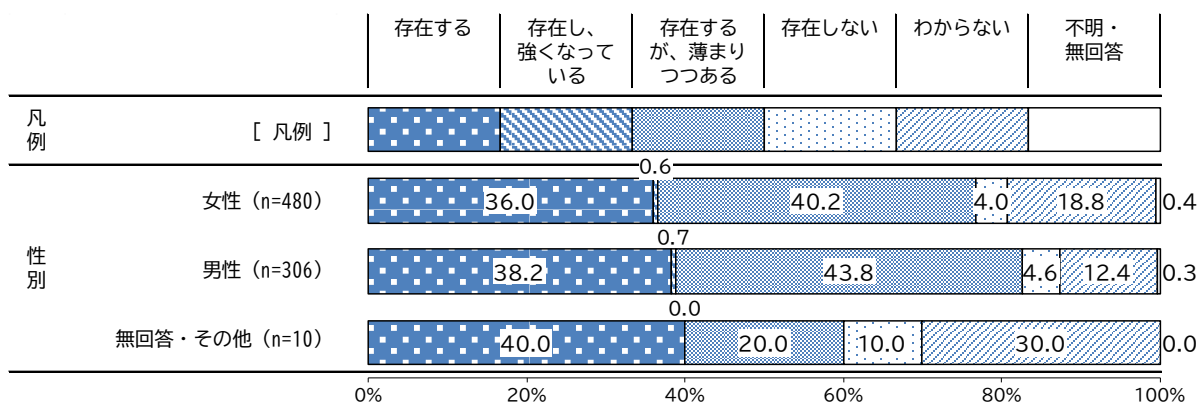
【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「存在するが、薄まりつつある」が最も多くなっている。

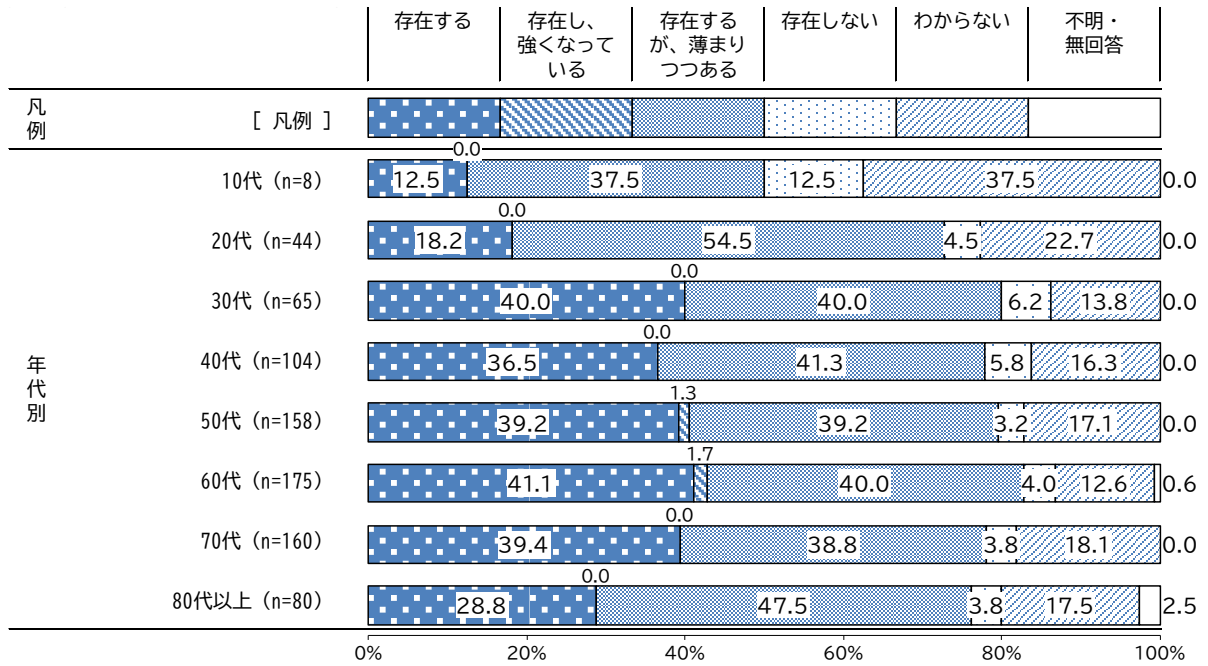
【現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか】



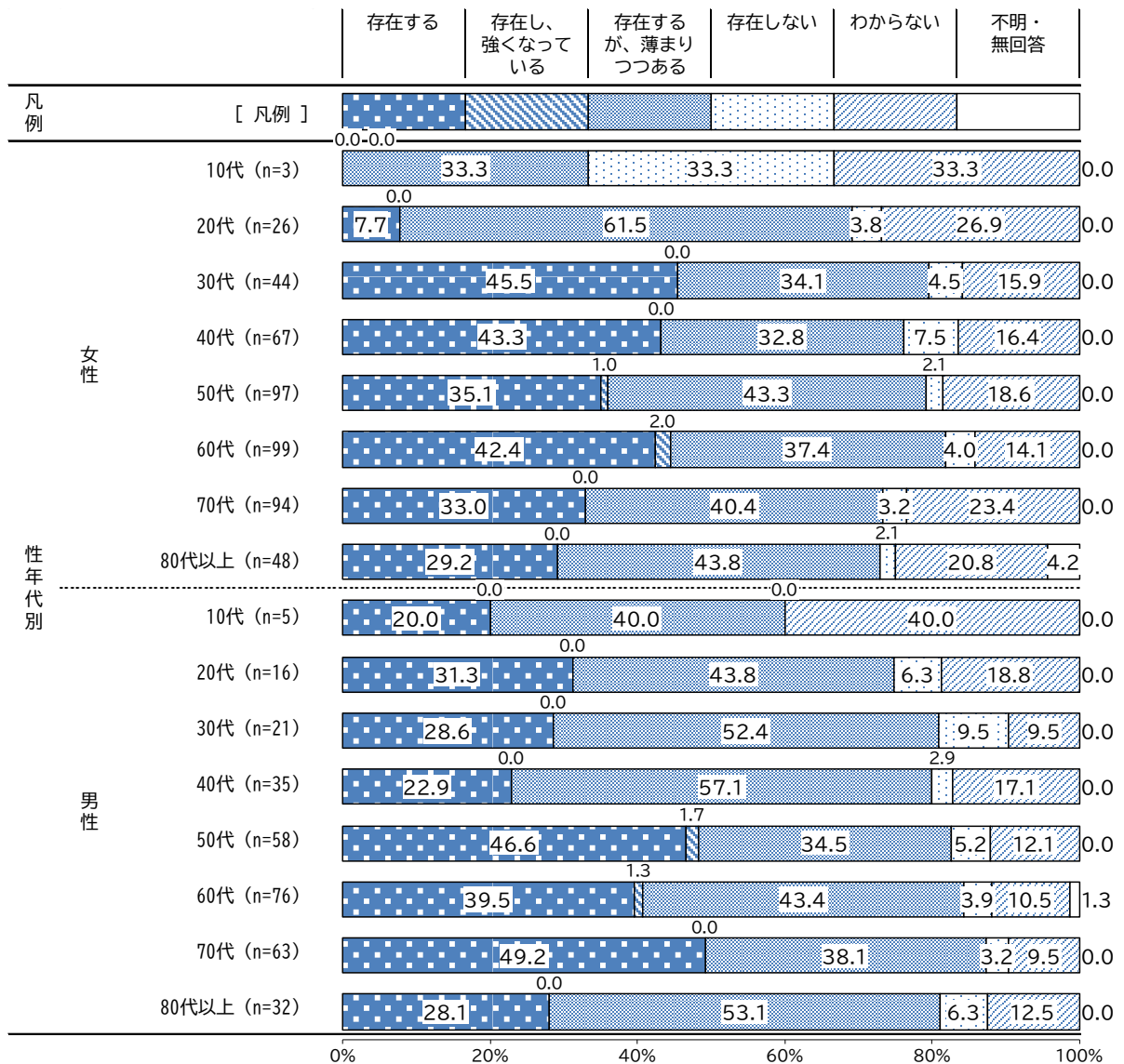
【性別 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか】



【年代別 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか】



【性年代別 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか】



【年代別】

- 年代別でみると、10代は「存在するが、薄まりつつある」と「わからない」、20・40・80代以上は「存在するが、薄まりつつある」、30・50代は「存在する」と「存在するが、薄まりつつある」、60・70代は「存在する」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、「存在し、強くなっている」は、女性・男性ともに50・60代のみとなっている。

【性別、年代別、性年代別 現在でも社会の中に部落差別(同和問題)は存在すると思うか】

単位：％

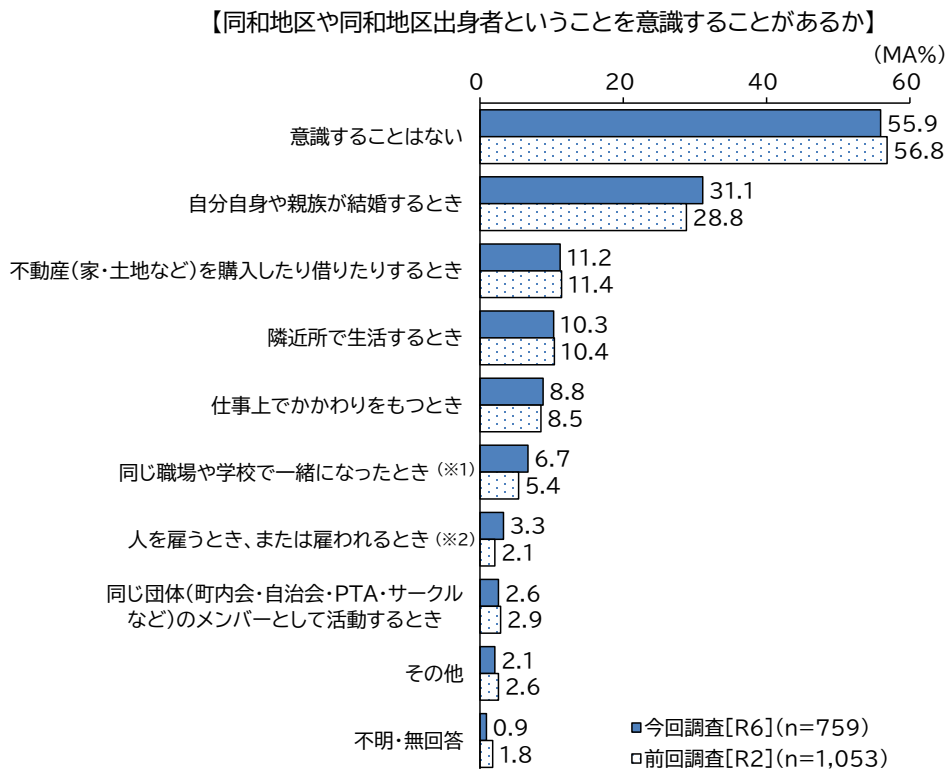
		母数 (n)	現在でも社会の中に部落差別（同和問題）は存在すると思うか					
			存在する	強くなっている	存在するが、薄まりつつある	存在しない	わからない	不明・無回答
全体		796	36.9	0.6	41.3	4.3	16.5	0.4
性別	女性	480	36.0	0.6	40.2	4.0	18.8	0.4
	男性	306	38.2	0.7	43.8	4.6	12.4	0.3
	無回答・その他	10	40.0	-	▼ 20.0	10.0	△ 30.0	-
年代別	10代	8	▼ 12.5	-	37.5	12.5	△ 37.5	-
	20代	44	▼ 18.2	-	△ 54.5	4.5	22.7	-
	30代	65	40.0	-	40.0	6.2	13.8	-
	40代	104	36.5	-	41.3	5.8	16.3	-
	50代	158	39.2	1.3	39.2	3.2	17.1	-
	60代	175	41.1	1.7	40.0	4.0	12.6	0.6
	70代	160	39.4	-	38.8	3.8	18.1	-
	80代以上	80	28.8	-	47.5	3.8	17.5	2.5
性年代別	女性 10代	3	-	-	33.3	△ 33.3	△ 33.3	-
	20代	26	▼ 7.7	-	△ 61.5	3.8	△ 26.9	-
	30代	44	45.5	-	34.1	4.5	15.9	-
	40代	67	43.3	-	32.8	7.5	16.4	-
	50代	97	35.1	1.0	43.3	2.1	18.6	-
	60代	99	42.4	2.0	37.4	4.0	14.1	-
	70代	94	33.0	-	40.4	3.2	23.4	-
	80代以上	48	29.2	-	43.8	2.1	20.8	4.2
	男性 10代	5	▼ 20.0	-	40.0	-	△ 40.0	-
	20代	16	31.3	-	43.8	6.3	18.8	-
	30代	21	28.6	-	△ 52.4	9.5	9.5	-
	40代	35	▼ 22.9	-	△ 57.1	2.9	17.1	-
	50代	58	46.6	1.7	34.5	5.2	12.1	-
	60代	76	39.5	1.3	43.4	3.9	10.5	1.3
	70代	63	△ 49.2	-	38.1	3.2	9.5	-
	80代以上	32	28.1	-	△ 53.1	6.3	12.5	-

(5)問5-4 同和地区や同和地区出身者ということを意識することがあるか

問5-4 現在、あなた自身は、同和地区に住む人や同和地区出身者ということを意識することがありますか。
(○はいくつでも)

【全体】

- 同和地区や同和地区出身者ということを意識することがあるかについて、「意識することはない」が 55.9%で最も多く、次いで「自分自身や親族が結婚するとき」が 31.1%、「不動産(家・土地など)を購入したり借りたりするとき」が 11.2%となっている。
- 前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。



(※1) 前回調査では、「同じ職場で働くとき」としていた。

(※2) 前回調査では、「人を雇うとき」としていた。

【性別】

○ 性別でみると、女性・男性ともに「意識することはない」が最も多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、いずれも「意識することはない」が最も多くなっている。

【性年代別】

○ 性年代別でみると、女性の10～70代、男性の10～50・70代以上は「意識することはない」、女性の80代以上、男性の60代は「自分自身や親族が結婚するとき」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 同和地区や同和地区出身者ということを意識することがあるか】

単位：％

		母数 母数× (n)	同和地区や同和地区出身者ということを意識することがあるか									
			意識 すること はない	自分 自身や 親族が 結婚 するとき	不 動 産（家・土地など） 購入 した り借 りた りす ると とき	隣 近 所 で 生 活 す る と き	仕 事 上 で か か り を も つ と き	一 緒 に 職 場 や 学 校 で な っ た と き	人 を 雇 う と き、 ま た は 雇 わ れ る と き	同 じ 団 体（町内会・自治会・ PTA・サークルなど）の メ ン バ ー と し て 活 動 す る と き	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		759	55.9	31.1	11.2	10.3	8.8	6.7	3.3	2.6	2.1	0.9
性別	女性	459	53.2	32.5	12.0	11.3	6.5	6.3	1.5	2.2	2.2	1.1
	男性	291	59.5	29.9	9.6	8.6	12.4	7.2	5.8	3.1	2.1	0.7
	無回答・その他	9	△ 77.8	-	△ 22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-
年代別	10代	7	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	42	△ 83.3	▼ 14.3	4.8	9.5	2.4	4.8	-	4.8	-	-
	30代	61	△ 63.9	23.0	16.4	8.2	8.2	13.1	4.9	3.3	1.6	-
	40代	98	△ 66.3	22.4	12.2	10.2	6.1	7.1	6.1	6.1	-	-
	50代	153	△ 60.8	24.8	11.8	5.2	5.9	3.9	0.7	1.3	3.3	0.7
	60代	167	△ 46.7	37.7	12.6	14.4	12.6	9.0	4.8	1.8	3.6	1.2
	70代	154	▼ 45.5	39.6	9.7	12.3	11.0	6.5	3.2	2.6	1.3	1.9
	80代以上	75	△ 48.0	△ 41.3	9.3	9.3	9.3	4.0	2.7	1.3	2.7	1.3
性年代別	女性 10代	2	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	25	△ 80.0	▼ 20.0	8.0	16.0	-	4.0	-	4.0	-	-
	30代	42	△ 61.9	21.4	16.7	4.8	4.8	14.3	2.4	-	2.4	-
	40代	62	△ 61.3	27.4	12.9	11.3	4.8	6.5	3.2	4.8	-	-
	50代	95	△ 51.6	30.5	13.7	6.3	6.3	4.2	-	2.1	2.1	1.1
	60代	95	△ 53.7	31.6	14.7	13.7	9.5	7.4	1.1	1.1	3.2	1.1
	70代	91	▼ 42.9	40.7	7.7	14.3	7.7	6.6	2.2	2.2	2.2	2.2
	80代以上	45	▼ 40.0	△ 46.7	8.9	13.3	4.4	2.2	2.2	2.2	4.4	2.2
	男性 10代	5	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	15	△ 86.7	▼ 6.7	-	-	6.7	6.7	-	6.7	-	-
	30代	19	△ 68.4	26.3	15.8	15.8	15.8	10.5	10.5	10.5	-	-
	40代	34	△ 76.5	▼ 14.7	8.8	5.9	5.9	5.9	8.8	5.9	-	-
	50代	55	△ 74.5	▼ 16.4	9.1	3.6	5.5	3.6	1.8	-	5.5	-
	60代	72	▼ 37.5	△ 45.8	9.7	15.3	16.7	11.1	9.7	2.8	4.2	1.4
	70代	61	△ 49.2	39.3	11.5	9.8	16.4	6.6	4.9	3.3	-	1.6
	80代以上	30	△ 60.0	33.3	10.0	3.3	16.7	6.7	3.3	-	-	-

(6)問5－5 家族の結婚相手が同和地区に住む人や同和地区出身者だとわかった場合の対応

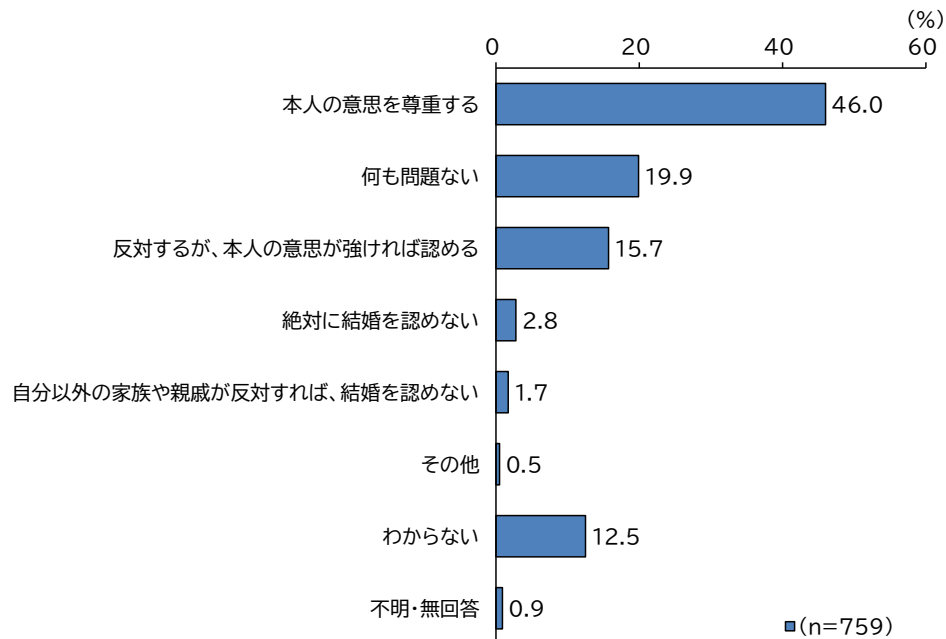
新規設問

問5－5 仮に、あなたのご家族が結婚しようとしている相手が、同和地区に住む人または同和地区出身者だとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

【全体】

- 家族の結婚相手が同和地区に住む人や同和地区出身者だとわかった場合の対応について、「本人の意思を尊重する」が 46.0%で最も多く、次いで「何も問題ない」が 19.9%、「反対するが、本人の意思が強ければ認める」が 15.7%となっている。

【家族の結婚相手が同和地区に住む人や同和地区出身者だとわかった場合の対応】



【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「本人の意思を尊重する」が最も多く、次いで女性は「反対するが、本人の意思が強ければ認める」、男性は「何も問題ない」が多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10・20代は「何も問題ない」が5割以上と最も多くなっている。30代以上は「本人の意思を尊重する」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の30代以上、男性の50代以上は「本人の意思を尊重する」、女性の10・20代、男性の10～40代では「何も問題ない」が最も多い傾向となっている。

【性別、年代別、性年代別 家族の結婚相手が同和地区に住む人や同和地区出身者だとわかった場合の対応】

単位：％

単位：％

		母数 母数 (n)	家族の結婚相手が同和地区に住む人や同和地区出身者だとわかった場合の対応							
			本人の 意思を 尊重する	何も問題 ない	反対が 強ければ、 本人の 認める	絶対に結 婚を認め ない	親戚以外 の家族や、 結婚を認 めなければ、	その他	わからない	不明・無 回答
全体		759	46.0	19.9	15.7	2.8	1.7	0.5	12.5	0.9
性別	女性	459	45.8	16.1	16.8	2.6	2.0	0.4	15.3	1.1
	男性	291	46.4	25.4	14.4	2.7	1.4	0.7	8.2	0.7
	無回答・その他	9	44.4	△ 33.3	-	11.1	-	-	11.1	-
年代別	10代	7	-	△ 85.7	-	-	-	-	14.3	-
	20代	42	▼ 35.7	△ 50.0	▼ 4.8	-	2.4	-	7.1	-
	30代	61	49.2	29.5	▼ 3.3	3.3	1.6	1.6	11.5	-
	40代	98	40.8	△ 33.7	11.2	1.0	3.1	-	10.2	-
	50代	153	45.1	20.9	8.5	2.0	1.3	-	19.6	2.6
	60代	167	55.1	12.6	15.6	4.2	1.8	-	10.8	-
	70代	154	39.0	▼ 8.4	△ 31.8	3.9	1.3	1.3	13.0	1.3
	80代以上	75	△ 57.3	▼ 9.3	18.7	2.7	1.3	1.3	8.0	1.3
性年代別	女性 10代	2	-	△ 50.0	-	-	-	-	△ 50.0	-
	20代	25	40.0	△ 44.0	8.0	-	4.0	-	4.0	-
	30代	42	△ 59.5	21.4	▼ 2.4	-	2.4	2.4	11.9	-
	40代	62	40.3	27.4	12.9	-	4.8	-	14.5	-
	50代	95	45.3	15.8	9.5	2.1	2.1	-	22.1	3.2
	60代	95	51.6	11.6	17.9	4.2	-	-	14.7	-
	70代	91	▼ 34.1	▼ 7.7	△ 34.1	4.4	2.2	1.1	14.3	2.2
	80代以上	45	△ 60.0	▼ 6.7	15.6	4.4	-	-	13.3	-
	男性 10代	5	-	△ 100.0	-	-	-	-	-	-
	20代	15	▼ 33.3	△ 53.3	-	-	-	-	13.3	-
	30代	19	▼ 26.3	△ 47.4	▼ 5.3	10.5	-	-	10.5	-
	40代	34	41.2	△ 47.1	8.8	-	-	-	2.9	-
	50代	55	43.6	29.1	7.3	1.8	-	-	16.4	1.8
	60代	72	△ 59.7	13.9	12.5	4.2	4.2	-	5.6	-
	70代	61	45.9	▼ 9.8	△ 29.5	3.3	-	1.6	9.8	-
	80代以上	30	53.3	13.3	23.3	-	3.3	3.3	-	3.3

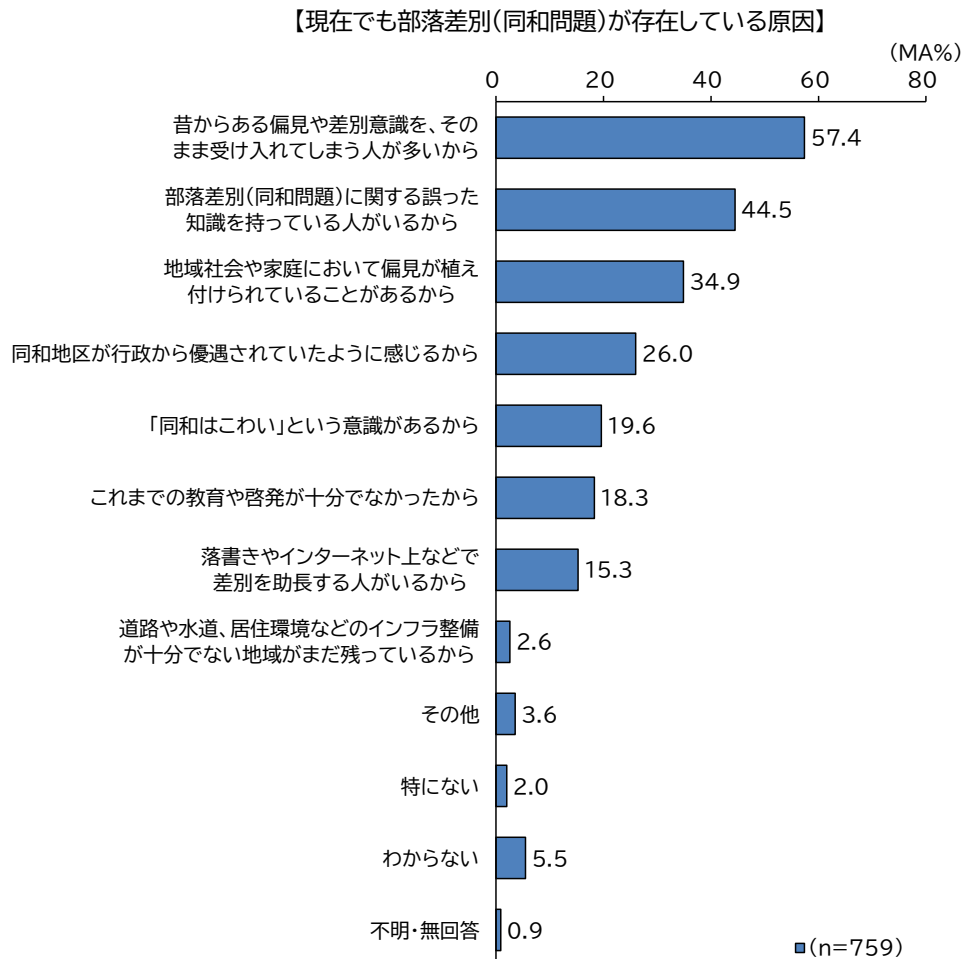
(7)問5－6 現在でも部落差別(同和問題)が存在している原因

新規設問

問5－6 現在でも部落差別(同和問題)が存在している原因はどこにあると思いますか。(○はいくつでも)

【全体】

- 現在でも部落差別(同和問題)が存在している原因について、「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が57.4%で最も多く、次いで「部落差別(同和問題)に関する誤った知識を持っている人がいるから」が44.5%、「地域社会や家庭において偏見が植え付けられていることがあるから」が34.9%となっている。



- 性別でみると、女性・男性ともに「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が最も多くなっている。
- 「落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから」は男性では20.3%と、女性より8.5ポイント多くなっている。

○ 年代別でみると、10～70代は「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」、80代以上は「部落差別(同和問題)に関する誤った知識を持っている人がいるから」が最も多くなっている。

○ 性年代別でみると、女性の20～70代、男性の10～70代は「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」、80代以上は「部落差別(同和問題)に関する誤った知識を持っている人がいるから」が最も多くなっている。女性の10代は「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」と「部落差別(同和問題)に関する誤った知識を持っている人がいるから」、「わからない」も最も多くなっている。

单位：%

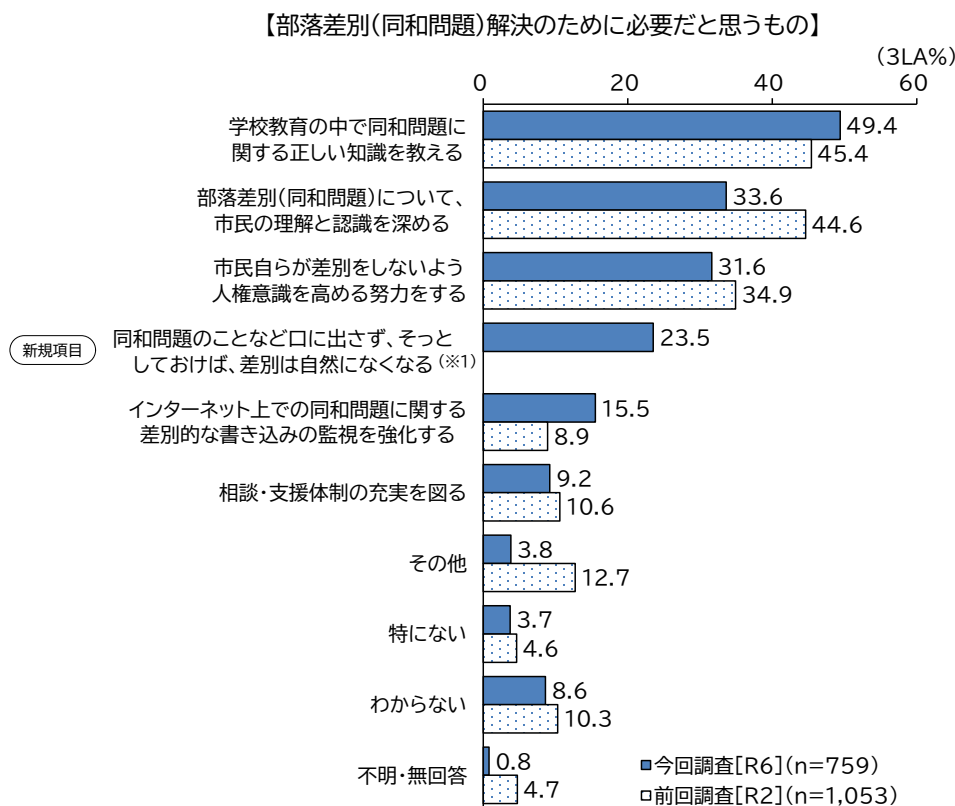
		母数 □ (n)	現在でも部落差別（同和問題）が存在している原因												単位：％											
			しま う人 が多 いから	昔か らある 偏見 や差 別意 識	持っ てい る人 が知 識を い るから	関する誤 った知識	部落差別（同和問題）に	偏見が植 え付けら れてい る	地域社会 や家庭に おいて	感じるか ら行政か ら	優遇され ていたよ うに	同和地区 があるか ら	意識があ るから	「同和は こわい」 という	こ れま でな かっ たか ら	十 分な 教育 や啓 発が	い るで 差別 を助 長す る人 が上	落書き やイン ターネ ットな どで	地域が まだ残 つてい るから	道路や 水道、 居住 環境な どの	その他	特 に ない	わ か ら ない	不 明・無 回答		
全体		759	57.4	44.5	34.9	26.0	19.6	18.3	15.3	2.6	3.6	2.0	5.5	0.9												
性別	女性	459	57.5	42.3	35.5	25.7	19.8	17.0	11.8	2.8	2.4	1.7	7.0	1.1												
	男性	291	57.0	47.4	33.3	26.5	19.6	19.9	20.3	2.1	5.5	2.4	3.1	0.7												
	無回答・その他	9	66.7	△ 66.7	△ 55.6	22.2	11.1	△ 33.3	△ 33.3	11.1	-	-	11.1	-												
年代別	10代	7	△ 71.4	△ 57.1	28.6	-	-	△ 28.6	△ 28.6	-	-	-	△ 28.6	-												
	20代	42	△ 69.0	52.4	△ 59.5	▼ 11.9	▼ 9.5	19.0	△ 33.3	2.4	7.1	-	4.8	-												
	30代	61	57.4	39.3	△ 47.5	23.0	18.0	16.4	14.8	6.6	3.3	-	6.6	-												
	40代	98	55.1	45.9	38.8	22.4	15.3	14.3	18.4	6.1	3.1	1.0	5.1	-												
	50代	153	52.9	43.1	37.9	29.4	23.5	15.0	16.3	2.0	2.6	0.7	6.5	1.3												
	60代	167	61.1	45.5	31.7	30.5	20.4	21.6	13.8	2.4	6.0	1.2	4.8	-												
	70代	154	59.1	39.0	▼ 24.7	29.9	19.5	19.5	10.4	1.3	3.2	3.9	4.5	0.6												
	80代以上	75	49.3	53.3	28.0	17.3	24.0	21.3	12.0	-	-	6.7	5.3	5.3												
性年代別	女性 10代	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 50.0	-												
	20代	25	△ 68.0	△ 56.0	△ 56.0	▼ 12.0	12.0	20.0	△ 28.0	-	8.0	-	4.0	-												
	30代	42	54.8	▼ 33.3	△ 45.2	26.2	14.3	14.3	▼ 4.8	7.1	2.4	-	7.1	-												
	40代	62	59.7	48.4	△ 48.4	22.6	14.5	11.3	14.5	6.5	1.6	-	4.8	-												
	50代	95	48.4	43.2	38.9	31.6	25.3	14.7	13.7	2.1	1.1	1.1	6.3	1.1												
	60代	95	61.1	37.9	28.4	31.6	21.1	16.8	12.6	3.2	3.2	2.1	7.4	-												
	70代	91	62.6	35.2	25.3	24.2	19.8	22.0	5.5	1.1	3.3	3.3	7.7	1.1												
	80代以上	45	51.1	△ 55.6	26.7	▼ 15.6	22.2	22.2	13.3	-	-	4.4	8.9	6.7												
	男性 10代	5	△ 80.0	△ 60.0	40.0	-	-	△ 40.0	△ 40.0	-	-	-	△ 20.0	-												
	20代	15	△ 73.3	40.0	△ 66.7	▼ 13.3	▼ 6.7	13.3	△ 40.0	6.7	6.7	-	6.7	-												
	30代	19	63.2	52.6	△ 52.6	▼ 15.8	26.3	21.1	△ 36.8	5.3	5.3	-	5.3	-												
	40代	34	▼ 47.1	41.2	▼ 17.6	20.6	14.7	17.6	23.5	2.9	5.9	2.9	5.9	-												
	50代	55	60.0	41.8	36.4	27.3	21.8	16.4	20.0	1.8	5.5	-	5.5	1.8												
	60代	72	61.1	△ 55.6	36.1	29.2	19.4	27.8	15.3	1.4	9.7	-	1.4	-												
	70代	61	52.5	44.3	▼ 23.0	△ 37.7	19.7	14.8	18.0	1.6	3.3	4.9	-	-												
	80代以上	30	▼ 46.7	50.0	30.0	20.0	26.7	20.0	10.0	-	-	10.0	-	3.3												

(8)問5-7 部落差別(同和問題)解決のために必要だと思うもの

問5-7 部落差別(同和問題)を解決するために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 部落差別(同和問題)解決のために必要だと思うものについて、「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」が 49.4%で最も多く、次いで「部落差別(同和問題)について、市民の理解と認識を深める」が 33.6%、「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」が 31.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「部落差別(同和問題)について、市民の理解と認識を深める」が 11.0 ポイント、「その他」が 8.9 ポイント、「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」が 3.3 ポイント少なく、「インターネット上での同和問題に関する差別的な書き込みの監視を強化する」が 6.6 ポイント、「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」が 4.0 ポイント多くなっている。



(※1) 前回調査では、「同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」との回答項目は設定していない。

【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」が最も多く、次いで女性は「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」、男性は「部落差別(同和問題)について、市民の理解と認識を深める」が多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、20 代以上は「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」が最も多く、20 代は全体より 20 ポイント以上多くなっている。10 代は「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」、「部落差別(同和問題)について、市民の理解と認識を深める」も最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 20 代以上、男性の 10・20・50・60・80 代以上は「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」が最も多くなっている。男性の 40 代は「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」と「部落差別(同和問題)について、市民の理解と認識を深める」も最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 部落差別(同和問題)解決のために必要だと思うもの】

単位：％

			部落差別（同和問題）解決のために必要だと思うもの										単位：%				
		母数 (n)	学校 教育 の中 で 同 和 問 題 に 関 する 正 し い 知 識 を 教 え る	認 識 を 深 め る 市 民 の 理 解 と	部 落 差 別 （ 同 和 問 題 ）	人 権 意 識 を 高 め る 努 力 を し な い よ う	市 民 自 ら が 差 別 を し な い よ う	出 さ ず 、 そ と と し て お け ば 、 差 別 は 自 然 に な く な る	同 和 問 題 の こ と な ど に お け ば 、 差 別 は 自 然 に な く な る	書 き 込 み の 監 視 を 強 化 す る	イ ン タ ー ネ ッ ト 上 で の 差 別 的 な	相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実 を 図 る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体		759	49.4	33.6		31.6		23.5		15.5		9.2		3.8	3.7	8.6	0.8
性別	女性	459	49.2	29.2		30.1		23.1		14.8		9.2		3.7	3.5	9.6	0.9
	男性	291	49.8	39.9		34.7		24.7		17.2		8.9		3.8	4.1	6.5	0.7
	無回答・その他	9	44.4	△ 55.6	▼ 11.1					△ 22.2		11.1			△ 22.2		
年代別	10代	7	42.9	42.9		28.6		14.3		△ 28.6		14.3		-	△ 14.3		-
	20代	42	△ 71.4	△ 50.0	▼ 14.3		19.0		23.8		11.9		-		2.4	4.8	-
	30代	61	42.6		32.8	34.4		27.9		23.0		8.2		4.9	1.6	8.2	-
	40代	98	46.9		38.8		25.5		18.4		16.3		12.2		7.1	2.0	10.2
	50代	153	52.9		31.4		28.8		19.6		14.4		11.8		5.2	5.2	9.8
	60代	167	52.1		32.9		29.3		21.0		16.8		9.6		3.6	4.8	10.8
	70代	154	43.5		29.9	△ 42.9		29.9		12.3		4.5		1.9	1.9	5.8	1.3
	80代以上	75	45.3		32.0		36.0		29.3		9.3		8.0		2.7	5.3	8.0
性年代別	女性 10代	2	-	△ 50.0		-		-		-		-		-	△ 50.0		-
	20代	25	△ 64.0	△ 44.0	▼ 20.0		16.0		24.0		16.0		-		4.0	4.0	-
	30代	42	45.2		31.0	35.7		21.4		14.3		4.8		4.8	-	9.5	-
	40代	62	51.6		37.1		24.2		19.4		17.7		16.1		6.5	1.6	9.7
	50代	95	51.6		29.5	30.5		21.1		14.7		8.4		5.3	6.3	10.5	1.1
	60代	95	47.4		24.2	26.3		21.1		16.8		8.4		4.2	5.3	13.7	-
	70代	91	49.5		24.2	36.3		28.6		9.9		6.6		-	-	7.7	2.2
	80代以上	45	42.2		28.9	35.6		31.1		13.3		8.9		4.4	4.4	6.7	2.2
	男性 10代	5	△ 60.0		40.0	40.0		20.0		△ 40.0		△ 20.0		-	-	-	-
	20代	15	△ 80.0	△ 60.0	▼ 6.7		26.7		△ 26.7		-		-	-	-	6.7	-
	30代	19	▼ 36.8		36.8	31.6	△ 42.1	△ 42.1		15.8		5.3		5.3	5.3	5.3	-
	40代	34	41.2		41.2	29.4		17.6		14.7		5.9		5.9	2.9	11.8	-
	50代	55	56.4		32.7	27.3		18.2		14.5		16.4		5.5	3.6	7.3	1.8
	60代	72	58.3	△ 44.4		33.3		20.8		16.7		11.1		2.8	4.2	6.9	-
	70代	61	▼ 34.4		37.7	△ 52.5		32.8		16.4		1.6		4.9	4.9	1.6	-
	80代以上	30	50.0		36.7	36.7		26.7	▼ 3.3	6.7		-		-	6.7	10.0	3.3

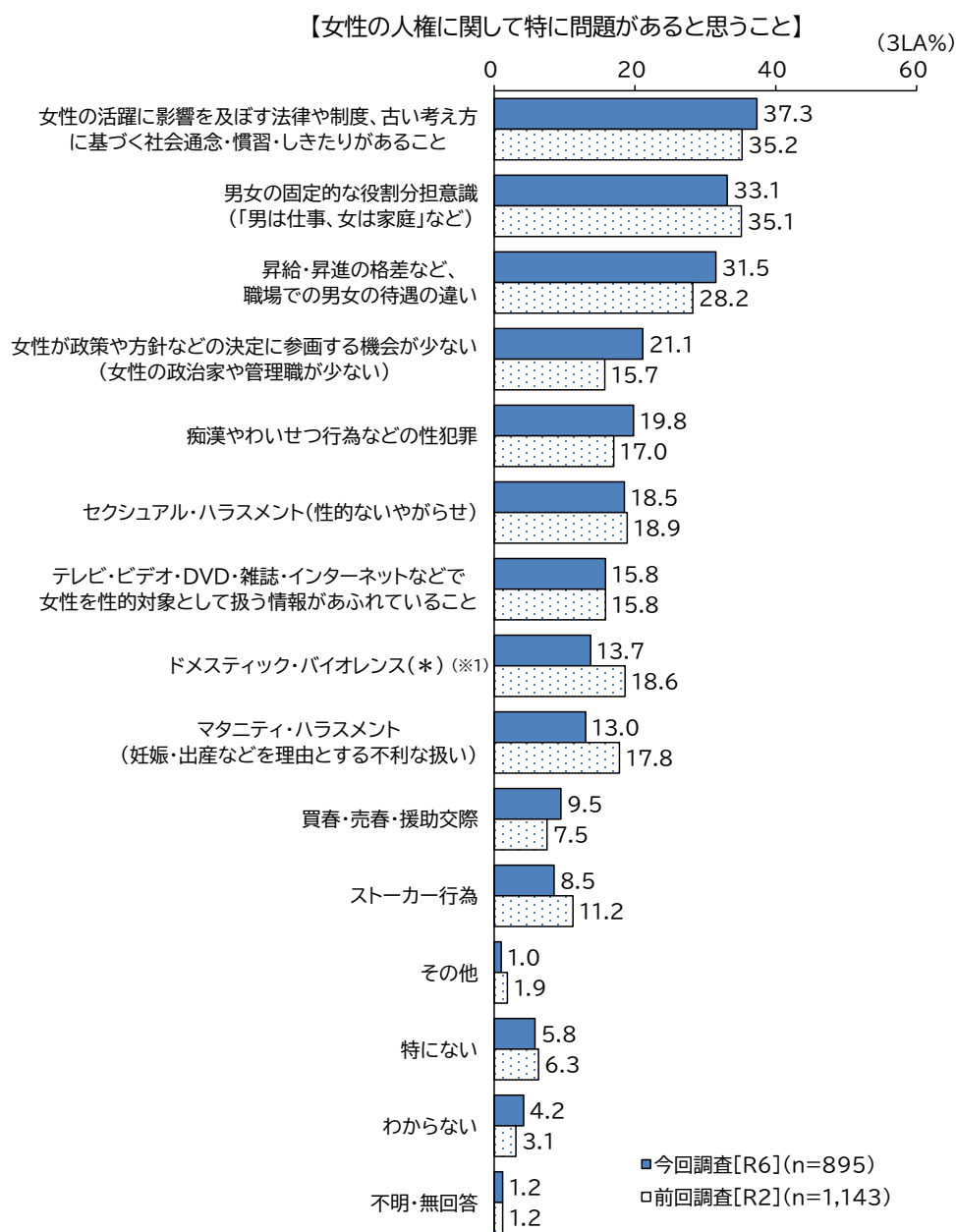
3. 女性

(1)問6 女性の人権に関して特に問題があると思うこと

問6 女性の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 女性の人権に関して特に問題があると思うことについて、「女性の活躍に影響を及ぼす法律や制度、古い考え方に基づく社会通念・慣習・しきたりがあること」が 37.3%で最も多く、次いで「男女の固定的な役割分担意識(『男は仕事、女は家庭』など)」が 33.1%、「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」が 31.5%となっている。
- 前回調査と比較すると、「ドメスティック・バイオレンス」が 4.9 ポイント、「マタニティ・ハラスメント(妊娠・出産などを理由とする不利な扱い)」が 4.8 ポイント少なく、「女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ない(女性の政治家や管理職が少ない)」が 5.4 ポイント、「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」が 3.3 ポイント多くなっている。



*ドメスティック・バイオレンス: 配偶者やパートナーからの身体に対する暴力、またはこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動
(※1) 前回調査では、「ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーによる暴力)」としていた。

【性別】

- 性別でみると、女性は男性よりも「テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネットなどで女性を性的対象として扱う情報があふれていること」「男女の固定的な役割分担意識（『男は仕事、女は家庭』など）」「痴漢やわいせつ行為などの性犯罪」が5ポイント以上多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は「買春・売春・援助交際」、20代は「男女の固定的な役割分担意識（『男は仕事、女は家庭』など）」「マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産などを理由とする不利な扱い）」が全体より10ポイント以上多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の10代は「男女の固定的な役割分担意識（『男は仕事、女は家庭』など）」、女性の50代は「女性の活躍に影響を及ぼす法律や制度、古い考え方に基づく社会通念・慣習・しきたりがあること」、男性の10代は「買春・売春・援助交際」が最も多く、6割となっている。

【性別、年代別、性年代別 女性の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

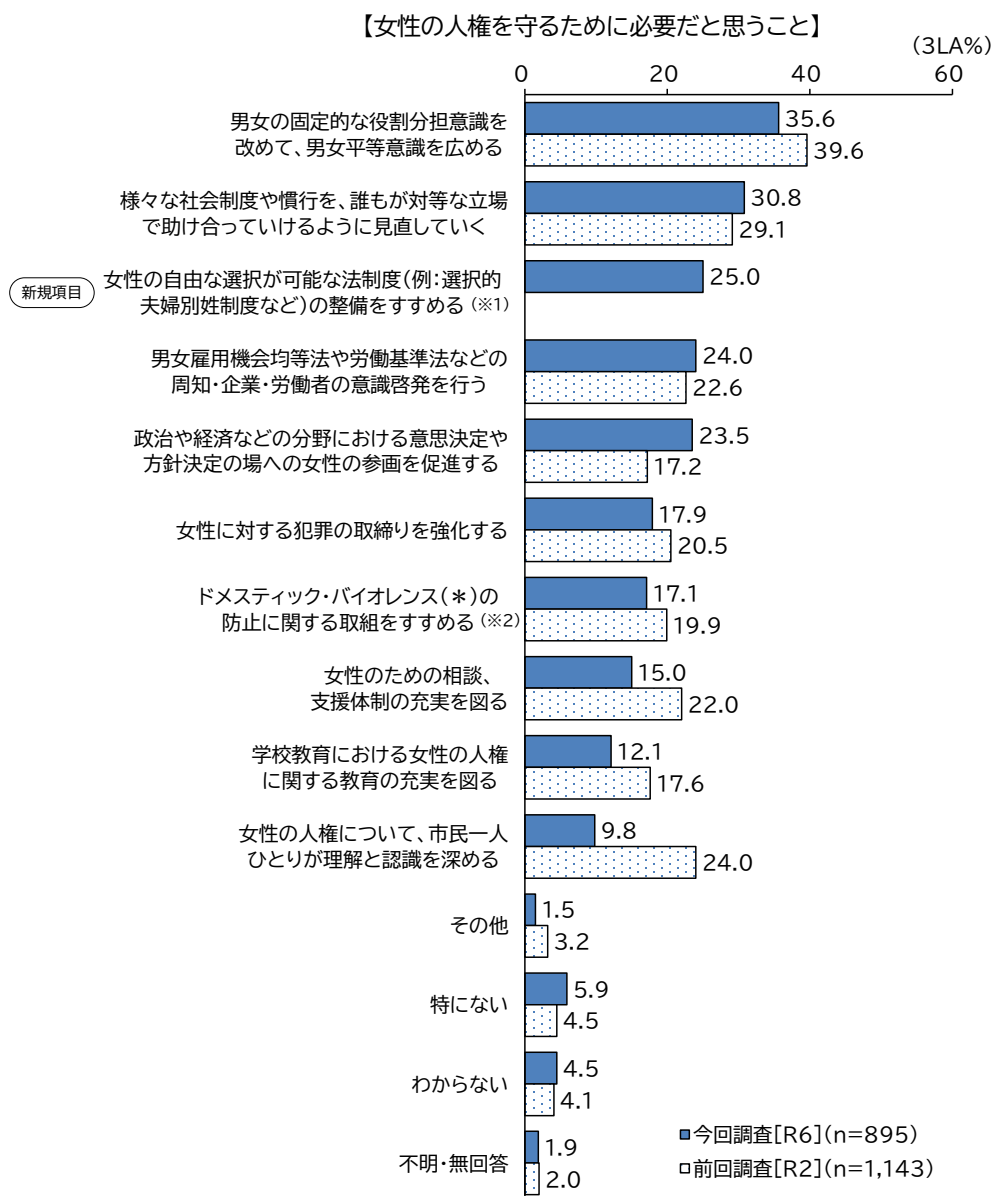
		母数 (n)	女性の人権に関して特に問題があると思うこと																	単位：%
			・制度・慣習・しきたりがあること	女性の活躍に影響を及ぼす法律や通念	（「男は仕事、女は家庭」など）	男女の固定的な役割分担意識	昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い	参画する機会が少ない（女性の政治家や管理職が少ない）	痴漢やわいせつ行為などの性犯罪	セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）	テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネットなどで女性を性的対象として扱う情報があふれていること	ドメスティック・バイオレンス	マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産などを理由とする不利な扱い）	買春・売春・援助交際	ストーカー行為	その他	特にな	わからない	不明・無回答	
全体		895	37.3	33.1	31.5	21.1	19.8	18.5	15.8	13.7	13.0	9.5	8.5	1.0	5.8	4.2	1.2			
性別	女性	531	38.8	35.6	30.1	20.9	22.4	17.9	19.6	15.4	12.8	10.0	7.9	1.1	4.1	3.2	1.1			
	男性	350	35.1	29.4	33.7	21.7	16.3	20.3	10.3	10.9	12.9	9.1	9.7	0.9	7.7	5.4	1.1			
	無回答・その他	14	35.7	28.6	28.6	14.3	▼7.1	-	7.1	21.4	21.4	-	-	-	△21.4	△14.3	7.1			
年代別	10代	13	▼23.1	30.8	38.5	30.8	23.1	15.4	-	23.1	15.4	△38.5	15.4	-	7.7	-	-			
	20代	59	▼25.4	△44.1	40.7	25.4	22.0	25.4	▼5.1	11.9	△33.9	5.1	10.2	1.7	3.4	3.4	-			
	30代	84	40.5	35.7	26.2	▼9.5	28.6	27.4	8.3	20.2	22.6	11.9	7.1	2.4	8.3	1.2	1.2			
	40代	112	39.3	33.9	28.6	20.5	18.8	22.3	13.4	12.5	18.8	8.9	7.1	1.8	1.8	3.6	1.8			
	50代	170	45.3	31.2	32.4	20.6	21.2	20.0	13.5	17.1	9.4	10.0	5.9	-	6.5	5.3	1.2			
	60代	185	34.6	38.9	33.5	18.9	16.8	17.8	19.5	16.2	9.7	7.0	10.3	1.6	5.4	4.3	-			
	70代	178	35.4	27.5	31.5	24.7	19.7	13.5	20.2	8.4	9.6	11.8	9.6	0.6	5.6	4.5	2.2			
	80代以上	91	37.4	26.4	27.5	26.4	14.3	9.9	22.0	7.7	3.3	6.6	8.8	-	8.8	6.6	2.2			
性年代別	女性 10代	8	▼12.5	△50.0	37.5	△37.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	△25.0	12.5	-	12.5	-	-			
	20代	35	28.6	42.9	△45.7	25.7	△31.4	△28.6	▼5.7	8.6	△45.7	8.6	5.7	2.9	-	-	-			
	30代	52	△48.1	42.3	32.7	11.5	△30.8	△30.8	9.6	19.2	19.2	9.6	5.8	3.8	3.8	-	1.9			
	40代	68	45.6	39.7	30.9	23.5	23.5	13.2	19.1	10.3	13.2	7.4	11.8	1.5	-	2.9	-			
	50代	100	△50.0	34.0	32.0	22.0	24.0	23.0	16.0	21.0	8.0	12.0	6.0	-	4.0	2.0	1.0			
	60代	105	39.0	38.1	28.6	17.1	17.1	16.2	23.8	22.9	8.6	5.7	9.5	1.9	4.8	1.9	-			
	70代	107	▼27.1	30.8	25.2	21.5	22.4	14.0	△27.1	9.3	12.1	15.9	7.5	-	4.7	6.5	2.8			
	80代以上	54	35.2	25.9	24.1	24.1	14.8	▼5.6	24.1	9.3	3.7	5.6	7.4	-	9.3	7.4	1.9			
	男性 10代	5	40.0	-	40.0	20.0	△40.0	20.0	-	△40.0	20.0	△60.0	△20.0	-	-	-	-	-		
	20代	21	▼19.0	△47.6	33.3	19.0	▼4.8	23.8	-	19.0	14.3	-	△19.0	-	9.5	9.5	-	-		
	30代	31	▼25.8	25.8	▼16.1	▼6.5	25.8	22.6	6.5	19.4	△25.8	16.1	9.7	-	△16.1	3.2	-	-		
	40代	41	29.3	24.4	24.4	17.1	12.2	△39.0	▼4.9	12.2	△26.8	12.2	-	2.4	4.9	4.9	2.4	-		
	50代	67	38.8	26.9	32.8	19.4	17.9	16.4	10.4	11.9	11.9	7.5	6.0	-	10.4	7.5	1.5	-		
	60代	80	28.8	40.0	40.0	21.3	16.3	20.0	13.8	7.5	11.3	8.8	11.3	1.3	6.3	7.5	-	-		
	70代	68	△48.5	▼22.1	41.2	30.9	16.2	13.2	10.3	7.4	5.9	5.9	13.2	1.5	4.4	1.5	1.5	-		
	80代以上	37	40.5	27.0	32.4	29.7	13.5	16.2	18.9	5.4	▼2.7	8.1	10.8	-	8.1	5.4	2.7	-		

(2)問7 女性の人権を守るために必要だと思うこと

問7 女性の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。
(〇は3つまで)

【全体】

- 女性の人権を守るために必要だと思うことについて、「男女の固定的な役割分担意識を改めて、男女平等意識を広める」が 35.6%で最も多く、次いで「様々な社会制度や慣行を、誰もが対等な立場で助け合っているように見直していく」が 30.8%、「女性の自由な選択が可能な法制度(例:選択的夫婦別姓制度など)の整備をすすめる」が 25.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、「女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が 14.2 ポイント、「女性のための相談、支援体制の充実を図る」が 7.0 ポイント、「学校教育における女性の人権に関する教育の充実を図る」が 5.5 ポイント、「男女の固定的な役割分担意識を改めて、男女平等意識を広める」が 4.0 ポイント少なく、「政治や経済などの分野における意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する」が 6.3 ポイント多くなっている。



*ドメスティック・バイオレンス: 配偶者やパートナーからの身体に対する暴力、またはこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動

(※1) 前回調査では、「女性の自由な選択が可能な法制度(例:選択的夫婦別姓制度など)の整備をすすめる」との回答項目は設定していない。

(※2) 前回調査では、「ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーによる暴力)の防止」としていた。

【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「男女の固定的な役割分担意識を改めて、男女平等意識を広める」が最も多く、次いで女性は「様々な社会制度や慣行を、誰もが対等な立場で助け合っているように見直していく」、男性は「男女雇用機会均等法や労働基準法などの周知・企業・労働者の意識啓発を行う」が多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、「男女の固定的な役割分担意識を改めて、男女平等意識を広める」は年代ごとに大きな差はないが、10代は「女性の自由な選択が可能な法制度（例：選択的夫婦別姓制度など）の整備をすすめる」、「男女雇用機会均等法や労働基準法などの周知・企業・労働者の意識改革を行う」、70代は「様々な社会制度や慣行を、誰もが対等な立場で助け合っているように見直していく」が最も多くなっている。

【性別、年代別 女性の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		女性の人権を守るために必要だと思うこと															単位：%					
		母数 (n)	男女 平等 意識 を 広 め る	男 女 の 固 定 的 な 役 割 分 担 意 識 を 改 め て、	助 け 合 っ て い け る よ う に 見 直 し て い く	様 々 な 社 会 制 度 や 慣 行 を、 （例：選択的夫婦別姓制度など）の 整 備 を す す め る	女 性 の 自 由 な 選 択 が 可 能 な 法 制 度 の 周 知・企業・労働者の意識啓発を行う	男 女 雇 用 機 会 均 等 法 や 労 働 基 準 法 な ど の 周 知・企業・労働者の意識啓発を行う	女 性 の 参 画 を 促 進 す る	政 治 や 経 済 な ど の 分 野 に お け る 意 思 決 定 や 方 針 決 定 の 場 へ の	女 性 に 対 す る 犯 罪 の 取 締 り を 強 化 す る	防 止 に 関 す る 取 組 を す す め る	ド メ ス テ ィ ツ ク・バイ オ レ ン ス の	支 援 体 制 の 充 実 を 図 る	女 性 の た め の 相 談、 教 育 の 充 実 を 図 る	学 校 教 育 に お け る 女 性 の 人 権 に 関 す る	理 解 と 認 識 を 深 め る	女 性 の 人 権 に 関 す る、 市 民 一 人 ひ と り が	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	不 明・無 回 答
全体		895	35.6	30.8	25.0	24.0	23.5	17.9	17.1	15.0	12.1	9.8	1.5	5.9	4.5	1.9						
性別	女性	531	36.3	34.3	25.6	22.0	23.9	20.3	17.9	13.7	11.3	10.9	1.7	4.3	4.1	1.9						
	男性	350	34.6	26.0	23.7	26.9	23.1	14.6	16.6	17.4	13.7	8.0	1.1	7.4	5.1	1.7						
	無回答・その他	14	35.7	21.4	△35.7	28.6	14.3	▼7.1	-	-	-	14.3	-	△28.6	-	7.1						
年代別	10代	13	38.5	▼15.4	△46.2	△46.2	▼7.7	23.1	23.1	7.7	△23.1	15.4	-	-	-	-						
	20代	59	37.3	32.2	22.0	28.8	23.7	△33.9	15.3	11.9	8.5	6.8	1.7	-	3.4	-						
	30代	84	35.7	23.8	28.6	22.6	16.7	26.2	25.0	10.7	13.1	11.9	1.2	7.1	6.0	1.2						
	40代	112	30.4	23.2	28.6	22.3	18.8	24.1	15.2	13.4	12.5	7.1	1.8	6.3	5.4	2.7						
	50代	170	34.1	32.4	25.9	27.1	23.5	16.5	17.6	22.4	9.4	2.9	1.2	5.9	2.4	1.8						
	60代	185	37.8	30.8	30.8	22.2	24.3	15.7	18.4	18.4	10.8	8.1	1.6	4.9	4.3	1.1						
	70代	178	36.0	39.3	19.1	23.6	31.5	11.2	14.6	11.2	14.6	14.6	1.7	5.1	4.5	2.8						
	80代以上	91	38.5	29.7	15.4	20.9	19.8	11.0	13.2	9.9	13.2	△19.8	1.1	12.1	7.7	3.3						

【性年代別】

- 性年代別でみると、全体で最も多かった「男女の固定的な役割分担意識を改めて、男女平等意識を広める」は、女性の10代は全体より10ポイント以上多いが、男性の10代は全体より10ポイント以上少なくなっており、差が大きくなっている。

【性年代別 女性の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	女性の人権を守るために必要だと思うこと													
			男女平等意識を広める	男女の固定的な役割分担意識を改めて、助け合っているように見直していく	様々な社会制度や慣行を、誰もが対等な立場で整備をすすめる (例：選択的夫婦別姓制度など)	女性の自由な選択が可能な法制度(周知・企業・労働者の意識啓発を行う)	男女雇用機会均等法や労働基準法などの女性に関する権利の意識啓発を行う	政治や経済などの分野における意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する	女性に対する犯罪の取締りを強化する	ドメスティック・バイオレンスの防止に関する取組をすすめる	女性のための相談、支援体制の充実を図る	学校教育における女性の人権に関する教育の充実を図る	女性の人権について、理解と認識を深める 市民一人ひとりが	その他	特にない	わからない
全体		895	35.6	30.8	25.0	24.0	23.5	17.9	17.1	15.0	12.1	9.8	1.5	5.9	4.5	1.9
性年代別	女性 10代	8	△50.0	▼12.5	25.0	△50.0	▼12.5	25.0	-	-	△25.0	12.5	-	-	-	-
	20代	35	31.4	34.3	22.9	20.0	28.6	△40.0	11.4	17.1	11.4	8.6	2.9	-	-	-
	30代	52	40.4	26.9	△36.5	21.2	15.4	26.9	19.2	9.6	9.6	13.5	1.9	3.8	5.8	1.9
	40代	68	27.9	29.4	30.9	25.0	23.5	26.5	16.2	16.2	13.2	10.3	1.5	4.4	4.4	-
	50代	100	39.0	35.0	29.0	31.0	24.0	19.0	19.0	15.0	8.0	1.0	-	5.0	2.0	2.0
	60代	105	41.9	34.3	33.3	16.2	21.9	17.1	21.0	18.1	6.7	8.6	1.9	3.8	2.9	1.9
	70代	107	34.6	40.2	▼13.1	18.7	31.8	15.0	17.8	13.1	15.0	15.9	2.8	3.7	6.5	3.7
	80代以上	54	31.5	38.9	▼14.8	18.5	18.5	11.1	16.7	▼3.7	14.8	△24.1	1.9	9.3	7.4	1.9
	男性 10代	5	▼20.0	▼20.0	△80.0	△40.0	-	20.0	△60.0	20.0	20.0	△20.0	-	-	-	-
	20代	21	△47.6	28.6	▼14.3	△38.1	▼9.5	23.8	23.8	▼4.8	4.8	4.8	-	-	9.5	-
	30代	31	29.0	▼16.1	▼12.9	25.8	19.4	25.8	△35.5	12.9	19.4	6.5	-	12.9	6.5	-
	40代	41	34.1	▼14.6	26.8	19.5	▼12.2	22.0	14.6	9.8	12.2	-	2.4	7.3	7.3	4.9
	50代	67	▼25.4	28.4	20.9	20.9	23.9	13.4	16.4	△34.3	11.9	6.0	3.0	7.5	3.0	1.5
	60代	80	32.5	26.3	27.5	30.0	27.5	13.8	15.0	18.8	16.3	7.5	1.3	6.3	6.3	-
70代	68	38.2	39.7	27.9	30.9	32.4	▼5.9	10.3	8.8	14.7	13.2	-	4.4	1.5	1.5	
80代以上	37	△48.6	▼16.2	16.2	24.3	21.6	10.8	8.1	18.9	10.8	13.5	-	△16.2	8.1	5.4	

4. 子ども

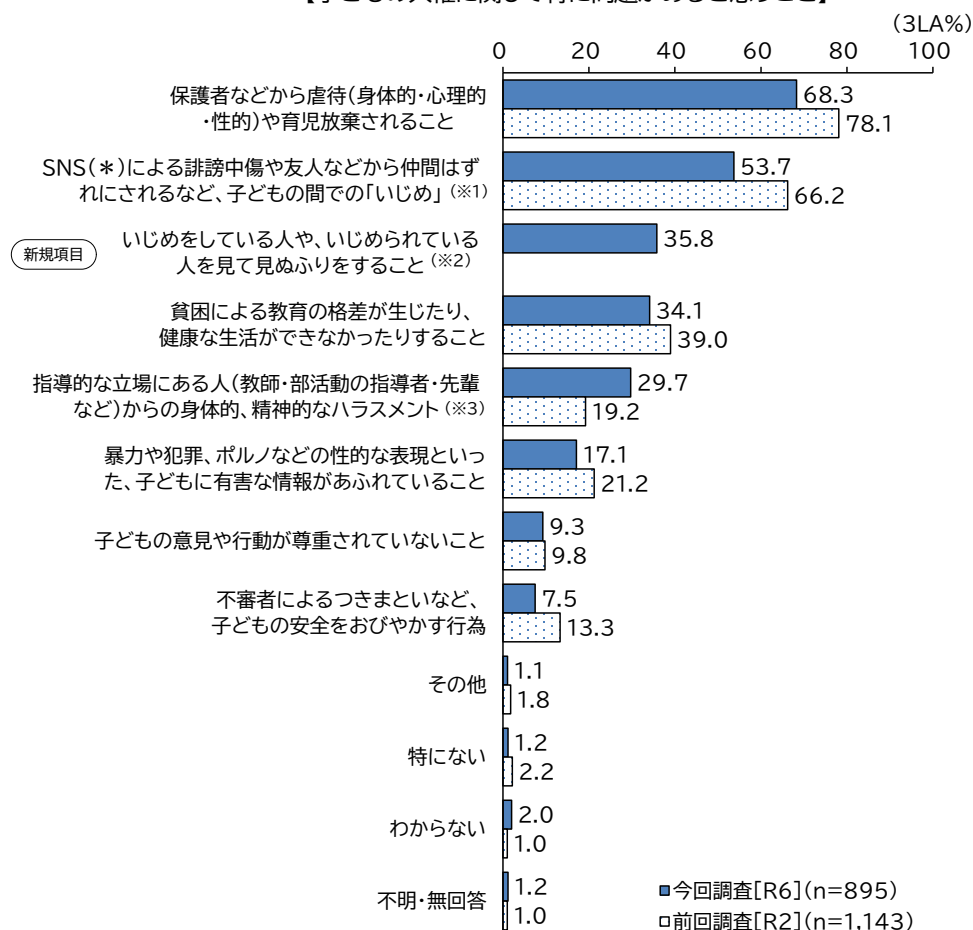
(1)問8 子どもの人権に関して特に問題があると思うこと

問8 子どもの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(〇は3つまで)

【全体】

- 子どもの人権に関して特に問題があると思うことについて、「保護者などから虐待(身体的・心理的・性的)や育児放棄されること」が68.3%で最も多く、次いで「SNSによる誹謗中傷や友人などから仲間はずれにされるなど、子どもの間での『いじめ』」が53.7%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が35.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、「SNSによる誹謗中傷や友人などから仲間はずれにされるなど、子どもの間での『いじめ』」が12.5ポイント、「保護者などから虐待(身体的・心理的・性的)や育児放棄されること」が9.8ポイント、「不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為」が5.8ポイント、「貧困による教育の格差が生じたり、健康な生活ができなかったりすること」が4.9ポイント、「暴力や犯罪、ポルノなどの性的な表現といった、子どもに有害な情報があふれていること」が4.1ポイント少なく、「指導的な立場にある人(教師・部活動の指導者・先輩など)からの身体的、精神的なハラスメント」が10.5ポイント多くなっている。

【子どもの人権に関して特に問題があると思うこと】



*SNS: YouTube・LINE・Instagram などインターネット上で他者と繋がることのできるサービス

(※1) 前回調査では、「子どもの間での『いじめ』」としていた。

(※2) 前回調査では、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」との回答項目は設定してない。

(※3) 前回調査では、「指導的な立場にある人からの体罰」としていた。

○ 性別でみると、女性・男性ともに「保護者などから虐待(身体的・心理的・性的)や育児放棄されること」が最も多く、女性は7割以上となっている。

○ 年代別でみると、40代のみ「SNSによる誹謗中傷や友人などから仲間はずれにされるなど、子どもの間での『いじめ』」が最も多くなっている。

○ 性年代別でみると、女性の 50・60 代、男性の 10 代は「保護者などから虐待(身体的・心理的・性的)や育児放棄されること」が約 8 割と他の年代に比べて多くなっている。

单位：%

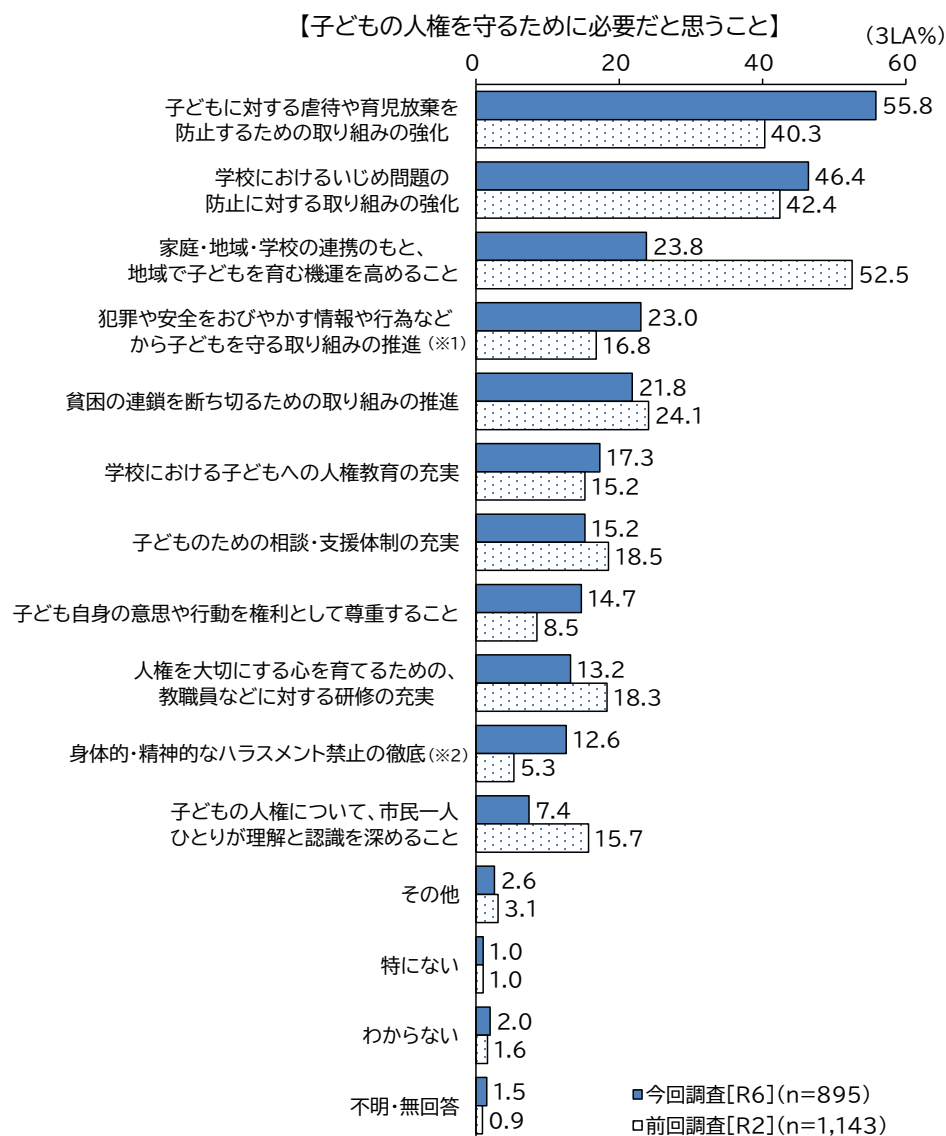
51

(2)問9 子どもの人権を守るために必要だと思うこと

問9 子どもの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。
(〇は3つまで)

【全体】

- 子どもの人権を守るために必要だと思うことについて、「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」が 55.8%で最も多く、次いで「学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化」が 46.4%、「家庭・地域・学校の連携のもと、地域で子どもを育む機運を高めること」が 23.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、「家庭・地域・学校の連携のもと、地域で子どもを育む機運を高めること」が 28.7 ポイント、「子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること」が 8.3 ポイント、「人権を大切にする心を育てるための、教職員などに対する研修の充実」が 5.1 ポイント、「子どものための相談・支援体制の充実」が 3.3 ポイント少なく、「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」が 15.5 ポイント、「身体的・精神的なハラスメント禁止の徹底」が 7.3 ポイント、「犯罪や安全をおびやかす情報や行為などから子どもを守る取り組みの推進」が 6.2 ポイント、「子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること」が 6.2 ポイント、「学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化」が 4.0 ポイント多くなっている。



(※1) 前回調査では、「犯罪や安全をおびやかす行為などから子どもを守る取り組みの推進」としていた。

(※2) 前回調査では、「体罰禁止の徹底」としていた。

【性別】

- 性別でみると、女性は「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」が 58.0%と最も多く、男性は「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」と「学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化」が5割以上となっている。

【年代別】

- 年代別でみると、30・80 代以上は「学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化」が「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」と並んで最も多くなっている。

【性年代別】

- 女性の 20 代は「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」、男性の 10 代は「学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化」が最も多く、7割以上となっている。

【性別、年代別、性年代別 子どもの人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	子どもの人権を守るために必要だと思うこと														単位：％				
			子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化	学校におけるいじめ問題の防止に	機運を高めること	家庭・地域・学校の連携のもと、取り組みの推進	犯罪や安全をおびやかす情報や行為などから子どもを守る	取り組みの推進	貧困の連鎖を断ち切るための取り組みの推進	学校における子どもへの人権教育の充実	子どものための相談・支援体制の充実	子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること	子ども自身としての尊重や行動を権利として尊重すること	人権を大切にする心を育てるための、教職員などに対する研修の充実	身体的・精神的なハラスメント禁止の徹底	理解と認識を深めること	市民一人ひとりが、子どもの人権について、理解と認識を深めること	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	55.8	46.4	23.8	23.0	21.8	17.3	15.2	14.7	13.2	12.6	7.4	2.6	1.0	2.0	1.5				
性別	女性	531	58.0	44.4	24.3	24.5	23.4	15.6	15.8	15.6	12.4	13.9	8.3	2.3	0.2	2.1	1.1				
	男性	350	52.9	50.0	23.1	20.6	19.1	20.0	14.9	13.1	14.3	11.1	6.0	2.9	2.3	2.0	1.7				
	無回答・その他	14	▼42.9	▼28.6	21.4	28.6	28.6	14.3	-	21.4	14.3	-	7.1	7.1	-	-	7.1				
年代別	10代	13	46.2	53.8	15.4	15.4	23.1	15.4	15.4	23.1	15.4	15.4	7.7	-	-	7.7	-				
	20代	59	61.0	42.4	20.3	22.0	30.5	22.0	20.3	22.0	11.9	6.8	5.1	6.8	-	-	-				
	30代	84	52.4	52.4	23.8	27.4	26.2	11.9	9.5	14.3	8.3	15.5	7.1	3.6	-	6.0	1.2				
	40代	112	54.5	42.9	21.4	26.8	22.3	17.9	8.9	17.0	9.8	13.4	2.7	2.7	-	2.7	2.7				
	50代	170	52.9	44.1	16.5	27.6	24.1	17.6	22.9	12.9	12.9	12.4	7.1	2.4	1.8	1.2	1.2				
	60代	185	60.0	48.1	24.9	23.8	23.2	18.4	17.8	12.4	10.8	17.3	5.4	2.2	1.1	-	0.5				
	70代	178	55.6	43.3	30.9	16.9	19.1	19.7	11.2	15.2	19.1	9.0	11.8	2.2	1.7	2.2	2.8				
	80代以上	91	53.8	53.8	28.6	17.6	▼8.8	12.1	13.2	14.3	15.4	9.9	11.0	1.1	1.1	3.3	1.1				
性年代別	女性 10代	8	▼37.5	▼25.0	▼12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	△25.0	△25.0	12.5	12.5	-	-	△12.5	-				
	20代	35	△71.4	40.0	17.1	17.1	△40.0	20.0	22.9	17.1	11.4	5.7	8.6	8.6	-	-	-				
	30代	52	55.8	48.1	25.0	26.9	28.8	9.6	9.6	11.5	7.7	17.3	5.8	1.9	-	7.7	1.9				
	40代	68	55.9	42.6	23.5	29.4	25.0	14.7	10.3	19.1	11.8	14.7	2.9	1.5	-	-	-				
	50代	100	55.0	41.0	17.0	△33.0	25.0	14.0	24.0	18.0	13.0	13.0	8.0	1.0	-	2.0	1.0				
	60代	105	61.9	46.7	26.7	21.9	25.7	15.2	18.1	12.4	8.6	△24.8	5.7	1.0	-	-	-				
	70代	107	57.9	45.8	29.0	17.8	20.6	19.6	11.2	15.9	15.9	7.5	14.0	3.7	0.9	1.9	1.9				
	80代以上	54	53.7	48.1	31.5	22.2	▼5.6	14.8	14.8	14.8	14.8	7.4	11.1	1.9	-	3.7	1.9				
	男性 10代	5	60.0	△100.0	20.0	-	△40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-				
	20代	21	47.6	47.6	19.0	28.6	14.3	23.8	19.0	△28.6	9.5	9.5	-	4.8	-	-	-				
	30代	31	48.4	△61.3	22.6	29.0	22.6	16.1	9.7	16.1	9.7	12.9	9.7	3.2	-	3.2	-				
	40代	41	53.7	41.5	19.5	22.0	19.5	22.0	7.3	14.6	7.3	12.2	2.4	4.9	-	7.3	4.9				
	50代	67	49.3	50.7	16.4	19.4	20.9	23.9	22.4	6.0	13.4	11.9	6.0	4.5	4.5	-	1.5				
	60代	80	57.5	50.0	22.5	26.3	20.0	22.5	17.5	12.5	13.8	7.5	5.0	3.8	2.5	-	-				
	70代	68	52.9	39.7	△33.8	14.7	17.6	20.6	11.8	13.2	△23.5	11.8	7.4	-	2.9	2.9	4.4				
	80代以上	37	54.1	△62.2	24.3	▼10.8	13.5	8.1	10.8	13.5	16.2	13.5	10.8	-	2.7	2.7	-				

5. 高齢者

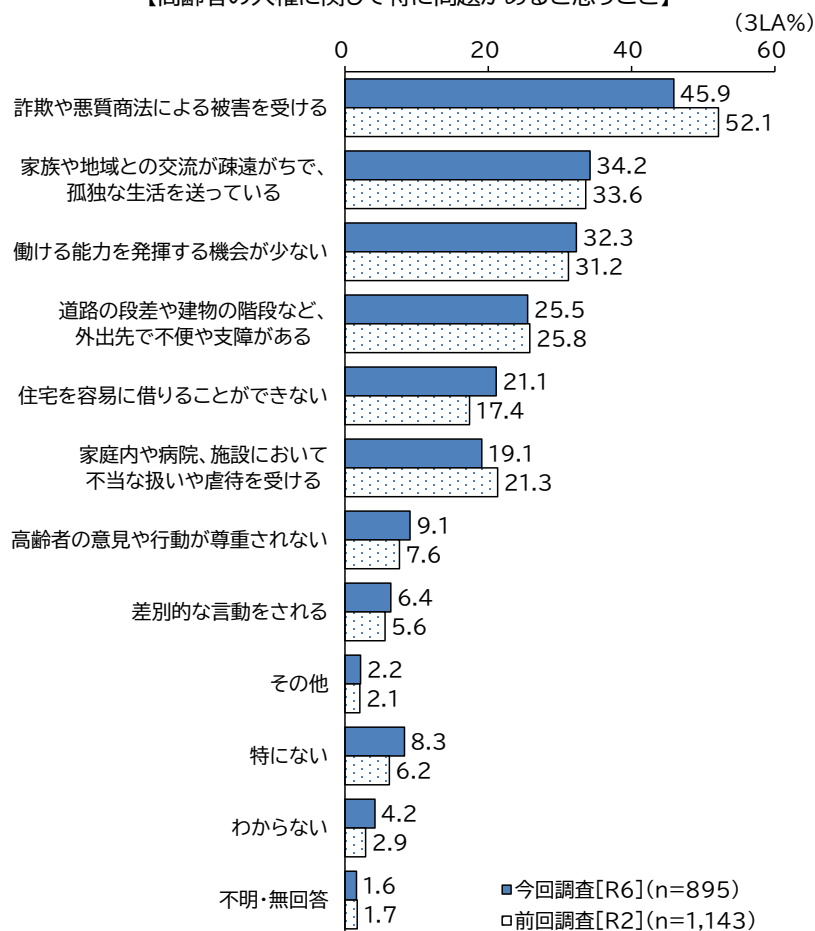
(1)問 10 高齢者の人権に関して特に問題があると思うこと

問 10 高齢者の人権に関する事で、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 高齢者の人権に関して特に問題があると思うことについて、「詐欺や悪質商法による被害を受ける」が45.9%で最も多く、次いで「家族や地域との交流が疎遠がちで、孤独な生活を送っている」が34.2%、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が32.3%となっている。
- 前回調査と比較すると、「詐欺や悪質商法による被害を受ける」が6.2ポイント少なく、「住宅を容易に借りることができない」が3.7ポイント多くなっている。

【高齢者の人権に関して特に問題があると思うこと】



【性別】

- 性別でみると、「特にない」、「わからない」以外の項目はいずれも女性の方が男性よりも割合が多く、「家庭内や病院、施設において不当な扱いや虐待を受ける」「道路の段差や建物の階段など、外出先で不便や支障がある」では約7ポイント差となっている。

【年代別】

- 年代別でみると、30・40・60代では「詐欺や悪質商法による被害を受ける」が5割以上と、特に多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の10代と男性の80代以上は「家族や地域との交流が疎遠がちで、孤独な生活を送っている」が50.0%と37.8%と最も多く、他の年代は「詐欺や悪質商法による被害を受ける」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 高齢者の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

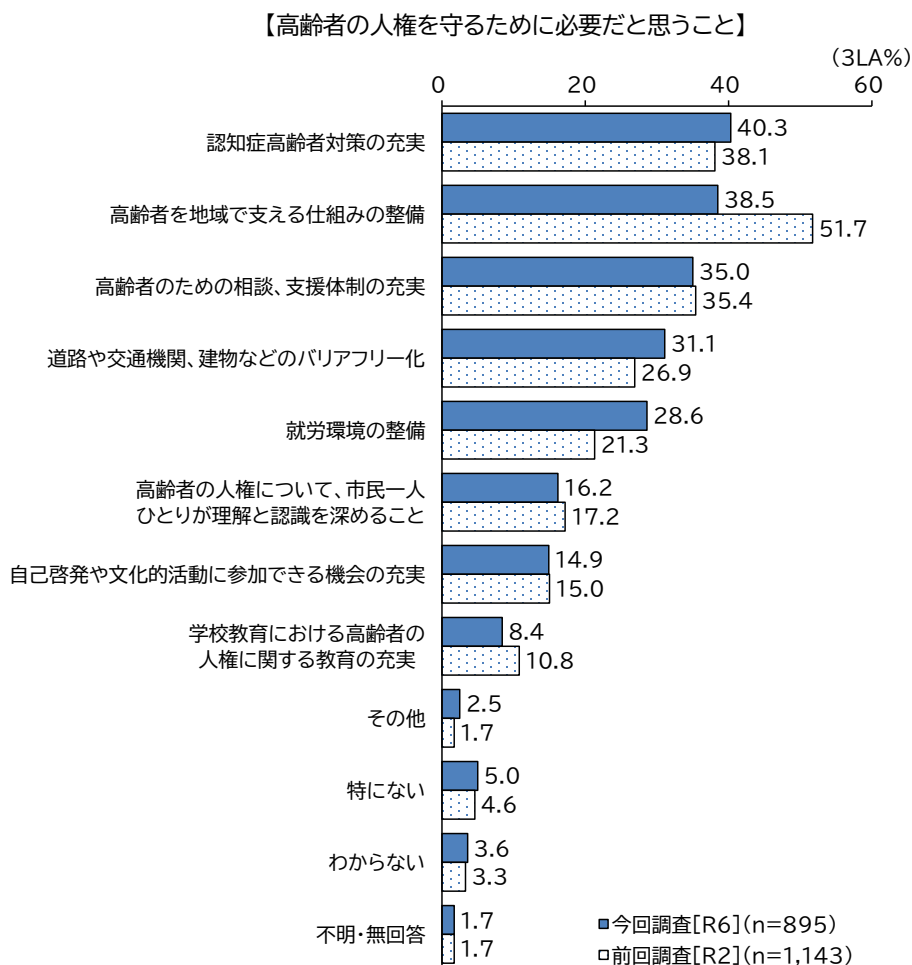
		母数 (n)	高齢者の人権に関して特に問題があると思うこと															
			被詐欺や悪質商法による被害を受ける	疎遠がちで、孤独な生活を送っている	家族や地域との交流が	機会が少なく、能力を發揮する	階段など、外出先での不便や支障がある	道路の段差や建物の出入り口など、出入り口が狭い	借り宅を容易にできない	虐待を受けるなど、不当な扱いや施設に	家庭内や病院、施設に	高齢者の意見や行動が尊重されない	差別的な言動をされる	その他	特にない	わからない	不明・無回答	
全体		895	45.9	34.2	32.3	25.5	21.1	19.1	9.1	6.4	2.2	8.3	4.2	1.6				
性別	女性	531	46.7	34.7	32.8	28.2	21.3	22.0	9.4	7.3	2.4	6.8	3.8	1.1				
	男性	350	45.1	33.7	31.1	21.1	19.7	14.6	8.3	5.1	2.0	10.3	5.1	2.0				
	無回答・その他	14	▼ 35.7	28.6	△ 42.9	28.6	△ 50.0	21.4	14.3	-	-	14.3	-	7.1				
年代別	10代	13	▼ 30.8	38.5	23.1	23.1	-	△ 30.8	-	7.7	-	△ 30.8	7.7	-				
	20代	59	42.4	35.6	32.2	28.8	13.6	25.4	10.2	8.5	-	5.1	6.8	-				
	30代	84	51.2	40.5	29.8	25.0	21.4	17.9	4.8	11.9	-	9.5	4.8	1.2				
	40代	112	△ 58.0	33.9	33.0	21.4	19.6	23.2	5.4	4.5	1.8	4.5	2.7	3.6				
	50代	170	45.9	34.1	41.8	27.1	22.9	22.4	7.6	7.1	4.1	5.9	5.3	0.6				
	60代	185	50.3	32.4	31.4	25.9	24.3	21.6	13.5	5.9	1.6	7.0	2.2	-				
	70代	178	38.8	31.5	32.6	21.9	21.9	12.4	10.1	3.9	2.8	10.1	5.6	2.8				
	80代以上	91	36.3	35.2	▼ 19.8	33.0	17.6	11.0	9.9	5.5	3.3	14.3	3.3	3.3				
性年代別	女性 10代	8	▼ 12.5	△ 50.0	25.0	25.0	-	△ 37.5	-	-	-	△ 37.5	-	-				
	20代	35	51.4	40.0	37.1	△ 40.0	11.4	28.6	8.6	8.6	-	-	-	-				
	30代	52	51.9	42.3	30.8	21.2	19.2	19.2	3.8	13.5	-	7.7	5.8	1.9				
	40代	68	△ 60.3	38.2	36.8	27.9	16.2	25.0	5.9	5.9	1.5	1.5	1.5	-				
	50代	100	47.0	38.0	△ 46.0	26.0	23.0	24.0	10.0	9.0	3.0	6.0	4.0	1.0				
	60代	105	51.4	29.5	29.5	32.4	24.8	26.7	13.3	7.6	1.9	6.7	1.9	-				
	70代	107	36.4	28.0	27.1	25.2	27.1	15.0	10.3	5.6	3.7	9.3	6.5	0.9				
	80代以上	54	38.9	33.3	▼ 22.2	31.5	14.8	14.8	11.1	1.9	5.6	9.3	5.6	5.6				
	男性 10代	5	△ 60.0	▼ 20.0	▼ 20.0	20.0	-	20.0	-	△ 20.0	-	△ 20.0	△ 20.0	-	-			
	20代	21	▼ 28.6	▼ 23.8	23.8	▼ 9.5	▼ 9.5	14.3	14.3	9.5	-	14.3	△ 19.0	-	-			
	30代	31	51.6	38.7	25.8	32.3	22.6	16.1	3.2	9.7	-	12.9	3.2	-				
	40代	41	△ 56.1	29.3	26.8	▼ 12.2	24.4	22.0	4.9	2.4	2.4	7.3	4.9	7.3				
	50代	67	43.3	29.9	35.8	26.9	22.4	19.4	3.0	4.5	6.0	6.0	7.5	-				
	60代	80	48.8	36.3	33.8	17.5	23.8	15.0	13.8	3.8	1.3	7.5	2.5	-				
	70代	68	44.1	36.8	39.7	16.2	11.8	▼ 8.8	10.3	1.5	1.5	10.3	4.4	5.9				
	80代以上	37	▼ 32.4	37.8	▼ 16.2	35.1	21.6	▼ 5.4	8.1	10.8	-	△ 21.6	-	-				

(2)問 11 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと

問 11 高齢者の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 高齢者の人権を守るために必要だと思うことについて、「認知症高齢者対策の充実」が 40.3%で最も多く、次いで「高齢者を地域で支える仕組みの整備」が 38.5%、「高齢者のための相談、支援体制の充実」が 35.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、「高齢者を地域で支える仕組みの整備」が 13.2 ポイント少なく、「就労環境の整備」が 7.3 ポイント、「道路や交通機関、建物などのバリアフリー化」が 4.2 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性は「認知症高齢者対策の充実」、男性は「高齢者を地域で支える仕組みの整備」が最も多く、女性の「認知症高齢者対策の充実」(44.3%)は男性よりも 9.2 ポイント多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10 代は「特にない」、60 代は「高齢者のための相談、支援体制の充実」、80 代以上は「高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること」が他の年代に比べて 10 ポイント以上多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 40 代は「認知症高齢者対策の充実」、男性の 10 代は「高齢者を地域で支える仕組みの整備」が最も多く、5割以上となっている。

【性別、年代別、性年代別 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	高齢者の人権を守るために必要だと思うこと											単位：%
			認知症高齢者 対策の充実	高齢者を地域で 支える 仕組みの整備	高齢者のための 相談、 支援体制の充実	道路や交通機関、 建物などのバリア フリー化	就労環境の 整備	高齢者の人権について、 市民一人ひとりが 理解と認識を深めること	自己啓発や文化的活動に 参加できる機会の充実	学校教育における高齢者の 人権に関する教育の充実	その他	特 に ない	わ か ら ない	不明・無 回答
全体		895	40.3	38.5	35.0	31.1	28.6	16.2	14.9	8.4	2.5	5.0	3.6	1.7
性別	女性	531	44.3	39.2	35.8	33.5	27.9	16.9	14.5	9.2	2.6	3.8	3.6	1.3
	男性	350	35.1	38.3	33.7	27.4	29.7	15.1	15.1	7.1	2.0	6.9	3.7	2.0
	無回答・その他	14	▼ 21.4	▼ 21.4	35.7	28.6	28.6	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	-	7.1
年代別	10代	13	30.8	46.2	▼ 23.1	30.8	▼ 15.4	15.4	23.1	-	7.7	△ 23.1	7.7	-
	20代	59	33.9	35.6	27.1	39.0	35.6	13.6	23.7	11.9	1.7	1.7	5.1	-
	30代	84	33.3	38.1	▼ 22.6	29.8	29.8	11.9	14.3	8.3	1.2	11.9	7.1	1.2
	40代	112	41.1	38.4	27.7	32.1	33.0	9.8	9.8	8.0	2.7	3.6	6.3	3.6
	50代	170	40.0	40.6	35.3	31.8	37.6	11.2	13.5	4.7	4.1	3.5	3.5	1.2
	60代	185	47.6	36.8	△ 45.9	32.4	29.7	13.5	15.1	8.1	1.6	3.2	1.6	0.5
	70代	178	39.3	39.3	35.4	25.8	23.6	23.6	18.5	9.6	2.2	5.1	2.2	2.2
	80代以上	91	38.5	38.5	36.3	33.0	▼ 11.0	△ 29.7	9.9	11.0	2.2	6.6	2.2	3.3
性年代別	女性 10代	8	37.5	37.5	▼ 12.5	37.5	▼ 12.5	12.5	△ 37.5	-	△ 12.5	△ 25.0	-	-
	20代	35	34.3	45.7	28.6	40.0	△ 40.0	14.3	△ 28.6	17.1	2.9	-	-	-
	30代	52	32.7	42.3	26.9	26.9	30.8	7.7	17.3	5.8	-	7.7	11.5	1.9
	40代	68	50.0	41.2	29.4	△ 44.1	35.3	8.8	8.8	8.8	2.9	1.5	2.9	-
	50代	100	48.0	45.0	40.0	31.0	△ 40.0	10.0	12.0	6.0	3.0	3.0	4.0	1.0
	60代	105	48.6	32.4	△ 45.7	37.1	25.7	16.2	15.2	6.7	1.9	3.8	1.9	1.0
	70代	107	45.8	39.3	34.6	28.0	18.7	△ 26.2	15.9	11.2	3.7	3.7	2.8	0.9
	80代以上	54	37.0	31.5	33.3	31.5	▼ 11.1	△ 33.3	7.4	14.8	1.9	3.7	3.7	5.6
	男性 10代	5	▼ 20.0	△ 60.0	40.0	▼ 20.0	20.0	20.0	-	-	-	△ 20.0	△ 20.0	-
	20代	21	33.3	▼ 23.8	▼ 19.0	38.1	28.6	14.3	9.5	4.8	-	4.8	△ 14.3	-
	30代	31	35.5	32.3	▼ 16.1	35.5	29.0	16.1	9.7	12.9	3.2	△ 19.4	-	-
	40代	41	▼ 29.3	34.1	26.8	▼ 14.6	31.7	9.8	12.2	7.3	2.4	4.9	12.2	7.3
	50代	67	▼ 28.4	34.3	28.4	31.3	34.3	13.4	16.4	3.0	4.5	4.5	3.0	1.5
	60代	80	46.3	42.5	△ 46.3	26.3	35.0	10.0	15.0	10.0	1.3	2.5	1.3	-
	70代	68	30.9	39.7	36.8	22.1	29.4	20.6	22.1	7.4	-	7.4	1.5	4.4
	80代以上	37	40.5	△ 48.6	40.5	35.1	▼ 10.8	24.3	13.5	5.4	2.7	10.8	-	-

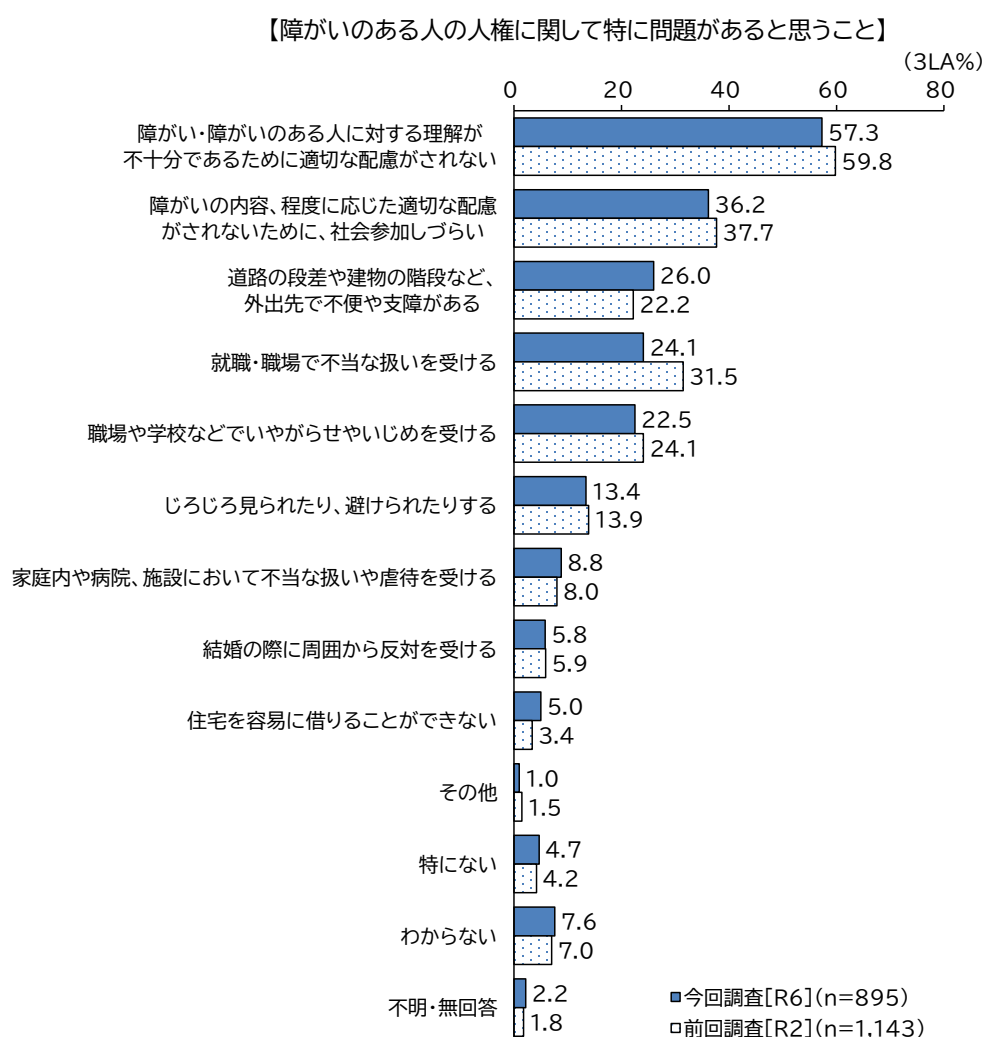
6. 障がいのある人

(1) 問 12 障がいのある人の人権に関して特に問題があると思うこと

問 12 障がいのある人の人権に関する事で、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 障がいのある人の人権に関して特に問題があると思うことについて、「障がい・障がいのある人に対する理解が不十分であるために適切な配慮がされない」が 57.3%で最も多く、次いで「障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないために、社会参加しづらい」が 36.2%、「道路の段差や建物の階段など、外出先で不便や支障がある」が 26.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、「就職・職場で不当な扱いを受ける」が 7.4 ポイント少なく、「道路の段差や建物の階段など、外出先で不便や支障がある」が 3.8 ポイント多くなっている。



○ 性別でみると、女性・男性ともに「障がい・障がいのある人に対する理解が不十分であるために適切な配慮がされない」が最も多くなっている。

○ 年代別でみると、10・20代では「職場や学校などでいやがらせやいじめを受ける」が4割以上とおり、他の年代との差が大きくなっている。また、20代では「じろじろ見られたり、避けられたりする」が2割以上となっている。

○ 性年代別でみると、女性の10代のみ「就職・職場で不当な扱いを受ける」が最も多くなっている。

單位：%

59

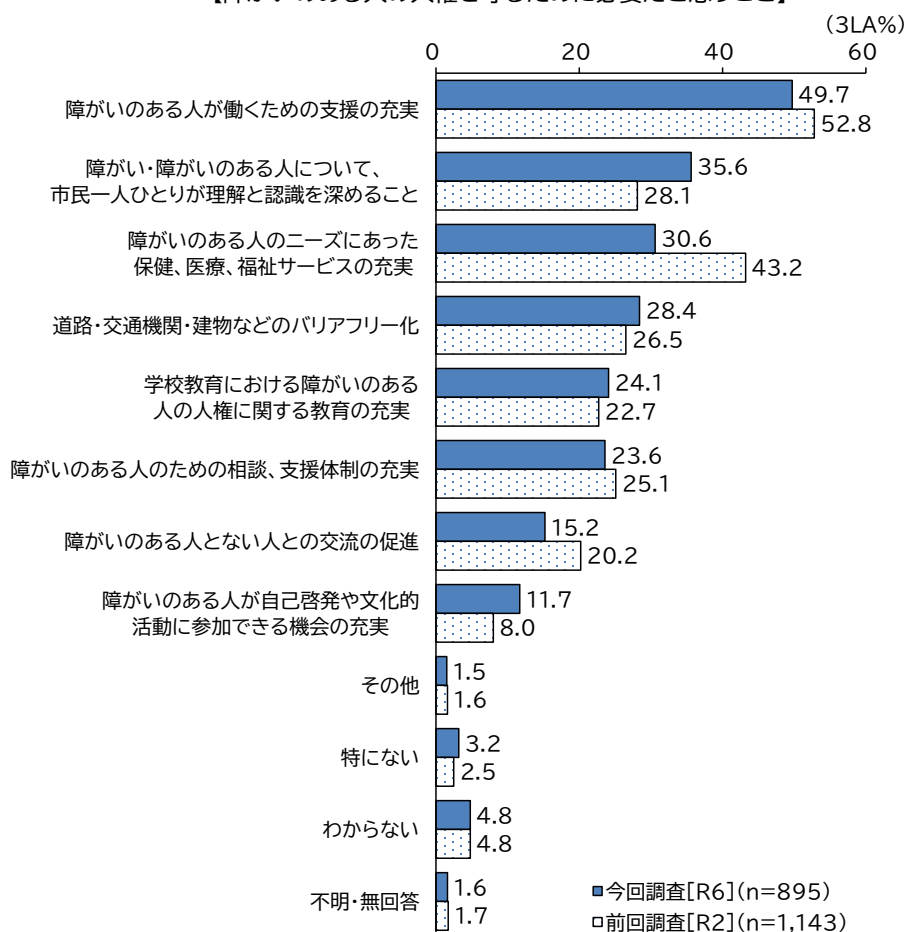
(2)問 13 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うこと

問 13 障がいのある人の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うことについて、「障がいのある人が働くための支援の充実」が 49.7%で最も多く、次いで「障がい・障がいのある人について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること」が 35.6%、「障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実」が 30.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実」が 12.6 ポイント、「障がいのある人となない人との交流の促進」が 5.0 ポイント、「障がいのある人が働くための支援の充実」が 3.1 ポイント少なく、「障がい・障がいのある人について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること」が 7.5 ポイント、「障がいのある人が自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実」が 3.7 ポイント多くなっている。

【障がいのある人の人権を守るために必要だと思うこと】



【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「障がいのある人が働くための支援の充実」が最も多く、女性では 5 割以上となっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10 代は「学校教育における障がいのある人の人権に関する教育の充実」、20 代以上は「障がいのある人が働くための支援の充実」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 10 代は「学校教育における障がいのある人の人権に関する教育の充実」、男性の 10 代は「障がい・障がいのある人について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること」、女性の 20 代以上、男性の 20～70 代は「障がいのある人が働くための支援の充実」、男性の 80 代以上は「障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実」と「道路・交通機関・建物などのバリアフリー化」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	障がいのある人の人権を守るために必要だと思うこと												単位：%		
			働障 くが たい め の あ る 人 が 充 実	理 解 と 認 識 を 深 め る こ と	障 が い の あ る 人 の あ る 人 が に	医 療 ・ 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	障 が い の あ る 人 の あ る 人 が に	道 路 ・ 交 通 機 関 ・ 建 物 な ど	の バ リ ア フ リ ー 化	関 障 が い の あ る 人 の あ る 人 が に	学 校 教 育 に お け る 人 の あ る 人 が に	相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実	障 が い の あ る 人 と の 交 流 の 促 進	障 が い の あ る 人 が に	参 加 で き る 機 会 の 充 実	自 己 啓 発 の あ る 人 の あ る 人 が に	そ の 他
全体		895	49.7	35.6	30.6	28.4	24.1	23.6	15.2	11.7	1.5	3.2	4.8	1.6			
性別	女性	531	51.8	34.3	32.8	28.6	24.5	25.6	15.1	12.4	1.5	2.6	4.0	1.3			
	男性	350	46.9	38.0	27.7	28.0	24.0	21.1	15.7	10.9	1.4	3.4	6.3	1.7			
	無回答・その他	14	42.9	28.6	21.4	28.6	14.3	▼ 7.1	7.1	7.1	-	△ 21.4	-	7.1			
年代別	10代	13	▼ 38.5	38.5	▼ 15.4	▼ 15.4	△ 46.2	15.4	△ 30.8	15.4	-	7.7	7.7	-			
	20代	59	55.9	37.3	23.7	30.5	33.9	20.3	15.3	18.6	1.7	-	5.1	-			
	30代	84	48.8	32.1	29.8	▼ 17.9	28.6	19.0	19.0	7.1	2.4	3.6	8.3	1.2			
	40代	112	43.8	36.6	27.7	27.7	26.8	14.3	14.3	8.0	0.9	1.8	7.1	1.8			
	50代	170	55.3	32.4	30.0	34.1	17.6	28.8	18.2	8.8	1.2	2.9	3.5	1.2			
	60代	185	50.3	35.7	37.3	31.9	22.2	26.5	18.4	11.9	2.2	2.7	1.6	1.1			
	70代	178	50.6	39.9	28.1	24.2	25.3	22.5	10.1	14.6	1.1	4.5	5.1	2.8			
	80代以上	91	44.0	33.0	33.0	29.7	20.9	29.7	8.8	15.4	1.1	4.4	6.6	2.2			
性年代別	女性 10代	8	▼ 37.5	▼ 12.5	25.0	▼ 12.5	△ 50.0	▼ 12.5	△ 37.5	△ 25.0	-	12.5	12.5	-			
	20代	35	57.1	40.0	▼ 20.0	28.6	△ 40.0	17.1	11.4	△ 22.9	2.9	-	2.9	-			
	30代	52	53.8	30.8	28.8	19.2	32.7	21.2	23.1	5.8	1.9	-	5.8	1.9			
	40代	68	48.5	36.8	35.3	32.4	27.9	17.6	11.8	8.8	-	-	4.4	-			
	50代	100	△ 62.0	32.0	33.0	30.0	19.0	33.0	17.0	10.0	1.0	3.0	3.0	1.0			
	60代	105	47.6	31.4	△ 41.9	34.3	20.0	33.3	18.1	10.5	2.9	2.9	1.0	1.9			
	70代	107	49.5	39.3	29.9	28.0	24.3	23.4	9.3	15.9	1.9	4.7	3.7	1.9			
	80代以上	54	48.1	31.5	27.8	22.2	16.7	24.1	13.0	16.7	-	3.7	9.3	1.9			
	男性 10代	5	40.0	△ 80.0	-	20.0	△ 40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-			
	20代	21	52.4	33.3	28.6	28.6	28.6	23.8	19.0	14.3	-	-	9.5	-			
	30代	31	41.9	32.3	32.3	▼ 16.1	22.6	16.1	12.9	9.7	3.2	9.7	12.9	-			
	40代	41	▼ 39.0	36.6	▼ 14.6	22.0	26.8	▼ 9.8	19.5	7.3	2.4	2.4	12.2	2.4			
	50代	67	44.8	32.8	25.4	△ 38.8	16.4	23.9	20.9	7.5	1.5	3.0	4.5	1.5			
	60代	80	53.8	41.3	31.3	28.8	25.0	17.5	18.8	13.8	1.3	2.5	2.5	-			
	70代	68	51.5	42.6	26.5	19.1	25.0	22.1	11.8	11.8	-	2.9	7.4	4.4			
	80代以上	37	▼ 37.8	35.1	40.5	△ 40.5	27.0	△ 37.8	▼ 2.7	13.5	2.7	5.4	2.7	2.7			

7. 外国人

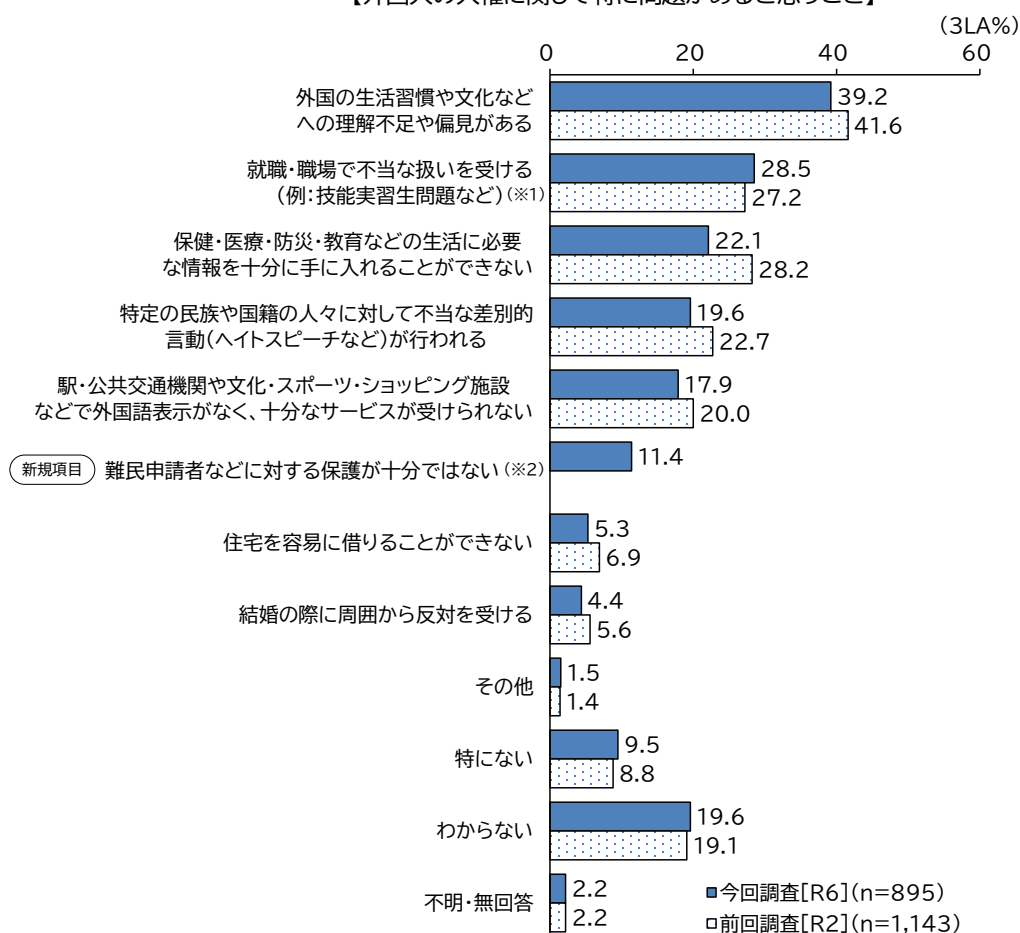
(1) 問 14 外国人の人権に関して特に問題があると思うこと

問 14 外国人の人権に関する事で、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 外国人の人権に関して特に問題があると思うことについて、「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」が 39.2%で最も多く、次いで「就職・職場で不当な扱いを受ける(例:技能実習生問題など)」が 28.5%、「保健・医療・防災・教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない」が 22.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、「保健・医療・防災・教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない」が 6.1 ポイント、「特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動(ヘイトスピーチなど)が行われる」が 3.1 ポイント少なくなっている。

【外国人の人権に関して特に問題があると思うこと】



(※1) 前回調査では、「就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される」としていた。

(※2) 前回調査では、「難民申請者などに対する保護が十分ではない」との回答項目は設定していない。

【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、20代は「就職・職場で不当な扱いを受ける(例:技能実習生問題など)」、10・30～70代は「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」、80代以上は「わからない」が最も多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の10代、男性の60・70代では「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」が5割以上と特に多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 外国人の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

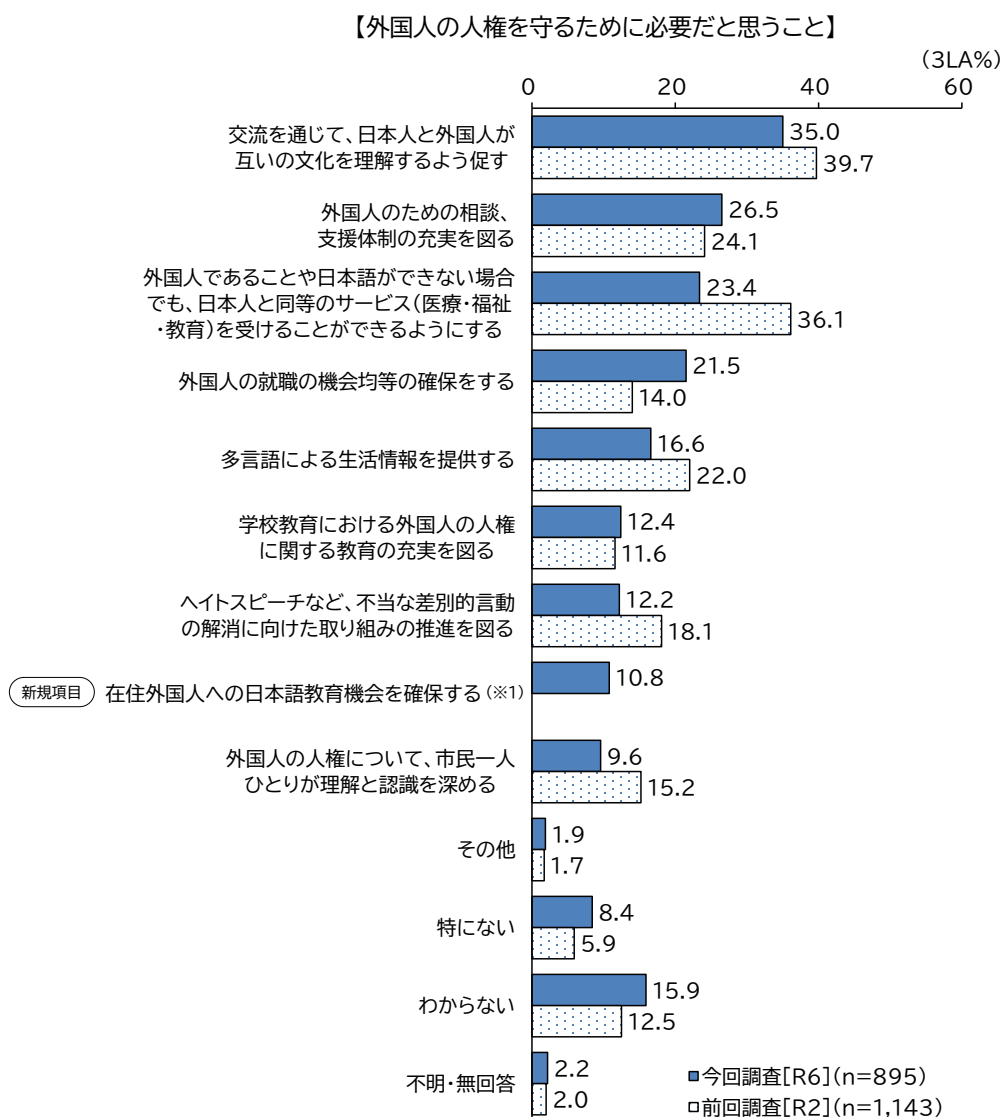
		母数 (n)	外国人の人権に関して特に問題があると思うこと												単位：%
			外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある	就職・職場で不当な扱いを受ける (例：技能実習生問題など)	保健・医療・防災・教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない	特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動 (ヘイトスピーチなど)が行われる	ショッピング施設などで外国語表示がなく、十分なサービスが受けられない	駅・公共交通機関や文化・スポーツ・など、十分なサービスが受けられない	難民申請者などに対する保護が十分ではない	住宅を容易に借りることができない	結婚の際に周囲から反対を受ける	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体		895	39.2	28.5	22.1	19.6	17.9	11.4	5.3	4.4	1.5	9.5	19.6	2.2	
性別	女性	531	37.3	28.8	23.2	16.9	20.3	12.4	5.1	3.6	1.3	7.5	22.0	1.9	
	男性	350	43.1	28.0	20.6	23.1	14.0	9.4	5.4	5.7	1.7	12.3	16.0	2.6	
	無回答・その他	14	▼ 14.3	28.6	21.4	28.6	21.4	△ 21.4	7.1	-	-	14.3	14.3	7.1	
年代別	10代	13	46.2	23.1	15.4	△ 30.8	△ 30.8	15.4	-	7.7	-	15.4	-	-	
	20代	59	40.7	△ 42.4	23.7	18.6	18.6	6.8	11.9	11.9	-	6.8	13.6	-	
	30代	84	35.7	34.5	21.4	25.0	22.6	7.1	6.0	3.6	1.2	9.5	19.0	1.2	
	40代	112	39.3	26.8	17.9	21.4	13.4	10.7	1.8	1.8	2.7	10.7	20.5	3.6	
	50代	170	40.6	28.2	24.7	17.6	18.8	8.8	8.8	5.3	0.6	8.2	17.6	1.8	
	60代	185	45.9	29.2	25.4	23.8	19.5	11.9	3.2	2.7	0.5	11.4	16.8	-	
	70代	178	38.2	27.0	20.8	15.7	16.9	14.6	6.2	3.9	3.4	7.9	20.8	2.8	
	80代以上	91	▼ 27.5	18.7	19.8	13.2	14.3	16.5	1.1	5.5	1.1	11.0	△ 31.9	7.7	
性年代別	女性 10代	8	△ 50.0	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-	-	
	20代	35	40.0	△ 40.0	28.6	11.4	20.0	8.6	11.4	14.3	-	5.7	14.3	-	
	30代	52	▼ 28.8	△ 40.4	28.8	23.1	26.9	9.6	3.8	3.8	-	3.8	23.1	1.9	
	40代	68	45.6	25.0	19.1	19.1	14.7	14.7	2.9	-	1.5	11.8	19.1	-	
	50代	100	42.0	27.0	27.0	17.0	22.0	9.0	8.0	4.0	-	7.0	18.0	2.0	
	60代	105	41.9	32.4	25.7	21.0	22.9	13.3	3.8	1.0	-	8.6	20.0	-	
	70代	107	31.8	27.1	19.6	14.0	19.6	15.0	6.5	2.8	5.6	7.5	23.4	1.9	
	80代以上	54	▼ 25.9	▼ 14.8	16.7	▼ 9.3	14.8	14.8	-	7.4	-	5.6	△ 40.7	9.3	
	男性 10代	5	40.0	20.0	20.0	△ 40.0	△ 40.0	20.0	-	△ 20.0	-	△ 20.0	-	-	
	20代	21	42.9	△ 42.9	14.3	28.6	14.3	-	14.3	9.5	-	9.5	14.3	-	
	30代	31	45.2	25.8	▼ 9.7	25.8	16.1	3.2	6.5	3.2	3.2	19.4	12.9	-	
	40代	41	31.7	29.3	17.1	26.8	12.2	4.9	-	4.9	4.9	7.3	24.4	7.3	
	50代	67	40.3	29.9	20.9	19.4	11.9	7.5	10.4	7.5	1.5	10.4	16.4	1.5	
	60代	80	△ 51.3	25.0	25.0	27.5	15.0	10.0	2.5	5.0	1.3	15.0	12.5	-	
	70代	68	△ 50.0	27.9	22.1	17.6	13.2	13.2	5.9	5.9	-	7.4	16.2	4.4	
	80代以上	37	29.7	24.3	24.3	18.9	13.5	18.9	2.7	2.7	2.7	18.9	18.9	5.4	

(2)問 15 外国人の人権を守るために必要だと思うこと

問 15 外国人の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 外国人の人権を守るために必要だと思うことについて、「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」が35.0%で最も多く、次いで「外国人のための相談、支援体制の充実を図る」が26.5%、「外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療・福祉・教育)を受けることができるようにする」が23.4%となっている。
- 前回調査と比較すると、「外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療・福祉・教育)を受けることができるようにする」が 12.7 ポイント、「ヘイトスピーチなど、不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進を図る」が 5.9 ポイント、「外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が 5.6 ポイント、「多言語による生活情報を提供する」が 5.4 ポイント、「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」が 4.7 ポイント少なく、「外国人の就職の機会均等の確保をする」が 7.5 ポイント、「わからない」が 3.4 ポイント多くなっている。



(※1) 前回調査では、「在住外国人への日本語教育機会を確保する」との回答項目は設定していない。

【性別】

- 性別でみると、「外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療・福祉・教育)を受けることができるようにする」、「学校教育における外国人の人権に関する教育の充実を図る」は、女性と男性で5ポイント以上差がある。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」が最も多く、5割以上となっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、男性の10～70代は「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」が最も多く、男性の80代以上は「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」と「外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療・福祉・教育)を受けることができるようにする」も最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 外国人の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	外国人の人権を守るために必要だと思うこと												
			交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す	外国人のための相談、支援体制の充実を図る	外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス（医療・福祉・教育）を受けることができるようにする	外国人の就職の機会均等の確保をする	多言語による生活情報を提供する	学校教育における外国人の人権に関する教育の充実を図る	解消に向けた取り組みの推進を図る	在住外国人への日本語教育機会を確保する	外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体		895	35.0	26.5	23.4	21.5	16.6	12.4	12.2	10.8	9.6	1.9	8.4	15.9	2.2
性別	女性	531	34.5	26.4	26.0	22.0	17.7	10.0	11.1	10.7	10.5	1.1	7.2	17.5	1.9
	男性	350	36.9	27.4	19.4	20.9	14.9	16.0	13.7	11.1	8.3	2.9	9.7	13.1	2.6
	無回答・その他	14	▼ 7.1	▼ 7.1	21.4	14.3	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	△ 21.4	21.4	7.1
年代別	10代	13	△ 53.8	▼ 7.7	▼ 7.7	23.1	△ 30.8	7.7	15.4	-	7.7	-	△ 23.1	7.7	-
	20代	59	35.6	18.6	27.1	△ 37.3	22.0	16.9	11.9	10.2	1.7	1.7	10.2	11.9	-
	30代	84	34.5	19.0	25.0	25.0	21.4	8.3	13.1	4.8	8.3	4.8	10.7	17.9	1.2
	40代	112	▼ 25.0	25.0	15.2	17.9	14.3	13.4	14.3	10.7	8.0	2.7	9.8	18.8	3.6
	50代	170	34.7	28.2	21.8	18.8	21.2	13.5	11.2	12.9	9.4	2.4	5.3	15.3	2.4
	60代	185	40.0	34.6	23.2	22.7	18.9	11.9	15.1	11.4	9.2	1.1	9.2	10.8	-
	70代	178	38.8	29.8	29.2	19.7	9.0	14.6	9.0	11.8	11.8	1.1	6.2	15.7	3.4
	80代以上	91	27.5	17.6	24.2	18.7	11.0	6.6	9.9	9.9	15.4	1.1	9.9	△ 26.4	4.4
性年代別	女性 10代	8	△ 50.0	-	▼ 12.5	25.0	25.0	-	-	-	-	-	△ 25.0	12.5	-
	20代	35	28.6	25.7	△ 40.0	△ 34.3	22.9	11.4	8.6	8.6	2.9	-	8.6	14.3	-
	30代	52	32.7	19.2	30.8	28.8	△ 28.8	3.8	13.5	5.8	9.6	1.9	3.8	19.2	1.9
	40代	68	26.5	29.4	22.1	16.2	20.6	8.8	11.8	11.8	10.3	1.5	11.8	16.2	-
	50代	100	34.0	27.0	24.0	20.0	22.0	12.0	10.0	13.0	9.0	1.0	7.0	16.0	3.0
	60代	105	40.0	33.3	23.8	25.7	16.2	12.4	19.0	10.5	9.5	1.0	7.6	11.4	-
	70代	107	39.3	29.0	29.0	19.6	10.3	10.3	6.5	12.1	15.0	1.9	5.6	17.8	2.8
	80代以上	54	27.8	▼ 14.8	22.2	16.7	9.3	7.4	7.4	9.3	14.8	-	3.7	△ 35.2	3.7
	男性 10代	5	△ 60.0	20.0	-	20.0	△ 40.0	20.0	△ 40.0	-	△ 20.0	-	△ 20.0	-	-
	20代	21	△ 52.4	▼ 9.5	▼ 4.8	△ 38.1	19.0	△ 23.8	14.3	14.3	-	4.8	9.5	9.5	-
	30代	31	38.7	19.4	16.1	19.4	9.7	16.1	12.9	3.2	3.2	9.7	△ 22.6	16.1	-
	40代	41	▼ 24.4	19.5	▼ 4.9	22.0	▼ 4.9	22.0	19.5	9.8	4.9	4.9	4.9	22.0	7.3
	50代	67	37.3	29.9	17.9	17.9	19.4	16.4	13.4	13.4	10.4	3.0	3.0	13.4	1.5
	60代	80	40.0	36.3	22.5	18.8	22.5	11.3	10.0	12.5	8.8	1.3	11.3	10.0	-
	70代	68	38.2	32.4	29.4	20.6	7.4	20.6	13.2	11.8	7.4	-	5.9	11.8	4.4
	80代以上	37	27.0	21.6	27.0	21.6	13.5	5.4	13.5	10.8	16.2	2.7	△ 18.9	13.5	5.4

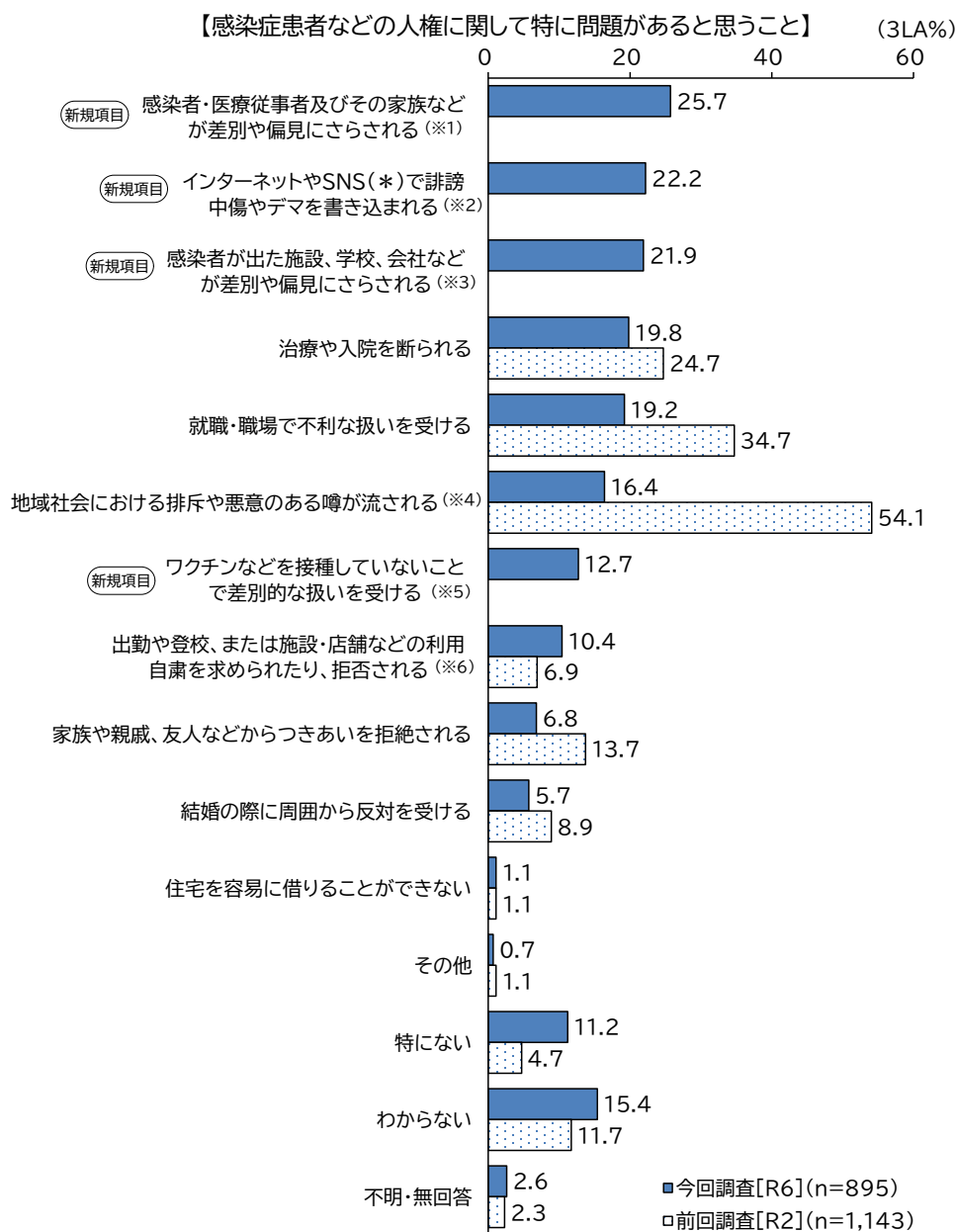
8. 感染症患者など

(1) 問 16 感染症患者などの人権に関して特に問題があると思うこと

問 16 感染症患者などの人権に関する事で、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 感染症患者などの人権に関して特に問題があると思うことについて、「感染者・医療従事者及びその家族などが差別や偏見にさらされる」が 25.7%で最も多く、次いで「インターネットやSNSで誹謗中傷やデマを書き込まれる」が 22.2%、「感染者が出た施設、学校、会社などが差別や偏見にさらされる」が 21.9%となっている。
- 前回調査と比較すると、上位 3 項目はいずれも新規項目となっている。



*SNS: YouTube・LINE・Instagram などインターネット上で他者と繋がることができるサービス

(※1) 前回調査では、「感染者・医療従事者及びその家族などが差別や偏見にさらされる」との回答項目は設定していない。

(※2) 前回調査では、「インターネットやSNSで誹謗中傷やデマを書き込まれる」との回答項目は設定していない。

(※3) 前回調査では、「感染者が出た施設、学校、会社などが差別や偏見にさらされる」との回答項目は設定していない。

(※4) 前回調査では、「悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる」としていた。

(※5) 前回調査では、「ワクチンなどを接種していないことで差別的な扱いを受ける」との回答項目は設定していない。

(※6) 前回調査では、「宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される」としていた。

【性別】

- 性別でみると、女性は「感染者・医療従事者及びその家族などが差別や偏見にさらされる」、男性は「インターネットやSNSで誹謗中傷やデマを書き込まれる」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は「ワクチンなどを摂取していないことで差別的な扱いを受ける」が最も多く、全体より20ポイント以上多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の80代以上と男性の70代は「インターネットやSNSで誹謗中傷やデマを書き込まれる」、男性の20代は「治療や入院を断られる」、男性の30代は「感染者・医療従事者及びその家族などが差別や偏見にさらされる」が、全体より10ポイント以上少なくなっている。

【性別、年代別、性年代別 感染者患者などの人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		母数 (n)	感染症患者などの人権に関して特に問題があると思うこと																単位：%
			差別や偏見にさらされる	感染者・医療従事者及びその家族などが	誹謗中傷やデマを書き込まれる	インターネットやSNSで	感染者が出た施設、学校、会社などが差別や偏見にさらされる	治療や入院を断られる	就職・職場で不利な扱いを受ける	地域社会における排斥や悪意のある噂が流される	ワクチンなどを接種していないことで差別的な扱いを受ける	求職や登校、または施設・店舗などの利用自粛を拒否される	家族や親戚、友人などからつきあいを拒絶される	結婚の際に周囲から反対を受ける	住宅を容易に借りることができない	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	25.7	22.2	21.9	19.8	19.2	16.4	12.7	10.4	6.8	5.7	1.1	0.7	11.2	15.4	2.6		
性別	女性	531	26.9	20.5	22.2	22.2	20.2	16.6	12.8	10.9	6.6	5.1	1.3	0.6	10.2	15.3	2.8		
	男性	350	24.0	25.1	21.1	16.0	17.4	16.0	13.1	9.4	7.4	6.9	0.9	0.6	12.3	16.0	2.0		
	無回答・その他	14	21.4	14.3	28.6	21.4	28.6	21.4	-	14.3	-	-	-	7.1	△21.4	7.1	7.1		
年代別	10代	13	△46.2	▼7.7	15.4	23.1	△38.5	7.7	△46.2	15.4	-	7.7	-	-	15.4	7.7	-		
	20代	59	△37.3	△32.2	18.6	23.7	20.3	15.3	22.0	18.6	13.6	8.5	1.7	-	5.1	11.9	-		
	30代	84	20.2	31.0	22.6	21.4	20.2	13.1	14.3	13.1	11.9	4.8	-	2.4	7.1	17.9	1.2		
	40代	112	24.1	23.2	19.6	17.0	27.7	16.1	17.9	8.9	7.1	3.6	0.9	-	11.6	14.3	2.7		
	50代	170	25.9	26.5	24.7	20.0	21.2	18.2	12.9	8.8	4.7	6.5	1.2	0.6	8.2	11.2	1.8		
	60代	185	30.3	24.3	24.3	21.6	18.9	23.2	13.0	7.0	5.4	5.9	1.6	0.5	9.2	13.0	1.1		
	70代	178	22.5	14.0	21.3	21.3	14.0	14.6	7.3	11.8	5.1	3.9	1.7	1.1	15.2	19.1	3.9		
	80代以上	91	19.8	▼12.1	18.7	12.1	12.1	8.8	3.3	11.0	8.8	8.8	-	-	18.7	△24.2	6.6		
性年代別	女性 10代	8	△37.5	-	12.5	△37.5	25.0	-	△37.5	△25.0	-	-	-	-	△25.0	12.5	-		
	20代	35	△37.1	31.4	17.1	△31.4	22.9	11.4	20.0	20.0	△17.1	11.4	2.9	-	-	14.3	-		
	30代	52	25.0	25.0	28.8	25.0	17.3	13.5	13.5	17.3	13.5	5.8	-	1.9	1.9	21.2	1.9		
	40代	68	29.4	27.9	20.6	17.6	△32.4	16.2	17.6	11.8	7.4	4.4	1.5	-	8.8	11.8	-		
	50代	100	27.0	21.0	24.0	22.0	24.0	20.0	13.0	9.0	5.0	7.0	1.0	1.0	9.0	9.0	2.0		
	60代	105	29.5	20.0	29.5	22.9	20.0	△26.7	14.3	6.7	3.8	3.8	1.9	-	7.6	12.4	1.9		
	70代	107	24.3	15.9	18.7	24.3	15.0	12.1	6.5	10.3	3.7	2.8	1.9	0.9	17.8	17.8	3.7		
	80代以上	54	18.5	▼11.1	13.0	13.0	9.3	9.3	5.6	9.3	7.4	5.6	-	-	16.7	△27.8	9.3		
	男性 10代	5	△60.0	20.0	20.0	-	△60.0	20.0	△60.0	-	-	△20.0	-	-	-	-	-	-	
	20代	21	33.3	△33.3	19.0	▼9.5	14.3	19.0	△28.6	14.3	9.5	4.8	-	-	14.3	9.5	-		
	30代	31	▼12.9	△41.9	12.9	16.1	25.8	12.9	16.1	6.5	9.7	3.2	-	-	16.1	12.9	-		
	40代	41	17.1	14.6	14.6	14.6	19.5	14.6	19.5	4.9	7.3	2.4	-	-	17.1	19.5	4.9		
	50代	67	25.4	△35.8	25.4	16.4	16.4	14.9	13.4	9.0	4.5	6.0	1.5	-	7.5	13.4	1.5		
	60代	80	31.3	30.0	17.5	20.0	17.5	18.8	11.3	7.5	7.5	8.8	1.3	1.3	11.3	13.8	-		
	70代	68	19.1	▼11.8	26.5	17.6	11.8	19.1	8.8	13.2	7.4	5.9	1.5	1.5	8.8	22.1	4.4		
	80代以上	37	21.6	13.5	27.0	10.8	16.2	8.1	-	13.5	10.8	13.5	-	-	△21.6	18.9	2.7		

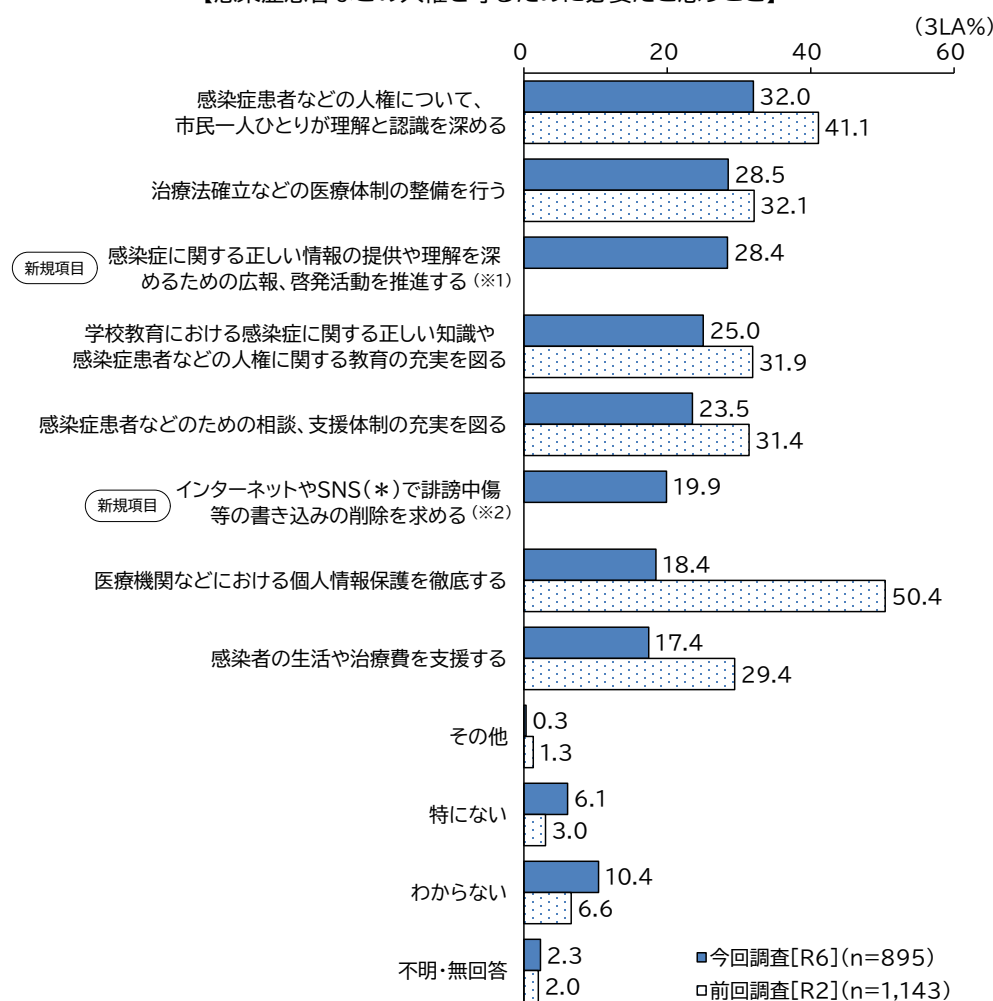
(2)問 17 感染症患者などの人権を守るために必要だと思うこと

問 17 感染症患者などの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

【全体】

- 感染症患者などの人権を守るために必要だと思うことについて、「感染症患者などの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が 32.0%で最も多く、次いで「治療法確立などの医療体制の整備を行う」が 28.5%、「感染症に関する正しい情報の提供や理解を深めるための広報、啓発活動を推進する」が 28.4%となっている。
- 前回調査と比較すると、比較可能な項目はいずれも割合が少なくなっている。

【感染症患者などの人権を守るために必要だと思うこと】



*SNS: YouTube・LINE・Instagram などインターネット上で他者と繋がることができるサービス

(※1) 前回調査では、「感染症に関する正しい情報の提供や理解を深めるための広報、啓発活動を推進する」との回答項目は設定していない。

(※2) 前回調査では、「インターネットやSNSで誹謗中傷等の書き込みの削除を求める」との回答項目は設定していない。

【性別】

- 性別でみると、女性・男性ともに「感染症患者などの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は「感染症に関する正しい情報の提供や理解を深めるための広報、啓発活動を推進する」が最も多く、全体より10ポイント以上多くなっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、「感染症患者などの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」は、最も多い男性の10代と最も少ない男性の30代で47.1ポイント差がある。

【性別、年代別、性年代別 感染症患者などの人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	感染症患者などの人権を守るために必要だと思うこと											
			市民一人ひとりが人権について、理解と認識を深める	治療法確立などの医療体制の整備を行う	啓発活動を推進する	感染症に関する正しい情報の提供や理解を深めるための広報、	正しい知識や感染症患者などの人権に関する教育の充実を図る	学校教育における感染症に関する人権に関する教育の充実を図る	支援体制の充実を図るための相談、	感染者の生活や治療費を支援する	感染者の生活や治療費を支援する	その他	特にない	わからない
全体		895	32.0	28.5	28.4	25.0	23.5	19.9	18.4	17.4	0.3	6.1	10.4	2.3
性別	女性	531	31.8	30.1	28.4	26.6	23.4	20.9	20.3	18.1	0.4	4.5	9.4	2.4
	男性	350	32.9	26.3	28.0	22.6	23.4	18.3	16.3	16.3	0.3	8.6	12.0	2.0
	無回答・その他	14	▼ 14.3	21.4	35.7	28.6	28.6	21.4	-	21.4	-	7.1	7.1	7.1
年代別	10代	13	38.5	▼ 15.4	△ 46.2	30.8	23.1	▼ 7.7	15.4	23.1	-	7.7	7.7	-
	20代	59	35.6	33.9	23.7	28.8	18.6	20.3	27.1	22.0	-	5.1	10.2	-
	30代	84	▼ 19.0	20.2	35.7	29.8	17.9	25.0	20.2	14.3	-	8.3	14.3	1.2
	40代	112	30.4	29.5	18.8	27.7	18.8	28.6	17.9	17.9	0.9	6.3	8.9	3.6
	50代	170	31.8	23.5	28.2	19.4	24.7	26.5	20.6	15.9	0.6	4.1	9.4	1.8
	60代	185	31.9	35.7	31.4	23.2	27.6	21.1	20.0	14.6	-	5.4	8.6	1.6
	70代	178	37.6	27.0	30.9	30.3	22.5	11.8	17.4	23.0	0.6	5.1	8.4	3.9
	80代以上	91	33.0	30.8	24.2	17.6	28.6	▼ 6.6	▼ 7.7	14.3	-	12.1	18.7	2.2
性年代別	女性 10代	8	25.0	▼ 12.5	37.5	25.0	▼ 12.5	-	25.0	△ 37.5	-	12.5	12.5	-
	20代	35	37.1	37.1	22.9	△ 37.1	14.3	22.9	25.7	17.1	-	2.9	11.4	-
	30代	52	23.1	21.2	△ 38.5	34.6	17.3	23.1	17.3	17.3	-	3.8	15.4	1.9
	40代	68	26.5	35.3	▼ 17.6	29.4	22.1	△ 38.2	17.6	19.1	-	5.9	7.4	-
	50代	100	33.0	26.0	29.0	22.0	25.0	25.0	25.0	12.0	1.0	5.0	7.0	2.0
	60代	105	29.5	36.2	33.3	22.9	29.5	21.9	22.9	16.2	-	2.9	7.6	2.9
	70代	107	40.2	27.1	31.8	28.0	19.6	11.2	20.6	23.4	0.9	4.7	6.5	3.7
	80代以上	54	31.5	31.5	18.5	22.2	29.6	▼ 7.4	9.3	20.4	-	5.6	18.5	3.7
	男性 10代	5	△ 60.0	20.0	△ 60.0	△ 40.0	△ 40.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	20代	21	38.1	23.8	28.6	19.0	19.0	14.3	△ 33.3	23.8	-	9.5	9.5	-
	30代	31	▼ 12.9	19.4	29.0	19.4	19.4	29.0	25.8	9.7	-	△ 16.1	12.9	-
	40代	41	36.6	22.0	19.5	26.8	14.6	▼ 9.8	19.5	17.1	2.4	7.3	12.2	7.3
	50代	67	31.3	19.4	26.9	16.4	23.9	△ 29.9	14.9	20.9	-	3.0	11.9	1.5
	60代	80	35.0	35.0	28.8	23.8	25.0	20.0	16.3	12.5	-	8.8	10.0	-
	70代	68	33.8	27.9	27.9	32.4	26.5	13.2	13.2	23.5	-	4.4	11.8	4.4
	80代以上	37	35.1	29.7	32.4	▼ 10.8	27.0	▼ 5.4	▼ 5.4	▼ 5.4	-	△ 21.6	18.9	-

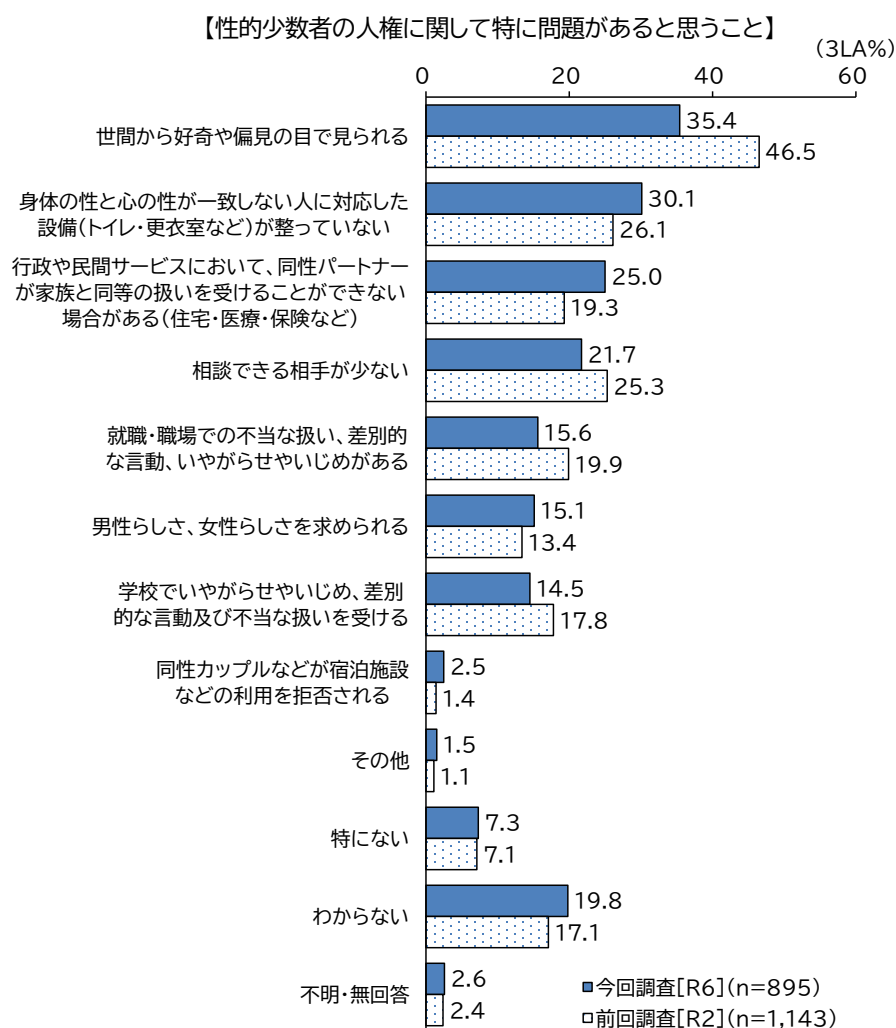
9. 性的指向・性自認

(1) 問 18 性的少数者の人権に関して特に問題があると思うこと

問 18 LGBTQ+などの性的少数者の人権に関する事で、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 性的少数者の人権に関して特に問題があると思うことについて、「世間から好奇や偏見の目で見られる」が 35.4%で最も多く、次いで「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備(トイレ・更衣室など)が整っていない」が 30.1%、「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある(住宅・医療・保険など)」が 25.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、「世間から好奇や偏見の目で見られる」が 11.1 ポイント、「就職・職場での不当な扱い、差別的な言動、いやがらせやいじめがある」が 4.3 ポイント、「相談できる相手が少ない」が 3.6 ポイント、「学校でいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不当な扱いを受ける」が 3.3 ポイント少なく、「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある(住宅・医療・保険など)」が 5.7 ポイント、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備(トイレ・更衣室など)が整っていない」が 4.0 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性・男性は「世間から好奇や偏見の目で見られる」、無回答・その他は「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある（住宅・医療・保険など）」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある（住宅・医療・保険など）」、20代は「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ・更衣室など）が整っていない」30～70代は「世間から好奇や偏見の目で見られる」、80代以上は「わからない」が最も多くなっている。

【性別、年代別 性的少数者の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

			性的少数者の人権に関して特に問題があると思うこと												単位：%
		母数 (n)	世間から 好奇や偏見の目で見られる	身体 の性と心の性が一致しない人に対応した 設備（トイレ・更衣室など）が整っていない	行政や民間サービスにおいて、同性パートナ ーが家族と同等の扱いを受けることができない 場合がある（住宅・医療・保険など）	相談で きる相手が少ない	就職・職 場での不当な扱い、差別的な言動、 いやがらせやいじめがある	男性らしさ、女性らしさを求められる	学校でいやがらせやいじめ、 差別的な言動及び不当な扱いを受ける	同性カ ップルなどの利用を拒否される	その他	特 にな い	わ か ら な い	不 明・無 回 答	
全体		895	35.4	30.1	25.0	21.7	15.6	15.1	14.5	2.5	1.5	7.3	19.8	2.6	
性別	女性	531	33.7	33.0	29.0	23.4	14.1	16.0	13.9	3.0	0.9	5.1	20.2	2.6	
	男性	350	38.6	26.0	18.9	19.4	17.7	14.0	15.4	1.4	1.7	10.6	19.4	2.3	
	無回答・その他	14	▼ 21.4	21.4	28.6	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	△ 14.3	7.1	14.3	7.1	
年代別	10代	13	▼ 15.4	23.1	△ 46.2	30.8	△ 30.8	7.7	△ 30.8	-	-	7.7	15.4	-	
	20代	59	32.2	△ 40.7	27.1	20.3	16.9	△ 32.2	△ 27.1	6.8	1.7	1.7	▼ 8.5	-	
	30代	84	38.1	32.1	29.8	22.6	20.2	21.4	23.8	4.8	2.4	11.9	▼ 8.3	1.2	
	40代	112	39.3	32.1	31.3	25.0	12.5	19.6	19.6	1.8	4.5	7.1	▼ 8.9	2.7	
	50代	170	38.2	32.4	24.7	29.4	15.9	19.4	12.9	2.4	-	6.5	15.9	2.4	
	60代	185	35.7	34.1	27.6	25.9	14.6	11.4	14.1	1.6	1.1	5.9	20.5	1.1	
	70代	178	34.8	25.3	20.2	14.0	18.5	9.6	9.6	2.2	1.7	5.6	27.5	3.9	
	80代以上	91	28.6	▼ 16.5	▼ 13.2	▼ 8.8	8.8	▼ 4.4	▼ 3.3	1.1	-	13.2	△ 41.8	6.6	

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性は最も多いものにばらつきがあり、男性は「世間から好奇や偏見の目で見られる」に偏っている。
- 女性・男性ともに 80 代以上は「わからない」が最も多く、全体より 10 ポイント以上多くなっている。

【性年代別 性的少数者の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		母数 (n)	性的少数者の人権に関して特に問題があると思うこと												
			世間から好奇や偏見の目で見られる	身体 の性 と心 の性 が一 致し ない 人 に 対 応 し た 設 備 (ト イ レ ・ 更 衣 室 な ど) が 整 つ て い な い	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある(住宅・医療・保険など)	相談できる相手が少ない	就職・職場での不当な扱い、差別的な言動、いやがらせやいじめがある	男性らしさ、女性らしさを求められる	差別的な言動及び不当な扱いを受ける	学校でいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不当な扱いを受ける	同性カッパルなどの利用を拒否される	宿泊施設などの利用を拒否される	その他	特 に な い	わ か ら な い
全体		895	35.4	30.1	25.0	21.7	15.6	15.1	14.5	2.5	1.5	7.3	19.8	2.6	
性 年 代 別	女性 10代	8	▼ 12.5	25.0	△ 50.0	12.5	25.0	12.5	△ 25.0	-	-	12.5	12.5	-	
	20代	35	28.6	△ 48.6	34.3	17.1	14.3	△ 31.4	22.9	11.4	-	-	▼ 5.7	-	
	30代	52	42.3	36.5	△ 36.5	25.0	21.2	25.0	23.1	5.8	-	3.8	▼ 9.6	1.9	
	40代	68	△ 45.6	38.2	△ 39.7	27.9	10.3	19.1	20.6	1.5	4.4	4.4	▼ 5.9	-	
	50代	100	35.0	35.0	26.0	△ 37.0	16.0	19.0	12.0	4.0	-	6.0	16.0	3.0	
	60代	105	29.5	36.2	32.4	25.7	15.2	14.3	12.4	1.9	-	5.7	18.1	1.9	
	70代	107	31.8	29.0	21.5	14.0	14.0	9.3	11.2	1.9	1.9	4.7	△ 30.8	2.8	
	80代以上	54	25.9	▼ 11.1	▼ 14.8	▼ 11.1	▼ 5.6	5.6	▼ 1.9	-	-	7.4	△ 48.1	9.3	
	男性 10代	5	▼ 20.0	▼ 20.0	△ 40.0	△ 60.0	△ 40.0	-	△ 40.0	-	-	-	20.0	-	
	20代	21	42.9	28.6	▼ 9.5	28.6	14.3	△ 38.1	△ 28.6	-	-	4.8	14.3	-	
	30代	31	32.3	25.8	19.4	19.4	19.4	16.1	△ 25.8	3.2	3.2	△ 25.8	▼ 6.5	-	
	40代	41	29.3	24.4	19.5	17.1	17.1	22.0	19.5	-	4.9	12.2	14.6	4.9	
	50代	67	43.3	26.9	22.4	19.4	16.4	19.4	14.9	-	-	7.5	16.4	1.5	
	60代	80	43.8	31.3	21.3	26.3	13.8	7.5	16.3	1.3	2.5	6.3	23.8	-	
	70代	68	39.7	20.6	17.6	14.7	25.0	10.3	7.4	2.9	1.5	7.4	20.6	5.9	
	80代以上	37	32.4	24.3	▼ 10.8	▼ 5.4	13.5	▼ 2.7	5.4	2.7	-	△ 21.6	△ 32.4	2.7	

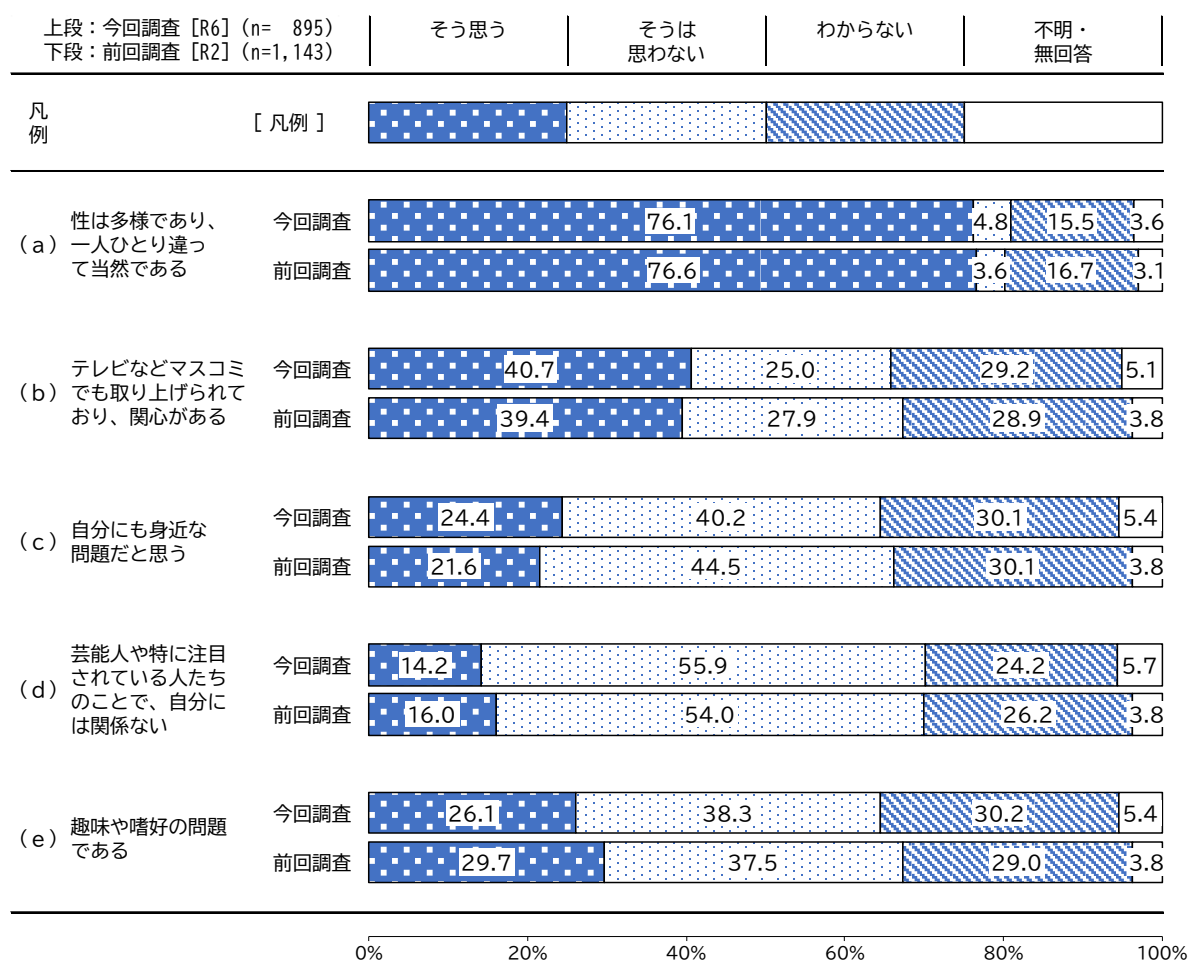
(2)問 19 性的少数者についての考え

問 19 あなたは、LGBTQ+などの性的少数者について、どのような考えをお持ちですか。
(それぞれに○を1つ)

【全体】

- 性的少数者についての考えについて、「そう思う」の割合が最も多いものは「(a)性は多様であり、一人ひとり違って当然である」(76.1%)、割合が最も少ないものは「(d)芸能人や特に注目されている人たちのことで、自分には関係ない」(14.2%)となっている。
- 前回調査と比較すると、「(c)自分にも身近な問題だと思う」は、「そうは思わない」が 4.3 ポイント少なく、「そう思う」がやや多くなっている。「(e)趣味や嗜好の問題である」は、「そう思う」が 3.6 ポイント少なくなっている。

【性的少数者についての考え(経年比較)】



■ (a)性は多様であり、一人ひとり違って当然である

- 性別でみると、女性は「そう思う」が男性より 10.0 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、20・40 代は「そう思う」が全体より約 10 ポイント多くなっている。70 代以上は「わからない」が 2 割以上となっている。
- 性年代別でみると、女性の 10～50 代は「そう思う」が約 9 割と多くなっている。

■ (b)テレビなどマスコミでも取り上げられており、関心がある

- 性別でみると、女性は「そう思う」が男性より 9.5 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、10～40 代は「そう思う」が 5 割以上となっている。
- 性年代別でみると、女性の 10～40 代では「そう思う」が約 6～8 割を占めているが、男性の 20～70 代では「そう思う」が 3 割台となっている。

【性別、年代別、性年代別 性的少数者についての考え】

単位：％

		母数 (n)	(a) 性は多様であり、一人ひとり違って当然である				(b) テレビなどマスコミでも取り上げられており、関心がある			
			そう思う	思わない	わからない	無回答・	そう思う	思わない	わからない	無回答・
全体		895	76.1	4.8	15.5	3.6	40.7	25.0	29.2	5.1
性別	女性	531	80.0	3.4	13.0	3.6	44.4	20.9	29.4	5.3
	男性	350	70.0	7.1	19.4	3.4	34.9	32.0	28.3	4.9
	無回答・その他	14	78.6	-	14.3	7.1	42.9	▼ 7.1	△ 42.9	7.1
年代別	10代	13	84.6	-	15.4	-	△ 76.9	15.4	▼ 7.7	-
	20代	59	△ 89.8	3.4	6.8	-	△ 50.8	18.6	30.5	-
	30代	84	79.8	8.3	10.7	1.2	△ 56.0	23.8	▼ 19.0	1.2
	40代	112	△ 87.5	5.4	▼ 4.5	2.7	50.0	24.1	23.2	2.7
	50代	170	80.6	4.7	12.4	2.4	37.6	28.2	32.4	1.8
	60代	185	79.5	3.8	15.1	1.6	38.9	29.2	29.2	2.7
	70代	178	66.3	5.1	23.0	5.6	34.8	25.3	30.9	9.0
	80代以上	91	▼ 51.6	4.4	△ 31.9	12.1	▼ 23.1	18.7	38.5	19.8
性年代別	女性 10代	8	△ 87.5	-	12.5	-	△ 75.0	▼ 12.5	▼ 12.5	-
	20代	35	△ 91.4	5.7	▼ 2.9	-	△ 62.9	▼ 14.3	22.9	-
	30代	52	△ 92.3	3.8	▼ 1.9	1.9	△ 67.3	19.2	▼ 11.5	1.9
	40代	68	△ 92.6	4.4	▼ 2.9	-	△ 58.8	22.1	▼ 19.1	-
	50代	100	△ 88.0	2.0	8.0	2.0	38.0	26.0	34.0	2.0
	60代	105	84.8	1.0	11.4	2.9	41.9	21.0	33.3	3.8
	70代	107	67.3	4.7	23.4	4.7	36.4	22.4	33.6	7.5
	80代以上	54	▼ 44.4	5.6	△ 35.2	14.8	▼ 20.4	▼ 14.8	△ 40.7	24.1
	男性 10代	5	80.0	-	20.0	-	△ 80.0	20.0	-	-
	20代	21	85.7	-	14.3	-	33.3	23.8	△ 42.9	-
	30代	31	▼ 58.1	△ 16.1	△ 25.8	-	35.5	32.3	32.3	-
	40代	41	80.5	7.3	7.3	4.9	36.6	29.3	29.3	4.9
	50代	67	68.7	9.0	19.4	3.0	37.3	32.8	28.4	1.5
	60代	80	72.5	7.5	20.0	-	35.0	△ 40.0	23.8	1.3
	70代	68	66.2	5.9	20.6	7.4	32.4	30.9	25.0	11.8
	80代以上	37	▼ 62.2	2.7	△ 27.0	8.1	▼ 27.0	24.3	35.1	13.5

■ (c)自分にも身近な問題だと思う

- 性別でみると、女性は「そう思う」が男性より 9.8 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、20・30・40 代は「そう思う」が、それぞれ 55.9%、46.4%、38.4%と多くなっている。60・70 代は「そうは思わない」が約 5 割を占め、80 代以上は「わからない」が 40.7%と多くなっている。
- 性年代別でみると、女性の 20・30 代は「そう思う」がそれぞれ 65.7%、57.7%と多くなっている。男性の 60・70 代では「そうは思わない」がそれぞれ 61.3%、52.9%と多くなっている。

■ (d)芸能人や特に注目されている人たちのことで、自分には関係ない

- 性別でみると、女性は「そうは思わない」が男性より 9.3 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、10～40 代では「そうは思わない」が 7 割以上となっている。
- 性年代別でみると、女性の 30・40 代と男性の 10 代は「そうは思わない」が約 8 割と多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 性的少数者についての考え】

単位：%

		母数 (n)	(c) 自分にも身近な問題だと思う				(d) 芸能人や特に注目されている人たちのことで、自分には関係ない			
			そう 思う	思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答 ・ 不 明	そう 思う	思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答 ・ 不 明
全体		895	24.4	40.2	30.1	5.4	14.2	55.9	24.2	5.7
性別	女性	531	28.1	36.2	30.7	5.1	13.0	59.3	22.2	5.5
	男性	350	18.3	47.4	28.6	5.7	16.6	50.0	27.4	6.0
	無回答・その他	14	△ 35.7	▼ 14.3	△ 42.9	7.1	-	△ 71.4	21.4	7.1
年代別	10代	13	△ 61.5	▼ 15.4	23.1	-	23.1	△ 76.9	-	-
	20代	59	△ 55.9	▼ 18.6	25.4	-	6.8	△ 71.2	22.0	-
	30代	84	△ 46.4	32.1	20.2	1.2	9.5	△ 72.6	16.7	1.2
	40代	112	△ 38.4	34.8	24.1	2.7	8.0	△ 74.1	15.2	2.7
	50代	170	25.9	40.0	31.8	2.4	11.8	61.2	24.7	2.4
	60代	185	15.7	△ 51.4	29.7	3.2	16.2	54.6	24.3	4.9
	70代	178	▼ 8.4	48.9	33.7	9.0	20.2	▼ 41.6	29.8	8.4
	80代以上	91	▼ 7.7	31.9	△ 40.7	19.8	18.7	▼ 24.2	△ 36.3	20.9
性年代別	女性 10代	8	△ 50.0	▼ 25.0	25.0	-	△ 25.0	△ 75.0	-	-
	20代	35	△ 65.7	▼ 11.4	22.9	-	5.7	△ 74.3	20.0	-
	30代	52	△ 57.7	▼ 23.1	▼ 17.3	1.9	▼ 3.8	△ 82.7	▼ 11.5	1.9
	40代	68	△ 44.1	▼ 29.4	26.5	-	8.8	△ 79.4	▼ 11.8	-
	50代	100	27.0	38.0	33.0	2.0	11.0	63.0	24.0	2.0
	60代	105	19.0	43.8	32.4	4.8	14.3	55.2	23.8	6.7
	70代	107	▼ 10.3	47.7	34.6	7.5	19.6	46.7	27.1	6.5
	80代以上	54	▼ 7.4	33.3	38.9	20.4	18.5	▼ 24.1	△ 35.2	22.2
	男性 10代	5	△ 80.0	-	▼ 20.0	-	20.0	△ 80.0	-	-
	20代	21	△ 38.1	33.3	28.6	-	9.5	△ 66.7	23.8	-
	30代	31	25.8	48.4	25.8	-	19.4	54.8	25.8	-
	40代	41	31.7	43.9	▼ 19.5	4.9	7.3	△ 65.9	22.0	4.9
	50代	67	22.4	44.8	29.9	3.0	13.4	56.7	26.9	3.0
	60代	80	▼ 11.3	△ 61.3	26.3	1.3	18.8	53.8	25.0	2.5
	70代	68	▼ 5.9	△ 52.9	29.4	11.8	22.1	▼ 33.8	32.4	11.8
	80代以上	37	▼ 8.1	▼ 29.7	△ 43.2	18.9	18.9	▼ 24.3	△ 37.8	18.9

■ (e)趣味や嗜好の問題である

- 性別でみると、女性は「そうは思わない」が男性より 5.9 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、10・20・40 代では「そうは思わない」が約 5 割以上となっている。70 代以上では「わからない」が約 4 割となっている。
- 性年代別でみると、女性の 10～40 代では「そうは思わない」が 5 割以上となっている。男性の 20～40・60 代では「そう思う」が 3 割以上と最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 性的少数者についての考え】

単位：％

		母数 母数 (n)	(e) 趣味や嗜好の問題である			
			そう 思う	思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 明 答
全体		895	26.1	38.3	30.2	5.4
性別	女性	531	25.8	40.5	28.6	5.1
	男性	350	27.4	34.6	32.3	5.7
	無回答・その他	14	▼ 7.1	△ 50.0	35.7	7.1
年代別	10代	13	23.1	△ 61.5	▼ 15.4	-
	20代	59	32.2	47.5	20.3	-
	30代	84	29.8	45.2	23.8	1.2
	40代	112	27.7	48.2	21.4	2.7
	50代	170	24.1	40.6	32.9	2.4
	60代	185	30.8	37.3	28.1	3.8
	70代	178	22.5	32.6	37.1	7.9
	80代以上	91	19.8	▼ 18.7	△ 40.7	20.9
性年代別	女性 10代	8	25.0	△ 50.0	25.0	-
	20代	35	25.7	△ 57.1	▼ 17.1	-
	30代	52	23.1	△ 51.9	23.1	1.9
	40代	68	22.1	△ 57.4	20.6	-
	50代	100	28.0	41.0	29.0	2.0
	60代	105	28.6	41.9	24.8	4.8
	70代	107	26.2	29.9	38.3	5.6
	80代以上	54	24.1	▼ 13.0	38.9	24.1
	男性 10代	5	20.0	△ 80.0	-	-
	20代	21	△ 47.6	28.6	23.8	-
	30代	31	△ 41.9	32.3	25.8	-
	40代	41	△ 36.6	36.6	22.0	4.9
	50代	67	19.4	38.8	38.8	3.0
	60代	80	33.8	31.3	32.5	2.5
	70代	68	17.6	36.8	33.8	11.8
	80代以上	37	▼ 13.5	▼ 27.0	△ 43.2	16.2

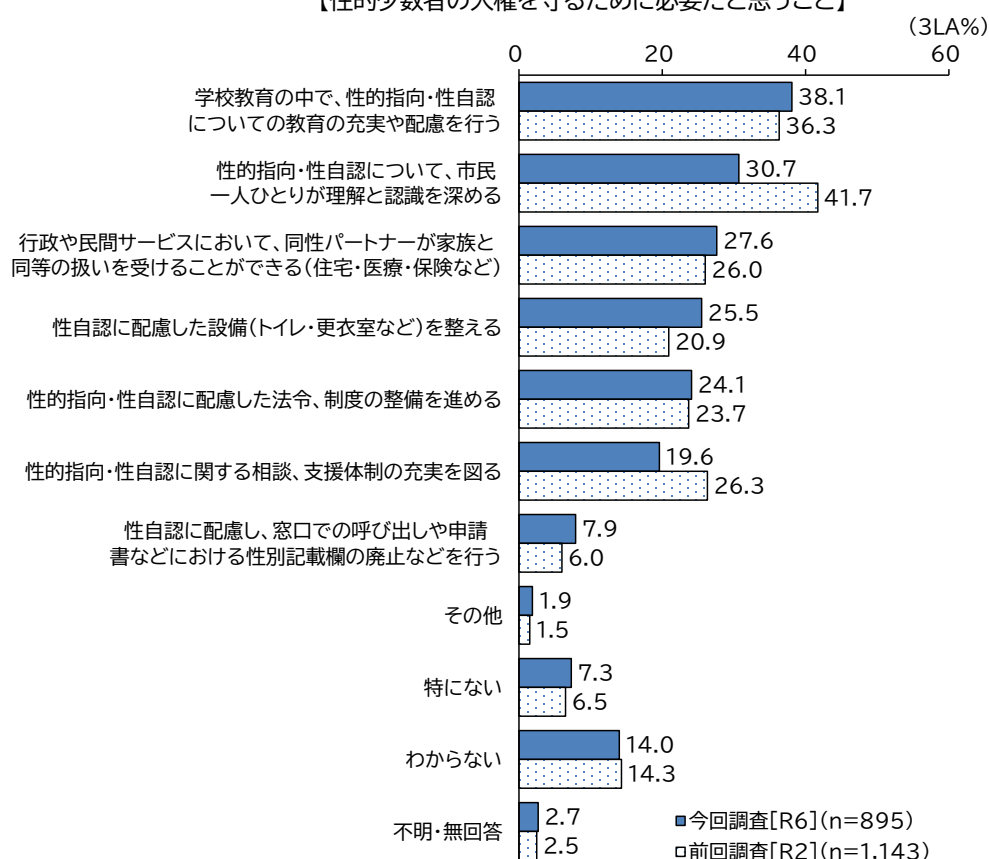
(3)問 20 性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと

問 20 LGBTQ+などの性的少数者の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 性的少数者の人権を守るために必要だと思うことについて、「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」が 38.1%で最も多く、次いで「性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が 30.7%、「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができる(住宅・医療・保険など)」が 27.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が 11.0 ポイント、「性的指向・性自認に関する相談、支援体制の充実を図る」が 6.7 ポイント少なく、「性自認に配慮した設備(トイレ・更衣室など)を整える」が 4.6 ポイント多くなっている。

【性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと】



【性別】

- 性別でみると、女性は男性よりも「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができる（住宅・医療・保険など）」「性自認に配慮した設備（トイレ・更衣室など）を整える」「性的指向・性自認に配慮した法令、制度の整備を進める」「性自認に配慮し、窓口での呼び出しや申請書などにおける性別記載欄の廃止などを行う」が多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができる（住宅・医療・保険など）」、20～60代は「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」、70代は「性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」、80代以上は「わからない」が最も多くなっている。

【性別、年代別 性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと										
			学校教育の中で、性的指向・性自認について	性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができる（住宅・医療・保険など）	性自認に配慮した設備（トイレ・更衣室など）を整える	性的指向・性自認に配慮した法令、制度の整備を進める	性的指向・性自認に関する相談、支援体制の充実を図る	性自認に配慮し、窓口での呼び出しや申請書などにおける性別記載欄の廃止などを行う	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	38.1	30.7	27.6	25.5	24.1	19.6	7.9	1.9	7.3	14.0	2.7
性別	女性	531	40.5	29.0	31.5	28.6	26.6	18.6	8.3	0.9	4.9	13.4	2.4
	男性	350	34.9	33.7	21.4	20.6	20.6	21.7	7.1	3.1	10.9	14.6	2.9
無回答・その他		14	28.6	21.4	35.7	28.6	21.4	-	14.3	7.1	7.1	21.4	7.1
年代別	10代	13	38.5	▼ 15.4	△ 53.8	23.1	△ 38.5	15.4	7.7	-	7.7	15.4	-
	20代	59	△ 49.2	27.1	37.3	△ 37.3	28.8	25.4	5.1	5.1	1.7	5.1	-
	30代	84	△ 56.0	29.8	27.4	27.4	23.8	16.7	10.7	4.8	10.7	4.8	1.2
	40代	112	42.0	31.3	32.1	32.1	18.8	23.2	4.5	2.7	9.8	8.9	3.6
	50代	170	38.8	31.2	25.3	28.8	31.2	21.2	12.4	1.8	4.7	10.0	3.5
	60代	185	37.8	33.0	31.4	27.6	27.6	22.7	9.2	0.5	5.9	13.0	-
	70代	178	29.8	34.3	25.8	16.3	21.3	17.4	6.2	1.7	7.9	18.0	2.2
	80代以上	91	▼ 24.2	23.1	▼ 11.0	▼ 15.4	▼ 12.1	9.9	4.4	-	11.0	△ 35.2	9.9

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 20～60 代は、「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができる(住宅・医療・保険など)」が約 3～5 割、「性自認に配慮した設備(トイレ・更衣室など)を整える」が約 3～4 割と多くなっている。また、女性の 30 代は「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」が 63.5%と特に多くなっている。女性の 80 代以上は「わからない」が 40.7%で最も多くなっている。
- 男性の 30 代は「特にない」、80 代以上は「わからない」が 2 割を超え、他の年代に比べて多くなっている。

【性年代別 性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと										
			学校教育の中で、性的指向・性自認について	性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができる（住宅・医療・保険など）	性自認に配慮した設備（トイレ・更衣室など）を整える	性的指向・性自認に配慮した法令、制度の整備を進める	性的指向・性自認に関する相談、支援体制の充実を図る	性自認に配慮し、窓口での呼び出しや申請書などにおける性別記載欄の廃止などを行う	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体		895	38.1	30.7	27.6	25.5	24.1	19.6	7.9	1.9	7.3	14.0	2.7
性年代別	女性 10代	8	▼ 25.0	▼ 12.5	△ 62.5	25.0	△ 37.5	-	-	-	12.5	12.5	-
	20代	35	△ 51.4	22.9	△ 48.6	△ 42.9	△ 34.3	25.7	5.7	8.6	-	-	-
	30代	52	△ 63.5	30.8	34.6	34.6	28.8	11.5	11.5	-	3.8	5.8	1.9
	40代	68	45.6	32.4	△ 39.7	△ 36.8	23.5	29.4	7.4	1.5	5.9	4.4	1.5
	50代	100	42.0	33.0	28.0	32.0	△ 35.0	19.0	9.0	-	2.0	11.0	4.0
	60代	105	40.0	28.6	34.3	31.4	27.6	21.0	12.4	-	3.8	10.5	-
	70代	107	31.8	31.8	28.0	16.8	22.4	15.9	6.5	0.9	7.5	17.8	1.9
	80代以上	54	▼ 22.2	▼ 18.5	▼ 9.3	▼ 14.8	▼ 13.0	11.1	3.7	-	9.3	△ 40.7	9.3
	男性 10代	5	△ 60.0	▼ 20.0	△ 40.0	20.0	△ 40.0	△ 40.0	△ 20.0	-	-	20.0	-
	20代	21	47.6	38.1	▼ 14.3	23.8	14.3	28.6	4.8	-	4.8	14.3	-
	30代	31	45.2	25.8	▼ 16.1	16.1	16.1	25.8	9.7	9.7	△ 22.6	▼ 3.2	-
	40代	41	39.0	31.7	22.0	26.8	▼ 12.2	14.6	-	4.9	14.6	14.6	4.9
	50代	67	34.3	28.4	20.9	22.4	26.9	25.4	14.9	4.5	9.0	9.0	3.0
	60代	80	35.0	38.8	27.5	22.5	27.5	25.0	5.0	1.3	8.8	16.3	-
70代	68	▼ 26.5	39.7	22.1	16.2	19.1	20.6	5.9	2.9	8.8	16.2	2.9	
80代以上	37	▼ 27.0	29.7	▼ 13.5	16.2	▼ 10.8	▼ 8.1	5.4	-	13.5	△ 27.0	10.8	

(4)問 21 「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度

新規設問

問 21 あなたは、「高知市パートナーシップ登録制度」を知っていますか。(○は1つ)

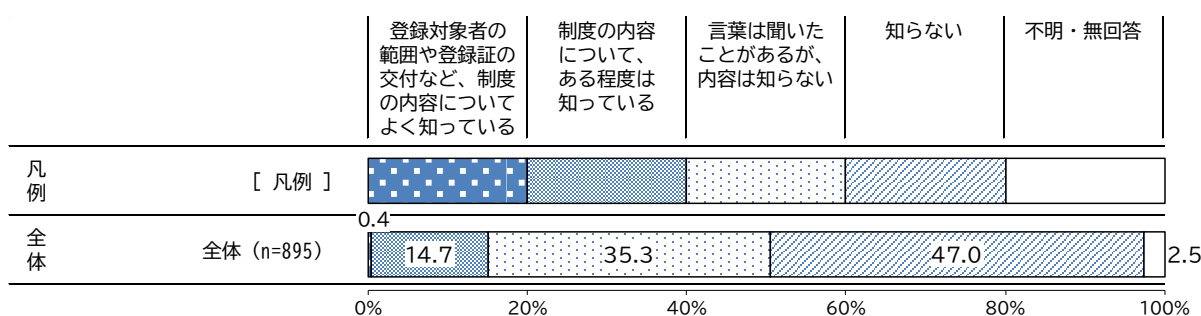
【全体】

- 「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度について、「登録対象者の範囲や登録証の交付など、制度の内容についてよく知っている」、「制度の内容について、ある程度は知っている」を合わせた“知っている”は 15.1%、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」も合わせると 50.4%が“言葉は聞いたことがある”となっている。

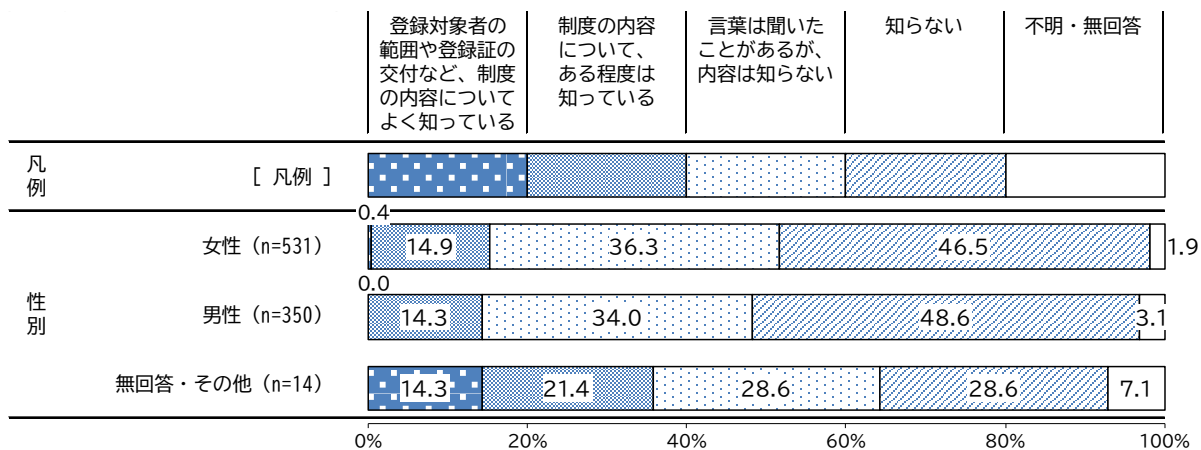
【性別】

- 性別でみると、女性は男性よりも“知っている”が 1 ポイント多くなっている。無回答・その他は“知っている”が 35.7%となっている。

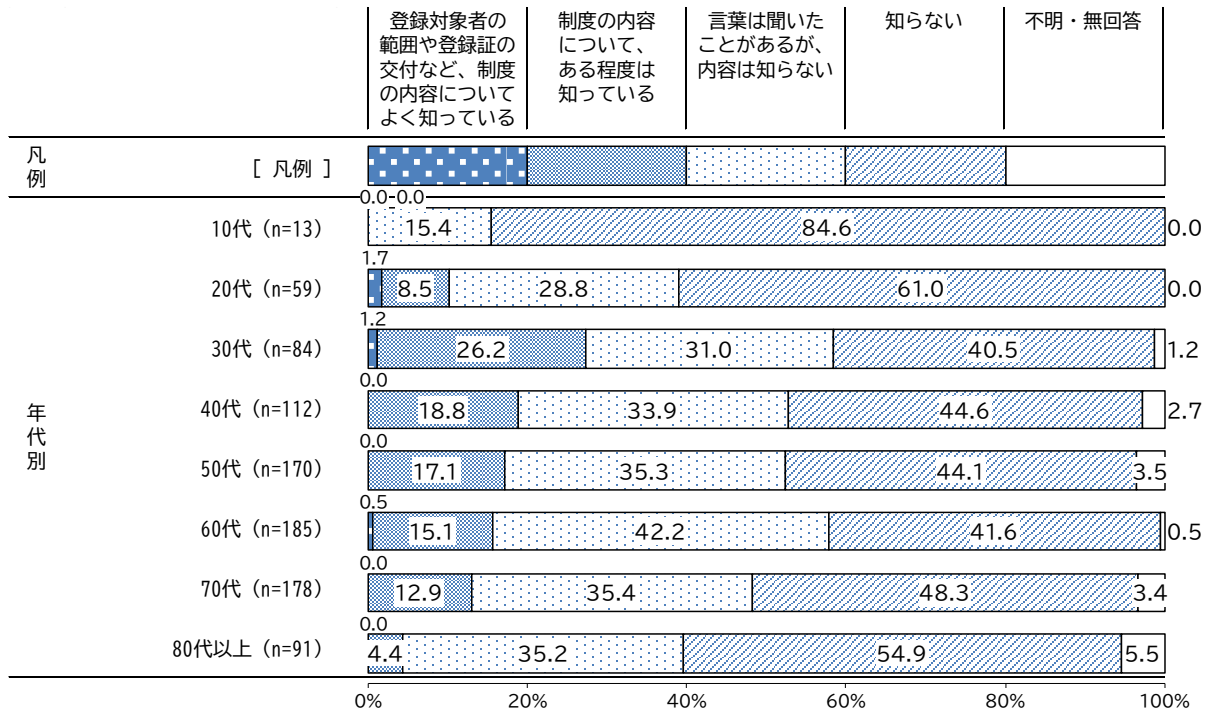
【「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度】



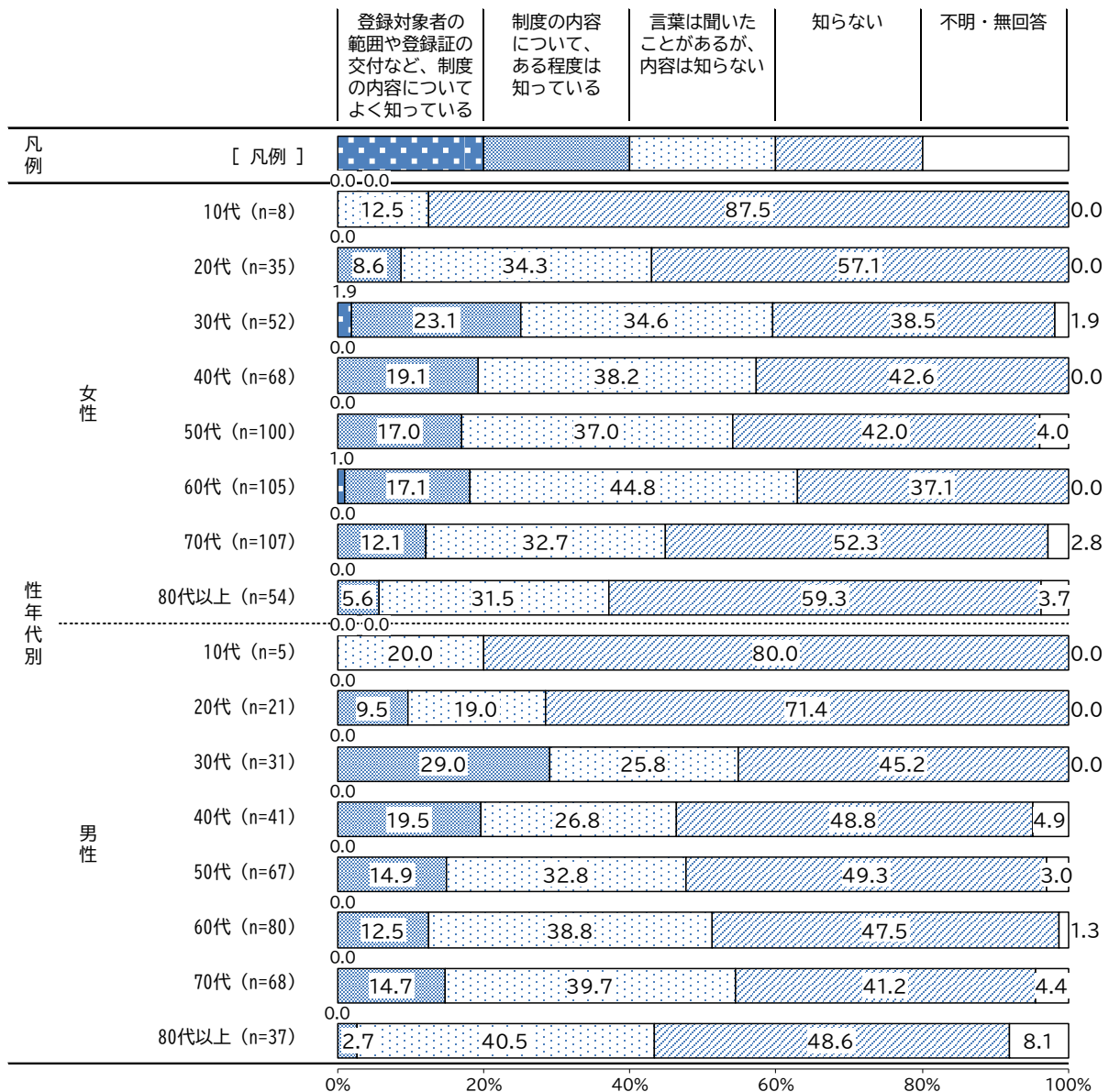
【性別「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度】



【年代別「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度】



【性年代別「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度】



【年代別】

- 年代別でみると、「制度の内容について、ある程度は知っている」は30代が最も多く、40代以上では、年代が上がるほど少なくなる傾向にある。10・20・80代以上では「知らない」が5割以上となっている。

【性年代別】

- 性年代別でみると、30代は「制度の内容について、ある程度は知っている」が女性で23.1%、男性で29.0%となっており、他の年代に比べて多くなっている。女性の10代、男性の10・20代は「知らない」が7割以上となっている。

【性別、年代別、性年代別「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度】

単位：％

		母数 ☒ (n)	「高知市パートナーシップ登録制度」の認知度				
			つ交登 いてな よく、 知っ てい る内 容に 登録 の	あ制 る度 の程 度は 知っ てい る	内言 容は 知聞 いた こと があ るが、	知 ら な い	不 明・ 無回 答
全体		895	0.4	14.7	35.3	47.0	2.5
性別	女性	531	0.4	14.9	36.3	46.5	1.9
	男性	350	-	14.3	34.0	48.6	3.1
	無回答・その他	14	△ 14.3	21.4	28.6	▼ 28.6	7.1
年代別	10代	13	-	-	▼ 15.4	△ 84.6	-
	20代	59	1.7	8.5	28.8	△ 61.0	-
	30代	84	1.2	△ 26.2	31.0	40.5	1.2
	40代	112	-	18.8	33.9	44.6	2.7
	50代	170	-	17.1	35.3	44.1	3.5
	60代	185	0.5	15.1	42.2	41.6	0.5
	70代	178	-	12.9	35.4	48.3	3.4
	80代以上	91	-	▼ 4.4	35.2	54.9	5.5
性年代別	女性 10代	8	-	-	▼ 12.5	△ 87.5	-
	20代	35	-	8.6	34.3	△ 57.1	-
	30代	52	1.9	23.1	34.6	38.5	1.9
	40代	68	-	19.1	38.2	42.6	-
	50代	100	-	17.0	37.0	42.0	4.0
	60代	105	1.0	17.1	44.8	37.1	-
	70代	107	-	12.1	32.7	52.3	2.8
	80代以上	54	-	5.6	31.5	△ 59.3	3.7
	男性 10代	5	-	-	▼ 20.0	△ 80.0	-
	20代	21	-	9.5	▼ 19.0	△ 71.4	-
	30代	31	-	△ 29.0	25.8	45.2	-
	40代	41	-	19.5	26.8	48.8	4.9
	50代	67	-	14.9	32.8	49.3	3.0
	60代	80	-	12.5	38.8	47.5	1.3
	70代	68	-	14.7	39.7	41.2	4.4
	80代以上	37	-	▼ 2.7	40.5	48.6	8.1

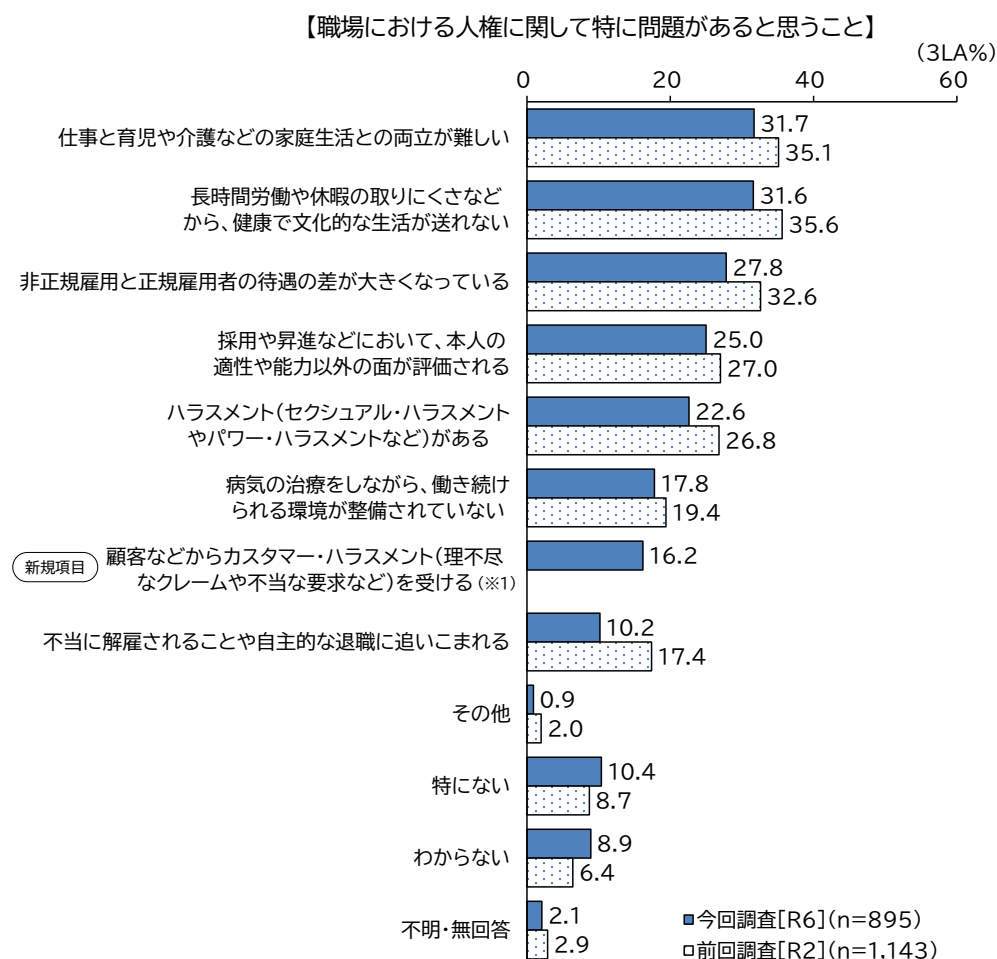
10. 働く人々の人権

(1) 問 22 職場における人権に関して特に問題があると思うこと

問 22 職場における人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 職場における人権に関して特に問題があると思うことについて、「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」が 31.7%で最も多く、次いで「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」が 31.6%、「非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている」が 27.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、「不当に解雇されることや自主的な退職に追いこまれる」が 7.2 ポイント、「非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている」が 4.8 ポイント、「ハラスメント(セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなど)がある」が 4.2 ポイント、「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」が 4.0 ポイント、「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」が 3.4 ポイント少なくなっている。



(※1) 前回調査では、「顧客などからカスタマー・ハラスメント(理不尽なクレームや不当な要求など)を受ける」との回答項目は設定していない。

【性別】

- 性別でみると、女性は「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」、男性は「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」、「非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている」が、最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10・30～50代は「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」、60代以上は「非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている」が最も多くなっている。20代は「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」と「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」も最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 職場における人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		職場における人権に関して特に問題があると思うこと															単位：%
		母数 (n)	家事生活と育児や介護などの両立が難しい	健康で文化的な生活が送れない	長時間労働や休暇の取りにくさなどから、	非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている	本人以外の面が評価される	採用や昇進などにおいて、能力以上の適性や	パワハラ・セクハラ・ハラスメントなどがある	ハラスメント（理不尽なクレームや不当な要求など）を受ける環境が、	病気の治療をしながら、働き続けられる環境が	顧客などからカスタマー・ハラスメント（理不尽なクレームや不当な要求など）を受ける	自主的な退職に追い込まれる	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	31.7	31.6	27.8	25.0	22.6	17.8	16.2	10.2	0.9	10.4	8.9	2.1			
性別	女性	531	33.1	34.3	27.7	23.2	22.0	20.5	17.1	10.0	0.9	8.5	7.9	2.3			
	男性	350	28.9	28.0	28.9	27.7	22.9	13.1	14.6	10.9	0.9	13.1	10.6	1.7			
	無回答・その他	14	△ 50.0	▼ 21.4	▼ 7.1	28.6	△ 35.7	△ 28.6	21.4	-	-	14.3	7.1	7.1			
年代別	10代	13	△ 46.2	△ 53.8	▼ 15.4	15.4	23.1	23.1	23.1	△ 23.1	△ 15.4	-	15.4	-			
	20代	59	△ 50.8	△ 50.8	▼ 13.6	△ 39.0	△ 33.9	8.5	△ 32.2	10.2	1.7	1.7	-	-			
	30代	84	△ 42.9	△ 50.0	19.0	32.1	26.2	19.0	△ 27.4	4.8	-	8.3	3.6	2.4			
	40代	112	35.7	△ 42.9	▼ 15.2	21.4	25.0	21.4	19.6	8.0	0.9	9.8	6.3	1.8			
	50代	170	31.8	35.9	24.7	30.6	26.5	14.7	20.0	8.8	1.2	10.6	1.8	1.2			
	60代	185	30.3	26.5	31.4	25.4	23.2	18.4	15.7	10.8	-	14.1	5.9	1.1			
	70代	178	23.0	▼ 19.1	△ 44.4	19.7	19.1	19.7	▼ 6.2	13.5	1.1	8.4	16.3	3.4			
	80代以上	91	23.1	▼ 13.2	29.7	15.4	▼ 7.7	18.7	▼ 3.3	11.0	-	15.4	△ 27.5	4.4			

【性年代別】

- 性年代別でみると、「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」は年代が上がるほど少なくなる傾向にある。

【性年代別 職場における人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

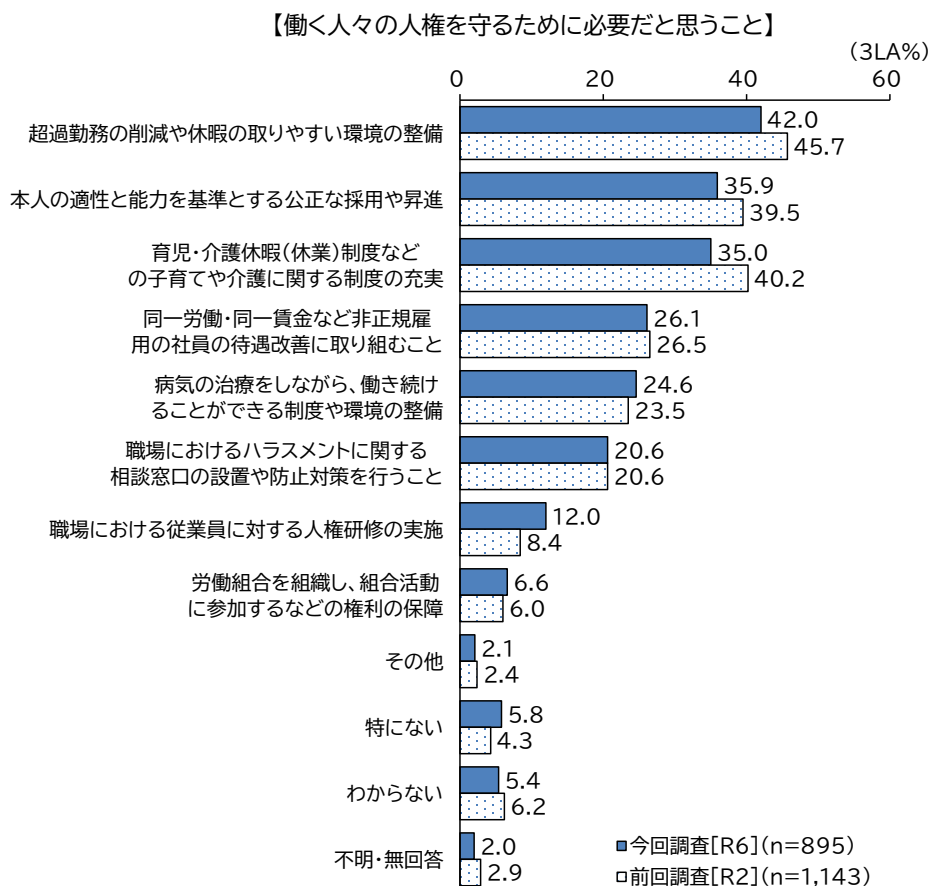
		母数 (n)	職場における人権に関して特に問題があると思うこと														
			仕事と生活との両立が難しい	健康で文化的な生活が送れない	長時間労働や休暇の取りにくさなどから、	非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている	能力以外の面が評価される	採用や昇進などにおいて、本人の適性や面が評価される	ハラスメント（セク・ハラスメントなど）がある	働き続けられない環境が整備されていない	病気の治療をしながら、	顧客などからカスタマー・ハラスメント（理不尽なクレームや不当な要求など）を受ける	自主的な退職に追い込まれる	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	31.7	31.6	27.8	25.0	22.6	17.8	16.2	10.2	0.9	10.4	8.9	2.1			
性年代別	女性 10代	8	25.0	△ 50.0	▼ 12.5	25.0	25.0	△ 37.5	12.5	△ 25.0	-	-	△ 25.0	-			
	20代	35	△ 54.3	△ 54.3	▼ 8.6	△ 37.1	31.4	8.6	△ 42.9	11.4	2.9	-	-	-			
	30代	52	△ 51.9	△ 50.0	23.1	28.8	25.0	19.2	△ 32.7	1.9	-	5.8	1.9	3.8			
	40代	68	36.8	△ 47.1	22.1	22.1	23.5	25.0	16.2	7.4	1.5	5.9	4.4	-			
	50代	100	30.0	39.0	24.0	32.0	23.0	20.0	22.0	8.0	1.0	8.0	-	2.0			
	60代	105	33.3	30.5	29.5	23.8	24.8	23.8	17.1	10.5	-	11.4	4.8	1.0			
	70代	107	25.2	22.4	△ 42.1	▼ 15.0	19.6	19.6	▼ 5.6	14.0	1.9	9.3	14.0	2.8			
	80代以上	54	▼ 20.4	▼ 11.1	29.6	▼ 9.3	▼ 9.3	18.5	-	13.0	-	14.8	△ 29.6	5.6			
	男性 10代	5	△ 80.0	△ 60.0	20.0	-	20.0	-	△ 40.0	20.0	△ 40.0	-	-	-	-		
	20代	21	△ 42.9	△ 52.4	23.8	33.3	△ 33.3	▼ 4.8	14.3	9.5	-	4.8	-	-	-		
	30代	31	25.8	△ 48.4	▼ 12.9	△ 38.7	25.8	19.4	19.4	9.7	-	12.9	6.5	-			
	40代	41	34.1	36.6	▼ 4.9	22.0	26.8	12.2	24.4	9.8	-	17.1	9.8	2.4			
	50代	67	32.8	31.3	25.4	29.9	31.3	▼ 7.5	16.4	10.4	1.5	14.9	4.5	-			
	60代	80	26.3	▼ 21.3	33.8	27.5	21.3	11.3	13.8	11.3	-	17.5	7.5	1.3			
	70代	68	▼ 19.1	▼ 14.7	△ 50.0	26.5	19.1	19.1	7.4	13.2	-	5.9	△ 19.1	4.4			
	80代以上	37	27.0	▼ 16.2	29.7	24.3	▼ 5.4	18.9	8.1	8.1	-	16.2	△ 24.3	2.7			

(2)問 23 働く人々の人権を守るために必要だと思うこと

問 23 働く人々の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 働く人々の人権を守るために必要だと思うことについて、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」が 42.0%で最も多く、次いで「本人の適性と能力を基準とする公正な採用や昇進」が 35.9%、「育児・介護休暇(休業)制度などの子育てや介護に関する制度の充実」が 35.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、「育児・介護休暇(休業)制度などの子育てや介護に関する制度の充実」が 5.2 ポイント、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」が 3.7 ポイント、「本人の適性と能力を基準とする公正な採用や昇進」が 3.6 ポイント少なく、「職場における従業員に対する人権研修の実施」が 3.6 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性は男性よりも「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」「本人の適性と能力を基準とする公正な採用や昇進」「育児・介護休暇(休業)制度などの子育てや介護に関する制度の充実」「病気の治療をしながら、働き続けることができる制度や環境の整備」が多く、男性は女性よりも「同一労働・同一賃金など非正規雇用の社員の待遇改善に取り組むこと」「職場におけるハラスメントに関する相談窓口の設置や防止対策を行うこと」「職場における従業員に対する人権研修の実施」「労働組合を組織し、組合活動に参加するなどの権利の保障」が多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」は年代が上がるほど割合が少なくなる傾向がみられる。

【性別、年代別 働く人々の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		働く人々の人権を守るために必要だと思うこと												単位：％	
		母数 (n)	超過勤務の削減や 休暇の取りやすい環境の整備	本人の適性と能力を基準とする 公正な採用や昇進	育児・介護休暇（休業）制度などの 子育てや介護に関する制度の充実	非正規雇用の社員などの 待遇改善に取り組むこと	同一労働・同一賃金など の制度や環境の整備	病気の治療をしながら、 働き続けることができる	職場におけるハラスメントに 関する相談窓口の設置や 防止対策を行うこと	職場における従業員に対する 人権研修の実施	労働組合を組織し、組合活動に 参加するなどの権利の保障	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体		895	42.0	35.9	35.0	26.1	24.6	20.6	12.0	6.6	2.1	5.8	5.4	2.0	
性別	女性	531	45.0	37.3	36.7	25.6	26.7	17.9	10.7	4.5	2.3	4.1	6.2	2.3	
	男性	350	38.3	34.0	32.0	27.4	20.3	24.9	14.0	9.7	2.0	8.0	4.0	1.4	
	無回答・その他	14	▼ 21.4	28.6	42.9	▼ 14.3	△ 50.0	14.3	7.1	7.1	-	14.3	7.1	7.1	
年代別	10代	13	△ 69.2	▼ 23.1	△ 69.2	▼ 15.4	30.8	15.4	-	△ 23.1	7.7	-	△ 15.4	-	
	20代	59	△ 66.1	40.7	42.4	▼ 13.6	16.9	23.7	13.6	5.1	1.7	1.7	-	-	
	30代	84	△ 54.8	39.3	△ 45.2	▼ 11.9	22.6	16.7	14.3	8.3	4.8	3.6	2.4	2.4	
	40代	112	46.4	33.9	37.5	18.8	30.4	22.3	8.0	7.1	3.6	2.7	6.3	1.8	
	50代	170	43.5	33.5	31.2	20.0	24.7	29.4	10.0	8.2	2.4	5.9	1.2	1.2	
	60代	185	38.4	36.2	41.1	34.1	24.9	20.5	14.1	3.8	1.1	6.5	3.2	0.5	
	70代	178	36.0	39.9	26.4	△ 39.3	23.0	17.4	13.5	6.2	1.7	7.9	6.2	3.4	
	80代以上	91	▼ 22.0	30.8	25.3	28.6	25.3	11.0	11.0	6.6	-	9.9	△ 19.8	4.4	

【性年代別】

- 性年代別でみると、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」は、女性・男性とも 10～30 代が全体より 10 ポイント以上多くなっている。

【性年代別 働く人々の人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	働く人々の人権を守るために必要だと思うこと												
			超過勤務の削減や 休暇の取りやすい環境の整備	本人の適性と能力を基準とする 公正な採用や昇進	育児・介護休暇（休業）制度などの 子育てや介護に関する制度の充実	非正規雇用・同一賃金など 待遇改善に取り組むこと	病気の治療をしながら、 働き続けることができる 制度や環境の整備	職場におけるハラスメントに 防止対策を行うこと	職場における従業員の 人権研修の実施	労働組合を組織し、組合活動に 参加するなどの権利の保障	その他	特 に ない	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体		895	42.0	35.9	35.0	26.1	24.6	20.6	12.0	6.6	2.1	5.8	5.4	2.0	
性 年 代 別	女性 10代	8	△ 62.5	▼ 25.0	△ 62.5	▼ 12.5	△ 37.5	-	-	△ 25.0	-	-	△ 25.0	-	
	20代	35	△ 77.1	40.0	40.0	▼ 14.3	17.1	25.7	11.4	5.7	2.9	-	-	-	
	30代	52	△ 55.8	34.6	△ 51.9	▼ 13.5	21.2	17.3	13.5	3.8	3.8	1.9	3.8	3.8	
	40代	68	51.5	42.6	41.2	20.6	33.8	17.6	7.4	5.9	4.4	1.5	4.4	-	
	50代	100	50.0	40.0	28.0	24.0	26.0	23.0	9.0	5.0	2.0	5.0	-	2.0	
	60代	105	43.8	33.3	△ 48.6	29.5	31.4	17.1	12.4	2.9	1.0	1.9	4.8	1.0	
	70代	107	36.4	40.2	28.0	△ 38.3	25.2	16.8	11.2	4.7	2.8	8.4	6.5	2.8	
	80代以上	54	▼ 14.8	31.5	▼ 22.2	24.1	24.1	11.1	11.1	1.9	-	7.4	△ 25.9	5.6	
	男性 10代	5	△ 80.0	▼ 20.0	△ 80.0	20.0	20.0	△ 40.0	-	△ 20.0	△ 20.0	-	-	-	-
	20代	21	△ 52.4	33.3	42.9	▼ 14.3	▼ 9.5	19.0	19.0	4.8	-	4.8	-	-	-
	30代	31	△ 54.8	△ 48.4	35.5	▼ 9.7	25.8	16.1	12.9	16.1	6.5	6.5	-	-	-
	40代	41	41.5	▼ 22.0	31.7	▼ 14.6	22.0	△ 31.7	9.8	7.3	2.4	4.9	9.8	2.4	-
	50代	67	34.3	▼ 25.4	34.3	▼ 13.4	22.4	△ 38.8	11.9	13.4	3.0	7.5	1.5	-	-
	60代	80	▼ 31.3	40.0	31.3	△ 40.0	16.3	25.0	16.3	5.0	1.3	12.5	1.3	-	-
	70代	68	36.8	39.7	▼ 23.5	△ 42.6	19.1	19.1	17.6	8.8	-	4.4	5.9	4.4	-
	80代以上	37	32.4	29.7	29.7	35.1	27.0	10.8	10.8	13.5	-	13.5	10.8	2.7	-

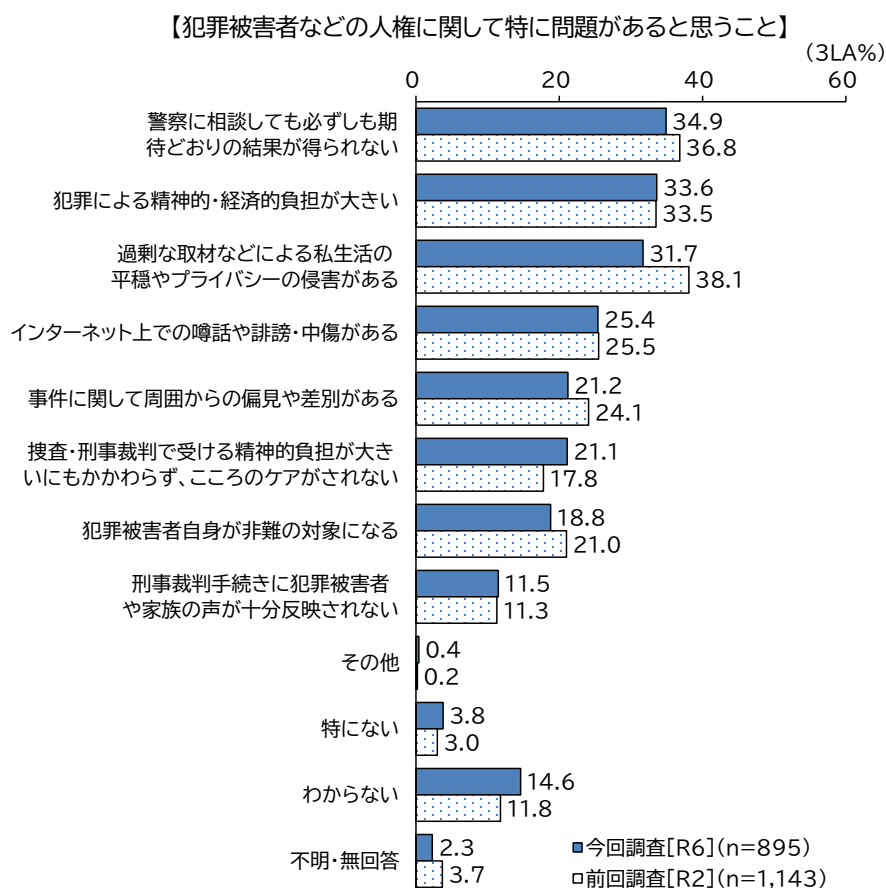
11. 犯罪被害者など

(1) 問 24 犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うこと

問 24 犯罪被害者などの人権に関する事で、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)

【全体】

- 犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うことについて、「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」が 34.9%で最も多く、次いで「犯罪による精神的・経済的負担が大きい」が 33.6%、「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」が 31.7%となっている。
- 前回調査と比較すると、「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」が 6.4 ポイント少なく、「捜査・刑事裁判で受ける精神的負担が大きいにもかかわらず、こころのケアがされない」が 3.3 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性は「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」、男性は「犯罪による精神的・経済的負担が大きい」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10～30・50代は「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」、40・60代は「犯罪による精神的・経済的負担が大きい」、70代は「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」、80代以上は「わからない」が最も多くなっている。

【性別、年代別 犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		母数 (n)	犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うこと											
			警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない	犯罪による精神的・経済的負担が大きい	過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある	誹謗・中傷がある	事件や差別が周囲からの偏見として残る	捜査・刑事裁判で受ける精神的負担が大きい	犯罪被害者自身が非難の対象になる	家族の裁判手続きに犯罪被害者や家族の被害が十分に反映されない	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体		895	34.9	33.6	31.7	25.4	21.2	21.1	18.8	11.5	0.4	3.8	14.6	2.3
性別	女性	531	36.2	33.3	33.1	26.6	20.7	21.8	19.4	10.9	0.2	2.4	13.9	2.4
	男性	350	32.9	34.3	30.3	23.4	22.3	20.0	17.4	12.9	0.9	5.4	15.7	2.0
	無回答・その他	14	35.7	28.6	▼ 14.3	28.6	14.3	21.4	28.6	-	-	△ 14.3	14.3	7.1
年代別	10代	13	△ 53.8	30.8	38.5	15.4	23.1	15.4	△ 38.5	15.4	-	-	15.4	-
	20代	59	△ 52.5	39.0	△ 47.5	20.3	15.3	27.1	16.9	11.9	-	1.7	5.1	-
	30代	84	41.7	31.0	29.8	33.3	23.8	23.8	22.6	14.3	-	1.2	10.7	1.2
	40代	112	33.0	△ 44.6	33.9	24.1	20.5	17.9	16.1	11.6	0.9	5.4	11.6	2.7
	50代	170	43.5	37.6	30.6	31.2	25.9	24.1	23.5	13.5	-	1.2	9.4	1.8
	60代	185	31.4	38.4	33.5	30.3	24.9	21.6	15.7	13.5	1.6	4.3	11.4	0.5
	70代	178	27.0	24.7	30.3	19.1	18.0	19.7	20.2	7.3	-	3.4	22.5	5.1
	80代以上	91	▼ 24.2	▼ 19.8	▼ 20.9	16.5	14.3	16.5	11.0	8.8	-	9.9	△ 29.7	3.3

【性年代別】

- 性年代別でみると、男性の 10 代は「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」、「犯罪被害者自身が非難の対象になる」が 80.0%と最も多く、他の年代に比べて 30 ポイント以上多くなっている
- 女性・男性ともに「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」は、10～50 代の方が 60 代以上より割合が多い傾向にある。

【性年代別 犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		母数 (n)	犯罪被害者などの人権に関して特に問題があると思うこと											
			警察に相談しても必ずしも得られない	犯罪による精神的・経済的負担が大きい	過剰な取材などによる私生活の平穏なプライバシーの侵害がある	誹謗・中傷がある	インターネット上での噂話や	事件に関して周囲からの偏見や差別がある	捜査・刑事裁判で受ける精神的負担が大きいにもかかわらず、このケアがされない	犯罪被害者自身が非難の対象になる	家族の裁判手続きに犯罪被害者や	その他	特にない	わからない
全体		895	34.9	33.6	31.7	25.4	21.2	21.1	18.8	11.5	0.4	3.8	14.6	2.3
性年代別	女性 10代	8	37.5	△ 50.0	25.0	-	12.5	25.0	12.5	△ 25.0	-	-	△ 25.0	-
	20代	35	△ 51.4	40.0	△ 51.4	28.6	17.1	△ 34.3	14.3	14.3	-	-	-	-
	30代	52	36.5	30.8	30.8	34.6	23.1	23.1	17.3	19.2	-	-	9.6	1.9
	40代	68	38.2	△ 48.5	39.7	30.9	22.1	17.6	16.2	10.3	-	4.4	8.8	-
	50代	100	△ 45.0	37.0	30.0	30.0	31.0	23.0	28.0	11.0	-	1.0	9.0	2.0
	60代	105	34.3	38.1	33.3	32.4	21.0	22.9	17.1	11.4	1.0	2.9	9.5	1.0
	70代	107	28.0	▼ 21.5	32.7	19.6	14.0	18.7	23.4	6.5	-	3.7	22.4	5.6
	80代以上	54	27.8	▼ 16.7	22.2	▼ 13.0	14.8	20.4	9.3	7.4	-	3.7	△ 33.3	3.7
	男性 10代	5	△ 80.0	-	△ 60.0	△ 40.0	△ 40.0	-	△ 80.0	-	-	-	-	-
	20代	21	△ 47.6	28.6	△ 47.6	▼ 9.5	14.3	▼ 9.5	19.0	9.5	-	4.8	14.3	-
	30代	31	△ 48.4	32.3	29.0	32.3	25.8	22.6	△ 29.0	6.5	-	3.2	12.9	-
	40代	41	26.8	41.5	26.8	▼ 12.2	19.5	19.5	14.6	14.6	2.4	4.9	17.1	4.9
	50代	67	43.3	40.3	29.9	31.3	16.4	26.9	17.9	17.9	-	1.5	9.0	1.5
	60代	80	27.5	38.8	33.8	27.5	30.0	20.0	13.8	16.3	2.5	6.3	13.8	-
	70代	68	25.0	29.4	27.9	17.6	25.0	22.1	14.7	8.8	-	2.9	22.1	4.4
	80代以上	37	▼ 18.9	24.3	▼ 18.9	21.6	13.5	▼ 10.8	13.5	10.8	-	△ 18.9	24.3	2.7

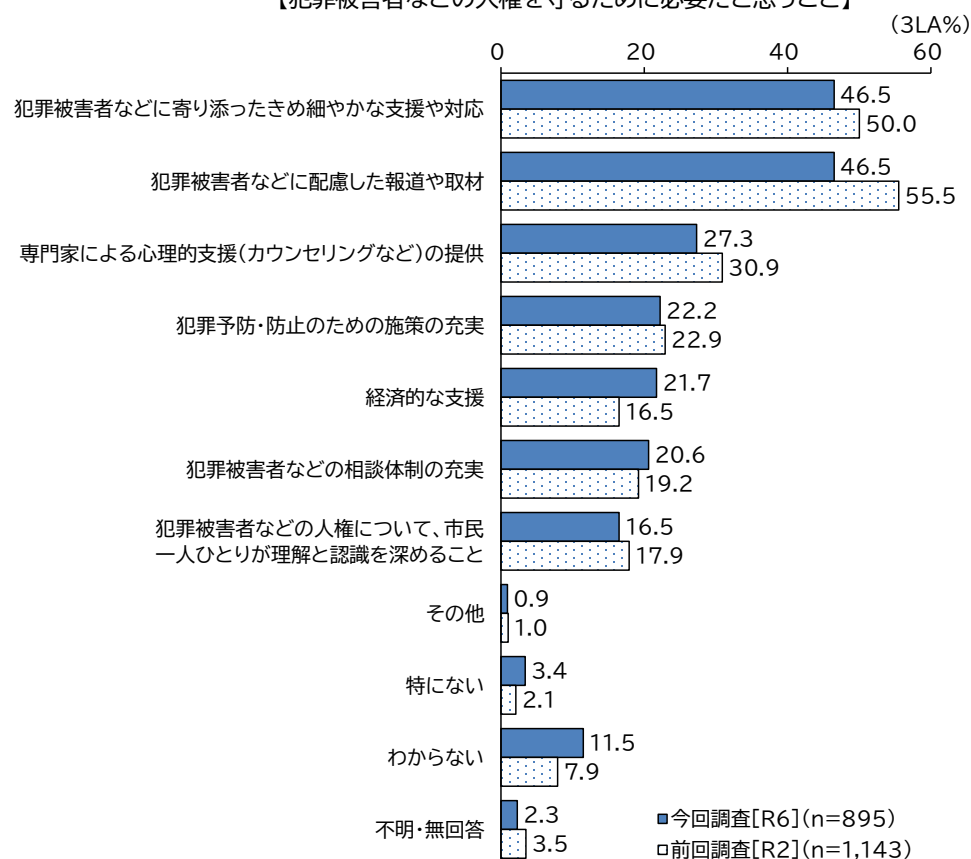
(2)問 25 犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと

問 25 犯罪被害者などの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うことについて、「犯罪被害者などに寄り添ったきめ細やかな支援や対応」「犯罪被害者などに配慮した報道や取材」が 46.5%で最も多く、次いで「専門家による心理的支援(カウンセリングなど)の提供」が 27.3%、「犯罪予防・防止のための施策の充実」が 22.2%となっている。
- 前回調査と比較すると、「犯罪被害者などに配慮した報道や取材」が 9.0 ポイント、「専門家による心理的支援(カウンセリングなど)の提供」が3.6 ポイント、「犯罪被害者などに寄り添ったきめ細やかな支援や対応」が 3.5 ポイント少なく、「経済的な支援」が5.2 ポイント、「わからない」が3.6 ポイント多くなっている。

【犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと】



【性別】

- 性別でみると、女性は「犯罪被害者などに配慮した報道や取材」、男性は「犯罪被害者などに寄り添ったきめ細やかな支援や対応」と「犯罪被害者などに配慮した報道や取材」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、10代は、「経済的な支援」、20代は「専門家による心理的支援(カウンセリングなど)の提供」、「経済的な支援」が全体より10ポイント多くなっている。80代以上は「わからない」が全体より11.6ポイント多くなっている。

【性別、年代別 犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと										
			犯罪被害者などに寄り添った きめ細やかな支援や対応	犯罪被害者などに配慮した 報道や取材	専門家による心理的支援 (カウンセリングなど)の提供	犯罪予防・防止のための施策の充実	経済的な支援	犯罪被害者などの相談体制の充実	犯罪被害者などの人権について、 市民一人ひとりが 理解と認識を深めること	その他	特 に ない	わ か ら ない	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	46.5	46.5	27.3	22.2	21.7	20.6	16.5	0.9	3.4	11.5	2.3
性別	女性	531	48.0	48.2	29.9	23.4	22.0	20.9	15.3	0.6	2.1	11.1	2.3
	男性	350	44.6	44.6	22.9	20.3	21.4	20.6	18.9	1.4	5.1	12.0	2.0
	無回答・その他	14	▼ 35.7	▼ 28.6	35.7	28.6	14.3	▼ 7.1	7.1	-	7.1	14.3	14.3
年代別	10代	13	53.8	38.5	▼ 15.4	30.8	△ 46.2	23.1	15.4	-	-	15.4	-
	20代	59	54.2	47.5	△ 42.4	23.7	△ 33.9	15.3	13.6	-	1.7	3.4	-
	30代	84	41.7	52.4	35.7	22.6	20.2	22.6	14.3	1.2	1.2	9.5	1.2
	40代	112	48.2	47.3	28.6	19.6	27.7	12.5	16.1	0.9	4.5	10.7	2.7
	50代	170	51.2	49.4	30.0	21.2	20.6	23.5	15.9	1.8	1.8	8.8	1.8
	60代	185	46.5	50.8	29.7	22.7	23.8	24.3	16.2	1.6	3.8	9.2	0.5
	70代	178	43.8	43.8	18.0	25.3	14.0	21.3	19.1	-	4.5	14.0	5.1
	80代以上	91	39.6	▼ 31.9	18.7	18.7	17.6	16.5	18.7	-	5.5	△ 23.1	3.3

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の10代は「経済的な支援」、女性の20・40・70代以上、男性の10・30・50・60・80代以上は「犯罪被害者などに寄り添ったきめ細やかな支援や対応」、女性の30・50・60代、男性の10～40・60・70は「犯罪被害者などに配慮した報道や取材」が最も多くなっている。

【性年代別 犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

	母数 (n)	犯罪被害者などの人権を守るために必要だと思うこと										
		きめ細やかな支援や対応	報道や取材	専門家による心理的支援 (カウンセリングなど)の提供	犯罪予防・防止のための施策の充実	経済的な支援	犯罪被害者などの相談体制の充実	市民一人ひとりが理解と認識を深めること	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体	895	46.5	46.5	27.3	22.2	21.7	20.6	16.5	0.9	3.4	11.5	2.3
性年代別	女性 10代	8	37.5	▼ 12.5	25.0	△ 37.5	△ 50.0	25.0	-	-	△ 25.0	-
	20代	35	△ 65.7	51.4	△ 45.7	17.1	△ 37.1	17.1	11.4	-	-	-
	30代	52	42.3	△ 59.6	△ 38.5	23.1	17.3	19.2	9.6	-	9.6	1.9
	40代	68	△ 57.4	52.9	35.3	25.0	26.5	14.7	14.7	-	4.4	7.4
	50代	100	51.0	54.0	31.0	23.0	22.0	18.0	15.0	1.0	12.0	2.0
	60代	105	43.8	51.4	32.4	22.9	26.7	26.7	17.1	1.9	6.7	1.0
	70代	107	45.8	41.1	21.5	27.1	13.1	23.4	19.6	-	4.7	12.1
	80代以上	54	38.9	▼ 31.5	▼ 16.7	18.5	16.7	20.4	14.8	-	1.9	△ 27.8
	男性 10代	5	△ 80.0	△ 80.0	-	20.0	△ 40.0	20.0	△ 40.0	-	-	-
	20代	21	38.1	42.9	28.6	28.6	28.6	▼ 9.5	19.0	-	4.8	9.5
	30代	31	41.9	41.9	29.0	22.6	25.8	29.0	19.4	3.2	3.2	9.7
	40代	41	36.6	39.0	19.5	▼ 12.2	△ 31.7	▼ 9.8	19.5	2.4	2.4	17.1
	50代	67	49.3	43.3	28.4	17.9	17.9	△ 32.8	17.9	3.0	3.0	4.5
	60代	80	50.0	50.0	26.3	22.5	20.0	21.3	15.0	1.3	7.5	12.5
	70代	68	41.2	48.5	▼ 13.2	22.1	16.2	19.1	19.1	-	4.4	16.2
	80代以上	37	40.5	▼ 32.4	21.6	18.9	18.9	10.8	24.3	-	10.8	16.2

12. インターネット

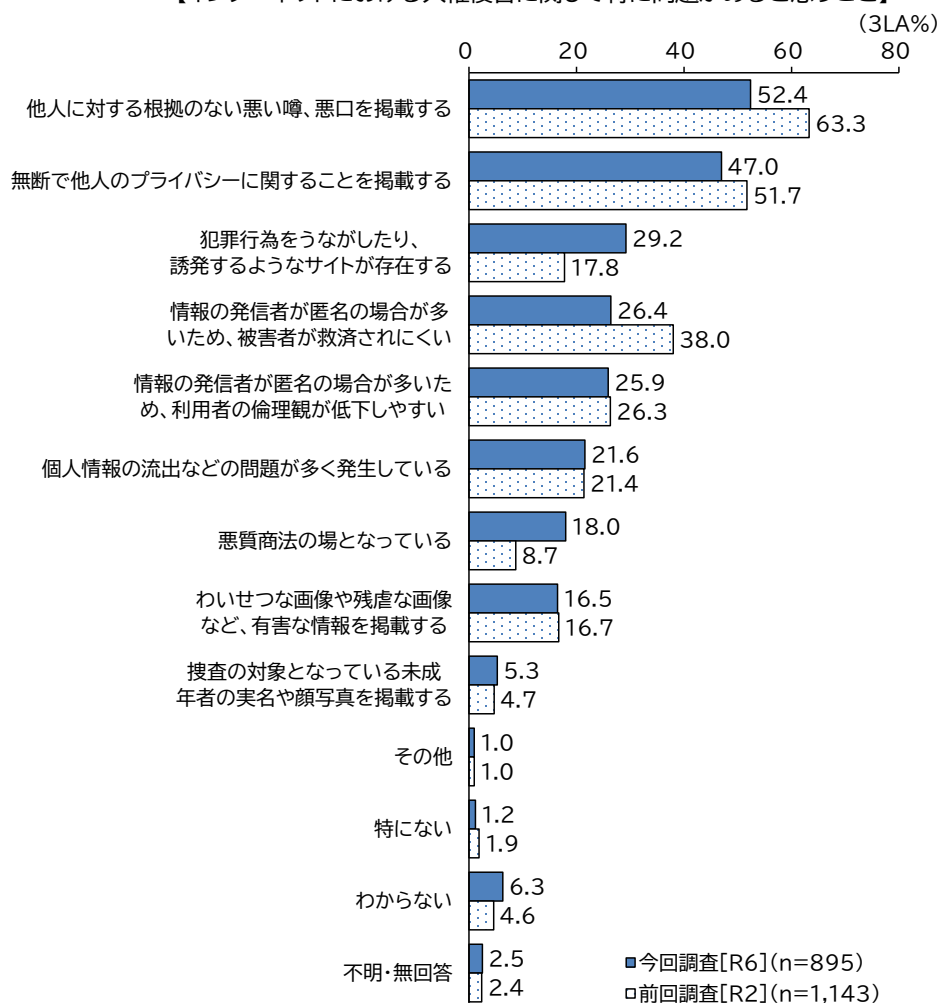
(1)問 26 インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと

問 26 インターネットによる人権侵害に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うことについて、「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する」が 52.4%で最も多く、次いで「無断で他人のプライバシーに関することを掲載する」が 47.0%、「犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する」が 29.2%となっている。
- 前回調査と比較すると、「情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい」が 11.6 ポイント、「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する」が 10.9 ポイント、「無断で他人のプライバシーに関することを掲載する」が 4.7 ポイント少なく、「犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する」が 11.4 ポイント、「悪質商法の場合となっている」が 9.3 ポイント多くなっている。

【インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと】



○ 性別でみると、女性・男性ともに「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する」が最も多くなっている。

○ 年代別でみると、「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する」は、最も多い 10 代と最も少ない 80 代以上で 32.9 ポイントの差がある。

【性別、年代別 インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと】

單位：%

		インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと														
		母数 (n)	悪口を掲載する	他人に対する根拠のない悪い噂、関断で他人のプライバシーに無断で他人のプライバシーに掲載する	犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する	個人情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい	個人情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい	個人情報の流出などの問題が多く発生している	悪質商法の場合となっている	有害な情報を掲載する	わいせつな画像や残虐な画像など、	未成年者の実名や顔写真を掲載する	捜査の対象となっている	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	52.4	47.0	29.2	26.4	25.9	21.6	18.0	16.5	5.3	1.0	1.2	6.3	2.5	
性別	女性	531	51.2	46.9	29.0	27.7	24.1	21.7	15.4	20.2	5.6	0.8	1.3	6.2	2.6	
	男性	350	55.1	46.6	29.4	24.9	28.9	21.4	22.0	11.1	4.9	1.4	1.1	6.0	2.0	
	無回答・その他	14	▼ 28.6	△ 64.3	28.6	▼ 14.3	21.4	21.4	14.3	14.3	-	-	-	14.3	7.1	
年代別	10代	13	△ 69.2	46.2	▼ 15.4	▼ 15.4	△ 46.2	23.1	▼ 7.7	7.7	△ 15.4	-	-	15.4	-	
	20代	59	61.0	△ 61.0	23.7	33.9	△ 37.3	11.9	18.6	18.6	5.1	-	-	-	-	
	30代	84	57.1	39.3	27.4	32.1	△ 42.9	20.2	14.3	21.4	4.8	2.4	1.2	2.4	1.2	
	40代	112	57.1	50.9	31.3	26.8	25.9	19.6	18.8	19.6	1.8	1.8	-	2.7	1.8	
	50代	170	54.7	47.1	21.8	31.8	26.5	26.5	15.3	20.0	4.1	1.2	1.8	3.5	1.8	
	60代	185	54.6	45.9	33.0	27.0	26.5	21.1	25.4	16.8	7.0	1.1	1.1	5.9	0.5	
	70代	178	46.6	52.8	35.4	21.9	18.0	25.3	14.6	10.1	7.3	0.6	1.1	6.2	5.6	
	80代以上	91	▼ 36.3	▼ 31.9	28.6	▼ 14.3	▼ 14.3	16.5	16.5	12.1	3.3	-	3.3	△ 23.1	5.5	

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 10～30 代、男性の 10～40 代では「情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい」は年代が上がるほど割合が少なくなる傾向にある。

【性年代別 インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		母数 (n)	インターネットにおける人権侵害に関して特に問題があると思うこと												
			他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する	無断で他人のプライバシーに関するものを掲載する	犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する	情報の発信者が匿名の場合、多いため、被害者が救済されにくい	多いため、利用者の倫理観が低下しやすい	個人情報の流出などの問題が多く発生している	悪質商法の場合となっている	わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	未成年者の実名や顔写真を掲載する	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体		895	52.4	47.0	29.2	26.4	25.9	21.6	18.0	16.5	5.3	1.0	1.2	6.3	2.5
性年代別	女性 10代	8	△ 62.5	▼ 25.0	▼ 12.5	25.0	△ 37.5	25.0	-	12.5	12.5	-	-	△ 25.0	-
	20代	35	△ 62.9	△ 57.1	22.9	31.4	△ 37.1	▼ 11.4	20.0	25.7	5.7	-	-	-	-
	30代	52	55.8	40.4	26.9	34.6	△ 36.5	13.5	▼ 7.7	23.1	5.8	3.8	1.9	3.8	1.9
	40代	68	55.9	52.9	35.3	29.4	19.1	23.5	14.7	△ 29.4	1.5	-	-	2.9	-
	50代	100	59.0	45.0	22.0	31.0	27.0	27.0	14.0	26.0	3.0	-	2.0	3.0	2.0
	60代	105	49.5	43.8	35.2	28.6	27.6	24.8	24.8	19.0	8.6	1.0	1.0	4.8	1.0
	70代	107	43.0	△ 57.0	32.7	21.5	16.8	25.2	11.2	11.2	8.4	0.9	1.9	4.7	6.5
	80代以上	54	▼ 35.2	▼ 33.3	24.1	20.4	▼ 11.1	▼ 11.1	14.8	11.1	3.7	-	1.9	△ 25.9	5.6
	男性 10代	5	△ 80.0	△ 80.0	20.0	-	△ 60.0	20.0	20.0	-	△ 20.0	-	-	-	-
	20代	21	57.1	△ 66.7	▼ 19.0	△ 42.9	△ 38.1	▼ 9.5	19.0	9.5	4.8	-	-	-	-
	30代	31	61.3	▼ 35.5	29.0	25.8	△ 51.6	△ 32.3	25.8	19.4	3.2	-	-	-	-
	40代	41	61.0	46.3	24.4	24.4	△ 36.6	14.6	26.8	▼ 4.9	2.4	4.9	-	2.4	2.4
	50代	67	49.3	49.3	22.4	32.8	26.9	23.9	17.9	10.4	6.0	3.0	1.5	4.5	1.5
	60代	80	61.3	48.8	30.0	25.0	25.0	16.3	26.3	13.8	5.0	1.3	1.3	7.5	-
	70代	68	54.4	47.1	△ 39.7	23.5	20.6	26.5	19.1	8.8	5.9	-	-	5.9	4.4
	80代以上	37	▼ 37.8	▼ 29.7	35.1	▼ 5.4	18.9	24.3	18.9	13.5	2.7	-	5.4	△ 18.9	5.4

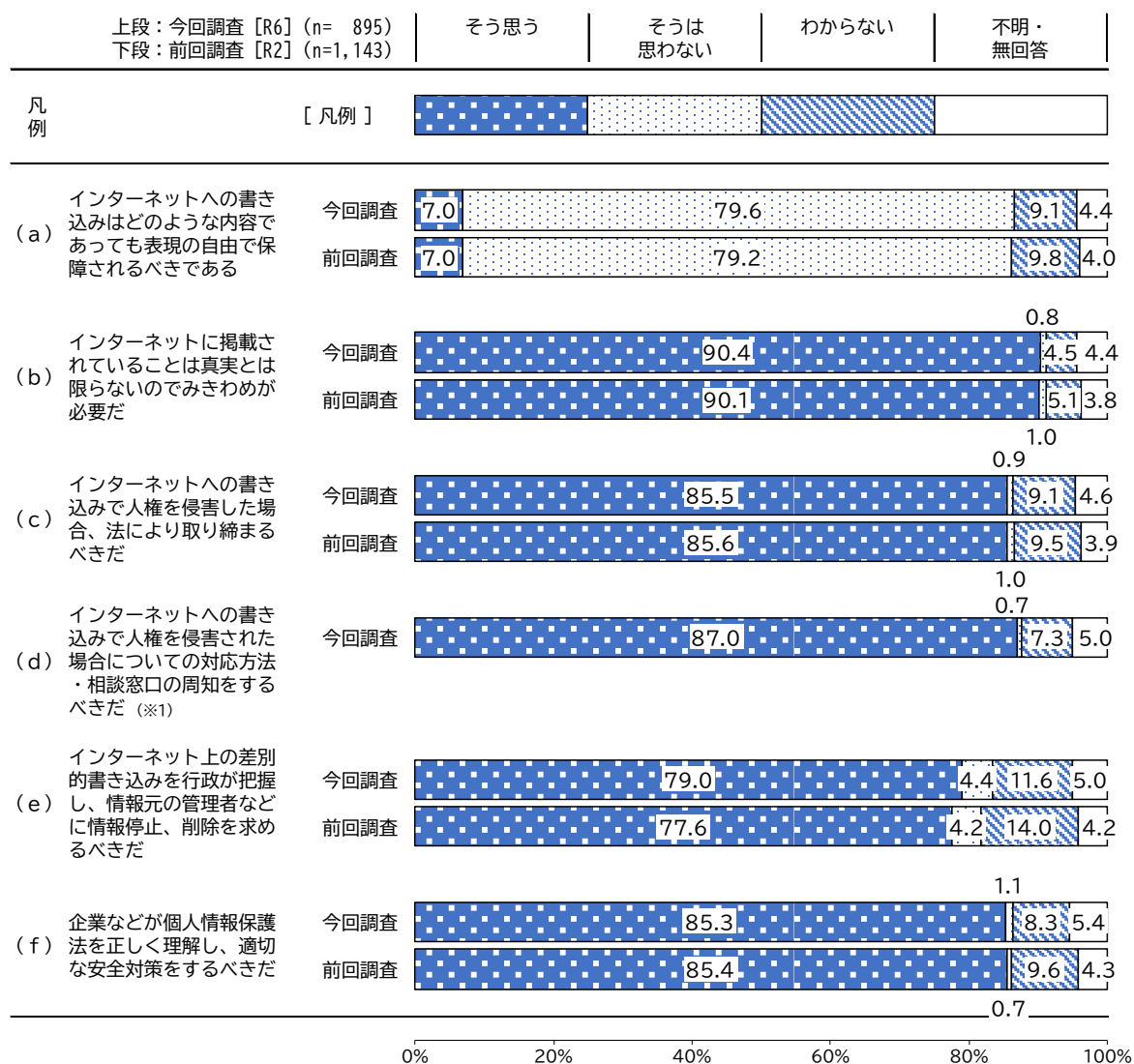
(2)問 27 インターネットにおける人権侵害についての考え

問 27 あなたは、インターネットによる人権侵害について、どのような考えをお持ちですか。
(それぞれに○を1つ)

【全体】

- インターネットにおける人権侵害についての考えについて、「(a)インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである」では「そうは思わない」、そのほかの項目は「そう思う」が約 80～90%を占めている。
- 前回調査と比較すると、いずれの項目も大きな違いはみられない。

【インターネットにおける人権侵害についての考え(経年比較)】



(※1) 前回調査では「(d)インターネットへの書き込みで人権を侵害された場合についての対応方法・相談窓口の周知をするべきだ」との回答項目は設定していない。

■ (a)インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである

- 年代別でみると、80代以上は「わからない」が全体より17.3ポイント多くなっている。
- 性年代別でみると、女性の10・30・40代、男性の10・50代は「そうは思わない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。男女とも80代以上は「わからない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。男性の20代は「そう思う」が全体より16.8ポイント多くなっている。

■ (b)インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ

- 性年代別でみると、男性の80代以上は「わからない」が全体より11.7ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 インターネットにおける人権侵害についての考え】

単位：％

		母数 (n)	(a) インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである				(b) インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ			
			そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答
全体		895	7.0	79.6	9.1	4.4	90.4	0.8	4.5	4.4
性別	女性	531	5.5	81.2	8.1	5.3	90.8	0.8	3.6	4.9
	男性	350	9.4	77.1	10.6	2.9	90.0	0.9	5.7	3.4
	無回答・その他	14	7.1	78.6	7.1	7.1	85.7	-	7.1	7.1
年代別	10代	13	-	△100.0	-	-	100.0	-	-	-
	20代	59	13.6	79.7	6.8	-	96.6	1.7	1.7	-
	30代	84	3.6	89.3	6.0	1.2	95.2	1.2	2.4	1.2
	40代	112	5.4	88.4	4.5	1.8	97.3	0.9	-	1.8
	50代	170	4.7	86.5	5.9	2.9	94.1	0.6	2.9	2.4
	60代	185	7.0	83.8	8.6	0.5	94.1	1.1	4.3	0.5
	70代	178	9.6	74.2	9.0	7.3	84.8	0.6	6.2	8.4
	80代以上	91	8.8	▼46.2	△26.4	18.7	▼68.1	-	14.3	17.6
性年代別	女性 10代	8	-	△100.0	-	-	100.0	-	-	-
	20代	35	8.6	82.9	8.6	-	97.1	2.9	-	-
	30代	52	3.8	△92.3	1.9	1.9	94.2	1.9	1.9	1.9
	40代	68	1.5	△95.6	2.9	-	100.0	-	-	-
	50代	100	7.0	84.0	6.0	3.0	96.0	-	2.0	2.0
	60代	105	6.7	84.8	7.6	1.0	93.3	1.9	3.8	1.0
	70代	107	6.5	74.8	9.3	9.3	85.0	-	4.7	10.3
	80代以上	54	3.7	▼50.0	△22.2	24.1	▼66.7	-	13.0	20.4
	男性 10代	5	-	△100.0	-	-	100.0	-	-	-
	20代	21	△23.8	71.4	4.8	-	95.2	-	4.8	-
	30代	31	3.2	83.9	12.9	-	96.8	-	3.2	-
	40代	41	12.2	78.0	7.3	2.4	95.1	2.4	-	2.4
	50代	67	1.5	△89.6	6.0	3.0	91.0	1.5	4.5	3.0
	60代	80	7.5	82.5	10.0	-	95.0	-	5.0	-
	70代	68	13.2	75.0	7.4	4.4	85.3	1.5	7.4	5.9
	80代以上	37	16.2	▼40.5	△32.4	10.8	▼70.3	-	△16.2	13.5

- (c)インターネットへの書き込みで人権を侵害した場合、法により取り締まるべきだ
- 年代別でみると、10・70代以上は「わからない」が15%以上と他の年代に比べて多くなっている。
- 性年代別でみると、女性の10代、男性の80代以上は「わからない」が全体より多くなっている。
- (d)インターネットへの書き込みで人権を侵害された場合についての対応方法・相談窓口の周知をするべきだ
- 性年代別でみると、女性・男性ともに80代以上は、「そうは思う」が全体より少なくなっている。

【性別、年代別、性年代別 インターネットにおける人権侵害についての考え】

単位：％

		母数 (n)	(c) インターネットへの書き込みで人権を侵害した場合、法により取り締まるべきだ				(d) インターネットへの書き込みで人権を侵害された場合についての対応方法・相談窓口の周知をするべきだ			
			そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答
全体		895	85.5	0.9	9.1	4.6	87.0	0.7	7.3	5.0
性別	女性	531	86.3	0.8	7.9	5.1	88.1	-	6.4	5.5
	男性	350	85.1	0.9	10.3	3.7	85.7	1.4	8.6	4.3
	無回答・その他	14	▼ 64.3	7.1	△ 21.4	7.1	78.6	7.1	7.1	7.1
年代別	10代	13	76.9	7.7	15.4	-	92.3	-	7.7	-
	20代	59	91.5	-	8.5	-	96.6	-	3.4	-
	30代	84	94.0	-	4.8	1.2	95.2	1.2	2.4	1.2
	40代	112	90.2	-	7.1	2.7	92.0	-	5.4	2.7
	50代	170	88.8	1.8	7.1	2.4	91.2	1.2	4.7	2.9
	60代	185	90.8	0.5	8.1	0.5	89.7	1.1	7.6	1.6
	70代	178	79.8	1.1	10.1	9.0	82.0	-	10.7	7.3
	80代以上	91	▼ 63.7	-	18.7	17.6	▼ 63.7	-	14.3	22.0
性年代別	女性 10代	8	▼ 62.5	△ 12.5	△ 25.0	-	87.5	-	12.5	-
	20代	35	94.3	-	5.7	-	△ 100.0	-	-	-
	30代	52	△ 96.2	-	1.9	1.9	96.2	-	1.9	1.9
	40代	68	92.6	-	5.9	1.5	95.6	-	2.9	1.5
	50代	100	91.0	1.0	6.0	2.0	92.0	-	5.0	3.0
	60代	105	91.4	1.0	6.7	1.0	92.4	-	5.7	1.9
	70代	107	77.6	0.9	10.3	11.2	80.4	-	11.2	8.4
	80代以上	54	▼ 64.8	-	16.7	18.5	▼ 63.0	-	13.0	24.1
	男性 10代	5	△ 100.0	-	-	-	△ 100.0	-	-	-
	20代	21	90.5	-	9.5	-	90.5	-	9.5	-
	30代	31	90.3	-	9.7	-	93.5	3.2	3.2	-
	40代	41	87.8	-	9.8	2.4	87.8	-	9.8	2.4
	50代	67	86.6	3.0	7.5	3.0	89.6	3.0	4.5	3.0
	60代	80	90.0	-	10.0	-	86.3	2.5	10.0	1.3
	70代	68	83.8	1.5	8.8	5.9	85.3	-	8.8	5.9
	80代以上	37	▼ 62.2	-	△ 21.6	16.2	▼ 64.9	-	16.2	18.9

- (e)インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、情報元の管理者などに情報停止、削除を求めるべきだ
 - 性年代別でみると、女性の 20・30 代は「そう思う」が 9 割以上となっている。男性の 80 代以上は「わからない」が全体より 10.0 ポイント多くなっている。
- (f)企業などが個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をするべきだ
 - 年代別・性年代別でみると、10・20 代は「そう思う」が 100%となっている。

【性別、年代別、性年代別 インターネットにおける人権侵害についての考え】

単位：％

		母数 (n)	(e) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、情報元の管理者などに情報停止、削除を求めるべきだ				(f) 企業などが個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をするべきだ			
			そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答
全体		895	79.0	4.4	11.6	5.0	85.3	1.1	8.3	5.4
性別	女性	531	82.5	2.6	9.6	5.3	86.1	0.6	7.5	5.8
	男性	350	74.0	7.1	14.6	4.3	84.3	2.0	9.1	4.6
	無回答・その他	14	71.4	-	14.3	14.3	78.6	-	14.3	7.1
年代別	10代	13	84.6	-	15.4	-	△100.0	-	-	-
	20代	59	84.7	5.1	8.5	1.7	△100.0	-	-	-
	30代	84	88.1	4.8	6.0	1.2	92.9	1.2	3.6	2.4
	40代	112	79.5	8.0	9.8	2.7	91.1	1.8	4.5	2.7
	50代	170	80.6	5.9	11.2	2.4	87.1	1.8	8.2	2.9
	60代	185	80.5	4.3	14.1	1.1	88.1	1.6	9.2	1.1
	70代	178	78.7	2.2	10.7	8.4	78.1	0.6	12.4	9.0
	80代以上	91	▼ 59.3	1.1	18.7	20.9	▼ 63.7	-	14.3	22.0
性年代別	女性 10代	8	87.5	-	12.5	-	△100.0	-	-	-
	20代	35	△ 91.4	5.7	2.9	-	△100.0	-	-	-
	30代	52	△ 92.3	1.9	3.8	1.9	92.3	1.9	3.8	1.9
	40代	68	85.3	5.9	7.4	1.5	94.1	1.5	2.9	1.5
	50代	100	85.0	2.0	11.0	2.0	89.0	-	8.0	3.0
	60代	105	84.8	3.8	10.5	1.0	92.4	1.0	5.7	1.0
	70代	107	78.5	0.9	10.3	10.3	75.7	-	13.1	11.2
	80代以上	54	▼ 61.1	-	16.7	22.2	▼ 61.1	-	14.8	24.1
	男性 10代	5	80.0	-	20.0	-	△100.0	-	-	-
	20代	21	76.2	4.8	19.0	-	△100.0	-	-	-
	30代	31	80.6	9.7	9.7	-	93.5	-	3.2	3.2
	40代	41	70.7	12.2	14.6	2.4	87.8	2.4	7.3	2.4
	50代	67	74.6	11.9	10.4	3.0	85.1	4.5	7.5	3.0
	60代	80	75.0	5.0	18.8	1.3	82.5	2.5	13.8	1.3
	70代	68	79.4	4.4	10.3	5.9	82.4	1.5	10.3	5.9
	80代以上	37	▼ 56.8	2.7	△ 21.6	18.9	▼ 67.6	-	13.5	18.9

13. 災害と人権

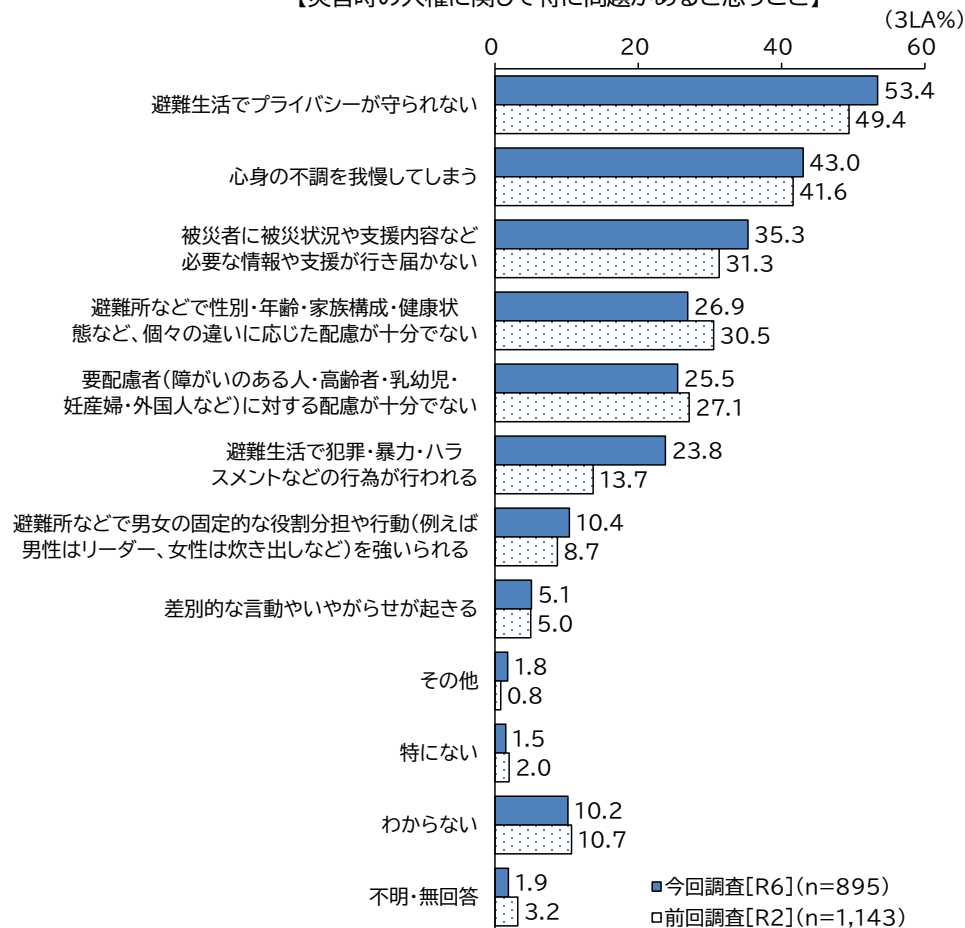
(1)問 28 災害時の人権に関して特に問題があると思うこと

問 28 地震などの災害時における人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

【全体】

- 災害時の人権に関して特に問題があると思うことについて、「避難生活でプライバシーが守られない」が 53.4%で最も多く、次いで「心身の不調を我慢してしまう」が 43.0%、「被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が行き届かない」が 35.3%となっている。
- 前回調査と比較すると、「避難所などで性別・年齢・家族構成・健康状態など、個々の違いに応じた配慮が十分でない」が 3.6 ポイント少なく、「避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる」が 10.1 ポイント、「避難生活でプライバシーが守られない」が 4.0 ポイント、「被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が行き届かない」が 4.0 ポイント多くなっている。

【災害時の人権に関して特に問題があると思うこと】



【性別】

○ 性別でみると、女性・男性ともに「避難生活でプライバシーが守られない」が最も多く5割以上となっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10代は「避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる」、20・40代以上は「避難生活でプライバシーが守られない」、30代は「避難生活でプライバシーが守られない」と「心身の不調を我慢してしまう」が最も多くなっている。

○ 「避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる」は年代が上がるほど割合が少なくなる傾向がみられる。

【性別、年代別 災害時の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

		母数 (n)	災害時の人権に関して特に問題があると思うこと												
			避難生活でプライバシーが守られない	心身の不調を我慢してしまう	被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が行き届かない	家族構成・健康状態など、個々の違いに応じた配慮が十分でない	避難所などで性別・年齢・国籍・民族・障害の有無など、個人の属性による差別・偏見・差別意識が強い	乳幼児・妊婦・高齢者・障害者・外国人など、脆弱な立場にある人への配慮が十分でない	ハラスメントなどの行為が行われる	避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる	女性・男性・子どもなど、性別による差別・偏見・差別意識が強い	差別的な言動やいやがらせが起きる	その他	特にない	わからない
全体		895	53.4	43.0	35.3	26.9	25.5	23.8	10.4	5.1	1.8	1.5	10.2	1.9	
性別	女性	531	55.2	45.6	38.4	26.9	25.8	25.8	11.1	3.2	2.1	1.3	8.5	1.9	
	男性	350	50.6	39.4	30.3	26.6	25.4	20.6	9.1	8.3	1.4	1.7	12.9	1.7	
	無回答・その他	14	57.1	35.7	42.9	35.7	▼ 14.3	28.6	14.3	-	-	-	7.1	7.1	
年代別	10代	13	▼ 38.5	▼ 30.8	38.5	23.1	23.1	△ 53.8	15.4	△ 30.8	7.7	-	7.7	-	
	20代	59	△ 67.8	33.9	40.7	23.7	23.7	△ 47.5	20.3	5.1	1.7	-	5.1	-	
	30代	84	46.4	46.4	29.8	23.8	23.8	△ 38.1	9.5	△ 16.7	3.6	1.2	8.3	1.2	
	40代	112	55.4	38.4	37.5	29.5	17.0	30.4	11.6	3.6	0.9	-	9.8	2.7	
	50代	170	54.7	44.7	38.2	24.7	24.7	27.1	9.4	4.7	2.9	1.8	6.5	1.2	
	60代	185	58.9	47.0	33.0	28.6	30.3	18.9	12.4	2.7	2.2	0.5	9.7	0.5	
	70代	178	51.1	43.3	36.0	29.2	25.3	▼ 10.7	6.7	3.9	0.6	1.7	14.0	3.9	
	80代以上	91	▼ 41.8	40.7	30.8	26.4	30.8	▼ 11.0	7.7	1.1	-	5.5	16.5	3.3	

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の「避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる」は年代が上がるほど割合が少なくなる傾向にある。

【性年代別 災害時の人権に関して特に問題があると思うこと】

単位：％

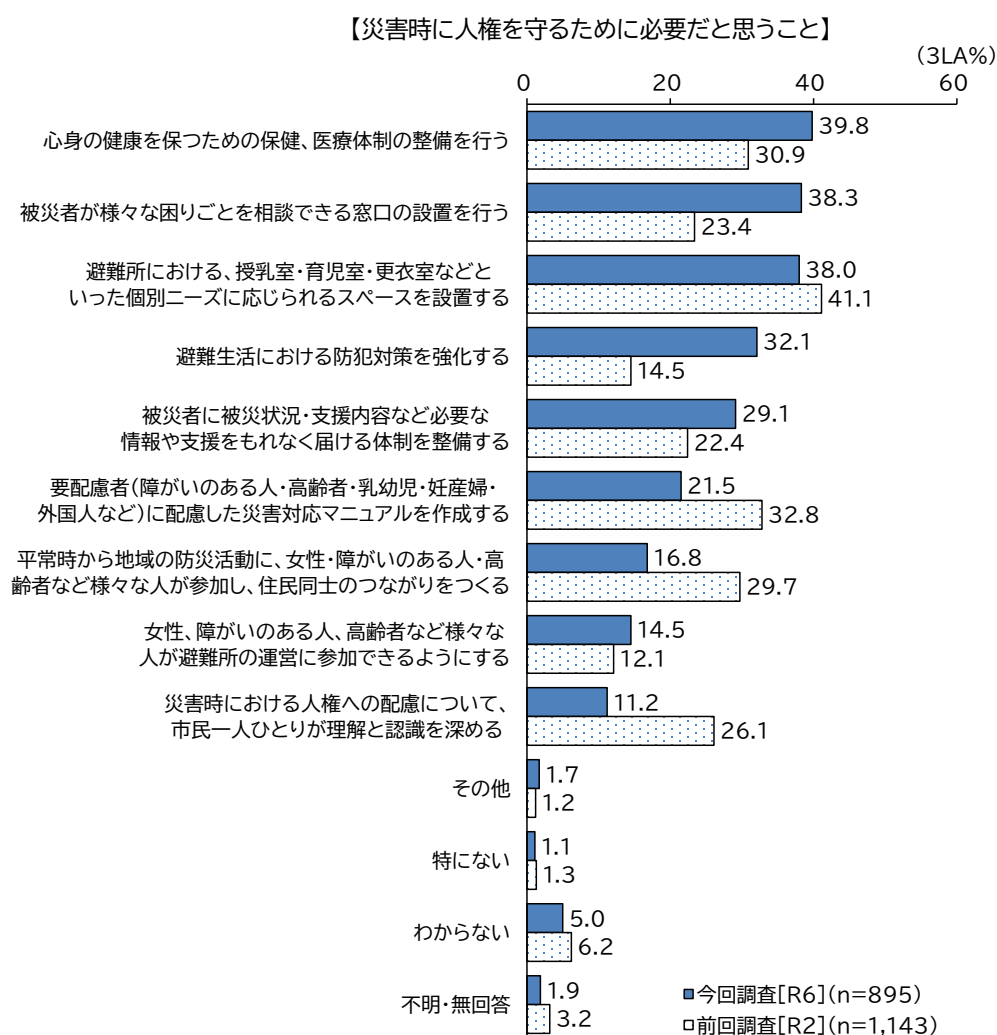
		母数 (n)	災害時の人権に関して特に問題があると思うこと												
			避難生活でプライバシーが守られない	心身の不調を我慢してしまう	被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が行き届かない	被災者・健康状態など、個々の違いに応じた配慮が十分でない	避難所などで性別・年齢・家族構成・健康状態など、個々の違いに合った配慮が十分でない	乳幼児・妊産婦・外国人などに対する配慮が十分でない	要配慮者（障がいのある人・高齢者・ハラスメントなどの行為が行われる	避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる	女性・行動（例えば男女の固定的な役割分担）は炊き出しなどを強いられる	差別的な言動やいやがらせが起きる	その他	特にな	わからない
全体		895	53.4	43.0	35.3	26.9	25.5	23.8	10.4	5.1	1.8	1.5	10.2	1.9	
性年代別	女性 10代	8	▼ 37.5	▼ 25.0	37.5	25.0	25.0	△ 50.0	12.5	12.5	△ 12.5	-	12.5	-	
	20代	35	△ 68.6	▼ 31.4	37.1	25.7	31.4	△ 57.1	17.1	2.9	2.9	-	5.7	-	
	30代	52	51.9	51.9	28.8	23.1	23.1	△ 34.6	13.5	9.6	5.8	-	5.8	1.9	
	40代	68	61.8	39.7	44.1	32.4	19.1	△ 35.3	17.6	2.9	1.5	-	4.4	-	
	50代	100	59.0	51.0	37.0	31.0	23.0	30.0	6.0	3.0	2.0	1.0	5.0	2.0	
	60代	105	59.0	51.4	38.1	21.0	31.4	20.0	14.3	3.8	1.9	-	8.6	1.0	
	70代	107	51.4	43.9	42.1	29.0	21.5	▼ 12.1	5.6	0.9	0.9	2.8	13.1	3.7	
	80代以上	54	▼ 38.9	38.9	35.2	25.9	35.2	▼ 11.1	11.1	-	-	5.6	14.8	3.7	
	男性 10代	5	▼ 40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	△ 60.0	20.0	△ 60.0	-	-	-	-	
	20代	21	△ 71.4	33.3	42.9	19.0	▼ 14.3	28.6	△ 23.8	9.5	-	-	4.8	-	
	30代	31	▼ 35.5	38.7	29.0	22.6	25.8	△ 45.2	3.2	△ 29.0	-	3.2	12.9	-	
	40代	41	43.9	36.6	29.3	22.0	▼ 14.6	24.4	2.4	4.9	-	-	19.5	4.9	
	50代	67	47.8	35.8	40.3	▼ 16.4	26.9	22.4	13.4	7.5	4.5	3.0	9.0	-	
	60代	80	58.8	41.3	26.3	△ 38.8	28.8	17.5	10.0	1.3	2.5	1.3	11.3	-	
	70代	68	51.5	42.6	▼ 25.0	29.4	30.9	▼ 8.8	8.8	8.8	-	-	14.7	4.4	
	80代以上	37	45.9	43.2	▼ 24.3	27.0	24.3	▼ 10.8	2.7	2.7	-	5.4	18.9	2.7	

(2)問 29 災害時に人権を守るために必要だと思うこと

問 29 地震などの災害時に人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 災害時に人権を守るために必要だと思うことについて、「心身の健康を保つための保健、医療体制の整備を行う」が 39.8%で最も多く、次いで「被災者が様々な困りごとを相談できる窓口の設置を行う」が 38.3%、「避難所における、授乳室・育児室・更衣室などといった個別ニーズに応じられるスペースを設置する」が 38.0%となっている。
- 前回調査と比較すると、「災害時における人権への配慮について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が 14.9 ポイント、「平常時から地域の防災活動に、女性・障がいのある人・高齢者など様々な人が参加し、住民同士のつながりをつくる」が 12.9 ポイント、「要配慮者(障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など)に配慮した災害対応マニュアルを作成する」が 11.3 ポイント、「避難所における、授乳室・育児室・更衣室などといった個別ニーズに応じられるスペースを設置する」が 3.1 ポイント少なく、「避難生活における防犯対策を強化する」が 17.6 ポイント、「被災者が様々な困りごとを相談できる窓口の設置を行う」が 14.9 ポイント、「心身の健康を保つための保健、医療体制の整備を行う」が 8.9 ポイント、「被災者に被災状況・支援内容など必要な情報や支援をもれなく届ける体制を整備する」が 6.7 ポイント多くなっている。



【性別】

- 性別でみると、女性は「避難所における、授乳室・育児室・更衣室などといった個別ニーズに応じられるスペースを設置する」、男性は「心身の健康を保つための保健、医療体制の整備を行う」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、「心身の健康を保つための保健、医療体制の整備を行う」「被災者が様々な困りごとを相談できる窓口の設置を行う」は年代が上がるほど、「避難所における、授乳室・育児室・更衣室などといった個別ニーズに応じられるスペースを設置する」「避難生活における防犯対策を強化する」は年代が下がるほど、割合が多くなる傾向がみられる。

【性別、年代別 災害時に人権を守るために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	災害時に人権を守るために必要だと思うこと												単位：%				
			心身の健康を保つための 保健、医療体制の整備を行う	被災者が様々な困りごとを 相談できる窓口の設置を行う	更衣室などといった個別ニーズに 応じられるスペースを設置する	避難所における、授乳室・育児室・ 更衣室などといった個別ニーズに	避難生活における防犯対策を強化する	被災者に被災状況・支援内容など 必要な情報や支援を求めなく 届ける体制を整備する	要配慮者（障がいのある人・高齢者・ 配慮した災害対応マニニアルを作成する 乳幼児・妊産婦・外国人など）に	参加し、住民同士のつながりをつくる	障がいのある人・高齢者など様々な人 が	平常時から地域の防災活動に、女性・ 障がいのある人・高齢者など様々な人 が	避難所の運営に参加できるようにする	高齢者など障がいのある人、 女性・障がいのある人	市民一人ひとりが人権への配慮について、 災害時にひとりが理解と認識を深める	その他	特にな い	わから ない	不明・無 回答
全体		895	39.8	38.3	38.0	32.1	29.1	21.5	16.8	14.5	11.2	1.7	1.1	5.0	1.9				
性別	女性	531	39.5	39.4	39.9	36.0	28.8	20.2	18.1	15.8	9.2	2.1	0.4	3.8	1.9				
	男性	350	40.0	36.9	34.3	26.9	29.7	23.4	15.1	12.6	14.3	1.1	2.0	7.1	1.7				
	無回答・その他	14	42.9	35.7	57.1	14.3	21.4	21.4	7.1	14.3	7.1	-	7.1	-	7.1				
年代別	10代	13	15.4	7.7	61.5	53.8	46.2	15.4	23.1	23.1	-	7.7	-	7.7	-				
	20代	59	28.8	16.9	62.7	55.9	39.0	25.4	3.4	8.5	10.2	3.4	-	5.1	-				
	30代	84	31.0	20.2	42.9	51.2	26.2	19.0	16.7	9.5	15.5	4.8	1.2	7.1	1.2				
	40代	112	39.3	28.6	38.4	39.3	28.6	23.2	10.7	14.3	10.7	1.8	2.7	5.4	2.7				
	50代	170	37.6	34.7	42.4	35.3	31.2	21.2	14.7	15.9	8.2	2.4	1.2	2.9	1.2				
	60代	185	46.5	49.7	35.7	24.9	33.0	18.9	16.8	15.1	10.8	0.5	0.5	3.8	0.5				
	70代	178	45.5	50.6	32.0	18.5	22.5	19.1	22.5	16.9	12.9	0.6	1.1	5.6	3.9				
	80代以上	91	37.4	45.1	20.9	23.1	23.1	29.7	25.3	14.3	13.2	-	1.1	7.7	3.3				

○ 性年代別でみると、女性の「被災者が様々な困りごとを相談できる窓口の設置を行う」、男性の「要配慮者（障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など）に配慮した災害対応マニュアルを作成する」が、年代が上がるほど割合が多くなる傾向がみられる。

单位：%

107

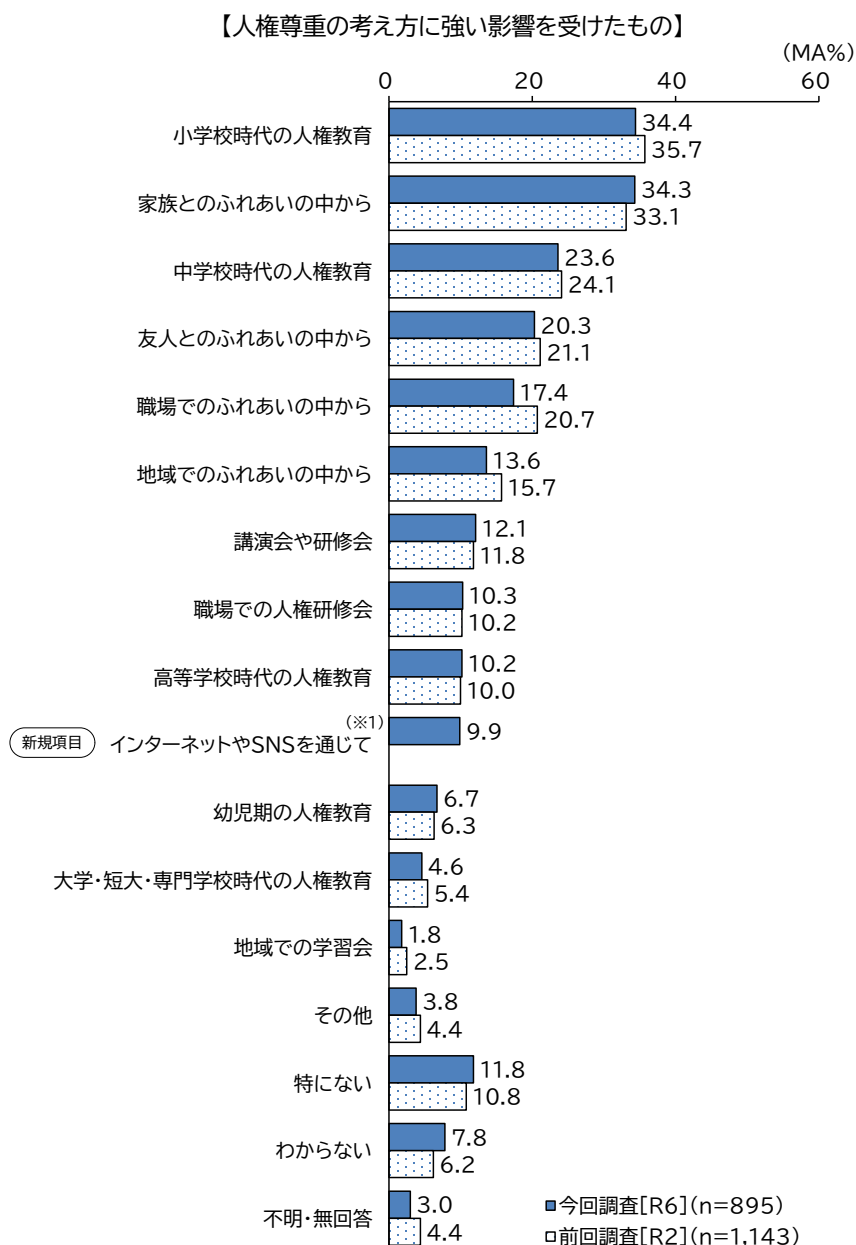
14. 人権尊重の社会の実現に向けた取り組みについて

(1) 問 30 人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの

問 30 あなたが、人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものは次のうちどれですか。
(○はいくつでも)

【全体】

- 人権尊重の考え方に強い影響を受けたものについて、「小学校時代の人権教育」が 34.4%で最も多く、次いで「家族とのふれあいの中から」が 34.3%、「中学校時代の人権教育」が 23.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「職場でのふれあいの中から」が 3.3 ポイント少なくなっている。



(※1) 前回調査では、「インターネットや SNS を通じて」との回答項目は設定していない。

【性別】

- 性別でみると、女性は「家族とのふれあいの中から」、男性は「小学校時代の人権教育」が最も多く、どちらも男性より女性のほうが多くなっている。性別無回答・その他は「大学・短大・専門学校時代の人権教育」が全体より 16.8 ポイント多くなっている。

【年代別】

- 年代別でみると、20 代は「地域でのふれあいの中から」、70 代以上は「小学校時代の人権教育」が他の年代に比べて 10 ポイント以上少なくなっている。

【性別、年代別 人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの】

単位：％

		母数 (n)	人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの																
			小学校時代の 人権教育	家族とのふれあ いの中から	中学校時代の 人権教育	友人とのふれあ いの中から	職場でのふれあ いの中から	地域でのふれあ いの中から	講演会や研修会	職場での人権研 修会	高等学校時代の 人権教育	イン ター ネッ トや SNS を通 じて	幼児 期の 人権 教育	大学・短大・ 専門学 校時代 の人権 教育	地域での学 習会	その他	特にな い	わから ない	不明・無 回答
全体		895	34.4	34.3	23.6	20.3	17.4	13.6	12.1	10.3	10.2	9.9	6.7	4.6	1.8	3.8	11.8	7.8	3.0
性別	女性	531	36.2	36.9	22.2	21.7	16.9	12.2	11.9	9.4	8.5	9.8	6.8	4.5	1.7	3.0	11.1	7.9	2.6
	男性	350	32.6	30.0	25.4	17.7	18.6	15.7	12.3	12.0	12.9	9.7	6.9	4.0	2.0	4.9	13.4	8.0	3.4
	無回答・その他	14	▼14.3	42.9	28.6	35.7	▼7.1	14.3	14.3	-	7.1	△21.4	-	△21.4	-	7.1	-	-	7.1
年代別	10代	13	38.5	38.5	△46.2	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	△46.2	△46.2	15.4	△15.4	7.7	-	15.4	7.7	-
	20代	59	44.1	33.9	△44.1	22.0	13.6	▼3.4	5.1	6.8	△25.4	△27.1	8.5	10.2	1.7	1.7	3.4	3.4	-
	30代	84	△51.2	40.5	27.4	28.6	23.8	13.1	7.1	13.1	11.9	19.0	2.4	6.0	2.4	3.6	3.6	1.2	1.2
	40代	112	△47.3	32.1	20.5	15.2	16.1	10.7	7.1	11.6	6.3	15.2	6.3	2.7	-	1.8	7.1	14.3	1.8
	50代	170	△46.5	34.7	22.4	17.6	12.4	14.1	10.6	6.5	7.1	9.4	6.5	2.4	0.6	3.5	10.6	7.6	2.4
	60代	185	28.1	30.3	23.8	16.2	15.1	13.0	14.1	16.2	11.4	5.4	3.8	5.4	0.5	7.0	14.6	7.0	2.2
	70代	178	▼20.2	40.4	18.5	26.4	21.9	19.1	16.9	7.3	7.9	2.8	10.7	4.5	2.8	3.4	13.5	7.9	5.6
	80代以上	91	▼13.2	27.5	17.6	18.7	22.0	14.3	17.6	9.9	5.5	3.3	7.7	2.2	5.5	3.3	△24.2	11.0	5.5

【性年代別】

- 「小学校時代の人権教育」は、女性の 20～50 代と男性の 30～60 代は最も多く、女性・男性ともに 70 代以上は全体より 10 ポイント以上少ない。

【性年代別 人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの】

単位：％

		母数 (n)	人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの																	不明・無回答
			小学校時代の人権教育	家族とのふれあいの中から	中学校時代の人権教育	友人とのふれあいの中から	職場でのふれあいの中から	地域でのふれあいの中から	講演会や研修会	職場での人権研修会	高等学校時代の人権教育	SNSを通じて	インターネットやSNSを通じて	幼児期の人権教育	大学・短大・専門学校時代の人権教育	地域での学習会	その他	特にない	わからない	
全体		895	34.4	34.3	23.6	20.3	17.4	13.6	12.1	10.3	10.2	9.9	6.7	4.6	1.8	3.8	11.8	7.8	3.0	
性年代別	女性 10代	8	37.5	△50.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	△50.0	△50.0	△25.0	△25.0	△12.5	-	△25.0	12.5	-	
	20代	35	40.0	31.4	△37.1	17.1	14.3	-	8.6	11.4	17.1	△28.6	8.6	8.6	2.9	2.9	2.9	2.9	-	
	30代	52	△55.8	44.2	28.8	△30.8	26.9	9.6	9.6	13.5	5.8	15.4	1.9	5.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	
	40代	68	△60.3	35.3	22.1	17.6	16.2	11.8	10.3	14.7	1.5	14.7	2.9	2.9	-	-	5.9	11.8	-	
	50代	100	△48.0	33.0	23.0	16.0	14.0	11.0	10.0	5.0	7.0	11.0	6.0	-	-	1.0	10.0	9.0	3.0	
	60代	105	25.7	37.1	20.0	21.0	17.1	11.4	11.4	14.3	10.5	3.8	3.8	4.8	-	6.7	16.2	5.7	1.0	
	70代	107	▼21.5	42.1	16.8	27.1	15.0	17.8	15.9	4.7	8.4	1.9	12.1	6.5	2.8	2.8	13.1	8.4	5.6	
	80代以上	54	▼11.1	31.5	18.5	20.4	18.5	14.8	14.8	5.6	7.4	5.6	9.3	3.7	5.6	5.6	18.5	13.0	3.7	
	男性 10代	5	40.0	▼20.0	△80.0	20.0	-	-	-	-	△40.0	△40.0	-	-	-	-	-	-	-	
	20代	21	△52.4	33.3	△61.9	28.6	9.5	9.5	-	-	△42.9	△23.8	9.5	9.5	-	-	4.8	4.8	-	
	30代	31	△45.2	35.5	25.8	22.6	19.4	19.4	3.2	12.9	△22.6	△22.6	3.2	6.5	3.2	6.5	6.5	-	-	
	40代	41	29.3	26.8	17.1	12.2	17.1	9.8	2.4	7.3	14.6	14.6	12.2	2.4	-	4.9	9.8	△19.5	2.4	
	50代	67	△46.3	35.8	22.4	19.4	10.4	19.4	10.4	9.0	7.5	7.5	7.5	4.5	1.5	6.0	11.9	6.0	1.5	
60代	80	31.3	▼21.3	28.8	▼10.0	12.5	15.0	17.5	18.8	12.5	7.5	3.8	6.3	1.3	7.5	12.5	8.8	3.8		
70代	68	▼19.1	38.2	19.1	23.5	△33.8	19.1	17.6	11.8	7.4	4.4	8.8	1.5	2.9	4.4	14.7	7.4	5.9		
80代以上	37	▼16.2	▼21.6	16.2	16.2	27.0	13.5	21.6	16.2	2.7	-	5.4	-	5.4	-	△32.4	8.1	8.1		

(2)問 30—1 人権尊重の考え方に強い影響を受けたものの内容

(問 30 で「1」～「13」に○をされた方に)

問 30-1 それはどのような内容でしたか。お構いなし範囲でご記入ください。

- 人権尊重の考え方に強い影響を受けたものの回答については 299 件あり、その内容を要約し分類した結果は、重複を含め 408 件で、以下のとおりである。

【学校での人権教育など 93件】(一部抜粋)

- ・授業での人権教育、道徳授業など
- ・道徳の授業で人の嫌がることはしてはいけないなど学んだ記憶がある
- ・小学校時代の道徳の授業は自分の中での人権教育の基礎になった
- ・道徳の授業で『岡林信康』の曲を聴き、部落差別について学んだ
- ・大学の授業で LGBTQ、犯罪被害者、インターネットにおける人権について講演を聴き学習した
- ・外国人の先生が授業で、ハーフ(half)ではなくハイブリッド(hybrid)と呼んで欲しいと言っていた
- ・小学校で部落差別や他国の文化、障がいのある方との交流を体育館で大々的に学習させてもらった
- ・授業で受けた部落差別について目に見えないことが差別の対象になるのかと衝撃を受けた
- ・授業で部落差別の体験談を聞きに行った

【同和問題(部落差別)から 72件】(一部抜粋)

- ・高校生の時、友達が就職する際に部落差別を受けた。その時に初めて部落のことを知り、人権を考えた
- ・中学校の修学旅行で大阪に行った際、部落出身の方から直接お話を聞いた
- ・今も記憶の中に「同和問題」に関する授業が残っており、差別はいけないという考えの基本になった
- ・部落の人に関わらないよう、気をつけるように言われた
- ・授業で受けた部落差別について目に見えないことが差別の対象になるのかと衝撃を受けた
- ・交際中の相手の母親から「うちは部落やき、一緒にはなれんきね」と言われた
- ・部落差別は現在も根強く残っている内容。結婚の際に意識(注意)するように親族から言われた
- ・地元で部落差別のことは耳にしており、自身の結婚の際にも再燃していたので、やはり気にしている人がいるのだと思った
- ・友人との会話で同和の話になり、泣き出した友達が同和地区の人だった。何も変わらない友人を差別することなんてできない、許されないと思った

【自身のこれまでの経験を通じて 58件】(一部抜粋)

- ・日々生活する中で喜び、悲しみいろいろな感情と共に学習してきたように思う
- ・様々な場所に出向き、自ら感じとった
- ・他の人にいやな思いをさせないようにと育ってきた
- ・小学生の時の純粋な気持ちで話を聞いたことが、大きくなってもそのまま記憶に残りやすい
- ・職場や友人などの人間関係から自然と考えるようになる
- ・自分とは違う考えの意見を聞いた時に納得できた

【家族や友人から 52件】(一部抜粋)

- ・母親から被差別地区に生まれたから差別されると聞かされた
- ・父親から黙っていたら差別は無くならない。声を出していかないと、と教えられた
- ・母親が他人への配慮をする人だった

- ・父親の差別意識が強かったための反面教師にしている
- ・親の価値観が一番影響を受ける
- ・家族の助け合い、団らん、両親の働く後ろ姿から子どもなりに理解していく
- ・障がいのある身内がいるので、自分ごととして考えることができた
- ・妻と人権について話をする中で色々な気づきがあった
- ・子どもが発達障害で不登校のため、子どもの人権について自分なりに考えた
- ・身内が同和地区の人と結婚する際に、自分の親が反対するのを聞き、がっかりした
- ・学校では部落差別はいけないことだと教わったのに、差別する親に納得できなかった

【インターネットやテレビ・映画などから 25 件】(一部抜粋)

- ・テレビの報道やドキュメンタリー、ドラマなど
- ・小学校で映画「橋のない川」を見て子ども心に世の中の不条理を覚えた
- ・ニュースなどを見て自分たちの意見などを話しあった
- ・SNS で様々な立場の人が投稿するポストを見て、自分以外の属性について理解を深めた
- ・「たいせつなきみ」という絵本を通して人権尊重の考えを学んだ
- ・障害児を育てる家族の日々のドキュメントをSNSで観た
- ・インターネットや SNS の発信内容と学校などで学んだこととのギャップ
- ・インターネットの体験などを見て、当事者の気持ちを知った

【講演会・研修会など 21 件】(一部抜粋)

- ・大阪浪速区の太鼓職人に関する研修会
- ・講演会で視覚障害のある方の体験を聞いた
- ・薬害に関する講演会
- ・手話研修

【職場関係 19 件】(一部抜粋)

- ・職場での人権を無視するような言動に憤りを感じたことがある
- ・職場でのハラスメント
- ・障がいのある方たちと一緒に仕事をした
- ・職場で年に1回は、同和問題についての講演＋グループ討議といった研修会があった
- ・職場で差別発言があった際に、差別の具体的な例などを研修で学んだ
- ・大人になると価値観などの修正を行うことは困難であるが、職場の環境が可能に思う
- ・職場に留学生がいたことや外国人が施設の利用をしていたことで

【LGBTQ+に関すること 12 件】(一部抜粋)

- ・知人に LGBTQ+ の人が増えた
- ・LGBT の方と話をした時、まだまだ世間の理解が足りないと感じた
- ・LGBT の人について理解はできるが、実際に身近になった時に平等に対応できるかなど考えた

【地域でのふれあいから 6 件】(一部抜粋)

- ・差別を受けた方たちとの交流
- ・地域の人々の考え方や価値観が子どもの人生に大きな影響を与える

【その他 50件】(一部抜粋)

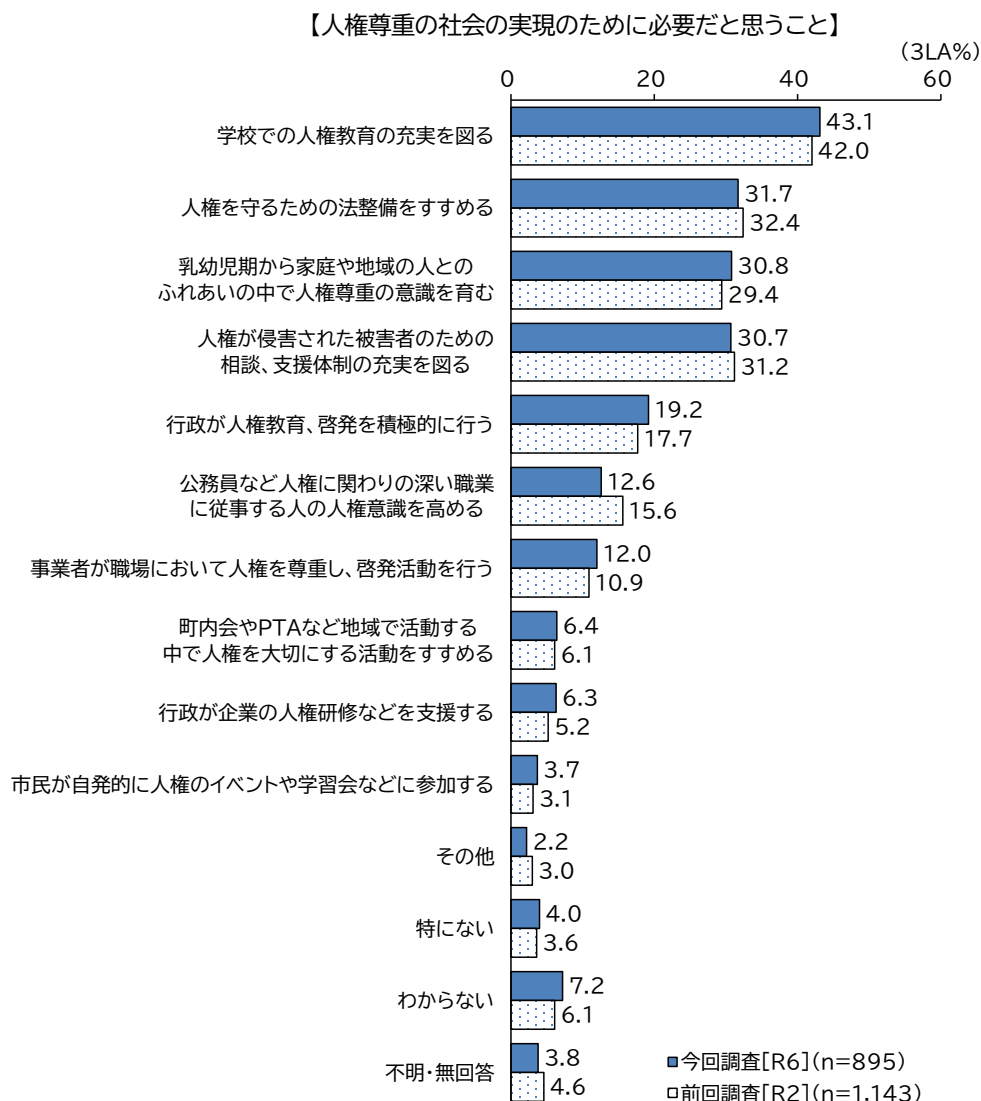
- ・犯罪被害者やインターネットにおける人権問題、いじめ、不登校
- ・祖父がハンセン病で、親族間で差別を受けたと母から聞いた
- ・小学校の時に HIV について学ぶ授業があり、日常生活では感染しないと聞いた
- ・女性軽視や男尊女卑などの女性の人権について
- ・人の数だけ色々な人や考えがあるため、人と違うからと排除するような考えは持ってはいけない
- ・障がい者の同級生が何人かおり、身近であった分、授業の在り方接し方など、多く考えさせられた
- ・親の育児放棄による子どもの人権
- ・パワハラ・セクハラなどのハラスメント
- ・差別をされている人たちのことを意識せず当たり前のように関わって生活してきた
- ・人との基本的な接し方を幼い頃に学んだら、その後大きく変わることはないと思う
- ・最近是人との距離感が希薄になって、差し障りない付き合い方が主流なので難しい世の中だと思う

(3)問 31 人権尊重の社会の実現のために必要だと思うこと

問 31 あなたが、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。
(〇は3つまで)

【全体】

- 人権尊重の社会の実現のために必要だと思うことについて、「学校での人権教育の充実を図る」が 43.1%で最も多く、次いで「人権を守るための法整備をすすめる」が 31.7%、「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む」が 30.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、「公務員など人権に関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める」が 3.0 ポイント少なくなっている。



【性別】

- 性別で見ると、女性・男性は「学校での人権教育の充実を図る」、無回答・その他は「人権を守るための法整備をすすめる」が最も多くなっている。

【年代別】

- 年代別で見ると、いずれの年代も「学校での人権教育の充実を図る」が多い傾向となっている。
- 10代は「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む」、20・30代は「人権を守るための法整備をすすめる」、「学校での人権教育の充実を図る」が全体より10ポイント以上多くなっている。

【性別、年代別 人権尊重の社会の実現のために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	人権尊重の社会の実現のために必要だと思うこと													
			学校での人権教育の充実を図る	人権を守るための法整備をすすめる	乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む	人権が侵害された被害者のための相談、支援体制の充実を図る	行政が人権教育、啓発を積極的に行う	公務員など人権に関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める	事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う	町内会やPTAなど地域で活動する中で人権を大切にする活動をすすめる	行政が企業の人権研修などを支援する	市民が自発的に人権のイベントや学習会などに参加する	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体		895	43.1	31.7	30.8	30.7	19.2	12.6	12.0	6.4	6.3	3.7	2.2	4.0	7.2	3.8
性別	女性	531	41.8	32.8	35.6	31.5	18.5	12.6	12.4	6.8	6.4	2.6	1.3	2.6	6.8	3.0
	男性	350	46.0	30.0	23.7	30.3	20.3	12.9	11.4	6.0	6.3	5.1	3.7	5.7	7.4	4.9
	無回答・その他	14	▼21.4	35.7	28.6	▼14.3	21.4	7.1	7.1	-	-	7.1	-	△14.3	14.3	7.1
年代別	10代	13	46.2	30.8	△46.2	38.5	-	7.7	7.7	-	7.7	-	-	-	15.4	-
	20代	59	△62.7	△52.5	37.3	35.6	27.1	6.8	8.5	3.4	5.1	1.7	3.4	-	1.7	-
	30代	84	△58.3	△42.9	28.6	27.4	16.7	8.3	17.9	3.6	3.6	1.2	-	2.4	4.8	2.4
	40代	112	41.1	36.6	30.4	25.9	14.3	15.2	9.8	3.6	4.5	3.6	1.8	2.7	11.6	3.6
	50代	170	42.4	31.2	28.2	37.1	19.4	10.0	9.4	4.1	7.6	4.1	4.1	5.3	6.5	2.9
	60代	185	43.8	35.7	30.3	30.3	19.5	10.3	13.5	5.9	6.5	3.8	3.8	4.3	5.9	2.2
	70代	178	37.1	23.0	33.1	29.2	20.2	16.9	12.4	10.7	7.3	5.1	1.1	6.2	4.5	6.7
	80代以上	91	▼29.7	▼13.2	29.7	27.5	23.1	19.8	13.2	11.0	6.6	4.4	-	3.3	15.4	6.6

【性年代別】

- 性年代別でみると、女性の 10～60 代と男性の 20 代以上では「学校での人権教育の充実を図る」、女性の 80 代以上は「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む」、男性の 10 代は「人権が侵害された被害者のための相談、支援体制の充実を図る」が最も多くなっている。女性の 70 代は「学校での人権教育の充実を図る」、「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む」も最も多くなっている。
- 女性の 80 代以上、男性の 10 代は「学校での人権教育の充実を図る」が全体より約 20 ポイント少なくなっている。

【性年代別 人権尊重の社会の実現のために必要だと思うこと】

単位：％

		母数 (n)	人権尊重の社会の実現のために必要だと思うこと													
			学校での人権教育の充実を図る	人権を守るための法整備をすすめる	乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む	人権が侵害された被害者のための相談、支援体制の充実を図る	行政が人権教育、啓発を積極的に行う	公務員など人権に関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める	事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う	町内会やPTAなど地域で活動する中で人権を大切にする活動をすすめる	行政が企業の人権研修などを支援する	市民が自発的に人権のイベントや学習会などに参加する	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体		895	43.1	31.7	30.8	30.7	19.2	12.6	12.0	6.4	6.3	3.7	2.2	4.0	7.2	3.8
性年代別	女性 10代	8	△62.5	25.0	△50.0	25.0	-	-	12.5	-	12.5	-	-	-	△25.0	-
	20代	35	△60.0	△51.4	△42.9	△42.9	22.9	5.7	5.7	5.7	8.6	-	5.7	-	-	-
	30代	52	△63.5	38.5	30.8	▼17.3	17.3	13.5	21.2	1.9	5.8	-	-	1.9	3.8	1.9
	40代	68	44.1	38.2	35.3	30.9	16.2	17.6	11.8	4.4	4.4	4.4	-	1.5	10.3	1.5
	50代	100	39.0	35.0	31.0	37.0	16.0	8.0	10.0	5.0	6.0	2.0	1.0	4.0	7.0	4.0
	60代	105	40.0	35.2	39.0	32.4	20.0	8.6	14.3	4.8	4.8	2.9	2.9	1.9	5.7	1.0
	70代	107	35.5	27.1	35.5	30.8	18.7	15.9	11.2	10.3	8.4	3.7	0.9	5.6	4.7	4.7
	80代以上	54	▼24.1	▼13.0	37.0	27.8	24.1	22.2	13.0	14.8	7.4	3.7	-	-	13.0	5.6
	男性 10代	5	▼20.0	40.0	40.0	△60.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	21	△71.4	△47.6	28.6	23.8	△33.3	9.5	14.3	-	-	4.8	-	-	4.8	-
	30代	31	51.6	△48.4	25.8	△45.2	12.9	-	12.9	6.5	-	-	-	3.2	6.5	3.2
	40代	41	39.0	36.6	24.4	▼19.5	12.2	12.2	7.3	2.4	4.9	2.4	4.9	2.4	12.2	4.9
	50代	67	49.3	25.4	22.4	37.3	25.4	13.4	9.0	3.0	10.4	7.5	9.0	7.5	4.5	1.5
	60代	80	48.8	36.3	▼18.8	27.5	18.8	12.5	12.5	7.5	8.8	5.0	5.0	7.5	6.3	3.8
70代	68	39.7	▼17.6	29.4	27.9	22.1	17.6	13.2	11.8	5.9	7.4	1.5	5.9	4.4	10.3	
80代以上	37	37.8	▼13.5	▼18.9	27.0	21.6	16.2	13.5	5.4	5.4	5.4	-	8.1	△18.9	8.1	

(4)問 32 人権に関する法律や取り組みなどの認知度

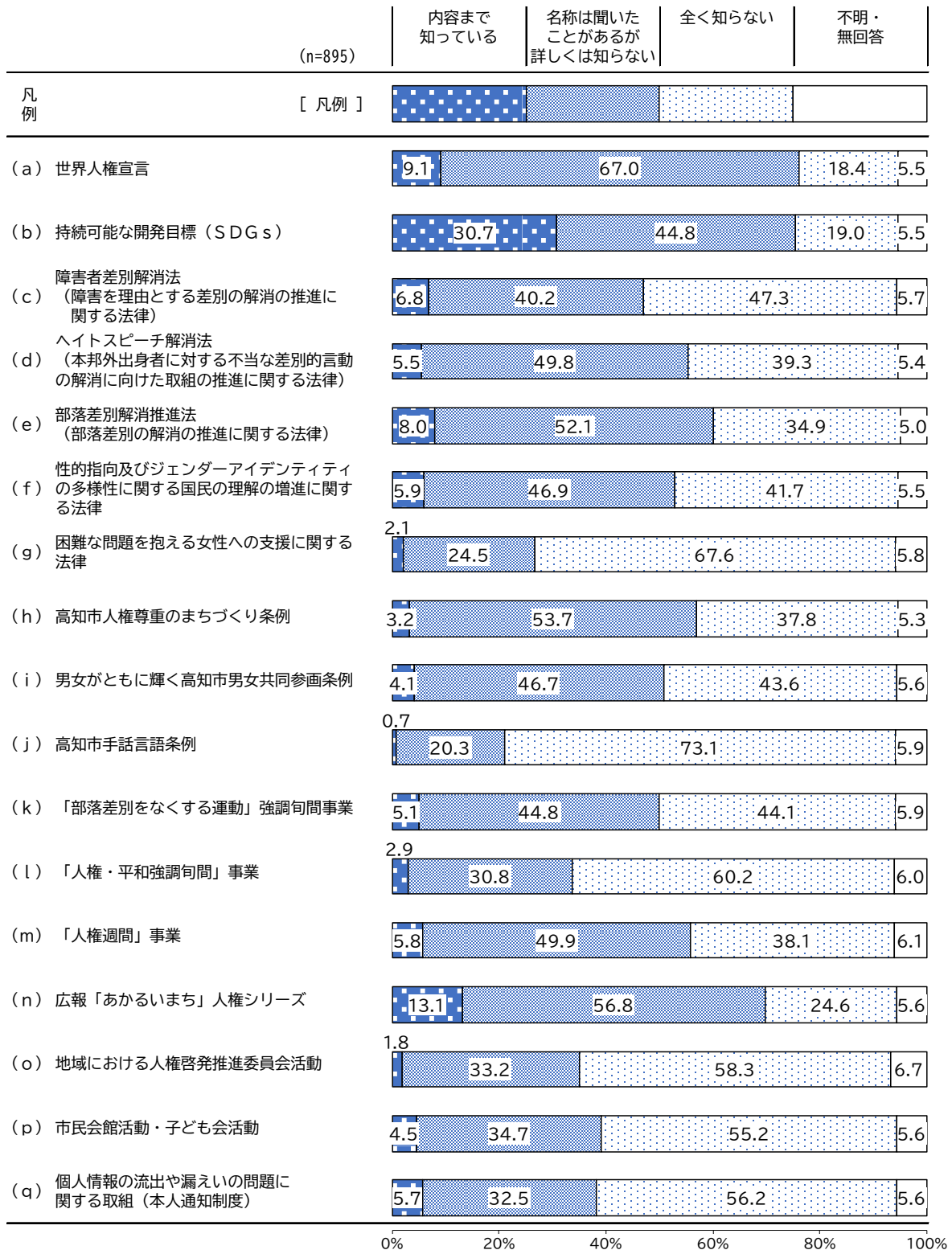
問 32 あなたは、次の(a)から(q)の人権に関する宣言(国連)や法律・条令・市の取り組みについてどの程度ご存知ですか。(それぞれに○を1つ)

【全体】

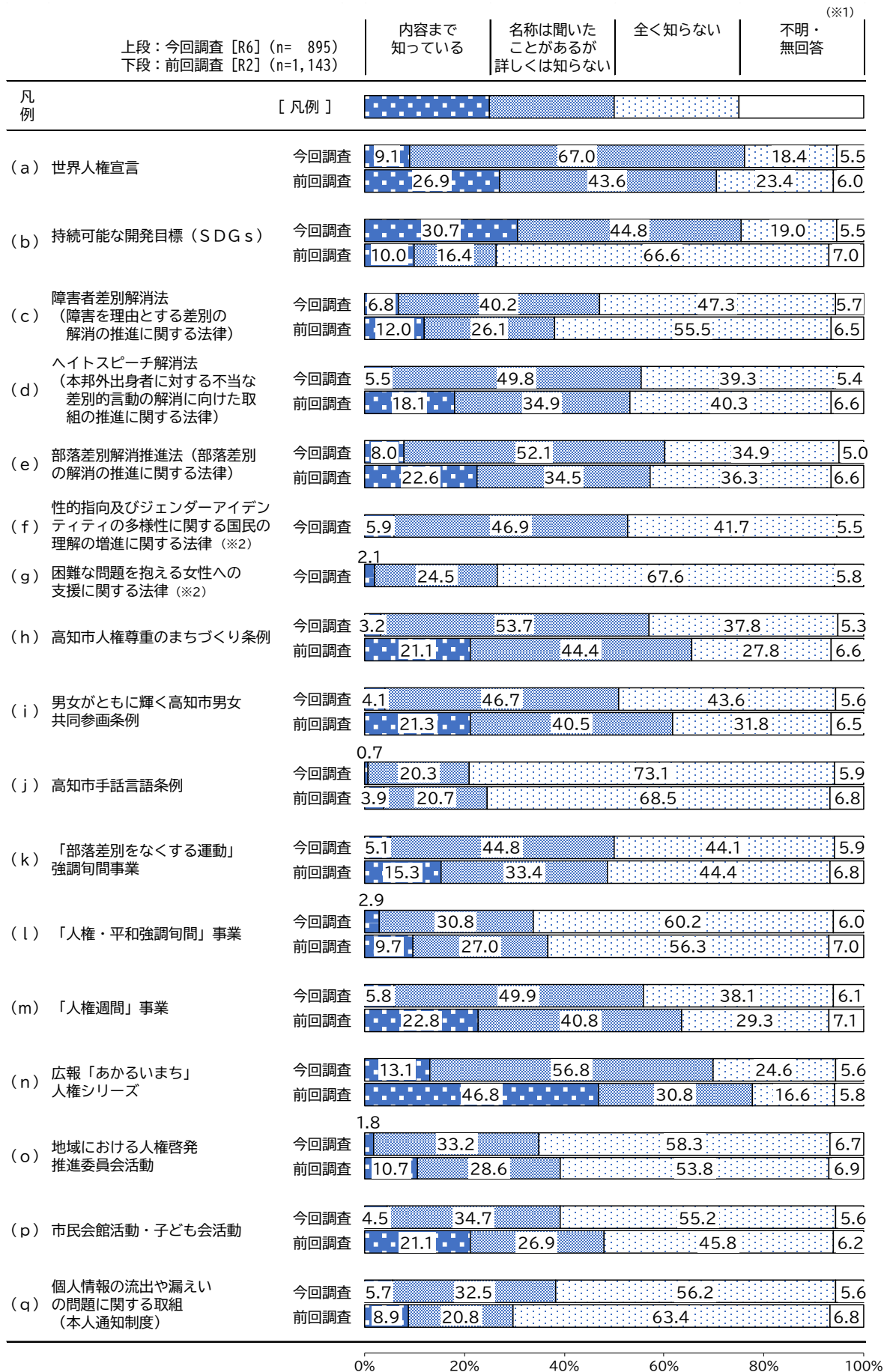
- 人権に関する法律や取り組みなどの認知度について、認知度(「内容まで知っている」「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」の合計)が最も高いものは「(a)世界人権宣言」(76.1%)、最も認知度が低いものは「(j)高知市手話言語条例」(21.0%)となっている。認知度が 60%以上のものは他に「(b)持続可能な開発目標(SDGs)」「(n)広報『あかるいまち』人権シリーズ」「(e)部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)」となっている。
- 前回調査と認知度(前回調査では「知っている」「名称は聞いたことがある」の合計)を比較すると、「(b)持続可能な開発目標(SDGs)」は前回調査より 49.1 ポイント多くなっている。また、「(c)障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」(8.9 ポイント)、「(q)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組(本人通知制度)^(※1)」(8.5 ポイント)、「(a)世界人権宣言」(5.6 ポイント)も前回調査より 5 ポイント以上多くなっている。一方、「(i)男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」(11.0 ポイント)、「(p)市民会館活動・子ども会活動」(8.8 ポイント)、「(h)高知市人権尊重のまちづくり条例」(8.6 ポイント)、「(m)『人権週間』事業」(7.9 ポイント)、「(n)広報『あかるいまち』人権シリーズ」(7.7 ポイント)は前回調査より 5 ポイント以上少なくなっている。

(※1) 用語説明 P156 参照。

【人権に関する法律や取り組みなどの認知度】



【人権に関する法律や取り組みなどの認知度(経年比較)】



(※1) 前回調査では、「知っている」「名称は聞いたことがある」「知らない」としていた。

(※2) 前回調査では「(f)性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」「(g)困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」との回答項目は設定してない。

■ (a)世界人権宣言

- 性別でみると、無回答・その他は「内容まで知っている」が全体より 26.6 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、10・20 代は「内容まで知っている」が全体より約 10～20 ポイント多くなっている。

■ (b)持続可能な開発目標(SDGs)

- 年代別でみると、10～30 代は「内容まで知っている」が他の年代に比べて割合が多い。80 代以上は「全く知らない」が全体より 21.7 ポイント多くなっている。
- 性年代別でみると、女性の 10～40 代、男性の 10・20 代は「内容まで知っている」が他の年代に比べて多くなっており、女性・男性ともに 70 代以上は「内容まで知っている」が全体より約 10～20 ポイント少なくなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 (n)	(a) 世界人権宣言				(b) 持続可能な開発目標 (SDGs)			
			内容 まで 知っ てい る	詳 し く は 聞 い た こ と が あ る が	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内容 まで 知っ てい る	詳 し く は 聞 い た こ と が あ る が	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	9.1	67.0	18.4	5.5	30.7	44.8	19.0	5.5
性別	女性	531	8.1	66.3	19.6	6.0	31.3	43.7	19.0	6.0
	男性	350	9.4	69.1	17.1	4.3	29.7	46.3	19.4	4.6
	無回答・その他	14	△ 35.7	▼ 42.9	▼ 7.1	14.3	35.7	50.0	▼ 7.1	7.1
年代別	10代	13	△ 30.8	▼ 53.8	15.4	-	△ 100.0	-	-	-
	20代	59	△ 23.7	59.3	15.3	1.7	△ 64.4	▼ 27.1	▼ 8.5	-
	30代	84	14.3	61.9	22.6	1.2	△ 44.0	47.6	▼ 6.0	2.4
	40代	112	8.9	72.3	16.1	2.7	38.4	47.3	12.5	1.8
	50代	170	4.7	70.0	21.2	4.1	34.1	48.2	12.9	4.7
	60代	185	9.2	69.7	16.8	4.3	27.0	47.0	22.2	3.8
	70代	178	7.3	69.7	15.7	7.3	▼ 16.9	49.4	25.8	7.9
	80代以上	91	3.3	▼ 56.0	24.2	16.5	▼ 6.6	36.3	△ 40.7	16.5
性年代別	女性 10代	8	△ 25.0	▼ 50.0	25.0	-	△ 100.0	-	-	-
	20代	35	△ 22.9	▼ 54.3	20.0	2.9	△ 62.9	▼ 31.4	▼ 5.7	-
	30代	52	9.6	61.5	26.9	1.9	△ 46.2	50.0	▼ 1.9	1.9
	40代	68	10.3	70.6	17.6	1.5	△ 45.6	41.2	13.2	-
	50代	100	3.0	70.0	21.0	6.0	34.0	45.0	14.0	7.0
	60代	105	9.5	71.4	15.2	3.8	21.9	△ 55.2	19.0	3.8
	70代	107	6.5	70.1	16.8	6.5	▼ 19.6	43.9	△ 29.0	7.5
	80代以上	54	1.9	▼ 51.9	25.9	20.4	▼ 5.6	▼ 29.6	△ 44.4	20.4
	男性 10代	5	△ 40.0	60.0	-	-	△ 100.0	-	-	-
	20代	21	19.0	71.4	9.5	-	△ 66.7	▼ 19.0	14.3	-
	30代	31	△ 19.4	64.5	16.1	-	38.7	45.2	12.9	3.2
	40代	41	7.3	75.6	14.6	2.4	29.3	△ 56.1	12.2	2.4
	50代	67	6.0	70.1	22.4	1.5	32.8	53.7	11.9	1.5
	60代	80	8.8	67.5	18.8	5.0	33.8	36.3	26.3	3.8
	70代	68	7.4	72.1	13.2	7.4	▼ 13.2	△ 57.4	20.6	8.8
	80代以上	37	5.4	62.2	21.6	10.8	▼ 8.1	45.9	△ 35.1	10.8

■ (c)障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)

○ 性年代別でみると、女性・男性ともに 20・40 代以上は「全く知らない」が最も多い。

■ (d)ヘイトスピーチ^(※1)解消法

(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)

○ 性年代別でみると、女性の 10 代、男性の 30 代は「内容まで知っている」が全体より約 10～20 ポイント多くなっている。また、「全く知らない」は、女性の 10 代が全体より 35.7 ポイント、男性の 80 代以上が 12.1 ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 (n)	(c) 障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）				(d) ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）			
			内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが	全く知らない	不明・無回答
全体		895	6.8	40.2	47.3	5.7	5.5	49.8	39.3	5.4
性別	女性	531	7.0	40.1	46.7	6.2	4.5	49.2	40.5	5.8
	男性	350	6.0	40.9	48.6	4.6	6.6	51.7	37.1	4.6
	無回答・その他	14	△ 21.4	▼ 28.6	▼ 35.7	14.3	14.3	▼ 28.6	△ 50.0	7.1
年代別	10代	13	△ 23.1	△ 53.8	▼ 23.1	-	15.4	▼ 23.1	△ 61.5	-
	20代	59	10.2	39.0	50.8	-	8.5	44.1	47.5	-
	30代	84	16.7	46.4	▼ 35.7	1.2	7.1	53.6	38.1	1.2
	40代	112	8.9	37.5	50.9	2.7	6.3	46.4	45.5	1.8
	50代	170	7.1	38.2	50.6	4.1	4.1	54.1	37.6	4.1
	60代	185	4.3	43.2	48.6	3.8	5.4	56.8	34.1	3.8
	70代	178	3.4	40.4	47.8	8.4	5.6	51.1	34.8	8.4
	80代以上	91	2.2	33.0	46.2	18.7	2.2	▼ 33.0	48.4	16.5
性年代別	女性 10代	8	△ 25.0	△ 62.5	▼ 12.5	-	△ 25.0	-	△ 75.0	-
	20代	35	14.3	37.1	48.6	-	11.4	▼ 37.1	△ 51.4	-
	30代	52	△ 17.3	44.2	▼ 36.5	1.9	-	59.6	38.5	1.9
	40代	68	7.4	39.7	52.9	-	7.4	42.6	△ 50.0	-
	50代	100	5.0	38.0	51.0	6.0	1.0	54.0	39.0	6.0
	60代	105	3.8	42.9	49.5	3.8	5.7	59.0	31.4	3.8
	70代	107	4.7	39.3	47.7	8.4	4.7	49.5	37.4	8.4
	80代以上	54	3.7	35.2	38.9	22.2	1.9	▼ 33.3	46.3	18.5
	男性 10代	5	△ 20.0	40.0	40.0	-	-	△ 60.0	40.0	-
	20代	21	-	42.9	57.1	-	-	57.1	42.9	-
	30代	31	12.9	△ 51.6	▼ 35.5	-	△ 16.1	45.2	38.7	-
	40代	41	12.2	36.6	48.8	2.4	4.9	56.1	36.6	2.4
	50代	67	9.0	38.8	50.7	1.5	9.0	55.2	34.3	1.5
	60代	80	5.0	43.8	47.5	3.8	5.0	53.8	37.5	3.8
	70代	68	1.5	42.6	47.1	8.8	7.4	54.4	29.4	8.8
	80代以上	37	-	▼ 29.7	56.8	13.5	2.7	▼ 32.4	△ 51.4	13.5

(※1) 用語説明 P156 参照。

■ (e) 部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)

- 性別での違いはほとんどみられない。年代別では10代、性年代別では女性の10代、男性の20代では「全く知らない」が最も多くなっている。

■ (f) 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律

- 性別で見ると、無回答・その他は「内容まで知っている」が全体より15.5ポイント多い一方、「全く知らない」も全体より多くなっている。
- 性年代別で見ると、女性の10・20代、男性の10・30代は「内容まで知っている」がやや多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

		母数 (n)	(e) 部落差別解消推進法（部落差別の 解消の推進に関する法律）				(f) 性的指向及びジェンダーアイデン ティティの多様性に関する国民の 理解の増進に関する法律			
			内 容 ま で 知 っ て い る	詳 し く は 聞 い た こ と が あ る が	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内 容 ま で 知 っ て い る	詳 し く は 聞 い た こ と が あ る が	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	8.0	52.1	34.9	5.0	5.9	46.9	41.7	5.5
性別	女性	531	7.9	52.5	34.1	5.5	5.8	48.6	39.5	6.0
	男性	350	8.0	52.0	35.7	4.3	5.4	45.4	44.6	4.6
	無回答・その他	14	14.3	▼ 35.7	42.9	7.1	△ 21.4	▼ 21.4	50.0	7.1
年代別	10代	13	15.4	▼ 30.8	△ 53.8	-	15.4	53.8	▼ 30.8	-
	20代	59	15.3	50.8	33.9	-	13.6	42.4	44.1	-
	30代	84	14.3	45.2	39.3	1.2	14.3	50.0	34.5	1.2
	40代	112	9.8	50.0	38.4	1.8	7.1	45.5	45.5	1.8
	50代	170	4.7	52.9	38.2	4.1	3.5	51.2	40.6	4.7
	60代	185	5.4	57.8	33.0	3.8	4.9	48.6	42.7	3.8
	70代	178	9.0	53.4	29.8	7.9	3.4	50.0	38.8	7.9
	80代以上	91	4.4	49.5	31.9	14.3	2.2	▼ 29.7	50.5	17.6
性年代別	女性 10代	8	12.5	▼ 12.5	△ 75.0	-	12.5	50.0	37.5	-
	20代	35	△ 22.9	51.4	25.7	-	14.3	45.7	40.0	-
	30代	52	9.6	48.1	40.4	1.9	9.6	53.8	34.6	1.9
	40代	68	7.4	50.0	42.6	-	7.4	47.1	45.6	-
	50代	100	4.0	53.0	37.0	6.0	2.0	52.0	39.0	7.0
	60代	105	3.8	59.0	33.3	3.8	4.8	47.6	43.8	3.8
	70代	107	11.2	55.1	26.2	7.5	5.6	54.2	32.7	7.5
	80代以上	54	5.6	50.0	27.8	16.7	3.7	▼ 31.5	44.4	20.4
	男性 10代	5	△ 20.0	60.0	▼ 20.0	-	△ 20.0	△ 60.0	▼ 20.0	-
	20代	21	-	47.6	△ 52.4	-	4.8	42.9	△ 52.4	-
	30代	31	△ 19.4	▼ 41.9	38.7	-	△ 19.4	45.2	35.5	-
	40代	41	14.6	51.2	31.7	2.4	7.3	46.3	43.9	2.4
	50代	67	6.0	55.2	37.3	1.5	6.0	50.7	41.8	1.5
	60代	80	7.5	56.3	32.5	3.8	5.0	50.0	41.3	3.8
	70代	68	5.9	51.5	33.8	8.8	-	44.1	47.1	8.8
	80代以上	37	2.7	48.6	37.8	10.8	-	▼ 27.0	△ 59.5	13.5

単位：％

■ (g) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律

- 性年代別でみると、女性・男性ともに 10 代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が他の年代に比べて多くなっている。

■ (h) 高知市人権尊重のまちづくり条例

- 年代別でみると、10～30 代は「全く知らない」、40 代以上は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が最も多くなっている。
- 性年代別でみると、女性の 10・30 代、男性の 20・30 代は「全く知らない」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 (n)	(g) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律				(h) 高知市人権尊重のまちづくり条例			
			内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが	全く知らない	不明・無回答
全体		895	2.1	24.5	67.6	5.8	3.2	53.7	37.8	5.3
性別	女性	531	2.3	24.5	66.9	6.4	3.0	54.4	36.9	5.6
	男性	350	1.7	24.6	68.9	4.9	3.4	53.1	38.9	4.6
	無回答・その他	14	7.1	21.4	64.3	7.1	7.1	▼ 42.9	42.9	7.1
年代別	10代	13	-	△ 46.2	▼ 53.8	-	-	▼ 38.5	△ 61.5	-
	20代	59	5.1	23.7	71.2	-	3.4	45.8	△ 50.8	-
	30代	84	4.8	25.0	67.9	2.4	3.6	▼ 42.9	△ 52.4	1.2
	40代	112	3.6	18.8	75.9	1.8	4.5	53.6	40.2	1.8
	50代	170	1.8	22.9	70.0	5.3	3.5	54.1	37.6	4.7
	60代	185	2.2	24.3	69.7	3.8	3.8	58.9	33.5	3.8
	70代	178	-	29.8	61.8	8.4	2.2	61.2	28.7	7.9
	80代以上	91	1.1	20.9	60.4	17.6	2.2	46.2	36.3	15.4
性年代別	女性 10代	8	-	△ 50.0	▼ 50.0	-	-	▼ 25.0	△ 75.0	-
	20代	35	8.6	22.9	68.6	-	2.9	57.1	40.0	-
	30代	52	1.9	25.0	71.2	1.9	3.8	44.2	△ 50.0	1.9
	40代	68	2.9	16.2	△ 80.9	-	5.9	57.4	36.8	-
	50代	100	3.0	21.0	68.0	8.0	2.0	55.0	36.0	7.0
	60代	105	1.9	26.7	67.6	3.8	2.9	62.9	30.5	3.8
	70代	107	-	30.8	60.7	8.4	2.8	55.1	34.6	7.5
	80代以上	54	1.9	22.2	▼ 55.6	20.4	1.9	46.3	35.2	16.7
	男性 10代	5	-	△ 40.0	60.0	-	-	60.0	40.0	-
	20代	21	-	28.6	71.4	-	4.8	▼ 23.8	△ 71.4	-
	30代	31	6.5	25.8	64.5	3.2	3.2	▼ 38.7	△ 58.1	-
	40代	41	4.9	24.4	68.3	2.4	2.4	51.2	43.9	2.4
	50代	67	-	26.9	71.6	1.5	4.5	55.2	38.8	1.5
	60代	80	2.5	21.3	72.5	3.8	5.0	53.8	37.5	3.8
	70代	68	-	26.5	64.7	8.8	1.5	△ 70.6	▼ 19.1	8.8
	80代以上	37	-	18.9	67.6	13.5	2.7	45.9	37.8	13.5

■ (i)男女がともに輝く高知市男女共同参画条例

- 性別でみると、男性は「全く知らない」が女性より 9.0 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、10 代は「全く知らない」が全体より 33.3 ポイント多くなっている。
- 性年代別でみると、女性の 20 代と男性の 10 代は「内容まで知っている」が他の年代に比べて多く、女性の 60・70 代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が全体より約 10 ポイント多くなっている。

■ (j)高知市手話言語条例

- 性別でみると、女性・男性での違いはほとんどなく、無回答・その他は「内容まで知っている」「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は全体より 29.0 ポイント多くなっている。
- 年代別でみると、70 代の認知度が 29.3%でやや多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 (n)	(i) 男女がともに輝く高知市男女共同 参画条例				(j) 高知市手話言語条例			
			内 容 ま で 知 っ て い る	詳 し く は 聞 い た こ と が あ る が	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内 容 ま で 知 っ て い る	詳 し く は 聞 い た こ と が あ る が	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		895	4.1	46.7	43.6	5.6	0.7	20.3	73.1	5.9
性別	女性	531	4.1	49.7	39.9	6.2	0.8	19.2	73.6	6.4
	男性	350	3.7	42.9	48.9	4.6	0.3	21.1	73.4	5.1
	無回答・その他	14	△ 14.3	▼ 28.6	50.0	7.1	7.1	△ 42.9	▼ 42.9	7.1
年代別	10代	13	7.7	▼ 15.4	△ 76.9	-	-	15.4	△ 84.6	-
	20代	59	6.8	37.3	△ 55.9	-	-	15.3	△ 84.7	-
	30代	84	8.3	40.5	50.0	1.2	2.4	13.1	△ 83.3	1.2
	40代	112	1.8	48.2	48.2	1.8	0.9	17.0	80.4	1.8
	50代	170	1.8	44.1	49.4	4.7	-	18.8	76.5	4.7
	60代	185	4.9	48.6	42.7	3.8	0.5	21.1	74.6	3.8
	70代	178	5.1	56.2	▼ 30.3	8.4	0.6	28.7	▼ 61.8	9.0
	80代以上	91	2.2	44.0	36.3	17.6	1.1	19.8	▼ 59.3	19.8
性年代別	女性 10代	8	-	▼ 12.5	△ 87.5	-	-	-	△ 100.0	-
	20代	35	11.4	▼ 34.3	△ 54.3	-	-	11.4	△ 88.6	-
	30代	52	7.7	48.1	42.3	1.9	1.9	11.5	△ 84.6	1.9
	40代	68	2.9	48.5	48.5	-	-	13.2	△ 86.8	-
	50代	100	1.0	46.0	46.0	7.0	-	18.0	76.0	6.0
	60代	105	2.9	△ 57.1	36.2	3.8	1.0	21.9	73.3	3.8
	70代	107	5.6	△ 59.8	▼ 26.2	8.4	0.9	29.9	▼ 59.8	9.3
	80代以上	54	3.7	42.6	▼ 33.3	20.4	1.9	18.5	▼ 57.4	22.2
	男性 10代	5	△ 20.0	▼ 20.0	△ 60.0	-	-	△ 40.0	▼ 60.0	-
	20代	21	-	42.9	△ 57.1	-	-	14.3	△ 85.7	-
	30代	31	6.5	▼ 29.0	△ 64.5	-	-	16.1	△ 83.9	-
	40代	41	-	51.2	46.3	2.4	2.4	24.4	70.7	2.4
	50代	67	3.0	41.8	△ 53.7	1.5	-	19.4	77.6	3.0
	60代	80	7.5	37.5	51.3	3.8	-	20.0	76.3	3.8
	70代	68	2.9	51.5	36.8	8.8	-	25.0	66.2	8.8
	80代以上	37	-	45.9	40.5	13.5	-	21.6	▼ 62.2	16.2

■ (k)「部落差別をなくする運動」強調旬間事業

- 年代別・性年代別でみると、10～50代は「全く知らない」、60代以上は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が最も多くなっている。

■ (l)「人権・平和強調旬間」事業

- 年代別でみると、「全く知らない」は年代が上がるほど割合が少なくなる傾向がみられる。
- 性年代別でみると、女性の60代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が全体より14.9ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 母数 (n)	(k)「部落差別をなくする運動」強調 旬間事業				(l)「人権・平和強調旬間」事業			
			内容 まで知 っている	詳 しくは 聞いた ことが あるが	全 く知 らない	不 明・ 無回 答	内容 まで知 っている	詳 しくは 聞いた ことが あるが	全 く知 らない	不 明・ 無回 答
全体		895	5.1	44.8	44.1	5.9	2.9	30.8	60.2	6.0
性別	女性	531	4.9	45.2	43.1	6.8	2.8	30.5	59.9	6.8
	男性	350	5.1	44.3	46.0	4.6	2.9	30.6	61.7	4.9
	無回答・その他	14	14.3	42.9	35.7	7.1	7.1	50.0	35.7	7.1
年代別	10代	13	-	15.4	84.6	-	-	7.7	92.3	-
	20代	59	8.5	28.8	62.7	-	3.4	18.6	78.0	-
	30代	84	3.6	26.2	69.0	1.2	1.2	20.2	77.4	1.2
	40代	112	3.6	37.5	57.1	1.8	0.9	25.9	70.5	2.7
	50代	170	5.3	41.8	48.8	4.1	4.7	27.6	62.9	4.7
	60代	185	4.3	55.7	35.7	4.3	3.8	42.2	49.7	4.3
	70代	178	6.7	56.7	26.4	10.1	1.7	37.1	52.2	9.0
	80代以上	91	5.5	45.1	31.9	17.6	4.4	28.6	48.4	18.7
性年代別	女性 10代	8	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	20代	35	5.7	40.0	54.3	-	2.9	17.1	80.0	-
	30代	52	1.9	23.1	73.1	1.9	1.9	17.3	78.8	1.9
	40代	68	4.4	36.8	58.8	-	1.5	23.5	73.5	1.5
	50代	100	3.0	44.0	47.0	6.0	3.0	28.0	62.0	7.0
	60代	105	3.8	59.0	32.4	4.8	3.8	45.7	45.7	4.8
	70代	107	8.4	54.2	26.2	11.2	2.8	38.3	50.5	8.4
	80代以上	54	7.4	44.4	27.8	20.4	3.7	25.9	48.1	22.2
	男性 10代	5	-	40.0	60.0	-	-	20.0	80.0	-
	20代	21	4.8	14.3	81.0	-	-	19.0	81.0	-
	30代	31	6.5	29.0	64.5	-	-	22.6	77.4	-
	40代	41	2.4	41.5	53.7	2.4	-	31.7	65.9	2.4
	50代	67	9.0	37.3	52.2	1.5	7.5	25.4	65.7	1.5
	60代	80	5.0	51.3	40.0	3.8	3.8	37.5	55.0	3.8
	70代	68	4.4	60.3	26.5	8.8	-	33.8	55.9	10.3
	80代以上	37	2.7	45.9	37.8	13.5	5.4	32.4	48.6	13.5

■ (m)「人権週間」事業

- 年代別でみると、10～30代は「全く知らない」が全体より10ポイント以上多くなっている。60代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が全体より11.7ポイント多くなっている。
- 性年代別でみると、男女とも10～30代は「全く知らない」、40～70代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が多くなっている。

■ (n)広報「あかるいまち」人権シリーズ

- 年代別でみると、10・20代は「全く知らない」が全体より約20～30ポイント多くなっている。40代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が全体より11.1ポイント多くなっている。
- 性年代別でみると、女性・男性ともに10・20代は「全く知らない」が他の年代に比べて多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 母数□ (n)	(m)「人権週間」事業				(n) 広報「あかるいまち」人権 シリーズ			
			内容 まで知 っている	詳 しくは 聞いた ことが あるが	全 く知 らな い	不 明・無 回 答	内容 まで知 っている	詳 しくは 聞いた ことが あるが	全 く知 らな い	不 明・無 回 答
全体		895	5.8	49.9	38.1	6.1	13.1	56.8	24.6	5.6
性別	女性	531	5.8	49.7	37.5	7.0	14.1	57.1	22.6	6.2
	男性	350	5.4	50.3	39.4	4.9	11.1	57.1	27.1	4.6
	無回答・その他	14	14.3	50.0	28.6	7.1	21.4	▼ 35.7	△ 35.7	7.1
年代別	10代	13	-	▼ 23.1	△ 76.9	-	7.7	▼ 38.5	△ 53.8	-
	20代	59	13.6	▼ 37.3	△ 49.2	-	10.2	▼ 45.8	△ 44.1	-
	30代	84	4.8	▼ 35.7	△ 58.3	1.2	14.3	52.4	32.1	1.2
	40代	112	5.4	50.9	41.1	2.7	7.1	△ 67.9	23.2	1.8
	50代	170	6.5	50.6	38.8	4.1	10.6	55.3	30.0	4.1
	60代	185	6.5	△ 61.6	▼ 27.6	4.3	18.4	58.4	19.5	3.8
	70代	178	3.4	56.2	30.9	9.6	15.7	58.4	16.3	9.6
	80代以上	91	5.5	▼ 37.4	37.4	19.8	11.0	52.7	19.8	16.5
性年代別	女性 10代	8	-	▼ 25.0	△ 75.0	-	12.5	50.0	△ 37.5	-
	20代	35	△ 20.0	▼ 34.3	45.7	-	11.4	51.4	△ 37.1	-
	30代	52	1.9	▼ 38.5	△ 57.7	1.9	15.4	51.9	30.8	1.9
	40代	68	4.4	54.4	41.2	-	5.9	△ 70.6	23.5	-
	50代	100	5.0	52.0	37.0	6.0	11.0	59.0	24.0	6.0
	60代	105	6.7	△ 64.8	▼ 23.8	4.8	21.0	54.3	21.0	3.8
	70代	107	5.6	51.4	32.7	10.3	17.8	55.1	16.8	10.3
	80代以上	54	3.7	▼ 33.3	38.9	24.1	11.1	55.6	14.8	18.5
	男性 10代	5	-	▼ 20.0	△ 80.0	-	-	▼ 20.0	△ 80.0	-
	20代	21	-	42.9	△ 57.1	-	9.5	▼ 38.1	△ 52.4	-
	30代	31	6.5	▼ 32.3	△ 61.3	-	12.9	51.6	△ 35.5	-
	40代	41	7.3	46.3	41.5	4.9	9.8	△ 68.3	19.5	2.4
	50代	67	9.0	47.8	41.8	1.5	9.0	49.3	△ 40.3	1.5
	60代	80	6.3	57.5	32.5	3.8	15.0	63.8	17.5	3.8
	70代	68	-	△ 63.2	▼ 27.9	8.8	10.3	66.2	14.7	8.8
	80代以上	37	8.1	43.2	35.1	13.5	10.8	48.6	27.0	13.5

■ (o)地域における人権啓発推進委員会活動

- 年代別でみると、「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」は年代が上がるほど割合が多くなる傾向がみられる。

■ (p)市民会館活動・子ども会活動

- 性別、年代別いずれも女性の60代以外は「全く知らない」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 (n)	(o) 地域における人権啓発推進委員会活動				(p) 市民会館活動・子ども会活動			
			内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが	全く知らない	不明・無回答
全体		895	1.8	33.2	58.3	6.7	4.5	34.7	55.2	5.6
性別	女性	531	2.4	34.3	56.3	7.0	4.5	37.1	52.4	6.0
	男性	350	0.9	31.7	61.1	6.3	4.3	31.4	59.4	4.9
	無回答・その他	14	-	28.6	64.3	7.1	7.1	28.6	57.1	7.1
年代別	10代	13	-	▼ 23.1	△ 76.9	-	-	▼ 23.1	△ 76.9	-
	20代	59	1.7	▼ 16.9	△ 79.7	1.7	5.1	▼ 23.7	△ 71.2	-
	30代	84	3.6	25.0	△ 69.0	2.4	6.0	27.4	△ 65.5	1.2
	40代	112	-	28.6	△ 69.6	1.8	4.5	40.2	53.6	1.8
	50代	170	0.6	34.1	60.6	4.7	5.3	37.1	53.5	4.1
	60代	185	2.7	38.9	53.0	5.4	4.3	40.0	51.9	3.8
	70代	178	2.8	39.9	▼ 47.8	9.6	3.9	33.1	55.1	7.9
	80代以上	91	1.1	31.9	▼ 46.2	20.9	3.3	30.8	46.2	19.8
性年代別	女性 10代	8	-	25.0	△ 75.0	-	-	▼ 12.5	△ 87.5	-
	20代	35	2.9	▼ 20.0	△ 77.1	-	2.9	25.7	△ 71.4	-
	30代	52	3.8	25.0	67.3	3.8	7.7	25.0	△ 65.4	1.9
	40代	68	-	30.9	△ 69.1	-	4.4	42.6	52.9	-
	50代	100	1.0	36.0	57.0	6.0	5.0	38.0	51.0	6.0
	60代	105	2.9	△ 44.8	▼ 46.7	5.7	2.9	△ 48.6	▼ 44.8	3.8
	70代	107	4.7	38.3	▼ 47.7	9.3	5.6	33.6	53.3	7.5
	80代以上	54	1.9	27.8	▼ 48.1	22.2	3.7	35.2	▼ 38.9	22.2
	男性 10代	5	-	▼ 20.0	△ 80.0	-	-	40.0	60.0	-
	20代	21	-	▼ 14.3	△ 81.0	4.8	9.5	▼ 23.8	△ 66.7	-
	30代	31	3.2	▼ 22.6	△ 74.2	-	3.2	29.0	△ 67.7	-
	40代	41	-	26.8	△ 70.7	2.4	4.9	39.0	53.7	2.4
	50代	67	-	32.8	64.2	3.0	4.5	35.8	58.2	1.5
	60代	80	2.5	31.3	61.3	5.0	6.3	28.8	61.3	3.8
	70代	68	-	41.2	48.5	10.3	1.5	32.4	57.4	8.8
	80代以上	37	-	37.8	▼ 43.2	18.9	2.7	▼ 24.3	56.8	16.2

■ (q)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組(本人通知制度)

- 性年代別でみると、女性の20代は「内容まで知っている」が全体より11.4ポイント多くなっている。女性の60代は「名称は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が全体より10.4ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別 人権に関する法律や取り組みなどの認知度】

単位：％

		母数 □ (n)	(q) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組（本人通知制度）			
			内容まで知っている	詳しくは聞いたことがあるが 名称は知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		895	5.7	32.5	56.2	5.6
性別	女性	531	4.9	34.3	54.8	6.0
	男性	350	6.9	30.0	58.3	4.9
	無回答・その他	14	7.1	28.6	57.1	7.1
年代別	10代	13	－	30.8	△ 69.2	－
	20代	59	13.6	25.4	61.0	－
	30代	84	3.6	40.5	54.8	1.2
	40代	112	4.5	28.6	65.2	1.8
	50代	170	8.8	31.2	55.9	4.1
	60代	185	6.5	35.7	54.1	3.8
	70代	178	3.9	36.5	51.7	7.9
	80代以上	91	1.1	23.1	56.0	19.8
性年代別	女性 10代	8	－	▼ 12.5	△ 87.5	－
	20代	35	△ 17.1	22.9	60.0	－
	30代	52	1.9	42.3	53.8	1.9
	40代	68	2.9	29.4	△ 67.6	－
	50代	100	9.0	34.0	51.0	6.0
	60代	105	1.9	△ 42.9	51.4	3.8
	70代	107	4.7	37.4	50.5	7.5
	80代以上	54	1.9	▼ 22.2	53.7	22.2
	男性 10代	5	－	△ 60.0	▼ 40.0	－
	20代	21	4.8	28.6	△ 66.7	－
	30代	31	6.5	35.5	58.1	－
	40代	41	7.3	29.3	61.0	2.4
	50代	67	9.0	28.4	61.2	1.5
	60代	80	12.5	26.3	57.5	3.8
	70代	68	2.9	35.3	52.9	8.8
	80代以上	37	－	24.3	59.5	16.2

15. 人権に関する意見・感想

問 33 人権に関するご意見、ご感想がございましたら、自由にご記入ください。

今回の調査を通じて寄せられた、人権問題やこの調査に関しての意見・要望は 288 件あり、その内容を要約し分類した結果は下表のとおりである。

◆人権全般	皆の人権が守られ、平等で住みやすい平和な世界になるとよい など	26
	一人ひとりが人権について考え、思いやりを持つことが大事 など	13
	権利を主張しすぎると反発も強くなるため、主張の程度を考慮すべきである など	9
	差別や偏見の解消に向けて、行政の取り組みが必要 など	8
	自分自身を見つめ直し、人権について考えることが大事 など	7
	身近に事例がないなどの理由から、あまり人権問題に関心を持ってなかった など	6
	多様性を尊重するようになり、人権問題も複雑化している など	5
	相談窓口を充実させるべき など	4
	人権問題の解決は人類の長期にわたる課題である など	4
	人権という定義が何かわからない部分があるように感じる	3
	人間の権利として生活保護や経済的援助など、生活水準を考慮すべきなど	3
	人権が無視されるような戦争を起こしてはならない など	3
	虐待やいじめなど人を傷つける行為をなくすべき	3
	家庭環境や地域コミュニティの在り方を見直す など	3
	人権問題は人々の知識不足によるものである など	3
	自身の価値観を他者に押し付けず、認め合うことが大切	3
	知らないうちに人を傷つけている可能性があるため難しい	3
	以前よりは意識が向上して良くなっていると思う など	2
	人権侵害が多い時代を生きてきた年配の方の影響を受けずに世代間交流してほしい など	2
	背が高い、格好良いなど表面的なことで評価するのはよくない など	2
	子どもより一部の大人の方が理解力に乏しい気がする	1
	世の中にはいろいろな人がいるので難しい	1
	差別は競走社会特有の現象から起こるため、資本主義の考え方から見直すべきである	1
	制度や法律などを遵守できておらず、個人の意識に頼っている実情である	1
	同じ人間であるのになぜ差別をするのか分からない	1
	家族や友人などの差別的な意見は自身の意見にもなりやすい	1
小計		118

◆同和問題 (部落差別)	中にはまだ部落問題に対する考えを持っている人がおり、根深い問題 だと思う など	4
	次第に薄れていっているの、あまり掘り返さない方がいい など	4
	同和地区と地区外において、逆差別の現象がみられる など	3
	すぐには変わらずとも、理解しようとする環境が浸透すれば考え方も 変わっていくと思う など	2
	「結婚」となるとやはり気になるが良くないことだ など	2
	今の子どもたちに正しい情報を与え続け、大人になった時に差別がな くなるよう長期的な目で問題に取り組むべき	1
	部落出身だからと就職や学校で差別を受けている人がいた	1
	部落問題が未だに存在すると思っていた	1
	差別をなくすためには今ある制度を見直すべきではないか	1
	同和問題について、口にするのは憚られる風潮があった	1
	子どもは身近な大人の影響を強く受けるが、大人も育ってきた環境な どによって正しい考えができない場合があり、知らない内に人権侵害 をしていることがあると思う	1
	「部落は怖い」というイメージがある	1
小計		22

◆女性	夫の不機嫌な態度や働かない息子など、家族間での人権侵害について もっと取り上げてほしい	1
	女性が嫌な気持ちを味わうという状況を自分自身も現在経験してい るし、周りにも経験者が多いが、相談できるところがなく解決しない	1
	男尊女卑の考え方が根底にあるのか、結婚や家族という枠組みが重み や苦しみにつながっていると感じることもある	1
	夫から結婚後 10 年間いじめられたが、子供がいたので我慢した。女 は耐えて耐えて耐えぬけと言われた	1
	男女それぞれに良さやできることがあり、男女平等にこだわる必要は ない	1
小計		5

◆子ども	不登校の子どもが学校内（保健室以外）で安心して過ごせる場所があ ればよいと思う	1
	いじめの加害者に罰を加えるなどしなければ、子どものいじめはな くならないと思う	1
	問題を抱えた子どもを早期に発見し、適切なサポートを続けていくこ とが犯罪や引きこもりなどの社会問題の予防になると思う	1
	幼児の虐待に対する市、県の対応がなっていない。もっと深く関わっ て相談できる場所、人材が必要だと思う	1
	学生のいじめにおいて、教育委員会の対応は保身に走っているように 思う。教育委員長に罰を与えるなどすれば、問題に対してもっと真剣 に対応するのではないか	1
	子どもの将来選択の機会均等を徹底していくことが重要	1
小計		6

◆障がいの ある人	障がいのある人が生活しやすい市にしたい	1
	障がいがあってもなくても平等にするべき	1
	家族亡き後の受け入れ先や受け入れ体制などの見通しがたっておらず、不安な日々を過ごしている。そういう人が少しでも減ってほしい	1
	障がい者の虐待について、行政や病院はもっと丁寧に対応してほしい	1
小計		4

◆外国人の 人権	特に韓国人にはひどかった記憶がある（大阪居住時）	1
	ヘイトスピーチに怒りを覚える。他国の人種を卑下するのはよくない（特に東洋（中、韓国）人に対する態度）	1
	外国人の流入が近年増加しており、外国人による犯罪も増えている。日本文化などの講習が必要ではないか	1
小計		3

◆性的指向・ 性自認	理解したい気持ちはあるが、温泉やトイレなどの利用、子孫繁栄の問題など、不安を感じる	4
	LGBTQ の人の声に耳を傾け過ぎて、ノーマルな人の意見が尊重されていないと感じる など	2
	本当に必要なことに絞るべき。LGBTQ などには不要不急の極み	1
	LGBT 問題の「こころの性」がよくわからない。使われる言葉に対して共通の認識が持てるような定義付けが必要	1
	LGBT について、今の子どもたちに正しく教えていくべき	1
	LGBTQ の人たちに対して、結婚ではない別の方法での援助が必要	1
	LGBTQ に対して非難の声を上げると叩かれるが、反対者を非難することも悪いことではないか	1
小計		11

◆職場に おける人権	特に未就学児のいる子育て家庭は優先的に休みを取れるようにしてほしい	1
	職業によっては、人権侵害されているにも関わらず、立場的にあたり前になっている現状がある	1
	既得権益層による不当な利益の独占は深刻な問題である	1
	労働者が安心して働けるよう相談窓口の設置と周知をしてほしい	1
	実際に職場でパワハラを見て、初めて大変なことだと認識した	1
	仕事ばかりで随分と余裕のない毎日を過ごしていた	1
小計		6

◆犯罪被害者 など	人権の尊重に配慮し過ぎて、犯罪行為が正当化されるようなことはあってはならない	1
	犯罪加害者に対しては人権尊重や手厚いサポートがあるが、被害者への継続的なサポートや経済的支援などは十分でないと思う	1
	いじめ被害者よりも加害者が守られる法律は間違っている	1
	警察は国民の生活の安全・安心を守るといえるが、信頼できない	1
小計		4

◆インターネットによる人権侵害	テレビやマスコミで騒がれるほど人権侵害、殺害、いじめが増えている気がする など	3
	インターネットでの誹謗中傷がなくなるよう制度などの強化をすべき など	3
	インターネットの普及によって人の声が大きくなりすぎている など	2
	SNS などの言葉の暴力は「いじめの延長」になりかねない	1
	インターネットの恐ろしさなどを学校教育で教えてほしい	1
	良いことも悪いこともすぐに世界中広がって信じてしまうのが怖い	1
	テレビ、新聞は忖度などで正しい情報を報道しないことがある	1
	SNS の発達によって、対面による人と人のコミュニケーションが減り、人権問題への対応が困難になっていると感じる	1
	便利な世の中になって、相手を思いやる心が減っているように思う	1
	匿名での情報発信においては、倫理観が低下しやすい。そのような人々の割合が減少することを願う	1
小計		15

◆災害と人権	災害が起きた時の対策を近い未来のために備えておく必要がある	1
小計		1

◆教育	幼少時からしっかりと教育を受けることが大事である など	20
	「道徳」の教育が必要 など	4
	学校教育で人権を習う機会の有無が時代によって異なる など	3
	教育などの人権に対する直接的な取り組みだけでなく、行政で様々な取り組みが必要だと思う など	3
	教育者側にも教育・指導が必要である など	2
	大人になってからも会社などで学習の場をつくり人権を学ぶべき	1
	不登校の子どもにも勉強の支援があればよい	1
	様々な特性をもった子がいる中で、昔ながらの画一的な教育環境は今の時代に合っていない気がする	1
	行政も個人もずっと学ばなければ人権は守れないと思う	1
	幼少期、学生期の教育が植え付け教育になっていないか心配	1
	学校教育の中で外部講師を招き、「共感力」「想像力」「他者に対する尊重や寛容性」を育む授業を取り入れてほしい	1
	高校や大学など、義務教育以降の学歴を重視していることが多い	1
	収入などによる教育の格差を感じる	1
	私立と公立で人権を習う機会の有無が異なるのではないかな	1
	人権に関する法律や市の取組などを教育現場でも扱ってほしい	1
小計		42

◆啓発	人権問題の正しい情報・知識を啓発し続けていくべき など	4
	研修会・講演会やイベント、幅広い場所での広報などで周知をするべき など	3
	啓発活動の慣用句である「差別をなくす」という言葉に違和感	1
	取り組みなどの情報が実際に自分のところまで降りてこない	1
	自分の感覚が「普通」ではないことをもっと広めてほしい	1
	誤った情報の修正、周知が必要だと感じる	1
	価値観はそれぞれなので、啓発ではなく、被害を受けた人達へのケアが必要	1
小計		12

◆その他	高知市は遅れている。閉鎖社会の典型地域だと思う	1
	政治面では、高知は女性より男性の方が立場の弱さを感じる	1
	交通モラルを高めてほしい	1
小計		3

◆調査	アンケートを通して気付きを得るよい機会になった など	13
	アンケートが長すぎる など	5
	アンケートの内容が適切ではないのではないか など	3
	アンケートだけで終わらぬよう行政に生かしてほしい など	2
	自分の周りに該当者がいないため、真剣に受け止められない など	2
	何を意図してこのような調査を行っているのか不明 など	1
	人権に対しての説明が少なく、わかりづらかった	1
	深く考えたことがなかったので、回答するのが難しかった	1
	男性に対する人権がまったく書かれていないのはいかがなものか	1
	色々な質問に出てくる「公務員」の言葉にうんざりした	1
	意見しても何も変わらない	1
	QR コードから回答できるようにしてほしい	1
	アンケートよりも他に対策すべきことがあるのではないか	1
	このアンケート調査は紙の無駄づかいである	1
	調査内容が充実していて、人権尊重のまちづくりに期待できる	1
	アンケート内容が深く時間を要した	1
小計		36

IV 設問間クロス集計分析

IV 設問間クロス集計分析

1. 問1×問31

単位：％

			母数 □ (n)	問31 あなたが、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。									
				学校での人権教育の充実を図る	人権を守るための法整備をすすめる	人権のふれあいの家庭や地域の意識を育む	乳幼児から家庭や地域の支援体制の充実を図る	被害者のための相談、人権が侵害された人権が尊重されるための相談、啓発を積極的に行う	行政が人権教育、啓発を積極的に行う	公務員など人権に関わる人の深い職業に従事する人権意識を高める	事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う	町内会やPTAなど地域で活動する中で人権を大切にする活動をすすめる	行政が企業の人権研修などを支援する
全体			895	43.1	31.7	30.8	30.7	19.2	12.6	12.0	6.4	6.3	3.7
で「問1 ある」と あなたは、 「人権が尊重 されていますか」 と 思っていますか。	そう思う	全体	128	34.4	33.6	29.7	31.3	21.9	4.7	10.2	4.7	3.1	2.3
		女性	72	40.3	29.2	27.8	26.4	23.6	5.6	8.3	6.9	1.4	1.4
		男性	56	▼ 26.8	39.3	32.1	37.5	19.6	3.6	12.5	1.8	5.4	3.6
	どちらかといえばそう思う	全体	314	48.1	31.2	36.0	33.1	19.4	14.0	11.1	7.0	8.3	4.8
		女性	181	47.0	34.3	△ 41.4	34.8	18.2	13.3	9.4	6.6	8.8	3.9
		男性	128	50.8	28.1	28.1	32.0	21.1	14.8	13.3	7.8	7.8	6.3
	どちらとも言えない	全体	329	42.9	33.4	26.1	29.8	18.2	13.1	12.8	5.8	5.8	3.3
		女性	191	39.8	36.6	31.9	30.9	17.8	12.6	14.1	5.2	5.8	2.6
		男性	134	47.8	28.4	▼ 17.9	28.4	18.7	14.2	11.2	6.7	6.0	4.5
	どちらかといえばそうは思わない	全体	66	47.0	24.2	28.8	31.8	19.7	15.2	15.2	7.6	6.1	6.1
		女性	49	42.9	▼ 20.4	36.7	38.8	16.3	14.3	18.4	10.2	8.2	2.0
		男性	16	△ 62.5	31.3	▼ 6.3	▼ 12.5	25.0	18.8	6.3	-	-	12.5
	そうは思わない	全体	46	37.0	34.8	34.8	21.7	17.4	17.4	8.7	10.9	6.5	-
		女性	29	34.5	34.5	37.9	▼ 17.2	13.8	20.7	13.8	13.8	6.9	-
		男性	15	46.7	26.7	26.7	26.7	26.7	13.3	-	6.7	6.7	-

単位：％

			母数 (n)	問31 あなたが、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。			
				その他	特 に ない	わ か ら ない	不 明 ・ 無 回 答
全体			895	2.2	4.0	7.2	3.8
で「問1 ある」と あなたは、 「人権が尊重 されていますか」 と 思っていますか。	そう思う	全体	128	-	2.3	10.2	6.3
		女性	72	-	1.4	11.1	5.6
		男性	56	-	3.6	8.9	7.1
	どちらかとい えばそう 思う	全体	314	1.9	3.5	3.2	3.2
		女性	181	1.7	0.6	3.3	2.2
		男性	128	2.3	6.3	3.1	4.7
	どちらとも 言えない	全体	329	3.0	4.0	10.0	3.3
		女性	191	1.6	3.1	9.4	3.1
		男性	134	5.2	5.2	9.7	3.7
	どちらかとい えばそう は思わない	全体	66	4.5	-	10.6	-
		女性	49	2.0	-	6.1	-
		男性	16	△12.5	-	△25.0	-
	そうは 思わない	全体	46	2.2	△19.6	2.2	2.2
		女性	29	-	△20.7	3.4	-
		男性	15	6.7	△20.0	-	6.7

2. 問2×問3

単位：％

			母数 □ (n)	問3 あなたが関心のある人権問題は、次のどれですか。									
				人権侵害 インターネットによる	障がいのある人 の人権	女性の人権	高齢者の人権	子どもの人権	職場における人権	地震など災害時の人権	北朝鮮当局による 拉致問題	部落差別 (同和問題)	犯罪被害者や 人権
全体			895	53.5	42.1	35.2	32.2	31.4	30.4	26.9	22.6	22.0	21.6
問2 意識は、あなたは、 5～6年前に比べて高くな っていますか。	高くなっている	全体	60	45.0	41.7	36.7	38.3	31.7	33.3	23.3	△ 33.3	26.7	△ 31.7
		女性	34	50.0	38.2	△ 47.1	38.2	35.3	29.4	32.4	△ 38.2	△ 35.3	△ 38.2
		男性	26	▼ 38.5	46.2	▼ 23.1	38.5	26.9	38.5	▼ 11.5	26.9	15.4	23.1
	どちらかといえば高くなっている	全体	232	58.6	51.7	38.4	34.1	31.9	34.1	30.6	24.6	25.0	23.7
		女性	138	59.4	△ 52.2	44.2	35.5	34.1	35.5	31.2	24.6	25.4	22.5
		男性	89	57.3	51.7	29.2	30.3	28.1	30.3	29.2	24.7	24.7	25.8
	どちらとも言えない	全体	533	51.8	36.6	33.2	29.8	30.0	26.8	25.5	21.2	20.1	19.7
		女性	313	50.8	35.8	39.9	32.6	31.9	27.8	27.8	20.1	15.3	19.5
		男性	213	53.1	36.2	▼ 22.1	24.9	25.8	23.9	21.6	22.1	26.3	20.2
	どちらかといえば低くなっている	全体	37	62.2	51.4	35.1	37.8	35.1	△ 43.2	32.4	16.2	16.2	16.2
		女性	23	60.9	39.1	△ 47.8	39.1	26.1	39.1	30.4	▼ 8.7	▼ 4.3	13.0
		男性	14	△ 64.3	△ 71.4	▼ 14.3	35.7	△ 50.0	△ 50.0	35.7	28.6	△ 35.7	21.4
	低くなっている	全体	15	46.7	△ 66.7	△ 46.7	40.0	△ 53.3	△ 53.3	20.0	▼ 6.7	20.0	13.3
		女性	10	60.0	△ 60.0	△ 60.0	△ 50.0	△ 60.0	△ 50.0	20.0	▼ 10.0	20.0	20.0
		男性	5	▼ 20.0	△ 80.0	▼ 20.0	▼ 20.0	40.0	△ 60.0	20.0	-	20.0	-

単位：％

			母数 母数☒ (n)	問3 あなたが関心のある人権問題は、次のどれですか。									
				性的 指向・ 性自認に 関する 人権	感 染 症 患 者 な ど の 人 権	外 国 人 の 人 権	刑 を 終 え て 出 所 し た 人 の 人 権	ホ ー ム レ ス の 人 権	人 身 取 引	アイヌ の人々 の人権	そ の 他	特 に ない	不 明・ 無 回 答
全体			895	19.6	15.5	13.3	9.4	8.8	7.7	7.6	2.2	6.3	1.2
問2 意識は、あなたは、5～6年前に比べて高くなっていますか。	高くなっている	全体	60	20.0	15.0	13.3	13.3	10.0	13.3	8.3	1.7	5.0	-
		女性	34	20.6	17.6	11.8	14.7	11.8	17.6	11.8	-	2.9	-
		男性	26	19.2	11.5	15.4	11.5	7.7	7.7	3.8	3.8	7.7	-
	どちらかといえば高くなっている	全体	232	23.7	13.4	15.1	11.2	12.5	8.2	7.8	1.7	3.4	-
		女性	138	26.8	14.5	13.8	12.3	12.3	9.4	6.5	0.7	1.4	-
		男性	89	19.1	11.2	16.9	9.0	12.4	5.6	9.0	2.2	6.7	-
	どちらとも言えない	全体	533	17.6	16.1	12.4	7.5	6.8	6.4	6.8	1.9	7.7	0.9
		女性	313	16.6	15.0	11.5	6.1	6.4	6.7	6.1	1.3	7.7	0.6
		男性	213	17.8	16.9	12.7	8.9	6.1	5.6	7.0	2.3	8.0	1.4
	どちらかといえば低くなっている	全体	37	21.6	24.3	10.8	16.2	10.8	8.1	10.8	10.8	8.1	-
		女性	23	21.7	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	13.0	8.7	8.7	-
		男性	14	21.4	△ 35.7	14.3	△ 35.7	△ 21.4	14.3	7.1	△ 14.3	7.1	-
	低くなっている	全体	15	26.7	6.7	20.0	13.3	13.3	6.7	△ 20.0	6.7	-	-
		女性	10	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	△ 30.0	10.0	-	-
		男性	5	△ 40.0	-	20.0	△ 20.0	△ 20.0	-	-	-	-	-

3. 問4-1×問4-3

単位：％

			母数 (n)	問4-3 (問4-2で「相談した」とお答えの方に) 誰(どこ)に相談しましたか。													
				家族・親戚	友人・知人	学校の先生や教育委員会など	職場の上司や同僚	弁護士などの法律の専門家	市・公的な相談窓口(人権擁護委員)	警察	医師や看護師など医療関係者	地域・近所の人	民生委員・児童委員	NPO団体など民間の相談窓口	その他	不明・無回答	
全体			95	47.4	33.7	27.4	26.3	15.8	13.7	12.6	7.4	6.3	4.2	-	4.2	-	
問4-1 (問4で「ある」とお答えの方に) それはどのような人権侵害でしたか。	職場における人権侵害	全体	39	41.0	△46.2	17.9	△51.3	12.8	10.3	5.1	7.7	5.1	2.6	-	7.7	-	
		女性	26	50.0	△57.7	▼11.5	△57.7	7.7	11.5	3.8	7.7	-	3.8	-	3.8	-	
		男性	12	▼16.7	▼16.7	33.3	33.3	25.0	8.3	8.3	-	△16.7	-	-	△16.7	-	
	いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの	全体	37	43.2	29.7	△62.2	▼13.5	13.5	8.1	5.4	8.1	-	-	-	2.7	-	
		女性	24	41.7	33.3	△70.8	16.7	8.3	12.5	4.2	8.3	-	-	-	-	-	
		男性	13	46.2	▼23.1	△46.2	▼7.7	23.1	-	7.7	7.7	-	-	-	-	7.7	-
	プライバシーの侵害	全体	13	△61.5	38.5	23.1	30.8	23.1	15.4	△30.8	7.7	7.7	7.7	-	7.7	-	
		女性	8	△75.0	△50.0	▼12.5	△50.0	12.5	△25.0	△37.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-
		男性	5	40.0	▼20.0	△40.0	-	△40.0	-	20.0	-	△20.0	-	-	-	△20.0	-
	障がい理由とするもの	全体	12	▼33.3	33.3	33.3	-	25.0	△25.0	16.7	8.3	-	△16.7	-	△16.7	-	
		女性	6	▼33.3	▼16.7	33.3	-	16.7	△33.3	-	-	-	△33.3	-	△16.7	-	
		男性	6	▼33.3	△50.0	33.3	-	△33.3	16.7	△33.3	16.7	-	-	-	△16.7	-	
	高齢を理由とするもの	全体	10	▼30.0	△70.0	-	30.0	10.0	20.0	10.0	△30.0	△20.0	△20.0	-	-	-	-
		女性	7	▼28.6	△71.4	-	28.6	14.3	14.3	-	△28.6	-	△14.3	-	-	-	-
		男性	3	▼33.3	△66.7	-	33.3	-	△33.3	△33.3	△33.3	△66.7	△33.3	-	-	-	-
	家庭環境を理由とするもの	全体	9	44.4	△55.6	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	△22.2	-	11.1	-	
		女性	3	-	33.3	33.3	33.3	△33.3	△33.3	-	-	-	△33.3	-	-	-	-
		男性	5	△60.0	△60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	△20.0	△20.0	-	△20.0	-	-
	男女平等にかかわるもの	全体	8	37.5	△75.0	▼12.5	△37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	
		女性	6	▼33.3	△66.7	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	△16.7	-	-	-	-	-
		男性	1	-	△100.0	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	△100.0	-	-
	インターネット上での誹謗や中傷など	全体	8	△62.5	25.0	▼12.5	▼12.5	12.5	12.5	△25.0	-	-	-	-	12.5	-	
		女性	4	50.0	-	-	25.0	-	△25.0	△50.0	-	-	-	-	-	-	-
		男性	4	△75.0	△50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	△25.0	-	-
	感染症などにかかわるもの	全体	7	△85.7	28.6	-	△42.9	-	△28.6	△28.6	△28.6	14.3	△14.3	-	-	-	-
		女性	4	△100.0	△50.0	-	△75.0	-	-	△25.0	△50.0	-	-	-	-	-	-
		男性	3	△66.7	-	-	-	-	△66.7	△33.3	-	△33.3	△33.3	-	-	-	-
	部落差別(同和問題)にかかわるもの	全体	6	△66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	△16.7	-	-	-	-	-
		女性	3	△66.7	△66.7	-	33.3	-	-	-	-	△33.3	-	-	-	-	-
		男性	3	△66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	犯罪被害にかかわるもの	全体	5	△80.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	△80.0	-	-	-	-	-	-	-
		女性	5	△80.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	△80.0	-	-	-	-	-	-	-
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	性的指向・性自認にかかわるもの	全体	1	△100.0	△100.0	-	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女性	1	△100.0	△100.0	-	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	国籍・人種・民族にかかわるもの	全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	全体	10	40.0	▼20.0	-	▼10.0	△40.0	△40.0	△50.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-
		女性	7	42.9	28.6	-	▼14.3	△57.1	△42.9	△57.1	-	14.3	△14.3	-	-	-	-
		男性	3	▼33.3	-	-	-	-	△33.3	△33.3	-	-	-	-	-	-	-
	なんとなくそう感じた	全体	3	▼33.3	△100.0	-	33.3	-	-	-	-	△33.3	-	-	-	-	-
		女性	3	▼33.3	△100.0	-	33.3	-	-	-	-	△33.3	-	-	-	-	-
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えたくない	全体	1	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男性	1	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 問 5-2×問 5-5

単位：％

			母数 (n)	問5-5 仮に、あなたのご家族が結婚しようとしている相手が、同和地区に住む人または同和地区出身者だとわかった場合、あなたはどのようにしますか。							
				何も問題ない	本人の意思を尊重する	反対が強いが、本人の意思を認めない	親戚が反対すれば、結婚を認めない	絶対に結婚を認めない	その他	わからない	不明・無回答
全体			759	19.9	46.0	15.7	1.7	2.8	0.5	12.5	0.9
が場（問5-1）あり地域問題など、学習した学校や職別	小学校・中学校で学習した	全体	423	25.1	44.4	12.3	1.9	2.8	-	12.5	0.9
		女性	261	19.5	45.2	14.6	2.7	2.3	-	14.2	1.5
		男性	157	△ 33.8	43.3	8.9	0.6	3.2	-	10.2	-
	職場の研修・住民対象の講座などで学習した	全体	149	25.5	△ 56.4	7.4	2.7	0.7	0.7	6.0	0.7
		女性	73	21.9	△ 61.6	8.2	1.4	-	-	6.8	-
		男性	72	27.8	52.8	6.9	4.2	1.4	1.4	4.2	1.4
	高校・大学・短大・専門学校で学習した	全体	88	28.4	54.5	9.1	1.1	-	-	6.8	-
		女性	48	16.7	△ 56.3	14.6	2.1	-	-	10.4	-
		男性	39	△ 41.0	53.8	▼ 2.6	-	-	-	2.6	-
	学習した記憶がない、または学習したことがない	全体	213	10.3	42.3	△ 26.8	0.9	3.8	1.4	13.6	0.9
		女性	132	▼ 9.1	40.2	25.0	0.8	4.5	1.5	18.2	0.8
		男性	79	11.4	45.6	△ 30.4	1.3	2.5	1.3	6.3	1.3

5. 問 5-3×問 5-6

単位：％

			母数 (n)	問5－6 現在でも部落差別（同和問題）が存在している原因はどこにあると思いますか。																		
				多いから	昔からある偏見や差別意識を、受けてしまっている人が	誤った知識（同和問題）に関する人	部落差別（同和問題）に	あるから	地域社会や家庭において偏見がある	同和地区が行政から優遇されているから	意識があるから	「同和はこわい」という	これまでの教育や啓発が十分でなかったから	差別を助長する人がいるから	落書きやインターネットなどで	地域がまだ残っているから	道路や水道、居住環境などのインフラ整備が十分でない	その他	特 に ない	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体			759	57.4	44.5		34.9	26.0	19.6	18.3	15.3	2.6	3.6	2.0	5.5	0.9						
問5-3 に 思 い ま す か。 （ 同 和 問 題 ） あ な た は 、 現 在 で も 社 会 の 中 に 存 在 す る と 思 い ま す か。	存在する	全体	294	64.3	46.6		38.8	30.3	27.2	22.4	15.6	4.8	3.4	0.3	2.0	0.7						
		女性	173	61.8	45.1		37.0	28.3	27.7	21.4	12.1	5.2	2.9	-	2.9	1.2						
		男性	117	66.7	47.0		39.3	32.5	26.5	23.1	18.8	3.4	4.3	0.9	0.9	-						
	存在し、 強くなっている	全体	5	60.0	40.0	△60.0	-	△40.0	20.0	20.0	△20.0	-	△40.0	-	-	-	-					
		女性	3	▼33.3	▼33.3	33.3	-	△33.3	-	-	△33.3	-	△66.7	-	-	-	-					
		男性	2	△100.0	50.0	△100.0	-	△50.0	△50.0	△50.0	-	-	-	-	-	-	-					
	存在するが、 薄まりつつある	全体	329	57.1	44.7		34.0	27.7	15.8	15.2	16.7	1.5	4.6	1.8	3.6	1.2						
		女性	193	60.6	41.5		35.2	29.0	15.5	13.5	11.4	1.6	3.1	1.6	4.7	1.0						
		男性	134	53.0	49.3		32.1	26.1	16.4	17.9	24.6	1.5	6.7	2.2	2.2	1.5						
	存在しない	全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
		女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	わからない	全体	131	▼42.7	39.7		27.5	▼13.0	11.5	16.8	10.7	-	1.5	4.6	△18.3	0.8						
		女性	90	▼43.3	38.9		33.3	▼14.4	13.3	16.7	12.2	-	-	3.3	△20.0	1.1						
		男性	38	▼39.5	42.1		▼15.8	▼10.5	▼7.9	15.8	7.9	-	5.3	7.9	13.2	-						

6. 問 5-3×問 5-7

単位：％

			母数 × (n)	問5-7 部落差別（同和問題）を解決するために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。											
				関する正しい知識を教える	市部の理解と認識を深める	市民自らが差別をしないよう努力をする	差別は自然になくなる	同和問題の口に出さず、	書き込みの監視を強化する	インターネット上での	相談・支援体制の充実を図る	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体			759	49.4	33.6	31.6	23.5	15.5	9.2	3.8	3.7	8.6	0.8		
問5-3 部落差別（同和問題） あなたは、現在でも社会の中で存在するかどうか。	存在する	全体	294	57.5	36.7	32.7	15.3	17.3	10.5	5.8	3.7	6.8	0.7		
		女性	173	57.8	28.3	30.1	14.5	17.9	8.7	6.4	2.9	8.1	1.2		
		男性	117	56.4	△ 47.9	36.8	17.1	17.1	12.0	4.3	5.1	5.1	-		
	存在し、強くなっている	全体	5	▼ 20.0	40.0	40.0	△ 60.0	-	-	-	△ 20.0	-	-		
		女性	3	▼ 33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	△ 33.3	-	-		
		男性	2	-	△ 100.0	△ 50.0	△ 100.0	-	-	-	-	-	-		
	存在するが、薄まりつつある	全体	329	45.3	33.4	32.8	29.5	16.4	5.8	3.6	3.6	6.7	1.2		
		女性	193	44.6	31.6	29.0	31.1	14.0	6.7	3.1	3.1	7.3	1.0		
		男性	134	46.3	35.8	38.8	27.6	20.1	4.5	4.5	4.5	6.0	1.5		
	存在しない	全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	わからない	全体	131	42.7	26.7	26.0	25.2	9.9	15.3	-	3.1	17.6	-		
		女性	90	43.3	26.7	32.2	22.2	11.1	15.6	-	4.4	17.8	-		
		男性	38	44.7	26.3	▼ 13.2	△ 34.2	7.9	15.8	-	-	13.2	-		

7. 問5-6×問5-7

単位：％

			母数 (n)	問5-7 部落差別（同和問題）を解決するために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。															
				関 学 校 教 育 の 中 で 同 和 問 題 に 関 する 正 し い 知 識 を 教 え る	認 識 を 深 め る	部 落 差 別 （ 同 和 問 題 ） に 関 する 理 解 と	人 権 意 識 を 高 め る 努 力 を す る	市 民 自 ら が 差 別 を し な い よ う に 努 め る	差 別 は 自 然 に な く な る	同 和 問 題 の こ と に 関 する 理 解 を 深 め る	書 き 込 み の 監 視 を 強 化 す る	同 和 問 題 に 関 する 理 解 を 深 め る	イン ター ネッ ト 上 で の 理 解 を 深 め る	相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実 を 図 る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体			759	49.4	33.6	31.6	23.5	15.5	9.2	3.8	3.7	8.6	0.8						
問5-6 現在でも部落差別（同和問題）が存在している原因はどこにあると思いますか。	昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまっている人が多いから	全体	436	58.3	39.2	37.8	22.2	18.8	10.8	2.8	1.6	5.5	0.2						
		女性	264	57.2	34.5	36.4	20.5	18.9	9.1	3.4	0.8	6.8	0.4						
		男性	166	△ 60.2	△ 46.4	41.0	25.9	19.3	12.7	1.2	3.0	2.4	-						
	部落差別（同和問題）に関する誤った知識を持っている人がいるから	全体	338	△ 64.5	△ 46.7	△ 42.6	16.6	22.2	13.0	1.5	1.8	3.3	-						
		女性	194	△ 62.9	△ 42.8	△ 41.8	15.5	24.7	12.4	1.5	1.0	3.6	-						
		男性	138	△ 66.7	△ 52.2	△ 44.9	18.8	19.6	13.0	0.7	2.9	2.2	-						
	地域社会や家庭において偏見が植え付けられていることがあるから	全体	265	△ 59.6	43.4	36.2	23.0	20.8	14.0	3.0	1.9	4.2	-						
		女性	163	58.9	39.3	36.2	22.1	19.0	14.1	1.8	1.8	6.1	-						
		男性	97	△ 60.8	△ 48.5	37.1	25.8	24.7	12.4	4.1	2.1	1.0	-						
	同和地区が行政から優遇されていたように感じるから	全体	197	42.6	28.9	32.0	33.0	18.3	9.1	9.1	4.6	8.1	-						
		女性	118	41.5	28.0	30.5	△ 35.6	18.6	9.3	9.3	4.2	7.6	-						
		男性	77	44.2	29.9	33.8	29.9	18.2	9.1	7.8	5.2	9.1	-						
	「同和はこわい」という意識があるから	全体	149	55.7	36.9	28.2	27.5	20.8	10.7	7.4	3.4	5.4	-						
		女性	91	53.8	35.2	26.4	24.2	20.9	11.0	8.8	2.2	8.8	-						
		男性	57	△ 59.6	40.4	31.6	33.3	21.1	10.5	3.5	5.3	-	-						
	これまでの教育や啓発が十分でなかったから	全体	139	△ 75.5	△ 51.1	36.7	13.7	21.6	15.8	3.6	-	2.2	-						
		女性	78	△ 78.2	△ 48.7	33.3	▼ 10.3	20.5	14.1	5.1	-	2.6	-						
		男性	58	△ 74.1	△ 55.2	△ 43.1	19.0	24.1	17.2	-	-	-	-						
	落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから	全体	116	△ 64.7	△ 47.4	33.6	15.5	△ 49.1	13.8	1.7	1.7	0.9	-						
		女性	54	△ 68.5	△ 44.4	31.5	▼ 13.0	△ 53.7	13.0	-	3.7	-	-						
		男性	59	△ 61.0	△ 49.2	37.3	18.6	△ 47.5	11.9	1.7	-	1.7	-						
	道路や水道、居住環境などのインフラ整備が十分でない地域がまだ残っているから	全体	20	45.0	▼ 15.0	△ 45.0	15.0	△ 30.0	15.0	△ 20.0	-	5.0	-						
		女性	13	53.8	▼ 7.7	△ 46.2	▼ 7.7	23.1	15.4	△ 15.4	-	7.7	-						
		男性	6	▼ 33.3	33.3	△ 50.0	33.3	△ 50.0	16.7	△ 16.7	-	-	-						
	その他	全体	27	▼ 29.6	25.9	▼ 14.8	33.3	7.4	-	△ 18.5	7.4	7.4	-						
		女性	11	▼ 36.4	▼ 18.2	▼ 18.2	27.3	-	-	△ 18.2	9.1	9.1	-						
		男性	16	▼ 25.0	31.3	▼ 12.5	△ 37.5	12.5	-	△ 18.8	6.3	6.3	-						
	特にない	全体	15	▼ 13.3	▼ 6.7	▼ 13.3	△ 40.0	-	6.7	-	△ 33.3	13.3	-						
		女性	8	▼ 25.0	▼ 12.5	25.0	△ 37.5	-	12.5	-	△ 37.5	-	-						
		男性	7	-	-	-	△ 42.9	-	-	-	△ 28.6	△ 28.6	-						
	わからない	全体	42	▼ 19.0	▼ 11.9	▼ 11.9	26.2	-	4.8	4.8	4.8	△ 42.9	-						
		女性	32	▼ 18.8	▼ 9.4	▼ 12.5	28.1	-	6.3	-	6.3	△ 43.8	-						
		男性	9	▼ 22.2	▼ 11.1	▼ 11.1	22.2	-	-	△ 22.2	-	△ 44.4	-						

8. 問6×問7

単位：％

			母数 (n)	問7 女性の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。																
				男女 男女の 平等の 意識を 広める	立 場々 な社 会制 度や 慣行 を、 誰も が対 等な く	整 備を する ため の選 択的 な制 度な ど	女 性の 自由 な選 択が 可能 な制 度な ど	周 知・ 企業 ・労 働者 の意 識啓 発を 行う など	男 女雇 用機 会等 法や 労働 基準 法な ど	政 治や 経済 など の分 野に おけ る参 画を 促進 する など	女 性に 対す る犯 罪の 取締 りを 強化 する など	関 する 取組 をす る	ド メス ティ ック ・バ イオ レン スの 防止 に	女 性の ため の相 談、 支 援体 制の 充実 を図 る	学 校教 育に おけ る女 性の 人権 に関 する	理 解と 認識 を深 める など、 市民 一人 ひと りが	女 性の 人権 につ いて、 その 他	特 に ない	わ から ない	不 明・ 無回 答
全体				895	35.6	30.8	25.0	24.0	23.5	17.9	17.1	15.0	12.1	9.8	1.5	5.9	4.5	1.9		
問6 女性の人権に関する こと、あなたが特に 問題があると思う のは次のうちどれ ですか。	女性の活躍に影響を及ぼす 法律や制度、古い考え方に 基づく社会通念・慣習・ しきたりがあること	全体	334	43.7	△42.2	△38.6	29.0	30.8	14.4	12.9	15.0	14.7	11.4	1.2	0.6	1.5	0.9			
		女性	206	41.3	△45.1	△37.9	25.2	29.1	18.0	16.5	13.1	12.6	11.7	1.5	0.5	0.5	1.0			
		男性	123	△47.2	38.2	△38.2	△34.1	△34.1	8.9	7.3	18.7	18.7	9.8	0.8	0.8	3.3	0.8			
	男女の固定的な役割分担意識 （「男は仕事、女は家庭」 など）	全体	296	△70.6	32.4	29.4	27.4	25.3	14.2	11.1	13.9	12.8	9.5	1.4	1.0	1.0	0.3			
		女性	189	△71.4	33.9	29.1	24.9	24.3	16.9	11.6	10.6	11.1	10.1	2.1	1.1	1.1	0.5			
		男性	103	△69.9	31.1	28.2	31.1	27.2	8.7	10.7	20.4	16.5	8.7	-	-	1.0	-			
	昇給・昇進の格差など、 職場での男女の待遇の違い	全体	282	△51.4	30.5	33.3	△46.1	31.9	15.2	11.7	12.8	14.2	7.4	0.7	0.4	1.4	1.1			
		女性	160	△51.3	30.6	33.1	△43.1	30.6	18.8	10.6	12.5	11.3	6.9	1.3	0.6	1.9	1.3			
		男性	118	△50.0	30.5	33.1	△49.2	△34.7	11.0	13.6	13.6	18.6	7.6	-	-	0.8	0.8			
	女性が政策や方針などの決定 に参画する機会が少ない （女性の政治家や管理職が 少ない）	全体	189	41.3	31.2	32.3	△39.2	△63.0	12.2	11.6	15.3	14.8	10.6	1.1	0.5	0.5	-			
		女性	111	44.1	32.4	32.4	31.5	△61.3	15.3	14.4	12.6	15.3	11.7	1.8	-	-	-			
		男性	76	38.2	30.3	30.3	△50.0	△64.5	▼6.6	7.9	19.7	14.5	9.2	-	1.3	1.3	-			
	痴漢やわいせつ行為などの 性犯罪	全体	177	27.7	32.8	24.9	16.4	19.8	△44.1	△29.4	20.9	11.3	9.0	1.1	2.3	1.1	1.1			
		女性	119	30.3	37.0	26.9	▼13.4	18.5	△48.7	26.9	19.3	10.9	9.2	0.8	1.7	1.7	0.8			
		男性	57	▼22.8	24.6	19.3	22.8	21.1	△33.3	△35.1	24.6	12.3	8.8	1.8	3.5	-	1.8			
	セクシュアル・ハラスメント （性的ないやがらせ）	全体	166	28.9	24.1	31.3	18.1	18.7	△32.5	△31.3	24.7	19.9	10.2	-	1.2	0.6	0.6			
		女性	95	28.4	28.4	34.7	14.7	20.0	△34.7	△28.4	21.1	16.8	11.6	-	1.1	-	1.1			
		男性	71	29.6	▼18.3	26.8	22.5	16.9	△29.6	△35.2	△29.6	△23.9	8.5	-	1.4	1.4	-			
	テレビ・ビデオ・DVD・ 雑誌・インターネットなどで 女性を性的対象として扱う 情報があふれていること	全体	141	▼24.8	39.0	26.2	22.7	21.3	27.7	21.3	17.7	17.7	18.4	1.4	2.1	2.1	2.1			
		女性	104	▼24.0	△42.3	28.8	21.2	23.1	△28.8	21.2	16.3	17.3	△21.2	1.9	1.0	1.9	1.0			
		男性	36	27.8	30.6	16.7	25.0	13.9	25.0	22.2	22.2	19.4	11.1	-	5.6	2.8	5.6			
	ドメスティック・バイオレン ス	全体	123	27.6	35.8	22.8	▼13.8	16.3	25.2	△61.0	21.1	10.6	11.4	0.8	1.6	-	-			
		女性	82	▼25.6	△41.5	23.2	14.6	20.7	24.4	△59.8	23.2	11.0	8.5	-	1.2	-	-			
		男性	38	31.6	23.7	21.1	▼13.2	▼7.9	△28.9	△68.4	18.4	10.5	13.2	2.6	-	-	-			
	マタニティ・ハラスメント （妊娠・出産などを 理由とする不利な扱い）	全体	116	31.0	36.2	24.1	26.7	18.1	25.0	22.4	20.7	15.5	10.3	0.9	1.7	1.7	-			
		女性	68	32.4	△44.1	25.0	26.5	19.1	23.5	23.5	16.2	10.3	16.2	1.5	-	1.5	-			
		男性	45	28.9	22.2	22.2	26.7	17.8	△28.9	22.2	△28.9	△24.4	-	-	2.2	2.2	-			
	買春・売春・援助交際	全体	85	▼24.7	28.2	28.2	24.7	21.2	△30.6	25.9	17.6	16.5	11.8	4.7	1.2	-	3.5			
		女性	53	26.4	35.8	26.4	24.5	22.6	26.4	17.0	9.4	20.8	13.2	7.5	-	-	3.8			
		男性	32	▼21.9	▼15.6	31.3	25.0	18.8	△37.5	△40.6	△31.3	9.4	9.4	-	3.1	-	3.1			
	ストーカー行為	全体	76	▼14.5	▼18.4	21.1	15.8	22.4	△35.5	△38.2	△31.6	15.8	11.8	-	5.3	2.6	1.3			
		女性	42	▼9.5	▼16.7	▼14.3	▼4.8	21.4	△38.1	△35.7	△33.3	14.3	7.1	-	7.1	4.8	2.4			
		男性	34	▼20.6	▼20.6	29.4	29.4	23.5	△32.4	△41.2	△29.4	17.6	17.6	-	2.9	-	-			
	その他	全体	9	-	33.3	22.2	▼11.1	▼11.1	11.1	-	11.1	-	11.1	△22.2	△22.2	11.1	-			
		女性	6	-	33.3	33.3	-	-	16.7	-	16.7	-	16.7	△16.7	△33.3	△16.7	-			
		男性	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	△33.3	-	-	-			
	特にない	全体	52	▼5.8	▼13.5	-	▼5.8	-	▼5.8	▼3.8	-	-	9.6	3.8	△65.4	3.8	1.9			
		女性	22	▼4.5	22.7	-	▼9.1	-	▼4.5	▼4.5	-	-	13.6	-	△59.1	4.5	4.5			
		男性	27	▼7.4	▼7.4	-	▼3.7	-	▼7.4	▼3.7	-	-	7.4	7.4	△66.7	3.7	-			
	わからない	全体	38	▼5.3	▼13.2	▼5.3	▼10.5	-	-	-	5.3	-	2.6	-	10.5	△63.2	-			
		女性	17	▼5.9	▼17.6	-	▼11.8	-	-	-	5.9	-	5.9	-	11.8	△70.6	-			
		男性	19	-	▼5.3	▼10.5	▼10.5	-	-	-	5.3	-	-	-	10.5	△63.2	-			

9. 問8×問9

単位：％

			問9　子どもの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。																	
			母数 (n)	子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化	学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化	地域・学校・家庭・子どもの連携を高めること	犯罪や安全をおびやかす情報や行進などから子どもを守る取り組みの推進	貧困の連鎖を断ち切るための取り組みの推進	学校における子どもへの人権教育の充実	子どものための相談・支援体制の充実	子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること	人権を大切にする心を育てるための、教職員などに対する研修の充実	徹底的・精神的なハラスメント禁止の徹底	身体的・精神的なハラスメント禁止の徹底	子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること	その他	特にな	わからない	不明・無回答	
全体			895	55.8	46.4	23.8	23.0	21.8	17.3	15.2	14.7	13.2	12.6	7.4	2.6	1.0	2.0	1.5		
問8　子どもの人権に関すること、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。	保護者などから虐待(身体的・心理的・性的)や育児放棄されること	全体	611	△71.8	48.6	23.9	21.9	23.2	17.5	16.0	15.4	11.9	14.6	5.9	1.5	0.2	0.8	-		
		女性	384	△72.1	46.4	24.5	24.0	23.7	15.9	15.9	15.4	10.9	15.4	7.3	1.0	-	1.0	-		
		男性	220	△71.8	53.6	22.7	18.6	22.3	20.5	16.8	14.5	13.6	13.6	3.6	1.8	0.5	0.5	-		
	SNSによる誹謗中傷や友人などから仲間はずれにされるなど、子どもの間での「いじめ」	全体	481	62.4	54.1	26.2	24.9	21.4	20.2	13.9	14.3	13.5	11.2	6.9	2.3	0.2	0.8	-		
		女性	293	63.5	52.2	25.3	27.0	22.5	17.7	14.3	16.0	13.3	12.3	8.5	2.4	-	1.0	-		
		男性	182	59.9	△57.7	28.0	20.9	19.2	24.2	13.7	12.1	13.7	9.9	4.4	2.2	0.5	0.5	-		
	いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする	全体	320	53.8	△61.9	26.9	19.4	14.4	24.4	16.3	13.8	13.1	12.8	8.4	2.5	0.3	0.6	-		
		女性	179	53.6	△58.7	29.1	19.0	14.5	20.7	16.2	14.0	10.6	16.8	10.6	2.2	-	0.6	-		
		男性	139	54.0	△65.5	24.5	19.4	14.4	△28.8	16.5	13.7	16.5	7.9	5.8	2.9	0.7	0.7	-		
	貧困による教育の格差が生じたり、健康な生活ができなかったりすること	全体	305	57.0	40.7	25.6	18.4	△49.5	15.1	17.0	14.8	11.5	13.4	9.2	3.3	0.3	0.7	-		
		女性	176	58.0	37.5	25.6	20.5	△54.0	11.4	15.9	15.3	11.9	14.8	9.1	4.5	-	0.6	-		
		男性	121	57.0	46.3	24.8	15.7	△43.8	19.8	19.8	13.2	9.9	12.4	9.1	1.7	0.8	0.8	-		
	指導的な立場にある人(教師・部活動の指導者・先輩など)からの身体的、精神的なハラスメント	全体	266	58.6	47.0	24.4	26.7	20.7	17.3	15.8	15.4	21.4	△22.6	4.9	2.3	-	1.1	-		
		女性	161	62.1	42.9	24.2	25.5	23.6	18.6	17.4	16.8	17.4	22.4	5.0	1.2	-	1.9	-		
		男性	102	52.9	54.9	24.5	28.4	15.7	15.7	13.7	11.8	△28.4	△23.5	4.9	2.9	-	-	-		
	暴力や犯罪、ポルノなどの性的な表現といった、子どもに有害な情報があふれていること	全体	153	50.3	45.1	27.5	△45.8	21.6	17.0	17.0	12.4	11.8	11.1	11.1	3.3	-	0.7	-		
		女性	101	52.5	41.6	23.8	△49.5	20.8	15.8	17.8	9.9	11.9	10.9	10.9	5.0	-	1.0	-		
		男性	49	▼44.9	53.1	△36.7	△38.8	20.4	18.4	16.3	18.4	12.2	12.2	12.2	-	-	-	-		
	子どもの意見や行動が尊重されていないこと	全体	83	▼38.6	▼33.7	22.9	16.9	21.7	△27.7	14.5	△59.0	20.5	9.6	14.5	1.2	-	-	-		
		女性	53	▼39.6	▼32.1	22.6	17.0	24.5	24.5	15.1	△60.4	17.0	11.3	△18.9	-	-	-	-		
		男性	27	▼40.7	40.7	22.2	18.5	▼11.1	△37.0	14.8	△55.6	△29.6	7.4	7.4	-	-	-	-		
	不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	全体	67	58.2	41.8	22.4	△53.7	14.9	13.4	13.4	11.9	10.4	△23.9	1.5	3.0	-	1.5	-		
		女性	43	62.8	37.2	18.6	△48.8	16.3	11.6	14.0	16.3	14.0	△23.3	2.3	2.3	-	2.3	-		
		男性	23	52.2	47.8	26.1	△60.9	13.0	17.4	13.0	▼4.3	4.3	△26.1	-	4.3	-	-	-		
	その他	全体	10	▼10.0	▼30.0	20.0	20.0	▼10.0	10.0	10.0	-	△30.0	10.0	10.0	△40.0	-	-	-		
		女性	6	▼16.7	50.0	33.3	△33.3	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	△33.3	-	-	-		
		男性	4	-	-	-	-	-	-	-	-	△50.0	-	△25.0	△50.0	-	-	-		
	特にな	全体	11	▼9.1	▼9.1	-	▼9.1	-	-	-	-	9.1	-	9.1	△18.2	△63.6	-	-		
		女性	2	-	-	-	-	-	-	-	-	△50.0	-	△50.0	-	△50.0	-	-		
		男性	8	▼12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△25.0	△75.0	-		
	わからない	全体	18	▼11.1	▼11.1	▼11.1	-	▼5.6	▼5.6	11.1	-	-	-	-	-	-	-	△61.1	11.1	
		女性	11	-	-	18.2	-	▼9.1	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	-	△54.5	18.2	
		男性	7	▼28.6	▼28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	△71.4	

10. 問10×問11

単位：％

			母数 (n)	問11 高齢者の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。												単位：%
				認知症 高齢者 対策の 充実	高齢者 を地域 で支え る仕組 みの整 備	高齢者 のため の相談 、支援 体制の 充実	道路や 交通機 関、建 物など のバリア フリー化	就労環 境の整 備	一人ひと りが理 解と認 識を深 めるこ と	自己啓 発や文 化的活 動に参 加でき る機 会の充 実	学校教 育にお ける高 齢者の 人権に 関する 教育の 充実	その他	特に ない	わか らな い	不明・ 無回 答	
全体			895	40.3	38.5	35.0	31.1	28.6	16.2	14.9	8.4	2.5	5.0	3.6	1.7	
次の10のうち、高齢者の人権に関すること、あなたが特に問題があると思うのは	詐欺や悪質商法による被害を受ける	全体	411	49.1	48.2	40.6	34.8	26.3	17.3	16.1	9.0	1.7	1.2	1.5	-	
		女性	248	△50.8	△49.6	39.9	37.9	23.8	14.5	16.5	9.7	1.6	1.2	1.2	-	
		男性	158	46.8	46.2	41.8	30.4	31.0	21.5	15.2	7.6	1.3	1.3	1.9	-	
	家族や地域との交流が疎遠がちで、孤独な生活を送っている	全体	306	45.1	△54.6	43.1	27.8	33.3	19.3	24.8	9.5	2.3	-	1.0	-	
		女性	184	48.4	△55.4	42.4	29.3	33.2	17.9	23.9	9.8	3.3	-	1.1	-	
		男性	118	39.8	△54.2	44.1	25.4	33.9	22.0	△26.3	8.5	0.8	-	0.8	-	
	働ける能力を発揮する機会が少ない	全体	289	39.4	39.1	36.0	26.0	△73.7	14.2	19.4	6.6	1.4	0.3	0.7	0.3	
		女性	174	42.5	37.4	35.6	28.7	△73.6	13.8	16.1	7.5	2.3	-	1.1	-	
		男性	109	36.7	42.2	36.7	22.0	△74.3	13.8	23.9	5.5	-	0.9	-	0.9	
	道路の段差や建物の階段など、外出先で不便や支障がある	全体	228	45.2	35.5	32.0	△78.5	25.0	14.9	11.4	11.4	1.3	1.3	-	0.9	
		女性	150	48.0	35.3	29.3	△78.0	25.3	16.0	12.0	14.0	2.0	0.7	-	0.7	
		男性	74	39.2	37.8	35.1	△79.7	23.0	13.5	9.5	6.8	-	2.7	-	1.4	
	住宅を容易に借りることができない	全体	189	47.1	41.3	△47.1	35.4	32.8	16.9	16.4	5.3	2.6	0.5	0.5	0.5	
		女性	113	△50.4	41.6	△48.7	36.3	33.6	20.4	16.8	5.3	2.7	-	0.9	-	
		男性	69	44.9	42.0	44.9	36.2	30.4	10.1	13.0	5.8	2.9	1.4	-	1.4	
	家庭内や病院、施設において不当な扱いや虐待を受ける	全体	171	△53.8	△51.5	△45.6	27.5	19.9	18.1	19.9	14.0	4.1	0.6	0.6	-	
		女性	117	△56.4	△53.8	△46.2	26.5	19.7	17.1	17.1	12.8	4.3	0.9	0.9	-	
		男性	51	49.0	47.1	43.1	29.4	19.6	21.6	△25.5	17.6	2.0	-	-	-	
	高齢者の意見や行動が尊重されない	全体	81	32.1	44.4	△49.4	23.5	34.6	△44.4	16.0	16.0	2.5	-	1.2	-	
		女性	50	34.0	44.0	△54.0	22.0	34.0	△52.0	12.0	14.0	2.0	-	2.0	-	
		男性	29	31.0	44.8	44.8	27.6	37.9	△31.0	24.1	△20.7	-	-	-	-	
	差別的な言動をされる	全体	57	38.6	42.1	△56.1	▼19.3	35.1	△26.3	8.8	△26.3	-	1.8	1.8	-	
		女性	39	41.0	41.0	△56.4	▼17.9	35.9	△33.3	5.1	△30.8	-	-	-	-	
		男性	18	33.3	44.4	△55.6	22.2	33.3	11.1	16.7	16.7	-	5.6	5.6	-	
その他	全体	20	45.0	40.0	30.0	25.0	▼15.0	▼5.0	10.0	10.0	△40.0	-	-	-		
	女性	13	△61.5	46.2	38.5	23.1	▼15.4	-	7.7	15.4	△46.2	-	-	-		
	男性	7	▼14.3	28.6	▼14.3	28.6	▼14.3	14.3	14.3	-	△28.6	-	-	-		
特にない	全体	74	▼23.0	▼17.6	▼13.5	▼12.2	▼5.4	12.2	▼2.7	4.1	1.4	△51.4	2.7	-		
	女性	36	33.3	▼11.1	▼19.4	▼11.1	▼5.6	22.2	-	2.8	-	△44.4	2.8	-		
	男性	36	▼13.9	▼25.0	▼8.3	▼11.1	▼5.6	▼2.8	5.6	5.6	2.8	△58.3	2.8	-		
わからない	全体	38	▼10.5	▼7.9	▼13.2	▼7.9	▼7.9	7.9	5.3	-	2.6	-	△55.3	-		
	女性	20	▼10.0	▼10.0	▼5.0	▼5.0	▼5.0	10.0	5.0	-	5.0	-	△60.0	-		
	男性	18	▼11.1	▼5.6	▼22.2	▼11.1	▼11.1	▼5.6	5.6	-	-	-	△50.0	-		

11. 問12×問13

単位：％

			母数 (n)	問13 障がいのある人の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				障がいのある人が働くための支援の充実	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること	障がいのある人への理解と認識を深めること

12. 問14×問15

単位：％

			母数 (n)	問15 外国人の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。														
				交流を通じて、日本人と外国人が相互の文化を理解できるよう促す	外国人のための相談、支援体制の充実を図る	でも、日本人と同等のサービス（医療・福祉・教育）を受けることができるようにする	外国人の就職の機会均等の確保をする	多言語による生活情報を提供する	学校教育における外国人の人権に関する教育の充実を図る	解消に向けた取り組みの推進を図る	在住外国人への日本語教育機会を確保する	外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	その他	特にな	わからない	不明・無回答		
全体				895	35.0	26.5	23.4	21.5	16.6	12.4	12.2	10.8	9.6	1.9	8.4	15.9	2.2	
次の14のうち外国人の人権に関することと、あなたが特に問題があると思うのは	外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある	全体	351	△57.8	△38.5	33.0	29.3	21.1	19.7	15.1	10.3	12.5	0.9	0.6	▼2.8	0.3		
		女性	198	△57.1	35.9	△37.4	31.3	19.7	15.2	12.1	12.1	13.6	0.5	0.5	▼4.5	0.5		
		男性	151	△59.6	△42.4	27.8	26.5	22.5	△25.2	19.2	7.9	10.6	1.3	0.7	▼0.7	-		
	就職・職場で不当な扱いを受ける（例：技能実習生問題など）	全体	255	42.0	△37.3	30.2	△53.7	22.0	20.8	19.2	12.9	11.0	1.2	1.6	▼0.8	0.4		
		女性	153	39.9	△38.6	32.0	△52.9	22.9	17.6	19.6	13.1	12.4	1.3	2.0	-	0.7		
		男性	98	△46.9	35.7	26.5	△55.1	19.4	△25.5	18.4	13.3	9.2	1.0	1.0	▼1.0	-		
	保健・医療・防災・教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない	全体	198	38.9	△45.5	△51.0	△31.8	△29.3	15.2	13.6	17.2	13.6	2.0	-	▼0.5	0.5		
		女性	123	34.1	△42.3	△55.3	△35.8	△32.5	10.6	14.6	15.4	14.6	-	-	▼0.8	0.8		
		男性	72	△47.2	△52.8	△43.1	25.0	25.0	22.2	11.1	△20.8	12.5	4.2	-	-	-		
	特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動（ハイトスピーチなど）が行われる	全体	175	△49.1	33.7	32.0	24.0	19.4	19.4	△48.6	14.9	13.7	1.7	0.6	▼1.1	-		
		女性	90	△50.0	34.4	△35.6	25.6	22.2	11.1	△46.7	16.7	15.6	-	-	▼1.1	-		
		男性	81	△49.4	34.6	28.4	23.5	16.0	△28.4	△51.9	12.3	11.1	3.7	-	▼1.2	-		
	駅・公共交通機関や文化・スポーツ・ショッピング施設などで外国語表示がなく、十分なサービスが受けられない	全体	160	△53.1	△36.9	△43.1	22.5	△48.1	12.5	10.6	13.8	8.1	1.9	-	-	-		
		女性	108	△51.9	36.1	△46.3	21.3	△48.1	10.2	10.2	11.1	10.2	0.9	-	-	-		
		男性	49	△59.2	△38.8	△36.7	24.5	△46.9	16.3	12.2	20.4	4.1	2.0	-	-	-		
	難民申請者などに対する保護が十分ではない	全体	102	△47.1	△39.2	△51.0	△35.3	20.6	17.6	14.7	17.6	15.7	2.0	2.0	▼1.0	-		
		女性	66	37.9	△42.4	△54.5	25.8	21.2	15.2	13.6	19.7	18.2	-	3.0	▼1.5	-		
		男性	33	△66.7	33.3	△39.4	△54.5	18.2	21.2	15.2	15.2	12.1	6.1	-	-	-		
	住宅を容易に借りることができない	全体	47	40.4	△53.2	31.9	29.8	21.3	△23.4	17.0	14.9	8.5	4.3	-	-	6.4	-	
		女性	27	37.0	△59.3	33.3	△33.3	25.9	18.5	18.5	18.5	11.1	3.7	-	-	7.4	-	
		男性	19	△47.4	△47.4	31.6	26.3	15.8	△31.6	15.8	10.5	-	5.3	-	▼5.3	-	-	
	結婚の際に周囲から反対を受ける	全体	39	△48.7	30.8	20.5	△43.6	15.4	△30.8	12.8	17.9	5.1	-	-	-	7.7	-	
		女性	19	42.1	26.3	21.1	△42.1	15.8	△26.3	15.8	10.5	5.3	-	-	-	15.8	-	
		男性	20	△55.0	35.0	20.0	△45.0	15.0	△35.0	10.0	△25.0	5.0	-	-	-	-	-	
	その他	全体	13	▼23.1	30.8	23.1	-	7.7	△30.8	15.4	△30.8	15.4	△23.1	7.7	-	-	-	
		女性	7	28.6	△57.1	28.6	-	14.3	△28.6	14.3	△42.9	14.3	△14.3	-	-	-	-	
		男性	6	▼16.7	-	16.7	-	-	△33.3	16.7	16.7	16.7	△33.3	16.7	-	-	-	
	特にな	全体	85	▼8.2	▼4.7	▼3.5	▼2.4	▼3.5	▼1.2	-	3.5	4.7	2.4	△75.3	▼1.2	-	-	
		女性	40	▼12.5	▼7.5	▼2.5	▼5.0	▼2.5	-	-	5.0	5.0	-	△77.5	-	-	-	
		男性	43	▼4.7	▼2.3	▼4.7	-	▼4.7	▼2.3	-	2.3	4.7	4.7	△72.1	▼2.3	-	-	
	わからない	全体	175	▼10.9	▼9.1	▼5.7	▼2.9	▼4.0	2.9	▼1.1	5.7	6.9	1.7	1.1	△72.6	0.6		
		女性	117	▼12.0	▼7.7	▼6.0	▼4.3	▼5.1	4.3	▼1.7	4.3	9.4	2.6	0.9	△70.1	0.9		
		男性	56	▼8.9	▼12.5	▼5.4	-	▼1.8	-	-	-	8.9	1.8	-	1.8	△76.8	0.9	

13. 問16×問17

単位：％

			母数 (n)	問17 感染症患者などの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。													
				一感染者ひとりが理解と認識を深める、市民	治療法確立などの医療体制の整備を行う	感染症に関する正しい情報の提供や理解を深めるための広報、啓発活動を推進する	学校教育における感染症に関する正しい知識や認識を	支援体制の充実を図るための相談、	感染症患者などの人権に	書き込みの削除を求める	インターネットやSNSで誹謗中傷等の	医療機関などにおける個人情報保護を徹底する	感染者の生活や治療費を支援する	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体				895	32.0	28.5	28.4	25.0	23.5	19.9	18.4	17.4	0.3	6.1	10.4	2.3	
問16 感染症患者などの人権に関する こと、あなたが特に問題がある と思うのは次のうちどれですか。	感染者・医療従事者及びその家族などが差別や偏見にさらされる	全体	230	39.6	37.8	40.4	33.5	33.9	23.9	24.3	25.2	-	0.4	0.4	-		
		女性	143	38.5	39.2	39.2	36.4	30.8	24.5	25.9	25.2	-	0.7	-	-		
		男性	84	42.9	34.5	42.9	28.6	38.1	23.8	22.6	25.0	-	-	1.2	-		
	インターネットやSNSで誹謗中傷やデマを書き込まれる	全体	199	31.7	30.2	38.2	32.2	26.1	59.8	23.1	15.1	-	0.5	0.5	-		
		女性	109	35.8	30.3	39.4	39.4	24.8	63.3	19.3	15.6	-	0.9	0.9	-		
		男性	88	27.3	30.7	37.5	23.9	27.3	54.5	28.4	13.6	-	-	-	-		
	感染者が出た施設、学校、会社などが差別や偏見にさらされる	全体	196	31.1	34.7	45.9	30.1	26.5	28.6	28.6	23.0	0.5	-	-	1.0		
		女性	118	29.7	39.0	42.4	28.8	23.7	29.7	32.2	21.2	0.8	-	-	0.8		
		男性	74	33.8	28.4	51.4	33.8	31.1	25.7	24.3	25.7	-	-	-	1.4		
	治療や入院を断られる	全体	177	33.9	51.4	31.6	34.5	32.8	19.2	27.7	31.1	0.6	-	0.6	0.6		
		女性	118	33.9	47.5	31.4	39.0	33.1	17.8	29.7	27.1	0.8	-	-	0.8		
		男性	56	33.9	58.9	32.1	26.8	32.1	21.4	25.0	39.3	-	-	1.8	-		
	就職・職場で不利な扱いを受ける	全体	172	58.1	36.0	26.7	35.5	28.5	22.1	23.3	26.7	-	0.6	-	-		
		女性	107	55.1	37.4	28.0	38.3	27.1	22.4	23.4	23.4	-	0.9	-	-		
		男性	61	65.6	36.1	21.3	31.1	27.9	19.7	24.6	31.1	-	-	-	-		
	地域社会における排斥や悪意のある噂が流される	全体	147	38.1	36.7	46.3	34.0	33.3	38.1	24.5	15.0	-	0.7	-	-		
		女性	88	35.2	40.9	45.5	33.0	31.8	42.0	27.3	14.8	-	-	-	-		
		男性	56	44.6	30.4	48.2	37.5	33.9	32.1	21.4	12.5	-	1.8	-	-		
	ワクチンなどを接種していないことで差別的な扱いを受ける	全体	114	34.2	32.5	32.5	27.2	29.8	26.3	28.9	23.7	-	1.8	0.9	0.9		
		女性	68	30.9	30.9	33.8	27.9	26.5	32.4	25.0	22.1	-	1.5	-	-		
		男性	46	39.1	34.8	30.4	26.1	34.8	17.4	34.8	26.1	-	2.2	2.2	2.2		
	出勤や登校、または施設・店舗などの利用自粛を求められたり、拒否される	全体	93	36.6	37.6	37.6	37.6	34.4	19.4	20.4	28.0	-	2.2	-	1.1		
		女性	58	36.2	37.9	37.9	43.1	31.0	20.7	20.7	27.6	-	-	-	1.7		
		男性	33	39.4	39.4	36.4	27.3	36.4	15.2	21.2	27.3	-	6.1	-	-		
家族や親戚、友人などからつきあいを拒絶される	全体	61	57.4	50.8	26.2	34.4	27.9	23.0	29.5	23.0	-	-	1.6	-			
	女性	35	48.6	51.4	17.1	37.1	25.7	28.6	31.4	28.6	-	-	-	-			
	男性	26	69.2	50.0	38.5	30.8	30.8	15.4	26.9	15.4	-	-	3.8	-			
結婚の際に周囲から反対を受ける	全体	51	58.8	35.3	23.5	43.1	15.7	23.5	25.5	23.5	-	2.0	-	-			
	女性	27	59.3	33.3	18.5	44.4	14.8	33.3	37.0	18.5	-	-	-	-			
	男性	24	58.3	37.5	29.2	41.7	16.7	12.5	12.5	29.2	-	4.2	-	-			
住宅を容易に借りることができない	全体	10	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	10.0	30.0	-	-	-	-			
	女性	7	71.4	42.9	42.9	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-			
	男性	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-			
その他	全体	6	-	33.3	50.0	16.7	-	-	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	-			
	女性	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	33.3	-	-			
	男性	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-			
特にない	全体	100	21.0	12.0	9.0	11.0	9.0	2.0	8.0	9.0	1.0	49.0	6.0	1.0			
	女性	54	25.9	16.7	9.3	13.0	13.0	3.7	11.1	14.8	-	38.9	3.7	1.9			
	男性	43	14.0	7.0	7.0	4.7	4.7	-	4.7	2.3	2.3	62.8	9.3	-			
わからない	全体	138	18.8	11.6	15.2	10.1	9.4	0.7	7.2	7.2	-	0.7	59.4	-			
	女性	81	18.5	12.3	16.0	8.6	4.9	1.2	9.9	8.6	-	-	58.0	-			
	男性	56	19.6	10.7	14.3	12.5	16.1	-	3.6	5.4	-	1.8	60.7	-			

14. 問18×問20

単位：％

			母数 (n)	問20 LGBTQ+などの性的少数者の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。										単位：%	
				ついで 学校の 教育の中 で、性的 配慮を行 う	性的指 向・性自 認につ いて、理 解と認識 を深める	同性パ ートナ ーが家 族・医 療・保 険など を受ける	行政や 民間サ ービス におい て、同 性パ ートナ ーが家 族と同 等の扱 いを受 ける	性的指 向・性自 認に配 慮した 設備 (トイレ ・更衣 室など) を整え る	性的指 向・性自 認に配 慮した 法令、 制度の 整備を 進める	性的指 向・性自 認に関 する相 談、支 援体制 の充実 を図る	性的指 向・性自 認に配 慮し、 窓口で の呼び 出しや 申請書	その他	特に ない	わか らない	不明 ・無 回答
全体				895	38.1	30.7	27.6	25.5	24.1	19.6	7.9	1.9	7.3	14.0	2.7
問18 のL 次G のB T Q +な どの 性的 少数 者の 人権 に関 する こと で、 あな たが 特に 問題 があ ると	世間から好奇や偏見の目で見られる	全体	317	△52.7	△47.3	36.0	27.8	32.2	△32.2	11.0	1.6	0.9	▼1.9	0.3	
		女性	179	△55.3	△43.6	37.4	29.1	△34.6	△31.8	10.1	1.7	1.1	▼0.6	0.6	
		男性	135	△49.6	△53.3	33.3	25.9	28.9	△33.3	11.9	1.5	0.7	▼3.0	-	
	身体性の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ・更衣室など）が整っていない	全体	269	45.4	27.5	△38.7	△62.1	△34.6	23.8	13.4	0.7	-	▼2.6	0.4	
		女性	175	45.1	24.6	△42.3	△63.4	△36.0	21.1	12.0	0.6	-	▼1.7	0.6	
		男性	91	47.3	33.0	30.8	△58.2	31.9	△29.7	14.3	1.1	-	4.4	-	
	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある（住宅・医療・保険など）	全体	224	42.9	29.0	△67.0	△37.1	△45.1	22.3	14.3	1.3	0.4	▼0.4	0.9	
		女性	154	44.2	26.0	△71.4	△36.4	△46.8	19.5	16.9	0.6	-	▼0.6	0.6	
		男性	66	39.4	37.9	△56.1	△37.9	△40.9	△30.3	7.6	3.0	1.5	-	1.5	
	相談できる相手が少ない	全体	194	△53.1	△42.8	33.5	30.9	29.4	△43.8	10.3	-	1.5	▼3.6	1.0	
		女性	124	△54.0	△41.9	△37.9	34.7	29.8	△41.9	12.1	-	-	▼2.4	0.8	
		男性	68	△52.9	△45.6	26.5	25.0	29.4	△48.5	7.4	-	2.9	4.4	1.5	
	就職・職場での不当な扱い、差別的な言動、いやがらせやいじめがある	全体	140	△52.9	△45.7	△38.6	24.3	△40.0	△30.7	11.4	-	1.4	▼0.7	1.4	
		女性	75	△52.0	40.0	△44.0	22.7	△52.0	25.3	12.0	-	1.3	-	1.3	
		男性	62	△53.2	△54.8	30.6	25.8	24.2	△38.7	11.3	-	1.6	▼1.6	1.6	
	男性らしさ、女性らしさを求められる	全体	135	△61.5	△43.0	29.6	28.1	31.1	24.4	9.6	1.5	1.5	▼2.2	0.7	
		女性	85	△58.8	37.6	35.3	30.6	△37.6	22.4	11.8	1.2	1.2	▼1.2	1.2	
		男性	49	△65.3	△53.1	20.4	24.5	20.4	28.6	6.1	2.0	2.0	4.1	-	
	学校でいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不当な扱いを受ける	全体	130	△62.3	△42.3	36.2	30.0	△37.7	△32.3	6.9	1.5	0.8	▼3.1	-	
		女性	74	△64.9	△43.2	35.1	31.1	△39.2	△31.1	6.8	1.4	-	▼2.7	-	
		男性	54	△61.1	△42.6	35.2	27.8	△35.2	△35.2	7.4	1.9	1.9	▼3.7	-	
	同性カップルなどが宿泊施設などの利用を拒否される	全体	22	△63.6	27.3	△68.2	18.2	31.8	13.6	△18.2	4.5	4.5	-	-	
		女性	16	△75.0	25.0	△68.8	18.8	31.3	12.5	△12.5	6.3	-	-	-	
		男性	5	40.0	40.0	△80.0	20.0	△40.0	20.0	△40.0	-	-	-	-	
	その他	全体	13	▼15.4	23.1	▼7.7	▼15.4	▼7.7	-	-	△53.8	△23.1	7.7	-	
		女性	5	▼20.0	▼20.0	20.0	-	-	-	-	△40.0	△40.0	-	-	
		男性	6	-	▼16.7	-	16.7	-	-	-	△66.7	16.7	16.7	-	
	特にない	全体	65	▼9.2	▼9.2	▼3.1	▼1.5	-	▼7.7	1.5	4.6	△66.2	7.7	3.1	
女性		27	▼14.8	▼11.1	-	▼3.7	-	11.1	3.7	-	△63.0	11.1	-		
男性		37	▼2.7	▼5.4	▼2.7	-	-	▼5.4	-	8.1	△70.3	5.4	5.4		
わからない	全体	177	▼16.9	▼14.7	▼6.8	▼9.6	▼7.3	▼5.1	1.7	-	6.8	△55.4	2.8		
	女性	107	▼18.7	▼15.9	▼7.5	▼13.1	▼8.4	▼4.7	1.9	-	4.7	△54.2	1.9		
	男性	68	▼14.7	▼13.2	▼5.9	▼4.4	▼5.9	▼5.9	1.5	-	10.3	△55.9	4.4		

15. 問 22×問 23

単位：％

			母数 (n)	問23 働く人々の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。												単位：%
				環境 超過 勤務の 削減や 休暇の 取りやす い	公正な 採用や 昇進	本人の 適性と 能力を 基準と する	子育て や介護 に関する 制度の 充実な どの	同一労働 ・同一賃 金など 非正規 雇用	病気の 治療を しながら 、働き 続ける こと	職場 窓口の 設置や 防止対 策を行 うこと	職場 における 従業員 に対する 人権研 究の実 施	労働組 合を組 織し、 組合活 動に 参加す るなど の権利 の保障	その他	特にな い	わから ない	不明・ 無回答
全体			895	42.0	35.9	35.0	26.1	24.6	20.6	12.0	6.6	2.1	5.8	5.4	2.0	
次の22 うち、職 場にお ける人 権に関 すること で、あ なたが 特に問 題があ ると思 うのは	仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい	全体	284	△54.6	28.5	△71.8	27.5	29.6	20.1	9.5	9.5	2.8	0.4	1.4	-	
		女性	176	△54.5	33.5	△72.7	25.0	31.8	15.9	8.5	6.8	3.4	-	1.7	-	
		男性	101	△57.4	▼18.8	△69.3	31.7	22.8	27.7	10.9	14.9	2.0	1.0	1.0	-	
	長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない	全体	283	△87.6	32.2	△45.9	26.1	26.1	24.0	9.9	7.4	2.1	0.4	1.8	-	
		女性	182	△90.7	35.7	△45.6	26.4	28.0	20.9	8.2	4.9	1.6	-	1.6	-	
		男性	98	△83.7	26.5	△45.9	25.5	21.4	△30.6	12.2	12.2	3.1	1.0	2.0	-	
	非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている	全体	249	44.6	44.2	31.7	△69.1	23.7	17.7	14.1	7.6	0.4	0.8	1.2	0.4	
		女性	147	44.9	△46.3	29.3	△70.1	27.9	15.0	11.6	4.8	0.7	0.7	2.0	0.7	
		男性	101	44.6	41.6	34.7	△67.3	17.8	20.8	17.8	11.9	-	1.0	-	-	
	採用や昇進などにおいて、本人の適性や能力以外の面が評価される	全体	224	42.0	△80.8	29.0	30.8	25.0	18.3	12.9	9.4	0.4	0.4	0.9	-	
		女性	123	48.0	△84.6	30.1	29.3	25.2	13.8	13.8	5.7	0.8	0.8	-	-	
		男性	97	35.1	△75.3	25.8	34.0	22.7	23.7	12.4	14.4	-	-	2.1	-	
	ハラスメント（セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなど）がある	全体	202	47.5	33.2	33.2	23.8	20.3	△60.9	20.3	8.4	3.5	1.0	1.0	-	
		女性	117	△52.1	38.5	36.8	23.9	22.2	△56.4	17.1	5.1	2.6	0.9	1.7	-	
		男性	80	42.5	▼25.0	27.5	23.8	16.3	△68.8	△25.0	12.5	5.0	1.3	-	-	
	病気の治療をしながら、働き続けられる環境が整備されていない	全体	159	46.5	31.4	△45.3	26.4	△81.1	17.0	11.9	5.7	0.6	0.6	0.6	-	
		女性	109	51.4	31.2	△46.8	26.6	△78.9	12.8	11.9	3.7	0.9	0.9	0.9	-	
		男性	46	39.1	30.4	39.1	26.1	△84.8	28.3	13.0	8.7	-	-	-	-	
	顧客などからカスタマー・ハラスメント（理不尽なクレームや不当な要求など）を受ける	全体	145	49.7	▼24.8	40.7	▼15.2	22.8	△35.9	21.4	4.8	5.5	-	2.8	-	
		女性	91	△53.8	28.6	41.8	▼14.3	24.2	△30.8	19.8	2.2	5.5	-	2.2	-	
		男性	51	43.1	▼17.6	41.2	17.6	19.6	△45.1	△25.5	7.8	5.9	-	2.0	-	
	不当に解雇されることや自主的な退職に追いこまれる	全体	91	42.9	△50.5	26.4	△36.3	31.9	△34.1	20.9	14.3	3.3	-	-	-	
女性		53	39.6	△54.7	▼22.6	34.0	34.0	28.3	13.2	13.2	5.7	-	-	-		
男性		38	47.4	44.7	31.6	△39.5	28.9	△42.1	△31.6	15.8	-	-	-	-		
その他	全体	8	50.0	-	▼25.0	▼12.5	25.0	△50.0	12.5	-	△12.5	12.5	△25.0	-		
	女性	5	▼20.0	-	-	-	△40.0	△40.0	20.0	-	-	△20.0	△40.0	-		
	男性	3	△100.0	-	△66.7	33.3	-	△66.7	-	-	△33.3	-	-	-		
特にな	全体	93	▼14.0	▼20.4	▼19.4	▼5.4	17.2	▼2.2	7.5	3.2	2.2	△46.2	-	-		
	女性	45	▼15.6	▼24.4	▼22.2	▼4.4	17.8	▼2.2	8.9	4.4	2.2	△35.6	-	-		
	男性	46	▼10.9	▼17.4	▼17.4	▼6.5	15.2	▼2.2	6.5	2.2	2.2	△56.5	-	-		
わからない	全体	80	▼13.8	28.8	▼13.8	▼12.5	▼8.8	▼6.3	8.8	3.8	2.5	3.8	△46.3	-		
	女性	42	▼9.5	26.2	▼16.7	▼4.8	▼9.5	▼4.8	4.8	-	2.4	4.8	△59.5	-		
	男性	37	▼18.9	32.4	▼10.8	21.6	▼8.1	▼8.1	13.5	8.1	2.7	-	△32.4	-		

16. 問 24×問 25

単位：％

			母数 (n)	問25 犯罪被害者などの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。											
				きめ細やかな支援や対応	取材犯罪被害者などに配慮した報道や	専門家による心理的支援（カウンセリングなど）の提供	犯罪予防・防止のための施策の充実	経済的な支援	犯罪被害者などの相談体制の充実	理解と認識を深めること	市民一人ひとりが犯罪被害者などの人権について、	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体			895	46.5	46.5	27.3	22.2	21.7	20.6	16.5	0.9	3.4	11.5	2.3	
次問の24のうち犯罪被害者などの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは	警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない	全体	312	△58.3	53.8	33.7	28.8	26.9	26.3	17.6	0.6	0.3	2.2	0.3	
		女性	192	△56.8	55.2	33.9	29.7	28.6	22.9	15.6	-	0.5	3.1	0.5	
		男性	115	△61.7	52.2	31.3	26.1	24.3	△32.2	20.9	1.7	-	▼0.9	-	
	犯罪による精神的・経済的負担が大きい	全体	301	△65.8	48.5	36.9	26.6	△41.2	23.3	17.3	0.7	-	▼1.3	-	
		女性	177	△71.2	49.7	36.7	27.1	△41.2	22.0	17.5	-	-	1.7	-	
		男性	120	△58.3	46.7	35.8	24.2	△41.7	25.0	17.5	1.7	-	▼0.8	-	
	過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある	全体	284	53.5	△83.1	28.9	21.1	21.1	19.4	23.6	-	0.7	▼0.7	-	
		女性	176	△56.8	△83.0	31.3	23.3	22.2	18.2	18.8	-	0.6	▼1.1	-	
		男性	106	47.2	△84.0	25.5	17.0	18.9	21.7	△32.1	-	0.9	-	-	
	インターネット上での噂話や誹謗・中傷がある	全体	227	46.7	△60.4	29.1	28.6	23.3	29.1	22.9	1.3	0.9	1.8	0.9	
		女性	141	47.5	△62.4	32.6	27.0	21.3	27.7	25.5	1.4	1.4	▼1.4	0.7	
		男性	82	45.1	△57.3	24.4	31.7	26.8	△32.9	19.5	1.2	-	2.4	-	
	事件に関して周囲からの偏見や差別がある	全体	190	△62.6	△63.2	29.5	△32.6	28.9	21.1	24.7	0.5	-	▼0.5	-	
		女性	110	△61.8	△68.2	31.8	30.9	27.3	22.7	19.1	-	-	-	-	
		男性	78	△62.8	56.4	26.9	△34.6	30.8	19.2	△33.3	1.3	-	▼1.3	-	
	捜査・刑事裁判で受ける精神的負担が大きいにもかかわらず、こころのケアがされない	全体	189	△66.1	51.3	△56.6	28.0	27.5	26.5	15.3	1.1	-	-	0.5	
		女性	116	△64.7	50.9	△64.7	26.7	29.3	25.9	12.1	0.9	-	-	0.9	
		男性	70	△70.0	52.9	△41.4	30.0	25.7	27.1	20.0	1.4	-	-	-	
	犯罪被害者自身が非難の対象になる	全体	168	54.8	△64.9	28.6	22.6	20.8	29.2	△27.4	-	-	▼1.2	0.6	
		女性	103	48.5	△64.1	31.1	22.3	22.3	30.1	24.3	-	-	1.9	1.0	
		男性	61	△67.2	△67.2	23.0	21.3	18.0	29.5	△32.8	-	-	-	-	
	刑事裁判手続きに犯罪被害者や家族の声が十分反映されない	全体	103	△62.1	50.5	33.0	23.3	31.1	△38.8	15.5	1.9	-	3.9	-	
		女性	58	△70.7	50.0	36.2	24.1	31.0	△32.8	10.3	-	-	6.9	-	
		男性	45	51.1	51.1	28.9	22.2	31.1	△46.7	22.2	4.4	-	-	-	
	その他	全体	4	-	50.0	△50.0	-	-	25.0	-	△75.0	-	-	-	-
		女性	1	-	-	-	-	-	-	-	△100.0	-	-	-	-
		男性	3	-	△66.7	△66.7	-	-	△33.3	-	△66.7	-	-	-	-
	特にない	全体	34	▼5.9	▼11.8	▼8.8	▼5.9	▼8.8	▼5.9	▼2.9	-	-	△61.8	14.7	-
		女性	13	▼7.7	▼15.4	▼15.4	▼7.7	15.4	15.4	-	-	-	△61.5	7.7	-
		男性	19	▼5.3	▼10.5	▼5.3	▼5.3	▼5.3	-	▼5.3	-	-	△63.2	15.8	-
	わからない	全体	131	▼15.3	▼8.4	▼9.2	▼12.2	▼6.1	▼5.3	8.4	-	3.8	△64.1	-	-
		女性	74	▼14.9	▼8.1	▼12.2	17.6	▼2.7	▼9.5	8.1	-	-	△63.5	-	-
		男性	55	▼14.5	▼9.1	▼3.6	▼5.5	▼10.9	-	9.1	-	9.1	△65.5	-	-

17. 問26×問27

単位：％

			母数 (n)	問27 (a) インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである				問27 (b) インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ				問27 (c) インターネットへの書き込みで人権を侵害した場合、法により取り締まるべきだ			
				そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答
次問の26のうちどれですか。 インターネットによる人権侵害に関することで、あなたが特に問題があると思うのは	全体		895	7.0	79.6	9.1	4.4	90.4	0.8	4.5	4.4	85.5	0.9	9.1	4.6
	他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する	全体	469	7.9	85.7	4.7	1.7	96.6	1.1	1.1	1.3	92.1	0.9	5.3	1.7
		女性	272	7.0	86.4	4.8	1.8	96.3	1.1	0.7	1.8	91.5	0.7	5.5	2.2
		男性	193	9.3	84.5	4.7	1.6	96.9	1.0	1.6	0.5	93.3	1.0	4.7	1.0
	無断で他人のプライバシーに関することを掲載する	全体	421	8.6	83.8	5.5	2.1	94.8	1.2	1.9	2.1	91.7	0.7	5.5	2.1
		女性	249	7.2	84.3	6.0	2.4	94.8	1.2	1.6	2.4	92.8	0.4	4.8	2.0
		男性	163	11.0	82.2	4.9	1.8	94.5	1.2	2.5	1.8	90.8	0.6	6.1	2.5
	犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する	全体	261	5.0	89.3	5.0	0.8	96.6	1.1	1.1	1.1	92.3	0.4	6.5	0.8
		女性	154	2.6	△93.5	3.2	0.6	96.8	1.9	0.6	0.6	94.8	-	5.2	-
		男性	103	8.7	82.5	7.8	1.0	96.1	-	1.9	1.9	88.3	1.0	8.7	1.9
	情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい	全体	236	6.4	85.6	6.8	1.3	96.2	0.4	2.1	1.3	93.2	0.4	4.2	2.1
		女性	147	5.4	84.4	8.8	1.4	97.3	0.7	1.4	0.7	93.2	0.7	4.1	2.0
		男性	87	8.0	87.4	3.4	1.1	94.3	-	3.4	2.3	93.1	-	4.6	2.3
	情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい	全体	232	3.0	△94.0	2.6	0.4	97.8	0.9	1.3	-	93.1	0.9	4.7	1.3
		女性	128	1.6	△96.1	2.3	-	100.0	-	-	-	93.0	1.6	3.9	1.6
		男性	101	5.0	△91.1	3.0	1.0	95.0	2.0	3.0	-	93.1	-	5.9	1.0
	個人情報の流出などの問題が多く発生している	全体	193	10.9	81.9	6.2	1.0	95.3	-	3.1	1.6	87.6	1.0	9.8	1.6
		女性	115	9.6	84.3	4.3	1.7	96.5	-	0.9	2.6	87.8	-	9.6	2.6
		男性	75	13.3	77.3	9.3	-	93.3	-	6.7	-	88.0	2.7	9.3	-
	悪質商法の場となっている	全体	161	5.6	84.5	8.1	1.9	95.0	1.2	2.5	1.2	88.2	1.9	9.3	0.6
女性		82	1.2	87.8	8.5	2.4	96.3	1.2	1.2	1.2	89.0	1.2	9.8	-	
男性		77	10.4	80.5	7.8	1.3	93.5	1.3	3.9	1.3	88.3	1.3	9.1	1.3	
わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	全体	148	6.1	△90.5	2.7	0.7	97.3	1.4	0.7	0.7	93.9	1.4	4.1	0.7	
	女性	107	5.6	△91.6	1.9	0.9	97.2	0.9	0.9	0.9	△96.3	-	2.8	0.9	
	男性	39	7.7	87.2	5.1	-	97.4	2.6	-	-	89.7	2.6	7.7	-	
捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載する	全体	47	△19.1	76.6	2.1	2.1	95.7	-	2.1	2.1	91.5	2.1	4.3	2.1	
	女性	30	16.7	76.7	3.3	3.3	93.3	-	3.3	3.3	90.0	3.3	3.3	3.3	
	男性	17	△23.5	76.5	-	-	100.0	-	-	-	94.1	-	5.9	-	
その他	全体	9	-	88.9	11.1	-	100.0	-	-	-	△100.0	-	-	-	
	女性	4	-	△100.0	-	-	100.0	-	-	-	△100.0	-	-	-	
	男性	5	-	80.0	△20.0	-	100.0	-	-	-	△100.0	-	-	-	
特にない	全体	11	9.1	▼27.3	△54.5	9.1	▼45.5	-	△36.4	18.2	▼45.5	-	△36.4	18.2	
	女性	7	14.3	▼42.9	△28.6	14.3	▼57.1	-	△28.6	14.3	▼57.1	-	△28.6	14.3	
	男性	4	-	-	△100.0	-	▼25.0	-	△50.0	25.0	▼25.0	-	△50.0	25.0	
わからない	全体	56	1.8	▼39.3	△50.0	8.9	▼55.4	-	△37.5	7.1	▼48.2	1.8	△41.1	8.9	
	女性	33	-	▼39.4	△45.5	15.2	▼54.5	-	△33.3	12.1	▼45.5	3.0	△36.4	15.2	
	男性	21	-	▼42.9	△57.1	-	▼57.1	-	△42.9	-	▼52.4	-	△47.6	-	

17. 問26×問27

単位：％

			母数 (n)	問27 (d) インターネットへの書き込みで人権を侵害された場合についての対応方法・相談窓口の周知をするべきだ				問27 (e) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、情報元の管理者などに情報停止、削除を求めるべきだ				問27 (f) 企業などが個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をするべきだ			
				そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答	そう思う	そうは思わない	わからない	不明・無回答
次問の26のうちインターネットによる人権侵害に関するところで、あなたが特に問題があると思うのは	全体		895	87.0	0.7	7.3	5.0	79.0	4.4	11.6	5.0	85.3	1.1	8.3	5.4
	他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する	全体	469	92.8	0.9	4.1	2.3	87.2	4.7	5.8	2.3	91.7	1.5	4.5	2.3
		女性	272	93.4	-	4.0	2.6	△92.3	1.5	4.0	2.2	91.5	0.7	5.1	2.6
		男性	193	91.7	2.1	4.1	2.1	80.3	9.3	8.3	2.1	91.7	2.6	3.6	2.1
	無断で他人のプライバシーに関することを掲載する	全体	421	91.4	0.7	4.8	3.1	84.1	3.3	9.5	3.1	90.5	0.7	5.5	3.3
		女性	249	92.8	-	4.4	2.8	87.1	2.0	8.4	2.4	91.6	0.4	5.2	2.8
		男性	163	89.6	1.2	5.5	3.7	79.8	5.5	11.0	3.7	89.0	1.2	5.5	4.3
	犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する	全体	261	92.7	0.4	5.4	1.5	85.8	5.0	7.3	1.9	91.2	1.5	5.7	1.5
		女性	154	94.2	-	5.2	0.6	87.7	3.9	7.8	0.6	92.2	0.6	6.5	0.6
		男性	103	90.3	1.0	5.8	2.9	83.5	6.8	6.8	2.9	89.3	2.9	4.9	2.9
	情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい	全体	236	93.2	1.3	3.4	2.1	85.2	5.5	6.8	2.5	91.5	1.3	4.7	2.5
		女性	147	95.2	-	2.7	2.0	87.8	2.7	6.8	2.7	93.2	0.7	4.1	2.0
		男性	87	89.7	3.4	4.6	2.3	80.5	10.3	6.9	2.3	88.5	2.3	5.7	3.4
	情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい	全体	232	96.1	0.4	2.2	1.3	85.8	4.7	8.6	0.9	△96.1	0.9	2.2	0.9
		女性	128	96.1	-	2.3	1.6	88.3	3.1	7.8	0.8	△97.7	0.8	0.8	0.8
		男性	101	96.0	1.0	2.0	1.0	82.2	6.9	9.9	1.0	94.1	1.0	4.0	1.0
	個人情報の流出などの問題が多く発生している	全体	193	91.2	0.5	6.7	1.6	83.4	5.2	9.3	2.1	90.2	1.6	6.2	2.1
		女性	115	93.0	-	4.3	2.6	86.1	1.7	8.7	3.5	93.9	-	3.5	2.6
		男性	75	88.0	1.3	10.7	-	78.7	10.7	10.7	-	84.0	4.0	10.7	1.3
	悪質商法の場となっている	全体	161	91.3	0.6	6.2	1.9	85.1	4.3	9.3	1.2	91.3	1.2	5.6	1.9
女性		82	93.9	-	3.7	2.4	△90.2	2.4	6.1	1.2	93.9	-	3.7	2.4	
男性		77	89.6	-	9.1	1.3	79.2	6.5	13.0	1.3	88.3	2.6	7.8	1.3	
わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	全体	148	94.6	1.4	3.4	0.7	△92.6	3.4	3.4	0.7	92.6	1.4	5.4	0.7	
	女性	107	96.3	-	2.8	0.9	△93.5	3.7	1.9	0.9	94.4	-	4.7	0.9	
	男性	39	92.3	2.6	5.1	-	△89.7	2.6	7.7	-	87.2	5.1	7.7	-	
捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載する	全体	47	89.4	-	8.5	2.1	△91.5	2.1	4.3	2.1	87.2	-	10.6	2.1	
	女性	30	86.7	-	10.0	3.3	△90.0	-	6.7	3.3	86.7	-	10.0	3.3	
	男性	17	94.1	-	5.9	-	△94.1	5.9	-	-	88.2	-	11.8	-	
その他	全体	9	△100.0	-	-	-	▽66.7	△22.2	11.1	-	77.8	-	△22.2	-	
	女性	4	△100.0	-	-	-	75.0	△25.0	-	-	▽75.0	-	△25.0	-	
	男性	5	△100.0	-	-	-	▽60.0	△20.0	20.0	-	80.0	-	△20.0	-	
特にない	全体	11	▽45.5	-	△36.4	18.2	▽36.4	9.1	△36.4	18.2	▽45.5	-	△36.4	18.2	
	女性	7	▽57.1	-	△28.6	14.3	▽42.9	14.3	△28.6	14.3	▽57.1	-	△28.6	14.3	
	男性	4	▽25.0	-	△50.0	25.0	▽25.0	-	△50.0	25.0	▽25.0	-	△50.0	25.0	
わからない	全体	56	▽51.8	-	△39.3	8.9	▽37.5	-	△53.6	8.9	▽48.2	1.8	△39.3	10.7	
	女性	33	▽51.5	-	△33.3	15.2	▽42.4	-	△42.4	15.2	▽45.5	3.0	△33.3	18.2	
	男性	21	▽52.4	-	△47.6	-	▽28.6	-	△71.4	-	▽52.4	-	△47.6	-	

18. 問 28×問 29

単位：％

			問29 地震などの災害時に人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。														
			母数 (n)	医療 心身の健康 体制の整備 を行う	被災者が 様々な困り ごとを相談 できる	避難所にお ける、授乳 室・育児室 ・更衣室な どといった 個別ニーズ にに応じら れる	避難生活に おける防犯 対策を強化 する	必要な情 報や支援を もれなく届 ける体制を 整備する	災害対応に 被災者・妊 産婦・外国 人などに配 慮した	要配慮者（ 障がいのある 人・高齢者 など様々な 人が）	障がいのある 人・高齢者 など様々な 人が	平時から地 域の防災活 動に、女性・ 参加し、住 民同士のつ ながりをつ くる	災害時に おける人権 への配慮に ついて、市 民一人ひと りが理解と 認識を深め る	その他	特にない	わからない	不明・無 回答
全体			895	39.8	38.3	38.0	32.1	29.1	21.5	16.8	14.5	11.2	1.7	1.1	5.0	1.9	
問28で すか。地震 などの災害 時における 人権に関す ること	避難生活で プライバシー が守られない	全体	478	43.3	48.1	44.1	37.9	30.5	20.5	13.8	15.5	9.6	1.9	0.4	1.3	0.2	
		女性	293	42.0	47.8	45.7	41.6	29.0	18.8	15.4	16.4	6.1	2.4	0.3	1.0	0.3	
		男性	177	45.2	△49.2	40.7	32.8	33.3	23.2	11.9	14.1	15.3	1.1	-	1.7	-	
	心身の不調 を我慢しま う	全体	385	△57.1	43.6	38.7	30.9	30.4	20.5	19.2	16.4	11.4	0.8	-	1.3	0.3	
		女性	242	△55.8	43.0	40.1	35.5	30.2	19.0	19.0	16.9	9.9	0.8	-	1.2	0.4	
		男性	138	△58.7	44.9	34.8	23.2	31.9	22.5	20.3	14.5	14.5	0.7	-	1.4	-	
	被災者に被 災状況や支 援内容など 必要な情 報や支援が 行き届か ない	全体	316	45.9	38.3	37.7	33.5	△54.1	21.5	19.9	11.4	11.4	0.6	0.3	0.3	0.6	
		女性	204	45.1	38.2	38.7	33.3	△52.5	20.1	22.1	14.2	9.3	1.0	-	0.5	1.0	
		男性	106	46.2	37.7	33.0	34.0	△59.4	25.5	17.0	6.6	15.1	-	0.9	-	-	
	避難所など で性別・年 齢・家族構 成・健康状 態など、個 々の違いに 応じた配慮 が十分で ない	全体	241	48.5	37.8	△49.0	27.8	34.9	30.7	19.1	16.6	11.6	1.7	0.4	-	0.4	
		女性	143	44.1	36.4	△49.0	34.3	31.5	27.3	23.8	16.1	12.6	2.8	-	-	0.7	
		男性	93	△55.9	40.9	△49.5	▼19.4	△40.9	△35.5	12.9	16.1	9.7	-	-	-	-	
	要配慮者（ 障がいのある 人・高齢者 ・乳幼児・ 妊産婦・外 国人など） に対する配 慮が十分で ない	全体	228	38.6	36.8	△50.4	30.7	25.4	△41.2	22.8	21.5	9.6	1.3	-	0.4	0.4	
		女性	137	36.5	35.8	△51.1	35.8	24.1	△37.2	24.1	22.6	9.5	2.2	-	-	0.7	
		男性	89	41.6	37.1	△48.3	23.6	27.0	△48.3	21.3	20.2	10.1	-	-	1.1	-	
	避難生活で 犯罪・暴力 ・ハラスメ ントなどの 行為が行 われる	全体	213	32.4	29.1	47.4	△66.7	29.1	24.4	15.0	16.0	11.7	2.3	0.5	0.5	-	
		女性	137	32.1	29.9	△49.6	△71.5	30.7	21.9	11.7	16.8	10.2	2.2	-	0.7	-	
		男性	72	34.7	▼27.8	40.3	△59.7	26.4	27.8	22.2	13.9	15.3	2.8	1.4	-	-	
	避難所など で男女の固 定的な役割 分担や行動 （例えば男 性はリーダ ー、女性は 炊き出しな ど）を強い られる	全体	93	35.5	40.9	△52.7	△45.2	28.0	29.0	9.7	△34.4	6.5	2.2	-	-	-	
		女性	59	35.6	42.4	△49.2	△49.2	22.0	30.5	10.2	△35.6	8.5	3.4	-	-	-	
		男性	32	37.5	40.6	△59.4	37.5	△40.6	28.1	▼6.3	△34.4	3.1	-	-	-	-	
差別的な言 動やいやが らせが起き る	全体	46	37.0	▼26.1	39.1	41.3	21.7	19.6	21.7	17.4	△37.0	2.2	-	2.2	-		
	女性	17	▼29.4	29.4	△64.7	△47.1	▼11.8	17.6	23.5	17.6	△23.5	-	-	-	-		
	男性	29	41.4	▼24.1	▼24.1	37.9	27.6	20.7	20.7	17.2	△44.8	3.4	-	3.4	-		
その他	全体	16	▼18.8	37.5	31.3	△43.8	-	18.8	▼6.3	6.3	12.5	△43.8	-	-	-		
	女性	11	▼27.3	▼18.2	45.5	△45.5	-	▼9.1	-	-	9.1	△45.5	-	-	-		
	男性	5	-	△80.0	-	40.0	-	△40.0	20.0	20.0	20.0	△40.0	-	-	-		
特にない	全体	13	▼15.4	38.5	▼7.7	-	-	15.4	7.7	-	7.7	-	△38.5	△15.4	-		
	女性	7	▼14.3	42.9	▼14.3	-	-	-	-	-	14.3	-	△14.3	△28.6	-		
	男性	6	▼16.7	33.3	-	-	-	△33.3	16.7	-	-	-	△66.7	-	-		
わからない	全体	91	▼22.0	34.1	▼15.4	▼15.4	▼12.1	▼11.0	16.5	8.8	13.2	-	1.1	△36.3	-		
	女性	45	▼26.7	44.4	▼17.8	▼15.6	▼13.3	15.6	24.4	8.9	6.7	-	-	△28.9	-		
	男性	45	▼15.6	▼22.2	▼13.3	▼15.6	▼8.9	▼6.7	8.9	8.9	20.0	-	2.2	△44.4	-		

V 用語説明

VI 用語説明

部落差別(同和問題)

部落差別(同和問題)とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。

我が国では、同和問題の解決に向け、2002 年 3 月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和対策事業を進めてきました。(本調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、対策を進める対象地域として法に基づいた一定の地域が指定されており、この法律によって指定されていた対象地域を示しています。)

この対策事業により劣悪な状態にあった生活環境は大きく改善されました。しかし一方で、事業の趣旨と必要性への啓発が不十分であったために同和地区だけが優遇されているといった、いわゆる「妬み」差別が生まれました。

基本的人権の擁護などを内容とする総合的な対策がなされた現在も、なお、部落差別は存在するとして、2016 年 12 月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行され、部落差別を解消するために必要な教育及び啓発が行われています。

感染症患者など

感染症患者などには、HIV、ハンセン病患者・元患者、結核、B 型・C 型肝炎ウイルス、新型コロナウイルスなどの感染症による患者、感染者などやその家族、医療従事者などが含まれます。

○HIV(エイズウイルス)

エイズ(後天性免疫不全症候群)の原因となるウイルスです。

このウイルスが体の中で増えると、体に備わっている抵抗力(免疫)が徐々になくなり、健康な時にはかからない感染症などが引き起こされることがあります。性的接触に留意すれば、日常生活で感染することはほとんどありません。

○ハンセン病

ハンセン病は「らい菌」に感染することで起こる病気です。感染すると手足などの末梢神経が麻痺したり、皮膚にさまざまな病的な変化が起こったりします。発症した場合でも早期発見・早期治療により、後遺症を残さずに治る病気です。感染力は弱く、感染したとしても発病することは極めてまれです。

性的指向・性自認

○性的指向(Sexual Orientation)

どのような性別の人を好きになるか、または好きにならないかという概念です。具体的には、異性愛、同性愛、両性愛、無性愛などがあります。

○性自認(Gender Identity)

「自身の性をどのように認識しているか」という自己意識の概念です。「こころの性」と呼ばれることもあります。

アイヌの人々の人権

北海道を中心とした地域に古くから住んでいるアイヌの人々は、固有の言語であるアイヌ語や伝統的な儀式や祭事などの生活習慣など、独自の豊かな伝統や文化を築き上げてきました。しかし、次第に独自の生活様式や文化は侵害されるようになり、特に明治以降は、狩猟を禁止され、土地を奪われ、教育の場などでアイヌ語の使用が禁じられ、日本語を使うことを強制されるなどの同化政策が進められました。アイヌの人々は、生活の基盤や独自の文化を失い、いわれのない差別の中で貧困にあえいできました。アイヌの人々に対する誤った認識などから、今なお差別や偏見は残されています。

人身取引

人身取引は、売春や強制労働をさせるなどの搾取や、臓器移植などの目的で、暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段を用いて、人を移動したり、隠したり、受け取ったりする行為のことです。

ヘイトスピーチ

特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動のことです。

本人通知制度

高知市では、不正な請求の抑止などにつながる効果を期待するとともに、個人の権利の侵害の防止を図ることを目的として、2011年7月より、住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人(事前に登録が必要)に交付したことをお知らせする本人通知制度を導入しています。

VII 調査票

Ⅶ 調査票

人権に関する市民の意識調査

アンケートへのご協力をお願い

「人権に関する市民の意識調査」は、市民の皆さまが、人権や私たちのまわりにある様々な人権問題について、どのようなお考えをお持ちになっているかをお聞きし、人権尊重のまちづくりに活かしていくため、高知市が実施する調査です。

本調査では、満 18 歳以上の市民 3,000 人を無作為に抽出し、調査回答用紙をお送りしています。

回答は無記名で願いますので、個人の回答内容が分かることはありません。また、調査結果は、調査の目的以外には一切使用しませんので、安心してご回答ください。

ご多用のところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2024(令和6)年 11 月

高知市

English(英語)

“The Resident Attitude Survey on Human Rights” is a survey being conducted by Kochi City to gather insight on what city residents think about human rights and various social issues around us in order to develop a community with respect for the rights of all of its members.

The city has randomly selected 3,000 residents who are 18 years of age or older to participate in this survey, which is being sent out via mail.

You will not be asked to provide your name on the survey, so your answers will remain anonymous. Please rest assured that your answers will only be compiled into statistical data, and will not be used for any purpose other than the one intended.

Upon understanding and agreeing to the objective of our research, we ask for your kind cooperation in completing this survey.

Please fill out the questionnaire sheets and send them back using the enclosed return envelope by Thursday, November 28th. If you would like to have the English version, please contact us via e-mail.

E-mail: kc-101800@city.kochi.lg.jp

中文(簡体字)

“市民人权意识调查”旨在倾听市民对人权及周围存在的各种人权问题的想法，并为建设尊重人权的城市助力，因此由高知市负责。

本次调查随机抽取 3,000 名 18 岁及以上的市民，向其分发调查问卷。

回答采用不记名形式，我们将不会知道您的回答内容。此外，调查结果仅用于调查目的，请您放心回答。

非常抱歉占用您的时间，希望您理解并给予支持。

请于 11 月 28 日（星期四）前将回答后的调查问卷用同信封内的回信用信封寄回。如果您需要中文版调查问卷，请通过下面的邮箱联系我们，我们将邮寄给您。

e-mail: kc-101800@city.kochi.lg.jp

【本調査で使用している用語などについて】

（注1） 部落差別（同和問題）

部落差別（同和問題）とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。

我が国では、同和問題の解決に向け、2002年3月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和对策事業を進めてきました。（本調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、対策を進める対象地域として法に基づいた一定の地域が指定されており、この法律によって指定されていた対象地域を示しています。）

この対策事業により劣悪な状態にあった生活環境は大きく改善されました。しかし一方で、事業の趣旨と必要性への啓発が不十分であったために同和地区だけが優遇されているといった、いわゆる「妬み」差別が生まれました。

基本的人権の擁護などを内容とする総合的な対策がなされた現在も、なお、部落差別は存在するとして、2016年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行され、部落差別を解消するために必要な教育及び啓発が行われています。

（注2） 感染症患者など

感染症患者などには、HIV、ハンセン病患者・元患者、結核、B型・C型肝炎ウイルス、新型コロナウイルスなどの感染症による患者、感染者などやその家族、医療従事者などが含まれます。

OHIV（エイズウイルス）

エイズ（後天性免疫不全症候群）の原因となるウイルスです。

このウイルスが体の中で増えると、体に備わっている抵抗力（免疫）が徐々になくなり、健康な時にはかからない感染症などが引き起こされることがあります。性的接触に留意すれば、日常生活で感染することはほとんどありません。

○ハンセン病

ハンセン病は「らい菌」に感染することで起こる病気です。感染すると手足などの末梢神経が麻痺したり、皮膚にさまざまな病的な変化が起こったりします。発症した場合でも早期発見・早期治療により、後遺症を残さずに治る病気です。感染力は弱く、感染したとしても発病することは極めてまれです。

（注3） 性的指向・性自認

○性的指向（Sexual Orientation）

どのような性別の人を好きになるか、または好きにならないかという概念です。具体的には、異性愛、同性愛、両性愛、無性愛などがあります。

○性自認（Gender Identity）

「自身の性をどのように認識しているか」という自己意識の概念です。「こころの性」と呼ばれることもあります。

（注4） アイヌの人々の人権

北海道を中心とした地域に古くから住んでいるアイヌの人々は、固有の言語であるアイヌ語や伝統的な儀式や祭事などの生活習慣など、独自の豊かな伝統や文化を築き上げてきました。しかし、次第に独自の生活様式や文化は侵害されるようになり、特に明治以降は、狩猟を禁止され、土地を奪われ、教育の場などでアイヌ語の使用が禁じられ、日本語を使うことを強制されるなどの同化政策が進められました。アイヌの人々は、生活の基盤や独自の文化を失い、いわれのない差別の中で貧困にあえいできました。アイヌの人々に対する誤った認識などから、今なお差別や偏見は残されています。

（注5） 人身取引

人身取引は、売春や強制労働をさせるなどの搾取や、臓器移植などの目的で、暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段を用いて、人を移動したり、隠したり、受け取ったりする行為のことです。

（注6） ヘイトスピーチ

特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動のことです。

（注7） 本人通知制度

高知市では、不正な請求の抑止等につながる効果を期待するとともに、個人の権利の侵害の防止を図ることを目的として、2011年7月より、住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人（事前に登録が必要）に交付したことをお知らせする本人通知制度を導入しています。

【回答にあたってのお願い】

- 封筒のあて名のご本人がお答えください。

ご本人による記入が難しい場合は、身近な方がご本人のお考えを聞きながらご記入をお願いします。

- 回答は、調査票に直接記入してください。

- 回答は、質問ごとにあてはまる番号を選んで○をつけてください。

「その他」を選んだときは、()の中にその内容を記入してください。

- 調査票内の語句に(注)と記したものは、4ページに説明があります。

- 調査票は、返信用封筒に入れていただき、

11月28日(木)までに郵便ポストへ投函してください。

※氏名の記入と、切手は不要です。

◆本調査は、高知市が「ジェイエムシー株式会社」に委託して行っています。
この調査についてのお問い合わせは、次のところまでお願いします。

【お問い合わせ先】 〒781-0013 高知市薊野中町33番50号2F
ジェイエムシー株式会社
電話番号 088-813-9001
(受付時間 祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00)

(担当課) 高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課
住 所： 高知市本町5丁目1番45号
電 話：088-823-9449
FAX：088-823-9351

あなたは、「人権」ということばにどんな印象をお持ちですか？

「とても大切なもの」という思いを抱く人もいれば、「大事そうだけどなんだかよくわからない」、中には、「堅苦しくて難しいもの」と感じる人もいるかもしれません。

一言で言い表すのが難しい「人権」。「人権」に対する思いや感じ方は、人それぞれだと思います。

しかし、「人権」がない（守られていない）世界にあなたが望む暮らしがあるでしょうか。

「人権」は、私たち一人ひとりにとってなくてはならないものです。

このアンケートには、あなたご自身や大切な人の「幸せ」について考えながらお答えいただければ幸いです。



※質問によっては、不快に感じられることがあるかもしれませんが、差別や偏見の解消をめざした取り組みに生かしていくためにお聞きするものですので、ご理解くださいますようお願いいたします。

人権に関する意識調査票

まず始めに、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについてお聞かせください。

あなたの年代を教えてください。(あてはまる番号に○を1つ)

1 10代	4 40代	7 70代
2 20代	5 50代	8 80代以上
3 30代	6 60代	

あなたの性別を教えてください(必ずしも身体的な性別とは限りません)。
(あてはまる番号に○を1つ)

1 男性	2 女性	3 無回答・その他
------	------	-----------

それでは、人権に関する意識についておたずねします。

問1 あなたは、「今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	4 どちらかといえばそうは思わない
2 どちらかといえばそう思う	5 そうは思わない
3 どちらとも言えない	

問2 あなたは、「市民一人ひとりの人権意識は、5～6年前に比べて高くなっている」と思いますか。(○は1つ)

1 高くなっている	4 どちらかといえば低くなっている
2 どちらかといえば高くなっている	5 低くなっている
3 どちらとも言えない	

問3 あなたが関心のある人権問題は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1 部落差別(同和問題)(注1)	11 インターネットによる人権侵害
2 女性の人権	12 地震など災害時の人権
3 子どもの人権	13 アイヌの人々の人権(注4)
4 高齢者の人権	14 刑を終えて出所した人の人権
5 障がいのある人の人権	15 北朝鮮当局による拉致問題
6 外国人の人権	16 ホームレスの人権
7 感染症患者など(注2)の人権	17 人身取引(注5)
8 性的指向・性自認(注3)に関わる人権	18 その他
9 職場における人権	(具体的に:)
10 犯罪被害者やその家族の人権	19 特になし

問4 あなた自身やご家族の人権が侵害された、あるいはそう感じたことがありますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 ある → 問4-1へ | 2 ない → 問5へ |
|--------------|------------|

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-1 それはどのような人権侵害でしたか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 部落差別(同和問題)にかかわるもの | 9 職場における人権侵害 |
| 2 男女平等にかかわるもの | 10 犯罪被害にかかわるもの |
| 3 いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの | 11 インターネット上での誹謗や中傷など |
| 4 高齢を理由とするもの | 12 プライバシーの侵害 |
| 5 障がい理由とするもの | 13 家庭環境を理由とするもの |
| 6 国籍・人種・民族にかかわるもの | 14 その他
(具体的に:) |
| 7 感染症などにかかわるもの | 15 なんとなくそう感じた |
| 8 性的指向・性自認にかかわるもの | 16 答えたくない |

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-2 その時、誰(どこ)かに相談しましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 相談した → 問4-3へ | 2 相談しなかった → 問4-4へ |
|----------------|-------------------|

(問4-2で「相談した」とお答えの方に)

問4-3 誰(どこ)に相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 家族・親戚 | 8 市・法務局(人権擁護委員)など
公的な相談窓口 |
| 2 友人・知人 | 9 弁護士などの法律の専門家 |
| 3 地域・近所の人 | 10 医師や看護師など医療関係者 |
| 4 民生委員・児童委員 | 11 NPO団体など民間の相談窓口 |
| 5 学校の先生や教育委員会など | 12 その他
(具体的に:) |
| 6 職場の上司や同僚 | |
| 7 警察 | |

(問4-2で「相談しなかった」とお答えの方に)

問4-4 相談しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 どこに相談したらよいのかわからなかった | 5 自分にも悪いところがあった |
| 2 相談しようという考えが
思い浮かばなかった | 6 相手に抗議するなど、自分で解決した |
| 3 相談しても無駄だと思った | 7 信頼できる相談先がなかった |
| 4 相手に知られる、仕返しをされるのが
怖かった | 8 その他
(具体的に:) |

1 知っている → 問5-1へ 2 知らない → 問6へ

1 周りの人から（家族・友人など）	5 人権についての講演会や研修などで
2 学校の授業で	6 はっきり覚えていない
3 インターネット・書籍などから	7 その他
4 テレビ・ラジオなどから	（具体的に： ）

1 小学校・中学校で学習した	3 職場の研修・住民対象の講座などで学習した
2 高校・大学・短大・専門学校で学習した	4 学習した記憶がない、または学習したことがない

1 存在する	4 存在しない → 問6へ
2 存在し、強くなっている	5 わからない
3 存在するが、薄まりつつある	

- 1 意識することはない（この項目を選ばれた方は、他の項目には○をつけないください）
- 2 自分自身や親族が結婚するとき
- 3 人を雇うとき、または雇われるとき
- 4 同じ職場や学校で一緒になったとき
- 5 隣近所で生活するとき
- 6 同じ団体（町内会・自治会・PTA・サークルなど）のメンバーとして活動するとき
- 7 不動産（家・土地など）を購入したり借りたりするとき
- 8 仕事上でかわりをもつとき
- 9 その他（具体的に： _____ ）

問5-5 仮に、あなたのご家族が結婚しようとしている相手が、同和地区に住む人または同和地区出身者だとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 何も問題ない | 5 絶対に結婚を認めない |
| 2 本人の意思を尊重する | 6 その他
(具体的に:) |
| 3 反対するが、本人の意思が強ければ認める | 7 わからない |
| 4 自分以外の家族や親戚が反対すれば、結婚を認めない | |

問5-6 現在でも部落差別(同和問題)が存在している原因はどこにあると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 部落差別(同和問題)に関する誤った知識を持っている人がいるから |
| 2 落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから |
| 3 これまでの教育や啓発が十分でなかったから |
| 4 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから |
| 5 地域社会や家庭において偏見が植え付けられていることがあるから |
| 6 同和地区が行政から優遇されていた(注1)ように感じるから |
| 7 道路や水道、居住環境などのインフラ整備が十分でない地域がまだ残っているから |
| 8 「同和はこわい」という意識があるから |
| 9 その他(具体的に:) |
| 10 特にない |
| 11 わからない |

問5-7 部落差別(同和問題)を解決するために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 部落差別(同和問題)について、市民の理解と認識を深める |
| 2 学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える |
| 3 市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする |
| 4 相談・支援体制の充実を図る |
| 5 インターネット上での同和問題に関する差別的な書き込みの監視を強化する |
| 6 同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる |
| 7 その他(具体的に:) |
| 8 特にない |
| 9 わからない |

問6 女性の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)
- 2 昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い
- 3 女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ない(女性の政治家や管理職が少ない)
- 4 女性の活躍に影響を及ぼす法律や制度、古い考え方にに基づく社会通念・慣習・しきたりがあること
- 5 マタニティ・ハラスメント(妊娠・出産などを理由とする不利な扱い)
- 6 セクシュアル・ハラスメント(性的ないやがらせ)
- 7 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの身体に対する暴力、またはこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動)
- 8 ストーカー行為
- 9 買春・売春・援助交際
- 10 痴漢やわいせつ行為などの性犯罪
- 11 テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネットなどで女性を性的対象として扱う情報があふれていること
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特にない
- 14 わからない

問7 女性の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 男女の固定的な役割分担意識を改めて、男女平等意識を広める
- 2 男女雇用機会均等法や労働基準法などの周知・企業・労働者の意識啓発を行う
- 3 政治や経済などの分野における意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する
- 4 女性の自由な選択が可能な法制度(例:選択的夫婦別姓制度など)の整備をすすめる
- 5 様々な社会制度や慣行を、誰もが対等な立場で助け合っていけるように見直していく
- 6 学校教育における女性の人権に関する教育の充実を図る
- 7 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの身体に対する暴力、またはこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動)の防止に関する取組をすすめる
- 8 女性に対する犯罪の取締りを強化する
- 9 女性のための相談、支援体制の充実を図る
- 10 女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 11 その他(具体的に:)
- 12 特にない
- 13 わからない

問8 子どもの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 保護者などから虐待(身体的・心理的・性的)や育児放棄されること
- 2 SNS (YouTube・LINE・Instagram などインターネット上で他者と繋がることができるサービス) による誹謗中傷や友人などから仲間はずれにされるなど、子どもの間での「いじめ」
- 3 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする人
- 4 指導的な立場にある人(教師・部活動の指導者・先輩など)からの身体的、精神的なハラスメント
- 5 子どもの意見や行動が尊重されていないこと
- 6 暴力や犯罪、ポルノなどの性的な表現といった、子どもに有害な情報があふれていること
- 7 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為
- 8 貧困による教育の格差が生じたり、健康な生活ができなかったりすること
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特になし
- 11 わからない

問9 子どもの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化
- 2 学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化
- 3 学校における子どもへの人権教育の充実
- 4 身体的・精神的なハラスメント禁止の徹底
- 5 子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること
- 6 犯罪や安全をおびやかす情報や行為などから子どもを守る取り組みの推進
- 7 家庭・地域・学校の連携のもと、地域で子どもを育む機運を高めること
- 8 貧困の連鎖を断ち切るための取り組みの推進
- 9 人権を大切にする心を育てるための、教職員などに対する研修の充実
- 10 子どものための相談・支援体制の充実
- 11 子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特になし
- 14 わからない

問 10 高齢者の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 働ける能力を発揮する機会が少ない
- 2 差別的な言動をされる
- 3 詐欺や悪質商法による被害を受ける
- 4 住宅を容易に借りることができない
- 5 家庭内や病院、施設において不当な扱いや虐待を受ける
- 6 家族や地域との交流が疎遠がちで、孤独な生活を送っている
- 7 高齢者の意見や行動が尊重されない
- 8 道路の段差や建物の階段など、外出先で不便や支障がある
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 11 高齢者の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 就労環境の整備
- 2 高齢者のための相談、支援体制の充実
- 3 高齢者を地域で支える仕組みの整備
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 学校教育における高齢者の人権に関する教育の充実
- 6 自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実
- 7 高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること
- 8 道路や交通機関、建物などのバリアフリー化
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

- 1 就職・職場で不当な扱いを受ける
- 2 職場や学校などでいやがらせやいじめを受ける
- 3 障がい・障がいのある人に対する理解が不十分であるために適切な配慮がされない
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 5 結婚の際に周囲から反対を受ける
- 6 住宅を容易に借りることができない
- 7 家庭内や病院、施設において不当な扱いや虐待を受ける
- 8 障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないために、社会参加しづらい
- 9 道路の段差や建物の階段など、外出先で不便や支障がある
- 10 その他（具体的に： ）
- 11 特にない
- 12 わからない

- 1 障がいのある人が働くための支援の充実
- 2 学校教育における障がいのある人の人権に関する教育の充実
- 3 障がい・障がいのある人について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること
- 4 障がいのある人となない人との交流の促進
- 5 障がいのある人のための相談、支援体制の充実
- 6 障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実
- 7 障がいのある人が自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実
- 8 道路・交通機関・建物などのバリアフリー化
- 9 その他（具体的に： ）
- 10 特にない
- 11 わからない

障がいの特性や障がいのある人の人権について、より身近に感じられることが理解の促進に繋がると考え、「障害」を「障がい」とする「ひらがな表記」を採用しています。ただし、法令等の名称が「障害」の場合は漢字表記としています。

問 14 外国人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 就職・職場で不当な扱いを受ける(例:技能実習生問題など)
- 2 結婚の際に周囲から反対を受ける
- 3 外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある
- 4 住宅を容易に借りることができない
- 5 駅・公共交通機関や文化・スポーツ・ショッピング施設などで外国語表示がなく、十分なサービスが受けられない
- 6 保健・医療・防災・教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない
- 7 特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動(ヘイトスピーチ(注6)など)が行われる
- 8 難民申請者などに対する保護が十分ではない
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 15 外国人の人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 外国人の就職の機会均等の確保をする
- 2 学校教育における外国人の人権に関する教育の充実を図る
- 3 交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す
- 4 外国人のための相談、支援体制の充実を図る
- 5 多言語による生活情報を提供する
- 6 外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療・福祉・教育)を受けることができるようにする
- 7 ヘイトスピーチなど、不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進を図る
- 8 在住外国人への日本語教育機会を確保する
- 9 外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 10 その他(具体的に:)
- 11 特にない
- 12 わからない

おおむね半分終わりました。このあともよろしくお願いします。

問 16 感染症患者などの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 就職・職場で不利な扱いを受ける
- 2 結婚の際に周囲から反対を受ける
- 3 家族や親戚、友人などからつきあいを拒絶される
- 4 治療や入院を断られる
- 5 ワクチンなどを接種していないことで差別的な扱いを受ける
- 6 感染者・医療従事者及びその家族などが差別や偏見にさらされる
- 7 地域社会における排斥や悪意のある噂が流される
- 8 住宅を容易に借りることができない
- 9 インターネットやSNS (YouTube・LINE・Instagram などインターネット上で他者と繋がることができるサービス) で誹謗中傷やデマを書き込まれる
- 10 出勤や登校、または施設・店舗などの利用自粛を求められたり、拒否される
- 11 感染者が出た施設、学校、会社などが差別や偏見にさらされる
- 12 その他(具体的に：)
- 13 特にない
- 14 わからない

問 17 感染症患者などの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 感染症患者などの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 2 学校教育における感染症に関する正しい知識や感染症患者などの人権に関する教育の充実を図る
- 3 治療法確立などの医療体制の整備を行う
- 4 医療機関などにおける個人情報保護を徹底する
- 5 感染症患者などのための相談、支援体制の充実を図る
- 6 感染者の生活や治療費を支援する
- 7 インターネットやSNS (YouTube・LINE・Instagram などインターネット上で他者と繋がることができるサービス) で誹謗中傷等の書き込みの削除を求める
- 8 感染症に関する正しい情報の提供や理解を深めるための広報、啓発活動を推進する
- 9 その他(具体的に：)
- 10 特にない
- 11 わからない

- 1 男性らしさ、女性らしさを求められる
- 2 世間から好奇や偏見の目で見られる
- 3 相談できる相手が少ない
- 4 就職・職場での不当な扱い、差別的な言動、いやがらせやいじめがある
- 5 学校でいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不当な扱いを受ける
- 6 身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ・更衣室など）が整っていない
- 7 行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けることができない場合がある（住宅・医療・保険など）
- 8 同性カップルなどが宿泊施設などの利用を拒否される
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 特にない
- 11 わからない

	そう思う	そうは思わない	わからない
(a) 性は多様であり、一人ひとり違って当然である	1	2	3
(b) テレビなどマスコミでも取り上げられており、関心がある	1	2	3
(c) 自分にも身近な問題だと思う	1	2	3
(d) 芸能人や特に注目されている人たちのことで、自分には関係ない	1	2	3
(e) 趣味や嗜好の問題である	1	2	3

問 21 あなたは、「高知市パートナーシップ登録制度」を知っていますか。
(○は1つ)

- 1 登録対象者の範囲や登録証の交付など、制度の内容についてよく知っている
- 2 制度の内容について、ある程度は知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
- 4 知らない

高知市は「高知市人権尊重のまちづくり条例」の理念に基づき、性のあり方に関わる差別や偏見をなくし、誰もが自分らしく安心して暮らせる社会の実現を目指して、令和2年11月に「高知市にじいろのまち宣言」を行いました。

「にじいろのまち」とは、「性の多様性」を虹のグラデーションになぞらえ、一人ひとりの性のあり方が尊重され、誰もがそれぞれの個性や生き方をお互いに認め合い支え合うまちを表現したもので、そうしたまちの実現に向け、市では様々な取り組みを進めています。

「高知市パートナーシップ登録制度」も、そのひとつです。

この制度は、お互いを人生のパートナーとして、日常生活において相互に協力し合う関係にある二人が、その関係性（パートナーシップ）を市に登録することができる制度で、市は、登録の事実を公的に証明します。

パートナーシップ登録は、市の要綱に基づいて実施するため、法的効力（婚姻、相続、税金の控除など）が生じるものではありませんが、多様な性のあり方に対する社会的理解が深まり、差別や偏見、ハラスメントなどの解消に繋がっていくことを期待しています。

にじいろのまち
シンボルマークです



- 1 採用や昇進などにおいて、本人の適性や能力以外の面が評価される
- 2 長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない
- 3 非正規雇用と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている
- 4 ハラスメント（セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなど）がある
- 5 不当に解雇されることや自主的な退職に追いこまれる
- 6 仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい
- 7 病気の治療をしながら、働き続けられる環境が整備されていない
- 8 顧客などからカスタマー・ハラスメント（理不尽なクレームや不当な要求など）を受ける
- 9 その他（具体的に： ）
- 10 特にない
- 11 わからない

- 1 本人の適性と能力を基準とする公正な採用や昇進
- 2 超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備
- 3 同一労働・同一賃金など非正規雇用の社員の待遇改善に取り組むこと
- 4 職場におけるハラスメントに関する相談窓口の設置や防止対策を行うこと
- 5 労働組合を組織し、組合活動に参加するなどの権利の保障
- 6 育児・介護休暇（休業）制度などの子育てや介護に関する制度の充実
- 7 病気の治療をしながら、働き続けることができる制度や環境の整備
- 8 職場における従業員に対する人権研修の実施
- 9 その他（具体的に： ）
- 10 特にない
- 11 わからない

問 24 犯罪被害者などの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 犯罪による精神的・経済的負担が大きい
- 2 警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない
- 3 過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある
- 4 事件に関して周囲からの偏見や差別がある
- 5 捜査・刑事裁判で受ける精神的負担が大きいにもかかわらず、こころのケアがされない
- 6 刑事裁判手続きに犯罪被害者や家族の声が十分反映されない
- 7 犯罪被害者自身が非難の対象になる
- 8 インターネット上での噂話や誹謗・中傷がある
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 25 犯罪被害者などの人権を守るために、あなたが現在、必要性が高いと思うものは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 経済的な支援
- 2 犯罪被害者などに寄り添ったきめ細やかな支援や対応
- 3 犯罪被害者などに配慮した報道や取材
- 4 犯罪予防・防止のための施策の充実
- 5 専門家による心理的支援(カウンセリングなど)の提供
- 6 犯罪被害者などの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深めること
- 7 犯罪被害者などの相談体制の充実
- 8 その他(具体的に:)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 26 インターネットによる人権侵害に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- 1 無断で他人のプライバシーに関することを掲載する
- 2 他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する
- 3 わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載する
- 4 犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する
- 5 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載する
- 6 情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい
- 7 情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい
- 8 悪質商法の間となっている
- 9 個人情報の流出などの問題が多く発生している
- 10 その他(具体的に:)
- 11 特になし
- 12 わからない

問 27 あなたは、インターネットによる人権侵害について、どのような考えをお持ちですか。(それぞれに〇を1つ)

	そう思う	そうは思わない	わからない
(a) インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである	1	2	3
(b) インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ	1	2	3
(c) インターネットへの書き込みで人権を侵害した場合、法により取り締まるべきだ	1	2	3
(d) インターネットへの書き込みで人権を侵害された場合についての対応方法・相談窓口(※)の周知をするべきだ	1	2	3
(e) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、情報元の管理者などに情報停止、削除を求めるべきだ	1	2	3
(f) 企業などが個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をするべきだ	1	2	3

※インターネット上の誹謗中傷に対する
さまざまな相談・通報窓口の案内はこちら⇒



警察庁 HP

- 1 避難生活でプライバシーが守られない
- 2 避難所などで男女の固定的な役割分担や行動（例えば男性はリーダー、女性は炊き出しなど）を強いられる
- 3 避難生活で犯罪・暴力・ハラスメントなどの行為が行われる
- 4 心身の不調を我慢してしまう
- 5 避難所などで性別・年齢・家族構成・健康状態など、個々の違いに応じた配慮が
十分でない
- 6 要配慮者（障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など）に対する配慮が
十分でない
- 7 差別的な言動やいやがらせが起きる
- 8 被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が行き届かない
- 9 その他（具体的に： _____ ）
- 10 特にない
- 11 わからない

- 1 被災者が様々な困りごとを相談できる窓口の設置を行う
- 2 女性、障がいのある人、高齢者など様々な人が避難所の運営に参加できるようにする
- 3 避難生活における防犯対策を強化する
- 4 心身の健康を保つための保健、医療体制の整備を行う
- 5 要配慮者（障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など）に配慮した災害対応マニュアルを作成する
- 6 避難所における、授乳室・育児室・更衣室などといった個別ニーズに応じられるスペースを設置する
- 7 災害時における人権への配慮について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 8 被災者に被災状況・支援内容など必要な情報や支援をもれなく届ける体制を整備する
- 9 平常時から地域の防災活動に、女性・障がいのある人・高齢者など様々な人が参加し、住民同士のつながりをつくる
- 10 その他（具体的に： ）
- 11 特にない
- 12 わからない

問 30 あなたが、人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1 幼児期の人権教育	9 家族とのふれあいの中から
2 小学校時代の人権教育	10 地域でのふれあいの中から
3 中学校時代の人権教育	11 職場でのふれあいの中から
4 高等学校時代の人権教育	12 友人とのふれあいの中から
5 大学・短大・専門学校時代の人権教育	13 インターネットや SNS を通じて
6 講演会や研修会	14 その他 (具体的に：)
7 地域での学習会	15 特にない
8 職場での人権研修会	16 わからない

(問 30 で「1」～「13」に○をされた方に)

問 30-1 それはどのような内容でしたか。お構いない範囲でご記入ください。

問 31 あなたが、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

1 人権を守るための法整備をすすめる
2 行政が人権教育、啓発を積極的に行う
3 人権が侵害された被害者のための相談、支援体制の充実を図る
4 公務員など人権に関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める
5 乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む
6 学校での人権教育の充実を図る
7 事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う
8 行政が企業の人権研修などを支援する
9 市民が自発的に人権のイベントや学習会などに参加する
10 町内会や P T A など地域で活動する中で人権を大切にする活動をすすめる
11 その他(具体的に：)
12 特にない
13 わからない

問 32 あなたは、次の(a)から(q)の人権に関する宣言（国連）や法律・条令・市の取り組みについてどの程度ご存知ですか。（それぞれに○を1つ）

	内容まで 知っている	名称は聞いた ことがあるが 詳しくは知らない	全く 知らない
(a) 世界人権宣言 《1948 年 12 月 10 日採択》	1	2	3
(b) 持続可能な開発目標（SDGs） 《2015 年 9 月採択》	1	2	3
(c) 障害者差別解消法（障害を理由とする差別 の解消の推進に関する法律） 《2016 年 4 月 1 日施行》	1	2	3
(d) ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対 する不当な差別的言動の解消に向けた取組 の推進に関する法律） 《2016 年 6 月 3 日施行》	1	2	3
(e) 部落差別解消推進法（部落差別の解消の推 進に関する法律） 《2016 年 12 月 16 日施行》	1	2	3
(f) 性的指向及びジェンダーアイデンティティ の多様性に関する国民の理解の増進に関す る法律《2023 年 6 月 23 日施行》	1	2	3
(g) 困難な問題を抱える女性への支援に関する 法律《2024 年 4 月 1 日施行》	1	2	3
(h) 高知市人権尊重のまちづくり条例 《2019 年 7 月 1 日施行》	1	2	3
(i) 男女がともに輝く高知市男女共同参画条例 《2005 年 4 月 1 日施行》	1	2	3
(j) 高知市手話言語条例 《2016 年 7 月 1 日施行》	1	2	3
(k) 「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 《1981 年～》	1	2	3
(l) 「人権・平和強調旬間」事業 《1987 年～》	1	2	3
(m) 「人権週間」事業 《1948 年～》	1	2	3
(n) 広報「あかるいまち」人権シリーズ 《2002 年 4 月～》	1	2	3
(o) 地域における人権啓発推進委員会活動 《1992 年～》	1	2	3
(p) 市民会館活動・子ども会活動 《1995 年～》	1	2	3
(q) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取 組（本人通知制度）（注7） 《2011 年 7 月～》	1	2	3

あと 1 問です。最後までよろしくお願いします。

問 33 人権に関するご意見、ご感想がございましたら、自由にご記入ください。

最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

お手数をおかけしますが、記入もれがないかもう一度ご確認のうえ、同封の封筒で
11 月 28 日（木）までにポストに投函してご返送ください（切手は不要です）。



令和6年度 人権に関する市民の意識調査報告書
発行 高知市市民協働部人権同和・男女共同参画課
〒780-8571 高知市本町五丁目1-45
TEL 088-823-9449
FAX 088-823-9351